



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2024

令和 6 年度

シラバス

健康福祉学部 医療情報学科



本学の授業とSDGsとの関連

シラバス内で授業内容と「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」との関連を示しています。関連する目標は番号で示されておりますので、履修の参考にしてください。



17の持続可能な開発目標

目標 1.	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
目標 2.	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標 3.	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標 4.	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する
目標 5.	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う
目標 6.	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標 7.	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
目標 8.	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
目標 9.	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標 10.	各国内および各国間の不平等を是正する
目標 11.	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する
目標 12.	持続可能な生産消費形態を確保する
目標 13.	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標 14.	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標 15.	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標 16.	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標 17.	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

～シラバス内の表記について～

例として、授業内容が「目標 1」、「目標 3」、「目標 10」、「目標 16」と関連がある場合は下記のように表記します。特に関連のある目標を示しています。空欄であるからといって、いずれの目標にも全く関連しない、ということではありません。

SDGs との関連	①	③	⑩	⑯

令和 6 年度医療情報学科シラバス目次

健大で学ぶ Well-being(教養基礎)	1	英語 IVC(リテラシー)	102
基礎教養ゼミ(教養基礎)	4	Integrated English I (リテラシー)	104
日本語表現法(教養基礎)	7	Integrated English II (リテラシー)	106
日本国憲法(教養基礎)	9	ドイツ語(リテラシー)	108
法学(教養基礎)	11	フランス語(リテラシー)	110
経済学(教養基礎)	14	ポルトガル語(リテラシー)	112
社会学(教養基礎)	17	中国語(リテラシー)	115
生涯健康論(教養基礎)	19	ハングル語(リテラシー)	117
生涯学習概論(教養基礎)	22	情報リテラシー I (リテラシー)	119
生命と環境の科学(教養基礎)	24	情報リテラシー II (リテラシー)	121
国際関係論(教養基礎)	28	情報リテラシー III (リテラシー)	123
体育理論(教養基礎)	31	情報リテラシー IV (リテラシー)	125
体育実技(教養基礎)	33	情報リテラシー V (リテラシー)	127
キャリア形成論(教養基礎)	37	情報リテラシー VI (リテラシー)	129
哲学(人間理解)	40	情報化社会を生きる ～疑う力・創る力～(専門教養科目)	131
倫理学(人間理解)	42	人間行動学(専門教養科目)	134
心理学(人間理解)	45	健康運動実技(専門教養科目)	136
文学と人間(人間理解)	48	宗教と倫理(専門教養科目)	139
芸術論(人間理解)	50	レクリエーション論(専門教養科目)	142
ボランティア・市民活動論(人間理解)	52	数学基礎 I (専門導入科目)	144
人権論(人間理解)	55	数学基礎 II (専門導入科目)	146
人間関係論(人間理解)	58	物理学基礎(専門導入科目)	149
ジェンダー論(人間理解)	60	生物学基礎(専門導入科目)	151
共生の倫理(人間理解)	62	化学基礎(専門導入科目)	153
チーム医療アプローチ論(人間理解)	64	医療概論(医学英語 I を含む)(専門導入科目)	155
国際保健医療論(人間理解)	66	情報セキュリティ I (専門導入科目)	158
Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)	69	プログラミング I (C プログラミング基礎)(専門導入科目)	160
囲碁の世界(人間理解)	72	Web デザイン I (専門導入科目)	162
英語 IA(リテラシー)	74	情報システム概論(専門導入科目)	164
英語 IB(リテラシー)	79	Early Exposure(専門導入科目)	166
英語 IC(リテラシー)	81	データサイエンス I (専門導入科目)	168
英語 IIA(リテラシー)	83	情報活用 I (専門導入科目)	171
英語 IIB(リテラシー)	85	情報活用 II (専門導入科目)	173
英語 IIC(リテラシー)	90	情報活用実習(専門導入科目)	175
英語 IIIA(リテラシー)	92	人体構造・機能論(専門基幹科目)	177
英語 IIIB(リテラシー)	94	臨床医学総論(専門基幹科目)	180
英語 IIIC(リテラシー)	96	臨床医学各論 I (感染症・寄生虫・血液)(専門基幹科目)	182
英語 IVA(リテラシー)	98	臨床医学各論 II (新生物・代謝・内分泌)(専門基幹科目)	184
英語 IVB(リテラシー)	100	臨床医学各論 III (循環器・呼吸器)(専門基幹科目)	186

臨床医学各論Ⅳ(消化器・腎泌尿器、皮膚)(専門基幹科目)	189
臨床医学各論Ⅴ(周産期、筋骨格)(専門基幹科目)	191
臨床医学各論Ⅵ(精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ)(専門基幹科目)	193
保健医療情報学(専門基幹科目)	196
生体情報学Ⅰ(専門基幹科目)	198
診療情報演習Ⅰ(専門基幹科目)	200
診療情報演習Ⅱ(専門基幹科目)	202
バイオサイエンス(専門基幹科目)	204
生活支援工学(専門基幹科目)	206
生体信号処理入門(専門基幹科目)	208
情報数学基礎(専門基幹科目)	210
情報システム各論(専門基幹科目)	212
ネットワークⅠ(専門基幹科目)	214
データベース概論(専門基幹科目)	217
プログラミングⅡ(Cプログラミング実用)(専門基幹科目)	220
プログラミングⅢ(Cプログラミング応用)(専門基幹科目)	222
プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目)	224
情報演習Ⅰ(専門基幹科目)	226
情報演習Ⅱ(専門基幹科目)	228
Web デザインⅡ(専門基幹科目)	230
情報処理演習Ⅰ(専門基幹科目)	233
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ(専門基幹科目)	235
マルチメディアⅠ(専門基幹科目)	237
データサイエンスⅡ(専門基幹科目)	239
医療管理総論(専門展開科目)	241
医療管理各論Ⅰ(専門展開科目)	243
医療管理各論Ⅱ(専門展開科目)	245
医療管理各論Ⅲ(専門展開科目)	247
診療情報管理Ⅰ(専門展開科目)	249
診療情報管理Ⅱ(専門展開科目)	252
診療情報管理Ⅲ(専門展開科目)	255
医療統計学Ⅰ(専門展開科目)	258
医療統計学Ⅱ(専門展開科目)	260
医療統計学演習(専門展開科目)	263
医療情報学各論(専門展開科目)	265
生体情報学Ⅱ(専門展開科目)	267
国際統計分類Ⅰ(専門展開科目)	269
国際統計分類Ⅱ(専門展開科目)	272
医療事務論Ⅰ(医療事務の基礎知識)(専門展開科目)	275

医療事務論Ⅱ(点数計算とレセプトの書き方Ⅰ)(専門展開科目)	277
医療事務論Ⅲ(点数計算とレセプトの書き方Ⅱ)(専門展開科目)	279
医療事務論Ⅳ(公費負担医療他、総合演習)(専門展開科目)	281
医療経済学(専門展開科目)	283
ソフトウェア工学(専門展開科目)	286
ネットワークⅡ(専門展開科目)	289
コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目)	292
情報セキュリティⅡ(専門展開科目)	295
アニメーション制作演習(専門展開科目)	297
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ(専門展開科目)	299
データサイエンスⅢ(専門展開科目)	301
情報処理演習Ⅱ(専門展開科目)	304
マルチメディアⅡ(専門展開科目)	306
Web デザインⅢ(専門展開科目)	308
Web プログラミングⅠ(専門展開科目)	310
Web プログラミングⅡ(専門展開科目)	312
オブジェクトプログラミングⅠ(専門展開科目)	314
オブジェクトプログラミングⅡ(専門展開科目)	316
画像処理入門(専門展開科目)	319
人工知能(専門展開科目)	321
デジタル回路入門(専門展開科目)	323
病院実習(応用展開科目)	325
インターンシップ(応用展開科目)	327
Web 制作演習(応用展開科目)	328
特別ゼミⅠ(応用展開科目)	330
特別ゼミⅡ(応用展開科目)	331
情報演習Ⅲ(応用展開科目)	332
情報演習Ⅳ(応用展開科目)	334
診療情報演習Ⅲ(応用展開科目)	336
診療情報演習Ⅳ(応用展開科目)	339
遠隔医療とeヘルス(応用展開科目)	341
応用画像処理(応用展開科目)	343
組み込みシステム演習(応用展開科目)	345
チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)	347
SPI 講座Ⅰ(非言語能力Ⅰ)(応用展開科目)	349
SPI 講座Ⅱ(非言語能力Ⅱ)(応用展開科目)	351
SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目)	353
SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目)	356
医療情報ゼミ(応用展開科目)	359

医療情報学総合演習(応用展開科目).....	360
卒業研究(卒業研究)	362
生涯学習社会と図書館(司書科目)	364
図書館概論(司書科目)	367
図書館制度・経営論(司書科目).....	370
図書館情報技術論(司書科目).....	373
図書館サービス概論(司書科目).....	375
情報サービス論(司書科目)	377

児童サービス論(司書科目).....	379
情報サービス演習(司書科目)	382
図書館情報資源概論(司書科目)	385
情報資源組織論(司書科目).....	387
情報資源組織演習(司書科目)	389
図書館サービス特論(司書科目)	393
図書館情報資源特論(司書科目)	395

科目名	健大で学ぶ Well-being(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB000				
英文名	Steps to Well-being at KENDAI.				講義形態	講義				
担当教員	【情報】: 東福寺幾夫、【福祉】: 出雲春明、内田幸子、【栄養】: 下川哲昭 【薬】: 松岡功、須藤豊、高橋恵美利、田中祐司、【看護】: 吉田久美子、倉林しのぶ、【理学】: 中川和昌、 【子ども】: 栗原幸正、【農】: 大政謙次、吉積毅、廣瀬竜郎、松岡寛樹、齋藤文信、清水庸									
科目に関連した実務経験	【子ども】栗原: 公立学校教諭・教頭・校長。教育委員会指導主事。群馬県人権教育・啓発推進懇談会座長。									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル				
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	1	問題解決力								
SDGs との関連	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①講義の目標 高崎健康福祉大学(健大)を知り、健大への理解と自身の所属学科以外の他学科の理解をもとに、多様な職種に対する理解や自校理解の礎を作る。 健大の精神「自利利他」は、「人の喜びを自分の喜びとする心」であり、学生生活から将来に至るまで様々な局面での行動・成長基盤となりうるものである。健大精神のあり方を考えるきっかけとなる講義を行い、成長につなげる。SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な未来を形成するために意識すべき目標である。SDGsを知り、また具体的な関わり方の例などから考えることで、様々な局面で貢献する為の素養を身につける。 以上を通じて、Well-being 社会に貢献する人材へ成長するための基盤構築を本講義の目標とする。 ②講義の実施方法 全講義オンデマンド式とする。 1.講義の開講について 講義は第 1 回から 9 回までの講義で構成される。原則として毎週水曜日 15 時に 1 講義分の動画が公開されるので、各自で受講時間を確保して学習を進める。公開から 1 週間以内に C-learning の教材倉庫中のリンクからアクセスし、講義動画視聴を行い、その後、C-learning から小テストを実施すること。 なお、動画へのアクセスは、高崎健康福祉大学グーグルアカウントにログオンした状態でのアクセスが必要となる。第 1 回の講義前、各学科ガイダンス等の中で受講方法に関する説明があるのでその指示に従い、各自で受講準備を行う事。 2.講義の出席について 原則、各学科が 1 回を担当し学科の理解、学科における自利利他・SDGs との関わりについて例を含めながら講義を行う。講義動画へのアクセスと小テスト実施をもって出席とする。 3. 講義後の入力提出について 講義視聴後に自身が感じた自利利他や SDGs への考え、講義の感想など思った事を C-learning のアンケートから入力すること。アンケートは自由記述とするが講義改善の指標とするので、積極的な参加を期待する。									
到達目標	1. 健大の学部・学科について知り、理解を深める。 2. 健大精神「自利利他」を知り、理解を深める。									

	3. SDGs を知り、理解を深める。■			
使用教材	各講義回で利用する資料・教材がある場合には C-learning を通じて電子ファイルで配布を行う。			
参考文献	なし			
評価方法	第 1 回の受講(4%)と各講義回の講義動画閲覧と小テスト:2〜9 回(各 12%)の合計 100%で評価する。			
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストは点数のみ公開する。不正解の問題があった場合には講義を再視聴し、公開期間内に小テストをやり直したのち、自身の考えを醸成させること。小テストは再解答を 3 回まで認めるので、各自で適宜復習を行い、考えを発展させてほしい。			
オフィスアワー (研究室)	質問は C-learning 連絡機能やメールで受け付ける。対面による質問を希望する場合はメールで事前に相談すること。 情報:東福寺(1 号館 605 研究室) 福祉:出雲(1 号館 511 研究室) 栄養:下川(1 号館 311 研究室) 薬:松岡(7 号館 312 研究室) 看護:吉田久(5 号館 410 研究室) 理学:中川(3 号館 204 研究室) 子ども:栗原(8 号館 学部長室) 農:清水(10 号館 504 研究室)	メールアドレス (#→@)	情報:東福寺 tofukuji#takasaki-u.ac.jp 福祉:出雲 izumo-s#takasaki-u.ac.jp 栄養:下川 shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp 薬:松岡 isao#takasaki-u.ac.jp 看護:吉田久 yoshikumi#takasaki-u.ac.jp 理学:中川 nakagawa-ka#takasaki-u.ac.jp 子ども:栗原 kurihara-y#takasaki-u.ac.jp 農:清水 shimizu-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	本学の歴史、大学としての自利利他、SDGsの考え(高崎健康福祉大学 学園長、学長)。		
	該当到達目標	予習	自利利他の意味、SDGsについて調べておく。 自身の端末で高崎健康福祉大学のアカウントにログインできるようにしておく (各学科ガイダンス等で受講法の説明があるので、各自で第1回講義前までに オンライン受講準備を整え、ガイダンス動画を閲覧しておくこと)。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
2	講義内容	医療情報学科(東福寺):1.健康・医療と情報技術、2.医療 DX と人材養成、3.本学の禁煙化		
	該当到達目標	予習	C-learning へのログイン方法を確認しておく。 オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
3	講義内容	社会福祉学科(出雲、内田):誰も置き去りにしない社会		
	該当到達目標	予習	「誰も置き去りにしない社会」や「地域社会における支え合いの意義」について、調べておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。 講義で取り扱ったケースについて調べ、周囲と話しあってみる。	1 時間
4	講義内容	健康栄養学科(下川、木村):母性行動の生理学的基盤		
	該当到達目標	予習	C-learning へのログイン方法を確認しておく。 オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
5	講義内容	薬学部(松岡、須藤、高橋、田中):Well-being とクスリ		
	該当到達目標	予習	薬剤師の業務について調べておく。C-learning へのログイン方法を確認して おく。オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
6	講義内容	看護学科(吉田、倉林)		
	該当到達目標	予習	C-learning へのログイン方法を確認しておく。 オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間

7	講義内容	理学療法学科(中川)		
	該当到達目標	予習	C-learning へのログイン方法を確認しておく。 オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
8	講義内容	子ども教育学科(栗原):学校教育と LGBT■		
	該当到達目標	予習	LGBT に関する新聞等の報道記事に目を通し、社会の動向を掴んでおく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身が今後どのような行動をすべきかについて、身近な友人・知人との話し合いを通して明確にする。	1 時間
9	講義内容	農学部 (大政、吉積、廣瀬、松岡、齋藤、清水)		
	該当到達目標	予習	C-learning へのログイン方法を確認しておく。 オンデマンド講義を視聴するための方法、環境を確認しておく。	1 時間
	1-3	復習	講義動画での学びを基に、自身の行動にどのように応用するか考える。	1 時間
合計時間(予習・復習)				18 時間
備考	1. 授業の時間について 記載した予習復習時間で、講義内容の不明点が残る場合には各自で補完すること。 2. 動画へのアクセスについて 各回講義動画の閲覧には、「高崎健康福祉大学のグーグルアカウント」にログオンした状態の端末でアクセスする 事が必要です。講義動画にアクセスできない場合、アカウント設定やアクセス方法などを確認するようにして下さい。 3. 質問などについて 各講義回で生じた<u>内容に関する質問は講義回担当者へ、受講法に関する事は自学科担当教員に質問する事。</u> 連絡を C-learning 経由で行う際には、「連絡・相談機能」を活用し、所属学科と学籍番号、氏名を記載の上、誰に対 するどのような質問かを明記する事。返信がない場合には E-mail で再度連絡を行う事。 4. 成績評価について 講義回数は全 9 回で終了だが、成績付与は学期末に行われる。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。 なお、令和 4 年度以前の入学者が本講義を受講する場合は、単位認定時評価は「認定(N)」となり、GPA 算出、卒 業必要単位の対象外となる。また、履修登録時の CAP のカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	基礎教養ゼミ(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB001		
英文名	Freshman Seminar (FYE)						講義形態	講義		
担当教員	町田 修三、根岸 恵子、小泉 英明、永井 崇									
科目に関連した実務経験	小泉:人事、社員教育担当として企業にて勤務(経験) 永井:記者、編集者として新聞社にて勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
			○	○	○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	Think Pare & Share, Round Robin, 作文添削、個別指導など 小テスト等は採点後返却し解説する									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。 ② 授業では、ジェネリックスキルをつけるため、できる限りアクティブラーニングを取り入れる。日本語作文能力と数学基礎力は、学習支援センターとのコラボレーションで提出と添削を繰り返して涵養を目指す。									
到達目標	1. 大学での学習生活を確立する。 2. 基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3. 社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。■ 4. 総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5. キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。 ■ 6. 効果的なアクティブラーニングを自ら体得し、実践できるようになる。									
使用教材	資料、プリント									
参考文献										
評価方法	参加貢献度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。									
オフィスアワー (研究室)	学習支援センター(2号館2階) 月～金開室 以下の時間に質問を受け付ける。 ●数的処理→常時 ●言語関係・レポート等→木曜3時限				メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp			

1	講義内容	大学で何を学ぶか(意義と目的)		
	該当到達目標 1	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生生活をプランニングする。	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。	1 時間
2	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	ノートテーク、レポートの書き方をマスターする。	1 時間
3	講義内容	基礎力テスト(計算／言葉)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。	1 時間
		復習	今までの学習を振り返り、復習する。	1 時間
4	講義内容	解くためのワークⅠ(計算)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
5	講義内容	考えるためのワークⅠ(言葉の多様性①GW)■		
	該当到達目標 1,2,3,6	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
6	講義内容	コミュニケーションスキルⅠ(アクティブラーニング GW)		
	該当到達目標 1,2,3,6	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	自己のコミュニケーションスキルを分析する。	1 時間
7	講義内容	考えるためのワークⅡ(言葉の多様性②)■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	講義内容	解くためのワークⅡ(数的処理①)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン■		
	該当到達目標 1,2,5	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
		復習	自らのキャリアを考え、自己分析する。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキルⅠ(新聞を読み説く)■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ(数的処理②)		
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	コミュニケーションスキルⅡ(プレゼンテーション GW)		
	該当到達目標 1,2,3,5,6	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	プレゼンテーション資料を作成してみる。	1 時間
13	講義内容	シンポジウムより充実した学生生活をめざして		
	該当到達目標 1,2	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当到達目標	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	1 時間

	1,2,3,4	復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキルⅡ（社会を正しく理解する）		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
合計時間（予習・復習）				30 時間
備考	GW＝グループワーク 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修や課題の作成等で各自必要な学習時間を補完すること。 ■：実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		日本語表現法(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB002		
英文名		Japanese Expression Method						講義形態	講義		
担当教員		古澤 良文									
科目に関連した実務経験		記者として上毛新聞社に勤務。記事全般、コラムを執筆、読者欄の投稿を添削。									
学年・開講期		1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		2	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		3	問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 日本人の極端な日本語能力低下が問題視される中で、「書き言葉」の表現力を向上させるために、まず自分の考えをまとめ、書くに至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と、生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、自分の考えをいかに文章化するかを修得する。同時に他者の考えを、発言や文面から把握するとともに、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。 ② 現代人がよく間違える慣用句や文章表現について、毎回実例を示しながら説明する。また、高校までに学ぶ機会が少なかったと思われる四字熟語・ことわざなどを、講義時間の一部を使って説明する。小論文を「書く→添削→返却」を 3 回程度実施する。									
到達目標		1. 自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2. 日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3. 日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。■ 4. 文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5. 日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。■									
使用教材		担当教員作成のプリント。									
参考文献											
評価方法		筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって総合的に評価する。評価方法の基準は講義時に通達する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。									
オフィスアワー (研究室)		授業の前後 1～2 時間。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は授業時に説明する。			
1	講義内容	原稿用紙の書き方(実際に執筆する)■									
	該当到達目標	予習	400 字詰め原稿用紙の使い方							1.5 時間	
	1	復習	カッコや句読点の書き方 その日の出来事を原稿用紙に書いてみる							1.5 時間	
2	講義内容	日常生活の心掛け 小テスト(漢字の特殊読み)									
	該当到達目標	予習	社会の変動に関心を持つ							1.5 時間	
	1,4	復習	活字を読む習慣を身に付けるにはどうすべきか考える							1.5 時間	
3	講義内容	三段論法と逆三角形 小テスト(書けそうで書けない漢字)■									
	該当到達目標	予習	新聞記事を段落ごとに考えながら読む(新聞は図書館にある)							1.5 時間	
	2,4	復習	新聞記事を「逆三角形」を意識しながら熟読する							1.5 時間	
4	講義内容	文章をうまく見せる 3 カ条 小テスト(同音異義語)■									
	該当到達目標	予習	1 回目に書いた文章を見直す							1.5 時間	

	2,4	復習	1 回目書いた文章を書き直してみる	1.5 時間
5	講義内容	主語と述語 小テスト(四字熟語ことわざ①)■		
	該当到達目標	予習	テキストをチェックしておく	1.5 時間
	2,3	復習	テキストの悪文例を正しく直す	1.5 時間
6	講義内容	小論文執筆(複数のテーマから 1 つを選んで書く)		
	該当到達目標	予習	4 回目のプリントチェック	1.5 時間
	1,2,3	復習	書き足りなかったことがないか	1.5 時間
7	講義内容	修飾語 俳句 小テスト(間違い探し①)■		
	該当到達目標	予習	文章はリズムが大切 俳句を作ってみる	1.5 時間
	2,4	復習	プリントの悪文例を見直す	1.5 時間
8	講義内容	話し言葉と書き言葉 小テスト(四字熟語ことわざ②)■		
	該当到達目標	予習	「ら」抜き言葉の長所短所	1.5 時間
	2,3	復習	話し言葉を書き言葉にしてみる	1.5 時間
9	講義内容	手紙を書く		
	該当到達目標	予習	誰宛に書くか、何を書くか準備する	1.5 時間
	1,4	復習	授業で書いたほかにも書いてみる	1.5 時間
10	講義内容	センテンスは短く 小テスト(同義語反対語)■		
	該当到達目標	予習	新聞のコラムを読む	1.5 時間
	3,4	復習	悪文例を直す	1.5 時間
11	講義内容	小論文執筆(同じ形容詞や動詞を何度も使わないように)■		
	該当到達目標	予習	4 回目、7 回目のプリント見直し	1.5 時間
	1,2,3	復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間
12	講義内容	敬語 小テスト(四字熟語ことわざ③)		
	該当到達目標	予習	敬語の種類を調べる	1.5 時間
	3,4	復習	プリントの問題を解く	1.5 時間
13	講義内容	推敲 小テスト(間違い探し②)■		
	該当到達目標	予習	書籍、新聞を声に出して読む	1.5 時間
	2,4,5	復習	自分の文章を直してみる	1.5 時間
14	講義内容	小論文執筆(小論文のテーマに沿ってタイトルを自分で書く)■		
	該当到達目標	予習	社会問題を考える	1.5 時間
	1,2,3	復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間
15	講義内容	覚えておきたい短詩と台詞		
	該当到達目標	予習	知っている俳句短歌を思い出してみる	1.5 時間
	3,4,5	復習	声に出して読んでおく	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	日本国憲法(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB003		
英文名	Japanese Constitution						講義形態	講義		
担当教員	金井 洋行									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	3458101617									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	テーマに関する課題の意見レポート→教員の意見に対するレスポンス→受講生の省察									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目指す。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。 ② 講義内容はできるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入的に割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。									
到達目標	1. 日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2. 憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3. 市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4. 政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5. 主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。									
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料、憲法条文注釈資料(テキストの代替) *テーマによっては DVD の視聴あり。									
参考文献										
評価方法	・ 平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間小テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・ 課題提出は概ね 4 回のレポート、中間小テストは概ね 3 回の知識テスト、定期試験は基本的知識と思考力のテスト									
課題・評価に対するフィードバック方法	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)									
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	憲法とは何か?ー憲法学習の意義と憲法の本質ー								
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明						2 時間	
	1	復習	予備知識アンケート						0.5 時間	
2	講義内容	国家・国民・政府ー憲法を構成する基本要素の内容ー								
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明						1 時間	
	1	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集						1.5 時間	
3	講義内容	日本国憲法の制定過程								
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明、資料;「日本国憲法の有効性」						1 時間	
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集						1.5 時間	

4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色		
	該当到達目標	予習	資料「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	平和主義と9条解釈の変遷		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	国会の地位と国政選挙の仕組み		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	司法権の意義と法令審査権の性格		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	財政処理の基本原則と予算の構造と機能		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立制と地方自治・分権		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当到達目標	予習	条文注釈資料の熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については C-learning・連絡メールをもって応答することを原則とする。 日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。			

科目名	法学(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB004		
英文名	Law						講義形態	講義		
担当教員	金井 洋行									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	3458101617									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	テーマに関する課題の意見レポート→教員の意見に対するレスポンス→受講生の省察									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。 ② 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入りの的に割り込ませることがある。									
到達目標	1. 法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2. 法制度の社会学的意義を理解することができる。 3. 契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4. 家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5. 法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。									
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによっては DVD の視聴あり。									
参考文献										
評価方法	・ 平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・ 課題については概ね 4 回のレポート、中間小テストは概ね 3 回の知識テスト、定期試験は基本的知識と思考力のテストを実施する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)									
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	法の意義と機能								
	該当到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと						2 時間	
	1,5	復習	予備知識アンケート						0.5 時間	
2	講義内容	成人と法一人の年齢と能力の法的意味								
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み						1 時間	

	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	就職と法－採用の法的意味と選別の法的問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	労働と法－労働契約の内容と労働条件の保護		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	結婚と法－婚姻の要件と夫婦の法律関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	親子と法その1－出生をめぐる法律問題と親子関係の形成		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	親子と法その2－親権関係と扶養関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法－義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法－団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法－租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法－出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法－取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法－犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法－紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法－介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間

備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については C-learning・連絡メールをもって応答することを原則とする。 日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。

科目名		経済学(教養基礎)						科目ナンバリング		LAB005	
英文名		Economics						講義形態		講義	
担当教員		町田 修三									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		4	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		2	問題解決力								
SDGs との関連		③ ④ ⑧ ⑫ ⑰									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
					○					○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		授業内での問いかけ、QUIZ、質疑応答(ミニツツペーパー上の質問を含む)などを用いた双方向性授業。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にし理解を深めてほしい。 ② 授業開始時に学生から出された質問・疑問に答えながら、前回の復習をする。授業中はクイズをはじめとした問いかけを多く出し、可能な限りアクティブラーニングの導入を試みる。									
到達目標		1. 日本の経済の現状を説明できる 2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3. 景気や GDP について理解を深め、概説できる 4. 国の予算や税金制度について説明できる 5. お金の流れや物価変動について説明できる 6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる									
使用教材		必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する。									
参考文献		推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。									
評価方法		学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど)20%									
課題・評価に対するフィードバック方法		コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する。									
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603				メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	イントロダクション(一部 AL[アクティブラーニング]実施)									
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく							1 時間	

	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する	1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流―マーケット or ケインズ(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	講義内容	国民所得Ⅰ(国の経済力はどう測るんだろう? GDP って何?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	講義内容	国民所得Ⅱ(あなたが1万円使くとGDPはいくら増える?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	講義内容	金融(日本銀行は何をすること?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	講義内容	為替レートメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字? 赤字?)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1,2,3,4,5,6,7,8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				39 時間
備考	AL(アクティブラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど。 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修(推薦テキストの講読、新聞・雑誌の経済記事講読等)により、必要な学修時間を各自で補完すること。			

科目名	社会学(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB006						
英文名	Sociology						講義形態	講義						
担当教員	安達 正嗣													
科目に関連した実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において3年間、研究員ならびに主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施し調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。													
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位											
履修を必須とする資格														
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル							
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力							
	1	問題解決力												
SDGs との関連	①	②	③	④	⑤	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑯	⑰
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他				
									○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法														
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 社会学的なものの見方とは、どういうものなのか、社会学的にものを考えるときに使用する専門的概念・用語には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。 ② 使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。													
到達目標	1. 大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2. 社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3. 日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につける。 4. 社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5. 現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。■													
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。													
参考文献	講義中に、適宜指示する。													
評価方法	平常点(毎回提出してもらうリアクションペーパー(設問形式)については、第1回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。													
課題・評価に対するフィードバック方法	各受講生の提出したリアクションペーパー(設問形式)に書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前に答える。													
オフィスアワー(研究室)	火曜日 5 限・6 限					メールアドレス (#→@)	adachi-m#takasaki-u.ac.jp							
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1～12 頁)について解説する。												
	該当到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。							1.5 時間				
	1,2,3,4	復習	第1章を再読して、その内容を理解しておくこと。							1.5 時間				
2	講義内容	第2章社会を観察する方法(13～24 頁)を解説する。												
	該当到達目標	予習	第2章を読んでおくこと。							1.5 時間				
	1,2,3	復習	第2章を再読して、その内容を理解しておくこと。							1.5 時間				
3	講義内容	第3章社会で生きる「私」(25～35 頁)を解説する。												
	該当到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。							1.5 時間				
	1,2,3	復習	第3章を再読して、その内容を理解しておくこと。							1.5 時間				
4	講義内容	第4章変容する家族のかたち(36～47 頁)を解説する。実務で得た調査結果を提示する。■												
	該当到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。							1.5 時間				
	1,2,3	復習	第4章を再読して、その内容を理解しておくこと。							1.5 時間				
5	講義内容	第5章性の多様なあり方を考える(48～59 頁)を解説する。												
	該当到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。							1.5 時間				

	1,2,3	復習	第5章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第6章「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60～72 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第6章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第7章日本で進展する環境・災害社会学(73～86 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第7章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第8章社会学から医療を見つめる(87～97 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第8章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第8章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第9章社会学は教育とどう向き合うのか(98～109 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第9章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第9章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第10章逸脱行動と社会問題(110～121 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第10章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第10章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第11章「格差」の社会学(122～134 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第11章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第11章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第12章生活空間としての地域社会(135～149 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第12章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第12章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第13章グローバル社会とエスニシティ(150～162 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第13章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第13章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第14章宗教から社会を捉える(163～176 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第14章を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第14章を再読して、その内容を理解しておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第15章社会の中のメディア／メディアが動かす社会(177～189 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第15章を読んでおくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	第15章を再読して、その内容を理解しておくこと。	3 時間
合計時間(予習・復習)				48 時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯健康論(教養基礎)							科目ナンバリング	LAB007		
英文名	Lifelong Health Theory							講義形態	講義		
担当教員	渡邊 秀臣、五十嵐 康、蒲 章則										
科目に関連した実務経験	非常勤医師(整形外科医)として病院に勤務										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル				
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力				
		問題解決力									
SDGs との関連	① ③ ⑩ ⑯										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
			○								
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸に向けて生涯にわたる健康維持・管理について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎知識を身に着けることを目的としている。 ② 講義においては、前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式です。レポートについても発表する時間を持ちたい。										
到達目標	1. 健康の定義と集団の健康評価指標について理解できる。■ 2. 個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解できる。■ 3. 環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解できる。■ 4. 健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解できる。■										
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。										
参考文献	参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向 2020/2021」を利用する。										
評価方法	授業参加内容:40 点、課題に対するレポート内容:60 点 :総合 60 点以上を合格とする。(対面講義でもオンライン講義でも同様)										
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートに対し必要なコメントをする。(対面講義でもオンライン講義でも同様)										
オフィスアワー (研究室)	(金)13:00~14:30 研究室 4 号館 2 階学部長室				メールアドレス (#→@)		watanabe-h#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標(渡邊) WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、現在の日本で重要なのは、健康寿命であることを理解する。■									
	該当到達目標 1	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。							1.5 時間	
		復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。							1.5 時間	
2	講義内容	健康を維持するための食物と物質代謝(五十嵐) 食物(栄養素)は健康に欠かすことのできないエネルギー源である。その物質代謝(同化・異化作用)に関わる体の構造とその働きを理解しながら健康維持について学習する。									
	該当到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。							1.5 時間	
		復習	食物のエネルギー代謝と健康について理解する。							1.5 時間	

3	講義内容	恒常性維持機構の役割と相互作用(五十嵐) 生体には様々な生理機能をバランスよく正常に機能・維持するための調節機構、すなわち「恒常性維持機構(ホメオスタシス)」が備わっている。このシステムは主に神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。また、食物の消化・吸収を担う腸管では細菌の侵入を防ぐ恒常性機構が働いている。これらの様々な維持機構の働きと相互作用について学習する		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2	復習	生体の恒常性機構と健康維持の関係を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	運動と健康(渡邊) 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。■		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	喫煙による健康障害(渡邊) たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの<喫煙と健康障害>のメカニズムについて理解する。<受動喫煙の影響>についても考える。■		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	生活習慣病の起因となる肥満(五十嵐) 肥満は原因により原発性肥満(エネルギー摂取過多など)と二次性肥満(性腺機能低下など)に分けられるが、いずれも高血圧、糖代謝異常、脂質代謝異常などの代謝障害の基盤となり、虚血性心疾患や脳血管障害などの動脈硬化性疾患を発症する危険因子となる。それらの起因となる肥満の発症と予防について学習する。		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	肥満とメタボリックシンドロームの病態と対策を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病(五十嵐) 2型糖尿病(インスリン抵抗性糖尿病)は、冠状動脈や脳動脈の動脈硬化、さらには腎障害、視力障害及び神経障害の3大合併症の誘発のみならず、健康寿命短縮の危険因子でもある。危険因子としての糖尿病とその予防法について学習する。		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	2,3,4	復習	糖尿病の病態と対策を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣病(脳血管障害)と認知症(五十嵐) 血管性認知症はアルツハイマー病に次いで2番目に多い認知症である。脳は全身の20%近い血液を必要とする臓器であることから、その発症は循環器障害などの生活習慣病と密接に関係する。ここでは血管性認知症と他の認知症の病態を比較しながら、その予防と治療の現状について学習する。		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	認知症の病態と原因、予防、治療などの現状について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ロコモティブシンドローム(渡邊) 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.5 時間
10	講義内容	生活習慣病(がん)と生活習慣(渡邊) 日本人の死亡原因の1位はがん、2位は心疾患、3位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣<(がん発症危険因子)>を知る。また、<がん予防のための生活習慣>及び早期発見・早期治療のための<がん検診>の重要性について理解する。■		

	該当到達目標 3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.5 時間
11	講義内容	WHO の歴史と活動内容(蒲) 第2次世界大戦後に設立された国際専門機関として、戦後から現代にいたるまでの活動変遷を検証する。WHO の取り組みを理解し、現在ある WHO の問題点、改善点を考察する。健康であることがいかにその国の活力(国力)に寄与するかを理解する。		
	該当到達目標 1,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
12	講義内容	WHO の戦略(蒲) アルマータ宣言で採択された「すべての人に健康を」スローガンのもとに、「各国が公衆衛生の原点に立ち返り、保健行政戦略を作成、さらに現代進められている持続可能開発目標(SDGs)に向けたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)にいたることを検証する。		
	該当到達目標 1,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
13	講義内容	途上国の保健行政(蒲) 途上国の人種、風土、歴史的背景、宗教等を考察し、独自の保健行政戦略を実施しているが、その成果や反省点を検証し、日本における地域医療の課題を含めて、今後の対策を考察する		
	該当到達目標 1,3,4	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	国際機関で発展途上国への保健戦略を学習する	1.5 時間
14	講義内容	日本の保健行政と世界の保健行政(蒲) 膨大な医療・介護予算をどのように有効に使うか、保健医療行政の立場から検証考察をする。各国の取り組みを比較検証し、今後の行政の取り組みを考える。		
	該当到達目標 1,3,4	予習	厚生労働省のウェブサイトで該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	日本における厚生労働省の保健戦略と動向を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割(チーム医療)(渡邊) これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支え合いに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。■		
	該当到達目標 4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	レポートの提出をもって出席とする。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯学習概論(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB008		
英文名	Introduction to Lifelong Learning						講義形態	講義		
担当教員	平林 茂、三村 国宏									
科目に関連した実務経験	(平林)公立小学校・中学校の教員、校長(経験)。群馬県教育委員会教育事務所指導主事・管理主監・所長。教育事務所では生涯学習教育の推進業務、社会教育主事及び地域・学校ボランティア対象の生涯学習推進に関わる研修会講師(経験)。 (三村)公立中学校の教員、高等学校、中等教育学校の校長(経験)。伊勢崎市教育委員会(指導主事、指導係長、教育プラン推進担当課長、学校教育課長)にてコミュニティ・スクール推進(経験)。大学・企業との教育連携協定推進等(経験)。									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能			4	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	① ④ ⑤ ⑧ ⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
			○	○						○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	小テスト等についてコメントを行い、授業中に振り返り質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人が学習する場は学校だけではなく、図書館・公民館等の社会教育施設やさまざまな団体での学習機会などがある。本授業では生涯学習を実践していく上で必要な基礎的知識や多様な生涯学習施設、学校の現状を学び、理解を深めていく。 ② 授業の進め方:各テーマの説明に加え、話し合い活動や調査活動などを通して課題に取り組み、その成果の発表などの学習活動を行います。今後、変化の激しい現代社会において重要になる「生涯学習」について学ぶことは、社会の一員としての自己の生き方を考える上で意義が大きいと思います。									
到達目標	1. 生涯学習の理念や学校や社会教育施設などで行われる学習について理解する。■ 2. 生涯学習に関わる様々な現代的課題の内容を把握しその解決に向けた考察をする。■ 3. 社会を構成する一員として自らの生き方を積極的に考える。									
使用教材	『よくわかる生涯学習 改訂版』(香川正弘・鈴木眞理・永井健夫編、ミネルヴァ書房、2021 年 2,500 円(税別)									
参考文献	講義中に適宜、紹介する。									
評価方法	テストに 50%、小テストの評価 30%、日常点(授業への参加。授業態度。課題への取り組み、貢献度等)に 20%を配分して総合評価をする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業中の貢献度や発表については、その都度評価する。 試験前後に出題の意図等を説明する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜・1 限、水曜・1 限、 教職支援センター				メールアドレス (#→@)	平林 s-hirabayasi#takasaki-u.ac.jp 三村 k-mimura#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	オリエンテーション、生涯学習の定義、制度(平林、三村)								
	該当到達目標	予習	シラバスを読み、講義の概要及び、「生涯学習とは何か」を理解する。						1.5 時間	
	1,3	復習	テキストをまとめ、生涯学習の定義や制度について理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	生涯学習と人間形成■(三村)								
	該当到達目標	予習	生涯学習にわたる人間形成についてテキストなどで調べる。						1.5 時間	
	3	復習	テキストや配布資料をまとめ、生涯学習について理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	生涯学習を支える思想(三村)								
	該当到達目標	予習	「生涯学習を支える思想」について、テキストや関連する図書などで調べる。						1.5 時間	
	1,3	復習	生涯学習における「生きがい・健康づくり」についてまとめ、内容を理解する。						1.5 時間	

4	講義内容	生涯学習の現代的課題①■(三村)		
	該当到達目標	予習	「健康・高齢者等」について、テキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	現代的課題②■(三村)		
	該当到達目標	予習	「高度情報化と人権等」について、テキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料を読んで、内容を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	現代的課題③■(三村)		
	該当到達目標	予習	「国際交流と人権尊重」について、テキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	現代的課題④■(三村)		
	該当到達目標	予習	「まちづくり等」についてテキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	2,3	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生涯学習の多様な学習方法■(三村)		
	該当到達目標	予習	学習方法の類型等について関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	学習方法及び、持続可能な社会づくりへの取組について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	行政による生涯学習の振興(前編)(平林)		
	該当到達目標	予習	国の行政による生涯学習支援策についてテキストなどで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや協議内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	行政による生涯学習の振興(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	都道府県レベルの生涯学習支援策についてテキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	民間団体・機関による生涯学習支援(前編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	それぞれの団体の活動内容について、テキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや協議・発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	民間団体・機関による生涯学習支援(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	NPO、カルチャーセンターやスポーツ施設について、図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや資料をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	施設に基づいた生涯学習活動(前編)(平林)		
	該当到達目標	予習	社会教育施設についてテキストや関連する図書などで調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	施設に基づいた生涯学習活動(後編)■(平林)		
	該当到達目標	予習	博物館や青少年・女性教育施設についてテキストや図書などで調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	テキストや発表内容をまとめ、内容を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習社会において、どう生きるか(職業能力開発の生涯学習)(平林)		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書や資料を読んで、内容を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回小テストや資料の提示を C-learning で行いますので、パソコン等を持参してください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB009		
英文名	Science of Environment and Life						講義形態	講義		
担当教員	奥 浩之									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				3	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③⑥⑦⑨⑬									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うことができるので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)									
到達目標	1. 地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2. 生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3. 私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、プラスチックごみ、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4. グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5. 様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。									
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)									
参考文献										
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業開始前もしくは終了後に 応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	生命と環境ー自己紹介と研究について								
	該当到達目標 1,5	予習	(1)免疫系と免疫グロブリンについて調べてみよう。 (2)DNA 配列を測定する方法について調べてみよう。							1 時間
		復習	(1)抗体医薬品について (2)免疫グロブリンの分子構造と役割について(特に IgG を構成する重鎖と軽鎖はどのような結合で結びついているか? 着目してみよう。) (3)次世代シーケンサーについて							1.5 時間
2	講義内容	生命と環境ー地球における元素の循環								
	該当到達目標 1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。							1 時間
		復習	(1)人体を構成する元素の存在比							1.5 時間

			(2) 主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3) 様々な元素の生体または医薬品における役割	
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当到達目標 1,5	予習	(1) ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	1 時間
		復習	(1) 大気・土壌における物質循環 (2) 水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3) 人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
4	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当到達目標 1,5	予習	(1) 温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。	1 時間
		復習	(1) 地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2) IPCC 第 5 次報告書(2014 年)における RCP シナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体の CO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3) 国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子・・・DNA 二重らせんと X 線構造解析		
	該当到達目標 2,5	予習	ワトソンとクリックによる DNA 二重らせんモデル (1) 当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2) 1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3) DNA 構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
		復習	(1) DNA の分子構造は X 線回折法によって求められる (2) ブラッグの回折条件式 (3) DNA 繊維写真の X 型パターン	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子・・・タンパク質の構造と機能		
	該当到達目標 2,5	予習	(1) タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2) アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
		復習	(1) アミノ酸 20 種類の分子構造 (2) X 線回折測定によるタンパク質の 3 次元構造解析 (3) NMR 測定によるタンパク質の 3 次元構造解析	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子・・・さまざまなタンパク質		
	該当到達目標 2,5	予習	(1) 膜タンパク質とは？ (2) リボソームにおけるタンパク質合成 (3) アイスクリームの成分について。特に、低脂肪アイスクリームはなぜ低脂肪なのか？調べてみよう。	1 時間

		復習	(1)70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra) (2)カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln) (PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子…ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		
	該当到達目標	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4 とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
9	講義内容	ヒトの活動と環境…さまざまな医薬品		
	該当到達目標 2,5	予習	(1)コレステロールと高コレステロール血症 (2)認知症とコリン仮説について (3)ポリ乳酸とは？	1 時間
		復習	(1)スタチン (2)タクロリムス (3)ドネペジル (4)レボフロキサシン	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境…バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当到達目標 3,5	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？ (3)プラスチックゴミ問題とは？	1 時間
		復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境…食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当到達目標 3,5	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
		復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境:食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当到達目標 3,5	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
		復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境…さまざまな感染症(AIDS, 結核, マラリアなど)		
	該当到達目標 4,5	予習	(1)感染症とは？	1 時間
		復習	(1)さまざまな感染症について (2)薬剤耐性について	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境…インフルエンザワクチンの成分		
	該当到達目標 4,5	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
		復習	(1)様々なインフルエンザの治療薬について (2)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間

講義内容		生命と環境・・・グローバル化によって必要となる新しいワクチン		
15	該当到達目標 4,5	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？ (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
		復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)新しいワクチンの開発例について	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			

科目名		国際関係論(教養基礎)						科目ナンバリング		LAB010		
英文名		International Relations						講義形態		講義		
担当教員		片桐 庸夫										
科目に関連した実務経験												
学年・開講期		2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とす資格												
学位授与方針との対応		2	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル				
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力				
		2	問題解決力									
SDGs との関連		1 2 5 6 10 13 14 15 16 17										
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
											○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法		毎回当日の講義内容に関する 10-15 分程度のレポートを課し、学んだ内容についての確認を求める。翌週に問題提起、結論、段落の付け方、使用すべき漢字、レポートの書き方、内容の評価、問題点を指導する。授業中に質問をすることによって学生との対話の機会を設け、参加意識を高める。										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 新聞、テレビ、インターネット等のニュースを見て、世界の動きや日本の外交について理解出来るようになること。 ② 配布プリントを中心に、講義を行います。現代世界を象徴するドキュメントを収録した DVD を数回用います。また、授業の最後に毎回レポートを実施する。指導方法は上記の通り。毎回課すレポートの評価を基に成績評価を行うので、前期試験は行わない。										
到達目標		1. 現代世界の理解 2. 第 2 次世界大戦後の世界の基本構造の理解 3. 国家間の対立要因の理解 4. 国家間の相互理解の理解 5. 自由主義イデオロギーと社会主義イデオロギーの理解 6. 現代の戦争の特徴についての理解 7. 国家の安全保障の理解 8. 核の下での平和の理解 9. 国際秩序概念の理解 10. 国際秩序の喪失と国際テロ、難民、民族や宗教の違いに基づく紛争発生要因の理解 11. 戦後日本の原型についての理解 12. 戦後日本外交の歩み、「戦後」克服の意味の理解 13. 日本の課題である国際貢献問題の理解										
使用教材		配布するプリントを教材として用いる。										
参考文献		細谷雄一『国際秩序』中公新書。高坂正堯『国際政治』中公新書										
評価方法		講義の最後に毎回行うレポート評価試験(60%)、講義参加・貢献度(40%)等により総合評価を行う。										
課題・評価に対するフィードバック方法		原則としてレポートを課した翌週の講義の際に論文やレポートの書き方、文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導する。										
オフィスアワー (研究室)		・前期木曜日の昼休み ・非常勤講師控室 随時来てください。講義の後に直接訊ねることも可。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。				
1	講義内容	講義概要(講義の展開、出席の取り方、レポートの書き方、成績評価等)についての説明を行う。										
	該当到達目標	予習	シラバスを読んでおくこと。								0 時間	
		復習	講義概要の確認を行いこと。								1 時間	
2	講義内容	世界の混迷した状況、中国の現状打破勢力としての台頭、米中の覇権争い等について理解する。										

	該当到達目標	予習	1週間分の新聞の1,2面の記事に目を通しておくこと。	2 時間
	1,3,7,8,10	復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理、それに新聞記事の内容を付加すること。	2 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争の後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのウィーン会議の部分をよく読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,9	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120,282 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的例であるウィーン会議について理解する。		
	該当到達目標	予習	ウィーン会議参加国の価値観の共有についてプリントを利用して予習すること。	1.5 時間
	2,4,7	復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって重要な価値観の共有の意味について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの価値観の共有の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	3,4,5	復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
6	講義内容	ウィーン会議とは正反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの体制間対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化(DVD 画像による)について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	2 時間
	6,7,8	復習	DVD 画像を観ながらノートテイキングしたメモを参考にノートにまとめること。	2 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの冷戦の定義とそれに基づく冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之介『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
10	講義内容	世界を滅ぼすことも可能な究極の兵器である核の下の平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	究極の兵器がもたらした核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,6,7,8	復習	『国際秩序』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である戦後の長い平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのガディスの逆説論についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,7,8,9	復習	『国際秩序』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
12	講義内容	冷戦の終焉と終焉後の世界の不安定化の理由・要因について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力の喪失と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,7,9	復習	『国際秩序』の p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
13	講義内容	冷戦後初の戦争「湾岸戦争」の意義、テロ・民族対立・宗教対立、難民の大量発生 of 理由、冷戦と呼ばれた戦後の米ソ対立と今日の米中対立との違いについて理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の P.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、憲法第 9 条、日米安保について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1.5 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会の p.288-306 を読	1.5 時間

			み、内容をノートにまとめること。	
15	講義内容	「戦後」の克服の意味、今日の日本が直面する外交の課題について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題の項を読んでおく。	1.5 時間
	1,10,13	復習	講義中に配布する新聞の切り抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	世界の動き、平和、戦争、日本の進路などについて関心のある学生の履修が望ましい。 「復習」に挙げられている本は、参考文献も兼ねている。随時利用すること。予習・復習の結果、不明な点、理解しにくい、または出来ない点などあれば、遠慮なく質問すること。			

科目名	体育理論(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB011		
英文名	Physical Education: Theory						講義形態	講義		
担当教員	大家 千枝子									
科目に関連した実務経験	「元気に“動こう・歩こう”」実践リーダー養成講座の講師として、リーダー養成事業に従事している。(群馬県健康長寿社会づくり推進課・2018 年度～)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	4	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○					○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。 ② 講義中心だが、自身の「体力を知る」ために体育館にて新体力テストを実施する。また新聞や文献を活用した課題を設定しているため、図書館も利用する。									
到達目標	1. 現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2. 自身の健康・体力の状況とわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。■ 3. 健康の保持増進を図るためのアイデアを探り、方法を創造することができる。■ 4. 課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5. 人間が創造した運動・スポーツの文化としての意味を考え、認識を深めることができる。									
使用教材	プリントを適宜配布する。									
参考文献	参考文献を適宜紹介する。									
評価方法	授業への取り組み実践点(講義後コメント、測定、コラボ企画、提出状況など)60%、課題点(これまでの授業を踏まえた最終課題) 40%									
課題・評価に対するフィードバック方法	自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。					メールアドレス (#→@)	oie#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。							0.5 時間
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。							0.5 時間
2	講義内容	A 組:体力を知る(新体力テスト)・B 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。							0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。							0.5 時間
3	講義内容	A 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組:体力を知る(新体力テスト)								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。							0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。							0.5 時間
4	講義内容	体力を評価する(体力とは)								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。							0.5 時間
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。							0.5 時間
5	講義内容	運動・スポーツの実施状況、運動継続の仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる■								
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。							0.5 時間

	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
6	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について		
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。	0.5 時間
	1,2	復習	今後どのように身体活動・運動を取り入れるか検討する。	0.5 時間
7	講義内容	トレーニングの原理・原則		
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとす。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	まとめ、到達度チェックと最終課題の発表		
	該当到達目標	予習	授業でとったノートを読み直し、最終課題に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				8 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ※C-learning「出席管理」の不正行為はしないこと(発覚時には厳正に対処する)。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	体育実技(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB012		
英文名	Physical Education: Sports & Physical Activities						講義形態	演習		
担当教員	佐藤 孝之									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				3	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	3 4 5 7 10 12 13 15 16 17									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○		○	○		○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 余暇時間の増大や高齢化が進むなかで、生涯にわたってスポーツに親しむことは、活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠である。本講義では、人との交流を深めながら生涯スポーツへの自己の取り組み方について学ぶ。 ② 前半は準備運動やチーム練習などを行い、後半は試合を行う。授業の最後にまとめレポートを作成する。									
到達目標	1. 知識・理解の観点:各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解・実践できる。 2. 思考・判断の観点:安全に効率よく練習およびゲーム運営における自分の役割を思考し、行動できる。 3. 関心・意欲の観点:種目特性によって異なる身体感覚について関心をもつことができる。 4. 態度の観点:積極的に取り組み、参加者と十分なコミュニケーションを築くことができる。また施設、器具を大切に扱うことができる。 5. 技能・表現の観点:基本スキルを獲得することができる。また相手の力量に合わせ、楽しみながらゲームができる。									
使用教材	授業内において適宜配布する。									
参考文献										
評価方法	授業参加度 50%、レポート 25%、授業記録 25%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に行う。									
オフィスアワー (研究室)	火曜 1～2 限(非常勤講師)				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	ストレッチとレジスタンストレーニング								
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 知っているストレッチ方法にチャレンジしてみること。						1 時間	
	1,2,4	復習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を送るために普段の生活を見直すこと。 2. 授業内で行ったストレッチやレジスタンストレーニングを積極的に行うこと。						1 時間	

2	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
3	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること。	1 時間
4	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1. チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2. 次講義からのチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
5	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
6	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること。	1 時間
7	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を	1 時間

	1,2,3,4,5		心がけること。 2. 話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
		復習	1. チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2. 次講義からのチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	
8	講義内容	男女混成での団体スポーツ(ソフトバレーボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
9	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 課外時間に大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用し、授業の予習・復習を行うこと。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
10	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1. チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2. 次講義のチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
11	講義内容	ミニ運動会		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	今回のチーム内でお互いに感想を話し合い、コミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
12	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間

	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること。	1 時間
13	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	1 時間
14	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3. 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	1. 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2. 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	科目内で知り合った学生と話し合いの場を持ち、大学体育施設等を積極的に利用すること	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	受講上の注意 1. 運動にふさわしいジャージおよびシューズ(屋内外別、スパイク禁止)を着用の上、参加すること(ジーパンなどの普段着での受講は不可)。 2. ケガを未然に防ぐために、時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアス等の貴金属類はすべて外し、髪が肩にかかる学生は髪を纏めて参加すること。 3. 実技授業を進める上で配慮を必要とする学生は初回授業までに授業担当者まで申し出ること。 4. 貴重品の管理は各自で行うこと。 5. 授業で実施するスポーツ種目の器具は大学が用意しますが、個人で所有する器具がある場合は積極的に持参してください。 6. 天候により施設変更する場合があります。担当教員および事務局からの連絡を確認するようにしてください。			

科目名	キャリア形成論(教養基礎)						科目ナンバリング	LAB013		
英文名	Career Development						講義形態	講義		
担当教員	小泉 英明									
科目に関連した実務経験	社員研修・人材育成・能力開発・キャリア開発のコンサルタント、トレーナーとして各企業・自治体で指導									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	4 8									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○	○	○	○		○				○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	小テスト・レポートに対してコメントを付し返却。授業中に振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	AI(人工知能)をはじめとする各種テクノロジーの進化や地球規模的な気候変動など、社会は今、大きな激動期を迎えています。そのような中で、私たちを取り巻く経済・雇用環境も目まぐるしく変わり、生活や仕事の内容までもが大きく変わりつつあります。 本講座ではそのような社会の動きを見据え、私たちが近い将来に求められる『能力』について理解を深めるとともに、キャリア形成の基盤づくりを行います。 授業では社会で求められている高次元のコミュニケーション能力や思考力、さらには問題解決能力などの『社会人基礎力』を身につけるとともに、ケーススタディ等によって社会適応力を習得します。また本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理ができる自律的人材の養成を目指します。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 教員作成のレジュメを使い、要点をまとめていきます。授業では、ニュースで取り上げられる時事について考察しながら、卒業後における社会の中でどのように取り組んでいくべきか実体験を織り交ぜた説明を行います。また必要な箇所にはグループディスカッションを行うとともに、理解度を深めるための課題を課します。									
到達目標	1. 社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。■ 2. 自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。■ 3. 社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。■ 4. コミュニケーションの本質を理解し、高次元のコミュニケーション力を身につける。■ 5. 論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。■ 6. アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。■ 7. 気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。■ 8. 問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。■ 9. 自己変革のために必要な自身の問題点を探る。■ 10. 自律型人材に向けての目標管理ができる。■ 11. 社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。■									
使用教材	C-learning を利用し、各学生に教員作成の教材データを授業前に配信します。									
参考文献	授業内で提示します。									
評価方法	ファイナルレポート 60%、毎授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。									
課題・評価に対する	授業後の課題レポートについては、随時コメントをつけてフィードバックします。 ファイナルレポートに関するフィードバックは、出題テーマの意図など掲示等によって示します。									

フィードバック方法					
オフィスアワー (研究室)		木曜日(12～17 時)		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成のために必要なこと■			
	該当到達目標	予習	事前配信教材をはじめ、新聞、テレビ、ネットなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む。		1.5 時間
	1	復習	キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 2 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。		1.5 時間
3	講義内容	自己の理解■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 3 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	2	復習	自己理解を深め、自己効力感と自分のパーソナリティを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 4 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。		1.5 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 5 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,4	復習	コミュニケーションの重要ポイントを理解し、自身の弱点と強化ポイントをつかむ。		1.5 時間
6	講義内容	気づく力(問題発見能力)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 6 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。※問題解決に繋がることを理解する。		1.5 時間
7	講義内容	考える力Ⅰ(ロジカルシンキング・クリティカルシンキング)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 7 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。		1.5 時間
8	講義内容	考える力Ⅱ(クリエイティブシンキング)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 8 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想の演習を行う。		1.5 時間
9	講義内容	創造力を伸ばす■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 9 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,6,7,8,9	復習	事例研究によって創造力の阻害要因を理解し、力を伸ばすポイントをつかむ。		1.5 時間
10	講義内容	問題解決能力Ⅰ(問題点を探る・WHY ツリー)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 10 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。		1.5 時間
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 11 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	1,3	復習	自身の「仕事観」「就業観」を見つめ、自身の将来について深く考える。		1.5 時間
12	講義内容	問題解決能力Ⅱ(問題解決の手法・HOW ツリー／課題発見・目標設定)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 12 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を HOW ツリーで探り、今後の目標・計画を設定する。		1.5 時間
13	講義内容	社会における人間関係■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 13 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。		1.5 時間
14	講義内容	自己の確立(バリュープロポジションとキャリア自律)■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 14 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、キャリア自律の重要性を理解する。		1.5 時間
15	講義内容	ストレスマネジメント■			
	該当到達目標	予習	事前に配信する第 15 回教材を読み、内容を理解しておく。		1.5 時間

	3,11	復習	ストレス対処法と対人耐性力を理解し、社会進出後のストレスに対する耐性力を高める。	1.5	時間
合計時間(予習・復習)				45	時間
備考	C-learning にて配信する教材をもとに予習し、授業に臨んでください。教材はファイリングし、いつでも内容を振り返ることができるようにしてください。また、毎受講後、提示された課題についてレポートを提出してください。授業は積み上げ方式で進めていきますから、わからないことがないように授業後は必ず復習してください。新聞、テレビ、ネットなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。 〔健康福祉学部の学生に求められる基本的な資質〕 ① 人の役に立つという心構え ② 生活者本位の視点 ③ コミュニケーション能力 ④ チームワーキングへの参画 ⑤ 自己研鑽 ※オンラインで授業を行う場合(※オンデマンド) ① 教材のデータを授業日の3日前までに配信します。 ② 事前に配信された教材の内容を良く理解して講義に臨んでください。 ③ 毎受講後、提示された課題についてレポートを提出してください。(提出期限を厳守してください) ④ 提出されたレポートについては、随時コメントをつけてフィードバックします。 ⑤ 授業への出席は、レポートの提出をもって「出席」とします。 ⑥ 期末試験はレポート(ファイナルレポート)にて行い、第15回の授業後に提出の予定です。 ⑦ 評価方法は以下の通りです。 ファイナルレポート 60% 毎授業後の提出課題レポート 30% 授業参加度 10% ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	哲学(人間理解)						科目ナンバリング	LAH001		
英文名	Philosophy						講義形態	講義		
担当教員	大石 桂子									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑩ ⑯									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○					○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。 ② 配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見交換する場を設ける。									
到達目標	1. 人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2. 共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3. 各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4. 課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5. 自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。									
使用教材	講義中にプリントを配布する。									
参考文献										
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。									
オフィスアワー (研究室)	水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限 (1 号館 6 階 601)				メールアドレス (#→@)		oishi#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。							1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。							1.5 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能?——ヘーゲル								
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。							1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。							1.5 時間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール								
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。							1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。							1.5 時間

4	講義内容	自分と他者(3)人と人の関係性——ブーバー、サルトル			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。	1.5 時間	
5	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと			
	該当到達目標	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。	1 時間	
	1,3,4,5	復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。	1.5 時間	
6	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3,4	復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間	
8	講義内容	自由・正しい自己決定のために——カント			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	1,3	復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間	
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か——ニーチェ			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3	復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間	
10	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3	復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間	
11	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間	
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会——ハーバーマス、サンデル			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	2,3	復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間	
13	講義内容	ディスカッション——医療技術と自己決定			
	該当到達目標	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間	
	2,3,4,5	復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間	
14	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで？——アリストテレスほか			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	1,3	復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	責任(2)「何もしなかった」ことに責任はあるのか——ヤスパース			
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間	
	1,3,4	復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					38 時間
備考	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組むこと。 予習・復習については試験前の学習で補完すること。 *オンライン授業になった場合は、C-leaning 上で講義資料(PDF ファイル等)を閲覧し、課題を提出する形式とする。				

科目名		倫理学(人間理解)						科目ナンバリング	LAH002		
英文名		Ethics						講義形態	講義		
担当教員		出雲 春明									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		1	問題解決力								
SDGs との関連		③ ⑤ ⑦ ⑩ ⑯ ⑰									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。 ② C-learning の教材倉庫にアップした資料に基づいて講義を行い、毎回、ドリルと小テストを実施して知識の定着を図る。新型コロナの感染状況によってはオンデマンド形式に移行する。									
到達目標		1. 医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得し、 2. 自分の考えを表現することができる。 3. また、自分と対立する考えについても理解を深める。									
使用教材		講義中に資料を配布する。C-learning の教材倉庫に毎回アップする。									
参考文献		加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療—バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理—「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。									
評価方法		講義への参加態度(資料の閲覧・ドリルの実施など)・・・30% 小テストなどの課題・期末レポート・・・70%									
課題・評価に対するフィードバック方法		講義中、C-learning「アンケート」を通じて、意見などを提出してもらう場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。									
オフィスアワー (研究室)		1 号館 511 研究室 面談希望の場合は C-Learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。				メールアドレス (#→@)		izumo-s#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス—生命倫理学について									
	該当到達目標 1	予習	シラバスを読み講義の実施方法や目的を理解する。予習資料を確認する。						1.5 時間		
		復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。						1.5 時間		
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精、体外受精									
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料を確認し、人工授精(AI)の定義について知り、関連情報を取得しておく。						1.5 時間		
		復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。						1.5 時間		
3	講義内容	不妊治療(2)代理母出産をめぐる議論									
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料から、体外受精(IVF)と AI の差異、代理母について確認しておく。						1.5 時間		
		復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。						1.5 時間		

4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画がもたらす未来			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料から、ヒトゲノム計画と現代におけるその活用について知る。	1.5 時間	
		復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術がもたらす未来			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料より遺伝子診断技術について確認する。	1.5 時間	
		復習	遺伝子診断技術がこれから社会に及ぼす変化を考えてみる。	1.5 時間	
6	講義内容	人工妊娠中絶をめぐる問題			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料より日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。	1.5 時間	
		復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	優生思想をめぐる問題			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料より優生思想について知識を得ておく。	1.5 時間	
		復習	これまでの議論を優生思想の問題と関連させて振り返っておく。	1.5 時間	
8	講義内容	インフォームド・コンセントと患者の権利			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料からインフォームド・コンセントが求められた歴史的な発端を読み解く。	1.5 時間	
		復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間	
9	講義内容	QOL の追求			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料から QOL とは何かについて知識を得る。	1.5 時間	
		復習	様々な QOL のあり方について考える。	1.5 時間	
10	講義内容	告知をめぐる問題			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から告知をめぐる現状について知る。	1.5 時間	
		復習	告知について自分ならどのような選択をするか考える。	1.5 時間	
11	講義内容	延命医療について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料をもとに延命医療について自分の考えをまとめてみる。	1.5 時間	
		復習	延命と QOL を関連させて考える。	1.5 時間	
12	講義内容	安楽死について			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から安楽死の区分について知る。	1.5 時間	
		復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間	
13	講義内容	臓器移植(1)生体臓器移植			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料から日本での生体臓器移植の位置づけについて知る。	1.5 時間	
		復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	臓器移植(2)死後移植と臓器移植法改正			
	該当到達目標 1,2,3	予習	予習資料から日本における昨今の死後移植の位置づけについて知る。	1.5 時間	
		復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間	
15	講義内容	総括			
	該当到達目標 1,2	予習	これまでのトピックの中から特に関心を持ったものを確認してみる。	1.5 時間	
		復習	紹介した文献や映像資料などを参照しつつ、自分の考えをまとめてみる。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	C-learning の「教材倉庫」「ドリル」「小テスト」「アンケート」「レポート」機能を活用する。毎回、授業日の前週水曜日に予習用の教材をアップするのであらかじめ目を通しておくこと。授業終了後は復習用の資料をアップするので、よく確認し、ドリル・小テストで知識の定着を図ること。 詳細な成績評価の方法や、期末レポートの課題や規定など連絡事項は C-learning「ニュース」に公開するので、各自でよく確認しておくこと。				

	「自分ならどう考え、行動するか」を自らに問いかける姿勢を大切にしてほしい。また、授業内容と関連する「報道」などがあつた場合には、通常の予習・復習とあわせて確認しておくことが望ましい。

科目名	心理学(人間理解)					科目ナンバリング	LAH003			
英文名	Psychology					講義形態	講義			
担当教員	角野 善司									
科目に関連した実務経験	カウンセラーとして臨床心理センターに勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士									
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル				
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	1234567891011121314151617									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
		○							○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。 こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。 ② 毎回の予習が、知識獲得の中心である。その意識を強く持って、取り組んでもらいたい。対面授業は、難解な箇所に関する追加的な解説に重点を置く。また、理解を深めるために必要に応じて視聴覚教材を活用する。授業後には、復習課題に取り組むとともに、授業での学修を基に考察を深め、小レポートを作成し、提出することを求める。									
到達目標	1. 人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応について説明できる。 2. 人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題について説明できる。■ 3. 日常生活と心の健康との関係について説明できる。■ 4. 心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について説明できる。■									
使用教材	加藤伸司ほか「新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック 17 心理学と心理的支援」ミネルヴァ書房 2022 年 2,800 円+税									
参考文献										
評価方法	毎回の課題・小レポート 45%(3 点×15 回)、学期末筆記試験 30%、学期末レポート 25%									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の課題・小レポートは授業時に、学期末筆記試験・レポートは事後に講評解説の機会を設ける。									
オフィスアワー (研究室)	初回授業時に告知するとともに、研究室 ドアに掲出する(8 号館 405 室)				メールアドレス (#→@)	zsumino#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	心理学の視点:心理学における主要な理論と研究法								
	該当到達目標 1	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する。教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。						1.5 時間	
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。						1.5 時間	
2	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(1):心の生物学的基盤								
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。						1.5 時間	

	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
3	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(2):感情/欲求・動機づけと行動		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
4	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(3):感覚・知覚・認知		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
5	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(4):学習		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
6	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(5):記憶		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
7	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(6):人格・性格		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
8	講義内容	人の心の基本的な仕組みと機能(こころのしくみの理解と、それを生じさせるからだのしくみの理解)(7):他者と集団		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
9	講義内容	人の心の発達過程:発達の概念■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレッサ■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
11	講義内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本(1):心理アセスメント■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
12	講義内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本(2):心理的支援の基本的技法■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
13	講義内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本(3):心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
14	講義内容	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本(4):心理の専門職■		

	該当到達目標 4	予習	教科書の該当箇所および事前配布資料を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの学習内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。授業での学修を通じて考えたことを小レポートにまとめ、提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	- 仮に諸事情により対面での学期末筆記試験の実施ができない場合には、成績評価にあたっての配点は以下のとおりとする： 毎回の課題・小レポート 75%(5 点×15 回)、学期末レポート 25% ■:実務経験に基づく内容を示す。 - 社会福祉学科専門展開科目「カウンセリング論」は、この科目を履修済であることを前提に授業を進める。			

科目名	文学と人間(人間理解)						科目ナンバリング	LAH004		
英文名	Literature and Humanity						講義形態	講義		
担当教員	菅野 陽太郎									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	4	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				4	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	①④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○						○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 近現代の文学作品を読み、文学が人間の営みや文化の形成にどのように関わっているかを考え、文学を今後の生活に役立てていけるようになるための素地を養うことを目標とする。 ② 各回の授業では、予習した教材についての解説や話題提供を行った後、ディスカッションやアンケート等による意見の交流を行う。									
到達目標	1. 文学を楽しみ、今後の生活に役立てていくことができる。 2. 授業で取り上げる文学作品の内容や特徴等を理解することができる。									
使用教材	『伊豆の踊子』川端康成, 新潮社, 1950, 473 円									
参考文献	『〈転生〉する川端康成 I 引用・オマージュの諸相』, 仁平政人・原善, 文学通信, 2022, 2700 円									
評価方法	各回の課題(30%)、レポート(70%)									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートは評価とコメントを付して返却する。									
オフィスアワー (研究室)	水曜 2 限、金曜 2 限(8 号館 508 研究室)				メールアドレス (#→@)		kanno-y#@takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、「物語」とその効用								
	該当到達目標	予習	シラバスを読み、これまでに読んだ文学作品について振り返る。						1 時間	
	1	復習	授業内容を振り返り、課題に取り組む。						2 時間	
2	講義内容	文学のジャンルと要素								
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。						2 時間	
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。						1 時間	
3	講義内容	作品構造の理解①(あまんきみこ『山ねこ、おことわり』など)								
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。						2 時間	
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。						1 時間	
4	講義内容	作品構造の理解②(星新一『ある占い』など)								
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。						2 時間	
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。						1 時間	
5	講義内容	比喩表現の理解と効用(村上春樹『パン屋再襲撃』など)								
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。						2 時間	
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。						1 時間	
6	講義内容	アフォリズムの魅力(村上春樹『中国行きのスロウ・ボート』など)								

	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
7	講義内容	比べるという思考①(二つの文学作品)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
8	講義内容	比べるという思考②(J-POP と文学作品)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
9	講義内容	引用・オマージュ①(川端康成『バッタと鈴虫』)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
10	講義内容	引用・オマージュ②(川端康成『バッタと鈴虫』)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
11	講義内容	アダプテーション①(川端康成『伊豆の踊子』)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
12	講義内容	引用・オマージュ③(川端康成『伊豆の踊子』)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
13	講義内容	アダプテーション②(川端康成『伊豆の踊子』)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
14	講義内容	アダプテーション③(芥川龍之介『羅生門』など)		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
15	講義内容	他学問との関わり		
	該当到達目標	予習	教材を読み、課題に取り組む。	2 時間
	1,2	復習	授業内容を振り返り、当該作品を読みなおす。	1 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業時に C-learning を使用した意見の交流を行うので、ノート PC やタブレット、スマートフォン等の情報端末を用意すること。			

科目名	芸術論(人間理解)							科目ナンバリング	LAH005		
英文名	Art Theory							講義形態	講義		
担当教員	石原 綱成、志尾 睦子										
科目に関連した実務経験	志尾:映画上映・宣伝・企画・製作、イベントプロデュース										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位								
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応	4	豊かな人間性と幅広い教養						コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能					2	生涯学習力			
	2	問題解決力									
SDGs との関連											17
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他	
			○					○			
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要	① この講義は芸術を通して、人間の営為の総体として芸術を学ぶ。それによって、豊かな人間性と教養を身につける。また、あらゆるジャンルの芸術(絵画、映像等)を深く理解する。										
①講義の目標											
②講義の実施方法	② 講義は前半が石原による芸術史、後半は志尾による映画芸術論となる(オムニバス形式)となる。										
到達目標	1. 視覚芸術の歴史を理解できる 2. 芸術を人間の営為の総体として理解できる。 3. 映像芸術を通して、映画の文化史的意義を理解できる。■ 4. 様々な文化を理解することで、グローバルな教養が身につく■										
使用教材	講義スライドの資料を配布する。										
参考文献	担当教員が逐次紹介する。										
評価方法	試験を実施する。(石原 50 点、志尾 50 点、計 100 点)										
課題・評価に対するフィードバック方法	提出された感想シートやレポートについて逐一コメントなどを提示する。										
オフィスアワー (研究室)	石原:月曜 3 限、金曜 2 限、 志尾:火曜日 2 限				メールアドレス (#→@)	石原: ishihara#takasaki-u.ac.jp 志尾: m-shio#takasaki-cc.jp					
1	講義内容	ガイダンス(石原・志尾)									
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する							1.5 時間	
	2	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する							1.5 時間	
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー									
	該当到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく							1.5 時間	
	1,2,4	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する							1.5 時間	
3	講義内容	芸術史概説									
	該当到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく							1.5 時間	
	1,2,4	復習	配布した資料を基に芸術史の歴史を理解する							1.5 時間	
4	講義内容	宗教芸術とは何か									
	該当到達目標	予習	世界の主要な宗教の特色を理解する							1.5 時間	
	1,2,4	復習	配布した資料を基にキリスト教の教義を理解する							1.5 時間	
5	講義内容	キリスト教美術とシンボル									
	該当到達目標	予習	シンボルの本質について理解する							1.5 時間	
	1,2,4	復習	キリスト教のシンボルの法則性を理解する							1.5 時間	

6	講義内容	ルネサンス美術―古典古代の芸術―		
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する	1.5 時間
	1,2,4	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える	1.5 時間
7	講義内容	ルネサンス美術―図像解釈学と美術―		
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する	1.5 時間
	1,2,4	復習	イデア論の違いが視覚芸術にいかに現れるかを理解する	1.5 時間
8	講義内容	中間テスト		
	該当到達目標	予習	今まで学んだ内容を理解しておく	1.5 時間
	1,2,4	復習	試験内容を自分なりに再考する	1.5 時間
9	講義内容	メディア芸術とは何か 映画芸術の入り口に立つ■		
	該当到達目標	予習	メディア と称されるもののイメージを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画の成り立ちを理解する	1.5 時間
10	講義内容	映画の誕生と変遷を辿る■		
	該当到達目標	予習	映画の仕組みを理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画史を体系的に理解する	1.5 時間
11	講義内容	映画の表現方法について学ぶ■		
	該当到達目標	予習	様々な映像ジャンルを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに表現方法の多様性を理解する	1.5 時間
12	講義内容	映画の構造を知る■		
	該当到達目標	予習	映画を組み立てているものの役割を理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が総合芸術であるという本質を理解する	1.5 時間
13	講義内容	演習 1: 見えるもの 見えないもの 映画が伝えることを意識する■		
	該当到達目標	予習	映画を観てみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	感想を自分なりの言葉にしてみる	1.5 時間
14	講義内容	演習 2: 演出とは何か■		
	該当到達目標	予習	課題のシナリオを読み、イメージを組み立ててみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映像表現の可能性と奥深さを楽しむ	1.5 時間
15	講義内容	総論: 映画は時代を映す鏡である 映画で世界を知る■		
	該当到達目標	予習	興味のある国について調べる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が語る文化、時代性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	ボランティア・市民活動論(人間理解)						科目ナンバリング	LAH006		
英文名	Civil and Voluntary Activities						講義形態	講義		
担当教員	金井 敏									
科目に関連した実務経験	前職でボランティア・市民活動支援センターの運営支援に従事。また、様々なボランティア活動実践者と交流がある。 現在、大学ボランティア・市民活動支援センター(VSC)でセンター長としてVSCを運営している。									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養			3	コミュニケーションスキル				
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
		問題解決力								
SDGs との関連	1	3	4	5	8	10	11	16	17	
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○			○		○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動である。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在である。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成する。 ② 毎回の授業は、ボランティアに関する映像視聴、テーマに基づく講義、ゲストスピーカー講義(7 回予定)、ディスカッション、振り返り、次週の予定、という流れで進める。									
到達目標	1. ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。■ 2. ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。■ 3. ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。■ 4. 参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。■									
使用教材	各講義に即したオリジナル・レジュメや関係資料は授業にて配布する。テキストは使用しない。									
参考文献	その他、講義に必要な教材・資料は適宜プリントして配付する。									
評価方法	成績評価 ① 毎回の授業後に作成するリアクションペーパーによる評価(80%)。 ② ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。評価方法は、ボランティア実践の回数や時間ではなく、ボランティア活動に参加することによる学びを評価する。 ③ 追再試は実施しない。 その他の評価 ① 授業開講数の 2/3 以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ② 忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとする。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなす。 ③ ボランティア実践の時間(1 回当たり 4 時間×4 回=16 時間相当)も本時の講義時間に含める。									
課題・評価に対するフィードバック方法	質問や相談については C-learning で適時回答するほか、必要に応じて授業時に学生全体にフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	質問は授業の前後、または C-learning やメールでも受け付ける。				メールアドレス (#→@)	kanai#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い■ ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法、授業の進め方を確認する。								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。						1.5 時間	
	1,3	復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。						1.5 時間	
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割■								

	該当到達目標 1,2,3,4	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。	1.5 時間
		復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1.5 時間
		復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか ～欧米と日本の歴史		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1.5 時間
		復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
		復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動■		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ユニバーサルデザイン・バリアフリーとボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	バリアフリーに関わるボランティア活動を調べる。	1.5 時間
		復習	バリアフリーをすすめるボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～■		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
		復習	高齢者の介護予防や健康、子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	心と命をつなぐボランティア活動 ～いのちの電話の実践から考える■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
		復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
11	講義内容	ボランティアとNPO ～学生でも創れるNPO 法人■		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	NPO 法人とは何かについて調べる。	1.5 時間
		復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件、ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
12	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
		復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～■		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
		復習	民生委員・児童委員の活動を理解し、自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金■(ゲストスピーカーあり)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
		復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方■		
	該当到達目標 1,3,4	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
		復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて、ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	● ボランティア実践は、もちろん強制ではないので、自分の興味や関心のある分野や活動に参加する契機として設定している。大学生として様々な活動にチャレンジすること。授業の理解を深めるために現場で活躍するゲストスピーカーから実践を紹介してもらう(7回予定)。 ● ボランティア・市民活動支援センター(VSC、9号館1階)を活用すること。活動を始める前には必ず、ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じる。			

VSC 直通 TEL:027-352-1108、VSC メールアドレス:vsc@takasaki-u.ac.jp

- シラバス中の■は実務経験に基づく授業内容を表す。

科目名	人権論(人間理解)						科目ナンバリング	LAH007		
英文名	Theory of Human Right						講義形態	講義		
担当教員	金井 洋行									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	3458101617									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	テーマについての課題の意見レポート→教員の意見に対するレスポンス→受講生の省察									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。 ② 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りのに割り込ませることがある。									
到達目標	1. 人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2. 人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3. 個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4. 人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5. 人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。									
使用教材	テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) *テーマによって DVD の視聴あり									
参考文献										
評価方法	・ 平常の授業に対する姿勢・課題提出(35%)、中間小テスト(15%)、期末の定期試験(50%) ・ 課題は概ね 4 回のレポート、中間小テストは概ね 3 回の知識テスト、定期試験は基本的知識と思考力のテスト									
課題・評価に対するフィードバック方法	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)									
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	人権の観念と内容								
	該当到達目標	予習	日本国憲法における基本的人権の項目の資料等による再チェック						2 時間	
	1	復習	予備知識アンケート						0.5 時間	
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係								

	該当到達目標 1,2	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界		
	該当到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	個人主義の観念と幸福追求権の意義		
	該当到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－		
	該当到達目標 1,2,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	世界の現況と人権(AIと人権、戦争と人権等)		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の国際化		
	該当到達目標 1,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間

合計時間(予習・復習)		37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については C-learning・連絡メールをもって応答することを原則とする。 日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。	

科目名	人間関係論(人間理解)						科目ナンバリング	LAH008		
英文名	Theory of Human Relations						講義形態	講義		
担当教員	富田 純喜									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
		○							○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人間関係論という言葉は、大別すると二通りの意味がある。一つは、ホーソン実験を基盤として体系化された、主に経営学で用いられる理論のことである。もう一つは、人間の行為や生活上の諸現象を、人と人との関係において研究しようとする社会科学における研究アプローチのことである。本講義では本学の特性を考慮し、後者の観点から、生活上の人と人との関係を理解することを目的とする。ただし、本講義を受講することで、すぐに良好な人間関係を築けるようになるわけではない。人と人との関係とはいかなるものか、人との関係において喜びや苦しみが生まれるのはなぜか、といった根本的な問いを探ることが中心的な課題となる。 ② 授業は主に講義形式で進めるが、事前課題や授業内のワークを随時取り入れる。なお、授業内で扱える内容は限られているため、紹介する参考文献などを使って理解を深めること。									
到達目標	1. 人間関係論の基礎的内容を理解している。 2. 社会状況・生活形態と人間関係との関連を説明できる。 3. 身の回りの人間関係を多角的な視点から説明できる。 4. 現代社会で生じている人間関係に関する諸問題への対応について考察できる。									
使用教材	菅野仁(2008)『友だち幻想—人と人のくつながり』を考える—(ちくまプリマー新書)』筑摩書房。									
参考文献	授業内で適宜紹介する。									
評価方法	レポート(50%)、試験(30%)、課題・参画度(20%)									
課題・評価に対するフィードバック方法	試験前後に出題の意図等を説明する。									
オフィスアワー (研究室)	水曜 5 限、木曜 5 限(8 号館 406)				メールアドレス (#→@)		tomita-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	各回の授業内容を確認し、人間関係について考えてみる。						1.0 時間	
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。						1.0 時間	
2	講義内容	ホーソン実験と人間関係論								
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。						1.5 時間	
	1	復習	人間関係論の成り立ちについて理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	「友人重視指向」の日本の高校生(はじめに)								
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。						1.5 時間	
	1	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。						1.5 時間	
4	講義内容	人は一人では生きられない?(第一章)								
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。						1.5 時間	
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。						1.5 時間	

5	講義内容	幸せも苦しみも他者がもたらす(第二章)①前半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.27-37)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	幸せも苦しみの他者がもたらす(第二章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.37-46)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	共同性の幻想——なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)①前半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.47-58)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	共同性の幻想——なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.58-79)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	「ルール関係」と「フィーリング共有関係」(第四章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	熱心さゆえの教育幻想(第五章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)①前半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.106-113)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.113-120)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	「傷つきやすい私」と友だち幻想(第七章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	言葉によって自分を作り変える(第八章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ(これまでの授業の復習をとおして理解を深める)		
	該当到達目標	予習	第1～14回の内容を復習し、疑問点などを整理する。	2.0 時間
	4	復習	現代社会における人間関係について自身の考えをまとめる。	2.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オンライン授業の場合は、オンデマンド型で実施する。資料の配布や課題の提出には C-learning を用いる。			

科目名	ジェンダー論(人間理解)						科目ナンバリング	LAH009		
英文名	Gender Theory						講義形態	講義		
担当教員	山田 秀頌									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
		問題解決力								
SDGs との関連	5 10									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	教員が各回に提示するトピックや課題について、各自で・周りの人と議論しながら考えをまとめる時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ジェンダーをめぐるさまざまな問題についての正しい知識と考え方を身につけることは、自分が生きていく上ではもちろんのこと、多様化する社会においてプロフェッショナルとして働いていく上でも重要なことがらとなっている。この授業では、主に女性やセクシュアル・マイノリティに対する不利益がどのような社会的なしくみの下で生み出されているのか、そうしたしくみに対してどのような批判がなされてきたのかを学ぶことで、性にかかわる社会問題について多面的に考えるための方法を獲得する。 ② 教科書および配布資料の内容をふまえながら、各回のテーマについて主要な問題や概念について解説する。教員が各回に提示するトピックや課題について、各自で・周りの人と議論しながら考えをまとめる時間を設ける。									
到達目標	1. 性にかかわる社会問題について幅広く思考するための知識を身につける。 2. 多様な性を生きる人々とともに性にかかわる社会問題を解決するための視点を身につける。									
使用教材	教科書：『フェミニズムってなんですか？』清水晶子著、文春新書、2022 年。他に文献資料を適宜配布する。									
参考文献										
評価方法	3 本のレポートで評価する。(配点は 30%, 30%, 40%の配分) 総合評価 60%以上で合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートごとに問題出題意図を解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業中もしくは終了後に応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	講義全体の説明								
	該当到達目標	予習	性にかかわる身近な問題について考える。							1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。							1.5 時間
2	講義内容	フェミニズムの歴史								
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の「はじめに」、第 1 章、第 2 章を読む。							1.5 時間
		復習	フェミニズムの 4 つの波について理解する。							1.5 時間
3	講義内容	公的領域と私的領域								
	該当到達目標 1,2	予習	教科書第 3 章、第 7 章を読む。							1.5 時間
		復習	公的領域と私的領域の違いを理解する。							1.5 時間
4	講義内容	資本主義と個人								
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章を読む。							1.5 時間

	1,2	復習	商業主義的な自由の問題を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	インターセクショナリティ		
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章、第 6 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	さまざまな差別の重なりについて再確認する。	1.5 時間
6	講義内容	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ		
	該当到達目標	予習	教科書第 10 章、第 14 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	リプロダクティブ・ヘルス／ライツという概念について再確認する。	1.5 時間
7	講義内容	セクシュアル・ハラスメントと性暴力		
	該当到達目標	予習	教科書第 8 章、第 12 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	権力関係の問題として理解する。	1.5 時間
8	講義内容	結婚と家族		
	該当到達目標	予習	教科書第 11 章、第 13 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	伝統的家族観と制度の問題について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ケアの倫理		
	該当到達目標	予習	教科書第 9 章、第 16 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	どのようにケアが重要なのかについて考える。	1.5 時間
10	講義内容	セックス／ジェンダー／セクシュアリティの概念		
	該当到達目標	予習	教科書第 15 章を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	ジェンダー論の基本概念について再確認する。	1.5 時間
11	講義内容	ホモソーシャルとミソジニー		
	該当到達目標	予習	指定する文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	身近な問題に引き付けて考える。	1.5 時間
12	講義内容	LGBT をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	指定する文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	社会問題としての理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	トランスジェンダーをめぐる問題		
	該当到達目標	予習	教科書「対談Ⅱ」「対談Ⅲ」を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	インターセクショナリティの視点から理解する。	1.5 時間
14	講義内容	トランスジェンダーと医療		
	該当到達目標	予習	指定する文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	トランスジェンダーに対するケアのあり方について理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	全体のまとめ		
	該当到達目標	予習	教科書「対談Ⅰ」「おわりに」を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	社会を変える方法について考える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	教科書と事前配布する資料を読み込み、授業での理解を深めるよう努力すること。			

科目名	共生の倫理(人間理解)						科目ナンバリング	LAH010		
英文名	Ethics of Symbiosis						講義形態	講義		
担当教員	大石 桂子									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	4	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑯ ⑰									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代では多様な価値観・文化をもつ人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。誰もがもちやすい偏見や排除をのりこえ、共生を実現するためのどのような取り組みができるか。多くの事例から基礎的な理論と方法の知識を習得し、今後の生活に生かす基盤を培うことを目標にする。 ② 授業ではパワーポイントを用いる。定期的に資料分析、考察する機会を設ける。									
到達目標	1. 現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2. 共生の歴史について理解し、説明できる。 3. 共生を支える社会学、倫理学、心理学また教育的・臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4. 共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5. 各テーマについて自分の考えをもつことができる。									
使用教材	講義中にプリントを配布する。									
参考文献	講義中に指示する。									
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。 (1 号館 6 階 601)				メールアドレス (#→@)	oishi#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。							1 時間
	1	復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。							1.5 時間
2	講義内容	ノーマライゼーションから当事者主権へ								
	該当到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。							1 時間
	1,2	復習	障害者の権利をめぐる歴史を理解する。							1.5 時間
3	講義内容	障害者権利条約と意思決定支援								
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。							1 時間
	1,3,5	復習	各国での意思決定支援の制度・取り組みを理解し、課題を作成する。							1.5 時間
4	講義内容	ユニバーサルデザイン								

	該当到達目標 1,3,5	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間
5	該当到達目標 2,5	講義内容 優生思想		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	1.5 時間
6	該当到達目標 3,4,5	講義内容 援助行為の動機とは		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	人がなぜ他者を援助できるのか、様々な理論を理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 3,4,5	講義内容 偏見といかに向き合うか		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	偏見が生じるメカニズムを理解し、その解消に向けた取り組みについて考える。	1.5 時間
8	該当到達目標 1,3	講義内容 認知症介護・ケアへの取り組み①社会制度の側面から		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	認知症介護をめぐる現代の課題を理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 3,4,5	講義内容 認知症介護・ケアへの取り組み②身体拘束を減らすために		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	拘束を減らす手法、コミュニケーション改善の取り組みを理解し、考察する	1.5 時間
10	該当到達目標 3,5	講義内容 いじめ問題にどう取り組むか①いじめが発生するメカニズム		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	国内でのいじめの状況、発生メカニズムを理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 3,4,5	講義内容 いじめ問題にどう取り組むか②いじめへの対応策		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	国内外でのいじめ予防・対応の実践例を理解し、有効な手段を考察する。	1.5 時間
12	該当到達目標 3,4,5	講義内容 環境問題と世代間倫理①ヨナスの世代間倫理		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	現在世代が未来世代への責任をどのようにもつか、理解できる。	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2,3,5	講義内容 環境問題と世代間倫理②環境問題をめぐる論争		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	環境問題についての議論を理解し、みずからの考えをもつ。	1.5 時間
14	該当到達目標 3,4,5	講義内容 社会のレジリエンスを高める		
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	災害復興支援、暴力犯罪の低減などの事例をもとに、有効な手段を考察する。	1.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 まとめ・共生社会へ向けて		
		予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1 時間
		復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	2 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	予習・復習については試験前の学習で補完すること。 *オンライン授業となった場合は、C-learning 上で講義資料(PDF ファイル等)を閲覧し、課題を提出する形式とする。			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)					科目ナンバリング	LAH011			
英文名	Team Approach to Health Care					講義形態	講義			
担当教員	大川喜代美、加藤大輔、竹内真理、梅原里実、渡邊秀臣、篠原智行、小竹利夫、高橋雄太									
科目に関連した実務経験	大川(情報):診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験) 加藤(福祉):医療ソーシャルワーカーとしてケアミックス病院に勤務(経験) 竹内(栄養):管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務 梅原(看護):看護師として病院に勤務、病棟・外来・地域医療連携室の管理業務(経験) 渡邊(理学):整形外科医として医療機関に勤務(非常勤) 篠原(理学):急性期、回復期病院に勤務経験あり。現在は生活期病院に非常勤勤務 小竹(子ども):障害児母子通所支援施設に勤務(経験) 高橋(薬学):薬剤師として大学病院に勤務(経験)、調剤薬局に非常勤勤務									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養			3	コミュニケーションスキル				
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	1	問題解決力								
SDGs との関連	12341116									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
		○							○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。									
①講義の目標	② 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。■ 2. 各専門職の役割と活動について理解できる。■ 3. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。■									
使用教材	講義のスライドのファイルおよび資料を C-learning に公開する。									
参考文献										
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%									
課題・評価に対するフィードバック方法	・ 多学科の学生が参加していることから C-learning の協働板機能を用いてパソコン上での双方向の通信手段によって行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・ 課題レポートや小テストの成果から感じた点や補足すべき点について文章化し、C-learning を用いて受講生にフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	大川(情報) 木曜 3 限(1 号館 609 研究室) 加藤(福祉) 木曜 2 限(1 号館 5 階研究室) 竹内(栄養) 金曜 3 限(1 号館 308 研究室) 梅原(看護) 金曜 1~2 限(4 号館 506 研究室) 渡邊(理学) 金曜 3 限(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学) 水曜 3 限(3 号館 206 研究室) 小竹(子ども) 水曜 3 限(8 号館 403 研究室) 高橋(薬学)				メールアドレス (#→@)		大川(情報) okawa-ki#takasaki-u.ac.jp 加藤(福祉) kato-d#takasaki-u.ac.jp 竹内(栄養) mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp 梅原(看護) umehara#takasaki-u.ac.jp 篠原(理学) shinohara-t#takasaki-u.ac.jp 小竹(子ども) kotake#takasaki-u.ac.jp 高橋(薬学) takahashi-yu#takasaki-u.ac.jp			

		水曜2限(7号館323研究室)		※メールでの質問可の教員のみ掲載
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について■		
	該当到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。	1.5 時間
	1	復習	21世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。	1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	看護師の役割や業務について調べる	1.5 時間
	1,2,3	復習	看護師の役割・活動、チーム医療における看護職の役割について講義内容から復習しておく。	1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	理学療法士の一般的な役割について調べる	1.5 時間
	1,2,3	復習	チームにおけるリハビリテーションの位置づけを復習し、チーム医療に求められる個人の資質について考察する。	1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	チーム医療(病院・薬局)における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	医薬品が患者や社会に与える影響(メリットとデメリット)を考え、その上でチーム医療を行うことの有益性についてレポートにまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	今までに学習した1～4のコメディカルの役割と活動について復習し、一般的な管理栄養士の役割と活動について各自で調査する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	管理栄養士と他のコメディカルとの関わりについて理解し、それぞれの立場においてチーム医療で求められる役割・活動と、多職種連携について考察する	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	① 高齢化社会の現状を調べる ② 地域における医療・介護・福祉の連携、地域包括ケアシステムの進展を調べる。 ③ 医療ソーシャルワーカーについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	地域での自立生活に必要となる、チーム医療における社会福祉士の役割を考察する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における特別支援学校教諭の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
	1,2,3	復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務職について調べてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務職について得た知識を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ、多職種連携 「チーム医療アプローチ演習」(3または4年次開講)履修には、原則として本科目の単位修得が必要となる。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『他職種連携コース』の対象科目である。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	国際保健医療論(人間理解)						科目ナンバリング	LAH012		
英文名	Theory of International Health						講義形態	講義		
担当教員	李 孟蓉、町田 修三									
科目に関連した実務経験	開発途上国の健康支援(経験) 元 JICA 専門家をゲストスピーカーとして招く(第 11 回) 元青年海外協力隊をゲストスピーカーとして招く(第 12 回)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修が必須となる資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	①	②	③	④	⑩			⑬	⑭	
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○	○		○		○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ、新たな国連の目標である SDGs を軸に、グローバルヘルスの基本理念と戦略を学び、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また、地球規模の健康課題やその影響要因、国際保健医療の関連分野の活動の理念と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得し、グローバル化の時代に活躍する医療職を目指すことができる。また本講義では、学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的に、学生が実際に海外に赴き実体験として諸外国の医療事情を見聞することにより、単位を取得することができる。 ② 授業方法は講義内容の要点について説明し、質問などに対して具体的に説明する。到達目標に向け学習が効果的に積み重ねられるよう学習内容を体系的に提示し進めいく。また、学生が自律的に学習を進められるようグループワークを取り入れ、発表させる。									
到達目標	1. 国際保健医療学、国際保健医療協力の概念と変遷を理解できる。 2. 保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解できる。 3. 諸外国の医療教育や医療の実態、医療制度、福祉を理解し、日本との違いを説明できる。 4. 国際保健医療協力の実際や実践手法を理解できる。■ 5. 異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解できる。■ 6. 日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる(海外研修参加者)									
使用教材	配布資料、各自自分のリサーチ目的に沿った文献、教材を探すこと									
参考文献	① 「国際保健医療学」第 3 版 国際保健医療学会編 杏林書院 ② 「世界で一番いのちの短い国 シェアラオネの国境なき医師団」 山本敏晴 小学館 ③ 「国際協力—その新しい潮流」 下村恭人 有斐閣 ④ 世界の厚生労働 2019 有限会社正陽文庫/ 厚生労働省. 2020 年海外情勢報告 https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kaigai/21/ ⑤ 「国民衛生の動向 2020/2021」 厚生労働統計協会 ⑥ 「SDGs を学ぶ 国際開発・国際協力入門 法律文化社」(電子ブック) ⑦ 「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らす人びと」 ジェレミーシーブルック 青土社 適宜参考書を紹介する									
評価方法	【学内授業の場合】									

		・定期試験を受験するために必要な出席回数を満たしたことを条件に、発表・討論の参加度 30 点 (30%) (個人/グループワーク、プレゼンテーション)、期末レポート 70 点 (70%) の配分で合計 60 点以上を合格とする。 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス (30%)、研修レポート (30%)、研修中のパフォーマンス (40%) 【オンライン授業の場合】 ・定期試験を受験するために必要な出席回数を満たしたことを条件に、レポート 10 点 (10%)、授業参加・貢献度 20 点 (20%) (個人/グループワーク、プレゼンテーション)、期末レポート 70 点 (70%) の配分で合計 60 点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック		授業後にアンケートを行い、次回の授業初めに振り返りを行う。 発表や討論については、その都度コメントやアドバイスを。レポーについては、コメントを付して返却する。(対面授業・オンライン授業とも共通)			
オフィスアワー (研究室)		【李】 木曜日・金曜日の 3 限目 研究室: 3 号館 2 階 208 【町田】 月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603	メールアドレス (#→@)	【李】ri#takasaki-u.ac.jp 【町田】machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義オリエンテーション、国際保健、国際保健医療学の定義、国際保健医療協力の概念 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく。国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読むこと。		1.5 時間
	1,2	復習	配布資料を目を通し、国際保健協力の定義、世界や国内の国際協力の概念についてまとめ、理解を深めること。また、自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する。		1.5 時間
2	講義内容	グローバルヘルスと開発理念の変遷 (プライマリーヘルスケア～SDGs) (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	参考文献①「国際保健医療学」第 3 版の第 I 部 1～4、10～11 まで目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2	復習	配布資料に目を通し、世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、MDGs の基本理念と変遷について理解を深め、SDGs の目標と活動について興味関心をまとめること。		1.5 時間
3	講義内容	国際保健医療関連の国際機関、NGO の取り組みと日本の国際協力 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	参考文献②「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」、③国際協力—その新しい潮流に目を通しておくこと。		1.5 時間
	1,2	復習	配布資料に目を通し、国際保健医療協力の仕組み、国際保健医療関連の国際機関や NGO 団体、ODA の活動についてまとめ、理解を深めること。		1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育、医療制度、医療制度 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5 時間
5	講義内容	諸外国 (イギリス) における医療教育・医療制度 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5 時間
6	講義内容	諸外国 (ヨーロッパ①) における医療教育・医療制度 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5 時間
7	講義内容	諸外国 (ヨーロッパ②) における医療教育・医療制度 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1.5 時間
	3	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ		1.5 時間
8	講義内容	諸外国 (アメリカ) における医療教育・医療制度 (一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく		1.5 時間

	3	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	諸外国(発展途上国、インドネシア)における健康の格差①(保健指標、母子保健)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	参考文献④世界の厚生労働 2019 p.102-136、⑤「国民衛生の動向 2019/2020」を参考し、日本における衛生の主要指標、保健と医療の動向(人口動態、生命表、母子保健など)について目を通しておくこと。	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布資料に目を通し、世界で生じている健康格差の実態とその原因についてまとめ、理解を深めること。	1.5 時間
10	講義内容	諸外国(発展途上国、タイ・ベトナム)における健康の格差②(感染症と非感染性疾患)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	参考文献⑥SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門 法律文化社(電子ブック)第2章 保健・健康 SDG3 に目を通しておくこと。	1.5 時間
	2,3,4	復習	開発途上国の保健医療課題とその原因についてまとめて、理解を深めること。	1.5 時間
11	講義内容	国際保健医療協力と異文化理解 ■ (一部 AL 実施) 元 JICA 専門家を招き、異文化の中での国際協力活動について事例をもとに解説を加えて講義する		
	該当到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べておくこと。	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	配布資料に目を通し、国際協力として行われている支援について、目的、実際の活動内容、異文化適応について考察したことをまとめ、理解を深めること。	1.5 時間
12	講義内容	「持続可能な開発目標の達成に向けて」を考えるワークショップ■ (一部 AL 実施) SDGs の目標にて世界の課題、日本ができること、自分にできることを考えるワークショップという形で取り入れて、各グループが円滑にディスカッションを進めるように指導をしながら行う		
	該当到達目標	予習	第2回目の授業内容を再度確認しておくこと。	1.5 時間
	2,3,4	復習	ワークショップに参加し、世界の不平等や格差に気づき、国の豊かさについて考えを深めること。 興味ある国の医療事情や SDGs の発表準備。自分たちが取り組めることについて考えておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	諸外国の医療事情、グローバルヘルス 個人ワーク/グループワーク① (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	興味ある国の医療事情や興味関心のある SDG の目標について調べておくこと。	1.5 時間
	2,3,4,5,5	復習	興味ある国の医療事情の発表準備、興味関心のある SDG の目標やターゲットについてまとめて、発表の準備をすること。	1.5 時間
14	講義内容	諸外国の医療事情、グローバルヘルス 個人ワーク/グループワーク② (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	興味ある国の医療事情の発表準備、興味関心のある SDG における諸外国、国際機関や世界での NGO、企業等の活動・取り組みを調べておくこと。	1.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	調べてまとめた興味関心のある SDG について、第12回講義と関連付けて自分たちが取り組めることをまとめて、発表の準備をすること。	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当到達目標	予習	第13回～第14回の個人ワーク/グループワークの発表資料と発表の準備。	1.5 時間
	2,3,4,5,6	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	AL(アクティブラーニング)は、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンなど。 1. ルール 1) 能動的に、積極的に学ぶ姿勢で授業に臨むこと。 2) 他学生の学習の妨げとなるような行為を慎むこと。 2. 出席登録の方法 出席の登録は、C-learning の下記 1)～2)のいずれかの方法で行う。方法は授業、「ニュース」で確認すること。 1) 「レポート」の課題をする。 2) 「アンケート」を提出する。 3. グループワークとレポートの詳細については授業を進めながら提示する。 4. オンライン講義を実施する場合には、講義内容のワークショップを変更することがある。 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)						科目ナンバリング	LAH013		
英文名	Introduction to Healthcare Sciences						講義形態	講義		
担当教員	町田 修三、小澤 瀬司、東福寺 幾夫、松尾 仁司、クリストファー・ターン、應本 真、今井 純、大石 時子、富田 洋介									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			3	コミュニケーションスキル				
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○					○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	QUIZ、問いかけ、授業内カンパセーション等による双方向性授業									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。 ② 数人の教員がオムニバス形式で英語にて、学生の理解度を確認しながら講義を展開する。英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。									
到達目標	1. 医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2. 理解した内容について、第三者に説明できる 3. 医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4. 医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる									
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する									
参考文献										
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物や小レポートには、コメントを付して返却する									
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603				メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	Introduction of the course (町田)								
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく						1 時間	
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える						1 時間	

2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system (町田)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
4	講義内容	Introduction of nursing education in Japan and other countries (大石)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	Introduction to telemedicine (東福寺)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Medical information system (松尾)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Introduction to sensory science (應本)		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation I (富田)		

	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation II (富田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
14	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語(英語)を予習しておく き，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
	合計時間(予習・復習)			44 時間
備考	講義内容は学生の興味を持ってそうな分野から、基礎的なものを選んでいる。学生の積極的な授業参加が求められる。 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修により医療の国際化に関する理解を深め、単位修得に必要な時間を各自確保すること。			

科目名		囲碁の世界(人間理解)						科目 ナンバリング	LAH014		
英文名		Introduction to Igo						講義形態	講義		
担当教員		三谷 哲也									
科目に関連した 実務経験		2002 年に公益財団法人日本棋院に入段。囲碁教室や他大学の囲碁授業の講師（現在）									
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする 資格											
学位授与方針 との対応		2	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
		3	問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング 実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
					○		○			○	○
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法		インターネット・携帯電話アプリケーションでの対局を指示する場合あり									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 講義の目標 近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。 また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。									
		② 実施方法 ・ 講義形式で打ち方の解説をした後、受講生同士で対局を行う。 ・ 囲碁の心得や法則「ナナメにご用心」等、言葉で表したものを積極的に使い上達を図る。 ・ 決め打ち碁(模範的な碁を並べ、途中から打つ)で布石の考え方を身につけ、初心者でもすぐに終局まで打てるようにする。									
到達目標		1. 囲碁を全く知らない状態から囲碁の世界を知り、19 路盤で最後まで打てるようになる。■ 2. 「囲碁の心得、法則」の形を言葉で覚え、積極的に使い囲碁の考え方を身につける。■									
使用教材		光文社新書「東大教養囲碁講座」（備考欄を要確認）									
参考文献		日本棋院「実践囲碁総合演習」									
評価方法		毎回の授業貢献度、コメントシート、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回 ※対局結果は成績評価に含まない									
課題・評価に対する フィードバック方法		試験後に解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談は授業の前後に応じる。状況により次回の授業での対応となる場合がある。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール■									
	該当到達目標	予習	教科書 第 1 章 1～3 に目を通し講義の目的を理解する。							1.5 時間	
	1,2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。							1.5 時間	
2	講義内容	ルールの復習(1)■									
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-1～1-3 に目を通し基本ルールを確認する。							1.5 時間	
	1,2	復習	囲碁の 5 つの基本ルールを理解する。							1.5 時間	
3	講義内容	ルールの復習(2)■									
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-4～1-5 に目を通し基本ルールを確認する。							1.5 時間	
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。インターネットやスマートフォンで対局する。							1.5 時間	

4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P97 に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	基本的な3つの心得を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	取れている石、シチョウを理解する。	1.5 時間
6	講義内容	問題演習■		
	該当到達目標	予習	教科書 第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P188～199 に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P173～188 に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P158～172 に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)■		
	該当到達目標	予習	教科書 第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P207～220 に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習■		
	該当到達目標	予習	教科書 第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P259～267 に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	イベント対局とまとめ■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章～5章に目を通し、これまで習ってきたことを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	インターネットやスマートフォンで対局する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	●履修条件 ・ 本講義は、囲碁を知らない状態から19路盤で最後まで打てるようになることが目標です。 ・ 囲碁の未経験者や囲碁のルールを知らない者を強く求めます。 ●その他、授業に関する事項 ・ 第5回目の授業までは基本的なルールを学び復習します。欠席や遅刻などしないこと。 ・ 使用教材(教科書)は、授業形態(オンラインや録画配信)への変更により使用しない場合があります。 ・ 授業では毎回対局を行います。道具の準備や片づけも授業の一環であるため、積極的に関わること。 ・ PC や携帯端末で囲碁の対局ソフト(アプリ)を指示、使用する場合があります。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	英語 IA(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL001		
英文名	English IA						講義形態	講義		
担当教員	Angela Karsten									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 講義の目標① 講義の実施方法②	Course Objectives: 1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 英語の 4 技能と自信の向上 2. Gain experience in making use of technology while using English. デバイスや機器を利用したの英語学習 3. Gain a better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language. 自己理解、人間関係、文化といったトピックスについて英語を通じて学ぶ 4. Practice of interactions and presentations in English 英語での相互作用とプレゼンテーションの練習 Overview of Course Content: (Topics to be presented and discussed in class. Target English sentences related to each topic will be practiced, while enhancing vocabulary, grammar and communication skills) Weeks 1~4 ● TALKING ABOUT MYSELF 1 自己紹介 (Introduction). COURSE GUIDANCE DAY. コースガイダンスデー ● TALKING ABOUT MYSELF 2 自己紹介 (Review, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 1 人間関係 (Introduction, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 2 人間関係 (Review, practice, production) Weeks 5~8 ● FIRST ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日 ● INTERESTS 1 各人の興味について (Introduction, practice, production) ● INTERESTS 2 各人の興味について (Review, practice, production) ● INTERESTS 3 各人の興味について (Review, practice, production) Weeks 9~12 ● MID-TERM ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日 ● HEALTH AND WELL-BEING 1 健康と福祉 (Introduction, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 2 健康と福祉 (Review, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 3 健康と福祉 (Review, practice, production) Weeks 13~15 ● OPINIONS & REFLECTIONS 1 まとめ、フィードバック (Introduction, practice, production) ● FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー ● OPINIONS & REFLECTIONS 2 まとめ、フィードバック (Review, practice, production)									
	到達目標									
	Attainment Target									

	● Being able to understand English vocabulary related to daily life at university; 大学生生活に関わる英語の語彙が理解できる。 ● Being able to engage in simple English conversation related to common daily topics; 日常的な話題に関連した簡単な英会話ができる ● Being able to make effective use of online tools to improve English skills in general; オンラインツールを効果的に活用して、英語力全般を向上させることができる。 ● Being able to perform short presentations in English while using classroom tools; 教室のツールを使用しながら英語で短いプレゼンテーションを行うことができる。 ● Being able to recognize and effectively write the parts of an English paragraph; 英語の段落の各部分を認識し、効果的に書くことができる。 ● Being able to express opinions in simple English; 簡単な英語で意見を述べることができる。		
使用教材	Reference books 参考書籍: ※購入の必要はありません。 Topic Talk – David Martin Talk a Lot Book Two – David Martin Now You're Talking! – Chris Elvin (You do not need to buy these books. Content will be provided by the instructor).		
参考文献	https://www.allthingstopics.com https://www.allthingsgrammar.com		
評価方法	Active participation in class.....15% クラスへの積極的な参加 Participation in online questionnaires.....15% アンケートへの参加 Assignments & Presentations (2 X) 30% 月次レポートとプレゼンテーション(2X) Homework.....20% 大学の宿題 Final Report & Presentation (once in the end of the term) 20% 最終レポート、プレゼンテーション(学期末 1 回)		
課題・評価に対する フィードバック方法	● Self-assessment 自己評価 and Peer assessment ピアアセスメント ● Instructor's comments 教員によるコメント ● Assignments/Final Report assessment 課題、最終レポート評価		
オフィスアワー (研究室)	Please send me a message when you need. I will answer as soon as possible. 学生からの質問などは C-learning で受け付け、教員より回答する	メールアドレス (#→@)	Please message me through C-learning. C-learning 上(連絡・相談)を通して
1	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 1	
	該当到達目標	予習 ● Please read this syllabus carefully and send me any questions you may have. You can use C-learning ➡ messages for this. シラバスを読み、質問がある場合は C-learning(連絡・相談)から質問する。 ● Please take a look at C-learning using the English display (Change display) C-learning を英語表示で確認	1.5 時間
	1,2,3,4	復習 ● Reread this syllabus. シラバスの再確認 ● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning (教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please do your weekly homework 毎週宿題をしてください	1.5 時間
2	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 2	

	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning (教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
3	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning (教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる	1.5 時間
4	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる	1.5 時間
5	講義内容	FIRST ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日		
	該当到達目標	予習	● <u>First Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>課題提出期限！（教員へ Web 上の提出）</u> ● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
6	講義内容	INTERESTS 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
7	講義内容	INTERESTS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your Mid-term Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
8	講義内容	INTERESTS 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your Mid-term Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーションへの取り組み	1.5 時間
9	講義内容	MID-TERM ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日		
	該当到達目標	予習	● <u>MID-TERM Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>課題提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 1 /FINAL REPORT INSTRUCTIONS 最後のレポートの指示		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み ● Please review the instructions for the FINAL REPORT and start working on it 最終レポートについて内容確認し取り組み開始	1.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
12	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間

			● Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取組み	
13	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 1		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取組み	1.5 時間
14	講義内容	FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー		
	該当到達目標	予習	● <u>FINAL REPORT Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>最終レポート提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework 宿題への取組み	1.5 時間
15	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning(アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	英語 IB(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL001		
英文名	English IB						講義形態	講義		
担当教員	岡田 和子									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 ② 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標	1. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 2. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 3. 公衆衛生に関する基礎知識を得る									
使用教材	『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂									
参考文献	1. 『沈みゆく大国アメリカ——逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018									
評価方法	平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	高カロリーと健康(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する						0.5 時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する						0.5 時間	
2	講義内容	高カロリーと健康(2)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する						0.5 時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する						0.5 時間	
3	講義内容	伝染病(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する						0.5 時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する						0.5 時間	
4	講義内容	伝染病(2)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する						0.5 時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する						0.5 時間	
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する						0.5 時間	

	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名	英語 IC(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL001		
英文名	English IC						講義形態	講義		
担当教員	Louise Arai									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年	前期	選必・単位数	必修 1 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標	1. 情報医療を学ぶ学生にとって基本的な英語の語彙を獲得する。 2. 情報医療についての英語を読めるようになる。 3. 情報医療について英語で話せるようになる。									
使用教材	Everything will be provided by the instructor									
参考文献										
評価方法	Classroom participation and attitude 30%, Flipgrid videos 30%, Assignments 10%, Final report 30%									
課題・評価に対するフィードバック方法	Most results from videos, assignments and reports will be returned to students after marking.									
オフィスアワー (研究室)	授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)		louisebarnett75@yahoo.co.nz			
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review and assessment, useful English								
	該当到達目標	予習	Look at syllabus and make name cards						0.5	時間
	1,2,3	復習	Self introductions and read Useful Classroom/online English						0.5	時間
2	講義内容	Learn how to write an email								
	該当到達目標	予習	Read handout						0.5	時間
	1,2,3	復習	Send email to teacher						0.5	時間
3	講義内容	Meeting people and Flipgrid introduction								
	該当到達目標	予習	Read handout						0.5	時間
	1,2,3	復習	Submit video on Fripgrid						0.5	時間
4	講義内容	Restaurant English and Movies								
	該当到達目標	予習	Read handout						0.5	時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite movie						0.5	時間
5	講義内容	Talking about events and festival								
	該当到達目標	予習	Prepare to talk about your favorite festival						0.5	時間
	1,2,3	復習	Introduce your favorite festival						0.5	時間
6	講義内容	Food Culture and Cooking in English								
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your favorite recipe						0.5	時間

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	1,2,3	復習	Introduce a healthy recipe	0.5 時間
7	講義内容	Emergencies		
	該当到達目標	予習	Think about emergency kit	0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare an emergency kit	0.5 時間
8	講義内容	Useful travel English		
	該当到達目標	予習	Read hand out. Be ready to talk about the best place you have visited	0.5 時間
	1,2,3	復習	Write about your favorite place	0.5 時間
9	講義内容	Talking about pets		
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your pet or your favorite animal	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review the benefits of having pets	0.5 時間
10	講義内容	Online Friends		
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about if you prefer online or in person communication	0.5 時間
	1,2,3	復習	Write about the benefits of both	0.5 時間
11	講義内容	Corona Virus and stress		
	該当到達目標	予習	Read handout	0.5 時間
	1,2,3	復習	Discuss in groups	0.5 時間
12	講義内容	A healthy lifestyle		
	該当到達目標	予習	Read handout	0.5 時間
	1,2,3	復習	Discuss in groups	0.5 時間
13	講義内容	Make a blog		
	該当到達目標	予習	Prepare blog	0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare blog	0.5 時間
14	講義内容	Blog presentation		
	該当到達目標	予習	Prepare blog	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review blogs in groups	0.5 時間
15	講義内容	Communication activities		
	該当到達目標	予習	Prepare for fun!	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review the activities	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	Syllabus may change a little.			

科目名		英語 IIA(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL002		
英文名		English IIA						講義形態	講義		
担当教員		Louise Arai									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		1 年	後期	選必・単位数	必修 1 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
			問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。 ② 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標		1. 情報医療を学ぶ学生にとって基本的な英語の語彙を獲得する。 2. 情報医療についての英語を読めるようになる。 3. 情報医療について英語で話せるようになる。									
使用教材		Everything will be provided by the instructor									
参考文献											
評価方法		Classroom participation and attitude 30%, Flipgrid videos 30%, Assignments 10%, Final report 30%									
課題・評価に対するフィードバック方法		Most results from videos, assignments and reports will be returned to students after marking.									
オフィスアワー (研究室)		授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)		louisebarnett75@yahoo.co.nz			
1	講義内容	Introductions, review course syllabus, general review and assessment, useful English									
	該当到達目標 1,2,3	予習	Look at syllabus and make name cards							0.5	時間
		復習	Self introductions and read Useful Classroom/online English							0.5	時間
2	講義内容	Learn how to write an email									
	該当到達目標 1,2,3	予習	Read handout							0.5	時間
		復習	Send email to teacher							0.5	時間
3	講義内容	Meeting people and Flipgrid introduction									
	該当到達目標 1,2,3	予習	Read handout							0.5	時間
		復習	Submit video on Fripgrid							0.5	時間
4	講義内容	Restaurant English and Movies									
	該当到達目標 1,2,3	予習	Read handout							0.5	時間
		復習	Introduce your favorite movie							0.5	時間
5	講義内容	Talking about events and festival									
	該当到達目標 1,2,3	予習	Prepare to talk about your favorite festival							0.5	時間
		復習	Introduce your favorite festival							0.5	時間
6	講義内容	Food Culture and Cooking in English									
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your favorite recipe							0.5	時間

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	1,2,3	復習	Introduce a healthy recipe	0.5 時間
7	講義内容	Emergencies		
	該当到達目標	予習	Think about emergency kit	0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare an emergency kit	0.5 時間
8	講義内容	Useful travel English		
	該当到達目標	予習	Read hand out. Be ready to talk about the best place you have visited	0.5 時間
	1,2,3	復習	Write about your favorite place	0.5 時間
9	講義内容	Talking about pets		
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about your pet or your favorite animal	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review the benefits of having pets	0.5 時間
10	講義内容	Online Friends		
	該当到達目標	予習	Be ready to talk about if you prefer online or in person communication	0.5 時間
	1,2,3	復習	Write about the benefits of both	0.5 時間
11	講義内容	Corona Virus and stress		
	該当到達目標	予習	Read handout	0.5 時間
	1,2,3	復習	Discuss in groups	0.5 時間
12	講義内容	A healthy lifestyle		
	該当到達目標	予習	Read handout	0.5 時間
	1,2,3	復習	Discuss in groups	0.5 時間
13	講義内容	Make a blog		
	該当到達目標	予習	Prepare blog	0.5 時間
	1,2,3	復習	Prepare blog	0.5 時間
14	講義内容	Blog presentation		
	該当到達目標	予習	Prepare blog	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review blogs in groups	0.5 時間
15	講義内容	Communication activities		
	該当到達目標	予習	Prepare for fun!	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review the activities	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	Syllabus may change a little.			

科目名	英語 IIB(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL002		
英文名	English IIB						講義形態	講義		
担当教員	Angela Karsten									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		必修 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	Course Objectives: 1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 英語の 4 技能と自信の向上 2. Gain experience in making use of technology while using English. デバイスや機器を利用した英語学習 3. Gain a better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language. 自己理解、人間関係、文化といったトピックスについて英語を通じて学ぶ 4. Practice of interactions and presentations in English 英語での相互作用とプレゼンテーションの練習									
	Overview of Course Content: (Topics to be presented and discussed in class. Target English sentences related to each topic will be practiced, while enhancing vocabulary, grammar and communication skills)									
	Weeks 1~4 ● TALKING ABOUT MYSELF 1 自己紹介 (Introduction). COURSE GUIDANCE DAY. コースガイダンスデー ● TALKING ABOUT MYSELF 2 自己紹介 (Review, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 1 人間関係 (Introduction, practice, production) ● HUMAN RELATIONSHIPS 2 人間関係 (Review, practice, production)									
	Weeks 5~8 ● FIRST ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日 ● INTERESTS 1 各人の興味について (Introduction, practice, production) ● INTERESTS 2 各人の興味について (Review, practice, production) ● INTERESTS 3 各人の興味について (Review, practice, production)									
	Weeks 9~12 ● MID-TERM ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日 ● HEALTH AND WELL-BEING 1 健康と福祉 (Introduction, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 2 健康と福祉 (Review, practice, production) ● HEALTH AND WELL-BEING 3 健康と福祉 (Review, practice, production)									
	Weeks 13~15 ● OPINIONS & REFLECTIONS 1 まとめ、フィードバック (Introduction, practice, production) ● FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー ● OPINIONS & REFLECTIONS 2 まとめ、フィードバック (Review, practice, production)									

到達目標		Attainment Target ● Being able to understand English vocabulary related to daily life at university; 大学生活に関わる英語の語彙が理解できる。 ● Being able to engage in simple English conversation related to common daily topics; 日常的な話題に関連した簡単な英会話ができる ● Being able to make effective use of online tools to improve English skills in general; オンラインツールを効果的に活用して、英語力全般を向上させることができる。 ● Being able to perform short presentations in English while using classroom tools; 教室のツールを使用しながら英語で短いプレゼンテーションを行うことができる。 ● Being able to recognize and effectively write the parts of an English paragraph; 英語の段落の各部分を認識し、効果的に書くことができる。 ● Being able to express opinions in simple English; 簡単な英語で意見を述べることができる。		
使用教材		Reference books 参考書籍: ※購入の必要はありません。 Topic Talk – David Martin Talk a Lot Book Two – David Martin Now You're Talking! – Chris Elvin <i>(You do not need to buy these books; content will be provided in C-Learning).</i>		
参考文献		https://www.allthingstopics.com https://www.allthingsgrammar.com		
評価方法		Active participation in class.....15% クラスへの積極的な参加 Participation in online questionnaires.....15% アンケートへの参加 Assignments & Presentations (2 X) 30% 月次レポートとプレゼンテーション(2X) Homework.....20% 大学の宿題 Final Report & Presentation (once in the end of the term) 20% 最終レポート、プレゼンテーション(学期末 1 回)		
課題・評価に対するフィードバック方法		● Self-assessment 自己評価 / Peer assessment ピアアセスメント ● Instructor's comments 教員によるコメント ● Assignments/Final Report assessment 課題、最終レポート評価		
オフィスアワー (研究室)		Please send me a message when you need. I will answer as soon as possible. 学生からの質問などは C-learning で受け付け、教員より回答する	メールアドレス (#→@)	Please message me through C-learning. C-learning 上(連絡・相談)を通して
1	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 1		
	該当到達目標	予習 ● Please read this syllabus carefully and send me any questions you may have. You can use C-learning ➡ messages for this. シラバスを読み、質問がある場合は C-learning(連絡・相談)から質問する。 ● Please take a look at C-learning using the English display (Change display) C-learning 上の英語ディスプレイを確認	1.5 時間	
	1,2,3,4	復習 ● Reread this syllabus. シラバスの再確認 ● Review vocabulary, phrases and sentences (check "Teaching Materials") C-learning (教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please do your weekly homework 毎週宿題をしてください	1.5 時間	

2	講義内容	TALKING ABOUT MYSELF 2		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	● Please answer the weekly questionnaire アンケート回答	1.5 時間
		復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning (教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
3	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 1		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
		復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる	1.5 時間
4	講義内容	HUMAN RELATIONSHIPS 2		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
		復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your First Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーション準備をすすめる	1.5 時間
5	講義内容	FIRST ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	● <u>First Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>課題提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
		復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
6	講義内容	INTERESTS 1		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
		復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your Mid-term Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
7	講義内容	INTERESTS 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間

	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your Mid-term Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーションへの取り組み ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み	1.5 時間
8	講義内容	INTERESTS 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your Mid-term Assignment/Presentation 課題、プレゼンテーションへの取り組み	1.5 時間
9	講義内容	MID-TERM ASSIGNMENT PRESENTATION DAY レポート発表日		
	該当到達目標	予習	● <u>MID-TERM Assignment Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>課題提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> ● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 1 /FINAL REPORT INSTRUCTIONS 最後のレポートの指示		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your weekly homework 宿題への取り組み ● Please review the instructions for the FINAL REPORT and start working on it 最終レポートについて内容確認し取り組み開始	1.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 2		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 ● Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
12	講義内容	HEALTH AND WELL-BEING 3		
	該当到達目標	予習	● Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	● Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習	1.5 時間

			- Please work on your weekly homework 宿題への取り組み - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	
13	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 1		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 - Please work on your FINAL REPORT 最終レポートへの取り組み	1.5 時間
14	講義内容	FINAL REPORT PRESENTATION DAY ファイナルレポートプレゼンテーションデー		
	該当到達目標	予習	<u>FINAL REPORT Deadline! Please send it to the instructor.</u> <u>最終レポート提出期限！(教員へ Web 上の提出)</u> - Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	- Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習 - Please work on your weekly homework. 宿題への取り組み	1.5 時間
15	講義内容	OPINIONS & REFLECTIONS 3		
	該当到達目標	予習	Please answer the weekly questionnaire (go to C-learning ➡ questionnaire) C-learning (アンケート)より、アンケート回答	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	Review vocabulary, phrases and sentences (check “Teaching Materials”) C-learning(教材倉庫)より、単語、表現、文の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	英語 IIC(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL002		
英文名	English IIC						講義形態	講義		
担当教員	岩田 道子									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代的トピックスを幅広く集めたテキストを使い、テーマごとに必要且つ十分な語彙を習得する。従来の英文読解を超えて、アイデアを把握するためのリーディング・スキルを獲得するとともに、ライティング等発信能力を高め、総合的な英語運用能力の向上を目指す。 ② 授業は基本的に演習形式で進め、適宜音声や映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。									
使用教材	Linda Lee & Erik Gundersen, <i>Select Readings Intermediate</i> , Oxford University Press, 2011.									
参考文献										
評価方法	期末試験 60% 平常点 40%(授業への参加度、課題など)の総合評価とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	添削のうえ返却する、またはクラス全体で問題解決する。									
オフィスアワー (研究室)	授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)		初回に指示する。			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	学習内容の確認						0.5 時間	
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習						0.5 時間	
2	講義内容	Chapter 1 ①								
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく						0.5 時間	
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習						0.5 時間	
3	講義内容	Chapter 1 ②								
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく						0.5 時間	
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習						0.5 時間	
4	講義内容	Chapter 2 ①								
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく						0.5 時間	
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習						0.5 時間	
5	講義内容	Chapter 2 ②								
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく						0.5 時間	
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習						0.5 時間	
6	講義内容	Chapter 3 ①								
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく						0.5 時間	

	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
7	講義内容	Chapter 3 ②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
8	講義内容	Chapter 4 ①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
9	講義内容	Chapter 4 ②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 5 ①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 5 ②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 6 ①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
13	講義内容	Chapter 6 ②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
14	講義内容	Chapter 7		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
15	講義内容	Review & Term Exam		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名	英語 IIIA(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL003		
英文名	English IIIA						講義形態	講義		
担当教員	山田 HAY 美由紀									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○	○	○		○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	英語会話で必要なアクティブラーニングに使える単語や文を指導する。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① この講義では、英語をツールとして、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。 ② 講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。									
到達目標	1. 英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 2. コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3. 協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。									
使用教材	課題により印刷教材を配布する。									
参考文献										
評価方法	講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況（30%）、課題発表（50%）、講義への参加（20%）を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション（参加度）も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。									
課題・評価に対するフィードバック方法	実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)		初回に指示する。			
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。								
	該当到達目標	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。						0.5 時間	
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。						0.5 時間	
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。								
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。						0.5 時間	
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。						0.5 時間	

3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間	
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間	
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間	
合計時間(予習・復習)					15 時間
備考	・ 講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・ コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。				

科目名	英語 IIIB(リテラシー)							科目ナンバリング	LAL003	
英文名	English IIIB							講義形態	講義	
担当教員	柳澤 順一									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数	必修 1 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。 ② 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。									
使用教材	New English Upgrade (Student Book 2), Steven Gershon & Chris Mares, Macmillan Language House (2008)									
参考文献										
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(出席率、発表課題、授業での発言など)の総合評価とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。期末試験は採点后、得点を通知する(通知方法については授業内で連絡する)。									
オフィスアワー(研究室)	授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)		jyanagisawa555#gmail.com			
1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching								
	該当到達目標	予習	特になし(語彙調べ)						0.5 時間	
	1,2,3	復習	プリント練習問題の解法						0.5 時間	
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法								
	該当到達目標	予習	特になし						0.5 時間	
	1,2,3	復習	プリント練習問題のパラグラフ作成						0.5 時間	
3	講義内容	Unit 1 Meeting people								
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス						0.5 時間	
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成						0.5 時間	
4	講義内容	Unit 2 Family and friends								
	該当到達目標	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス						0.5 時間	
	1,2,3	復習	Express yourself 別バージョン作成						0.5 時間	
5	講義内容	Unit 3 Lifestyles								

	該当到達目標 1,2,3	予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
6	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 4 Work, work, work!	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
7	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 5 Having fun	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
8	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit6 Review; Additional DVD-Watching (1)	
		予習	Review unit ディクテーション問題解法	0.5 時間
		復習	練習問題プリントの解法	0.5 時間
9	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Additional DVD-Watching (2)	
		予習	特になし(語彙調べ)	0.5 時間
		復習	練習問題プリントの解法	0.5 時間
10	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 7 Spend, spend, spend!	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
11	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 8 Looking back	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
12	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 9 Life's experiences	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
13	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 10 Around town	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成	0.5 時間
14	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 11 Looking ahead	
		予習	Listen in & Build up オーラル・プラクティス	0.5 時間
		復習	Express yourself 別バージョン作成、英検 CAT ポートフォリオ作成	0.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3	講義内容	Unit 12 Review	
		予習	Review unit ディクテーション問題解法	0.5 時間
		復習	Reading file 指定問題のスラッシュ・リーディング	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	PC/CALL 教室を使用する。データ保存用の USB メモリを必ず持参すること。左記以外の教室の場合、C-learning 上の指定ファイル(音声・テキスト)をダウンロードの上、携帯またはタブレット端末に入れて教室持参のこと。			

科目名	英語 IIIC(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL003		
英文名	English IIIC						講義形態	講義		
担当教員	高橋 栄作									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数	必修 1 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養			4	コミュニケーションスキル				
		健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○	○		○	○	○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① いろいろなトピックの英文を読んで、英語で意見交換し、批判的思考力を養成することを目標とする。 ② 英文に関して、さまざまな意見に触れながら、自分の意見を構築する。ペアであるいはグループで意見を論理的にまとめる。まとめた意見をもとに、グループでディスカッションをおこなう。									
到達目標	1. ICT を英語学習に利活用する方法を学ぶ。 2. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 3. 自立した英語学習者となる。									
使用教材	Let's Work with AI /Mitsuko Yukishige et al. (2022). Sanshusha.									
参考文献	授業内で紹介する。									
評価方法	向上的変化 10%、平常点 40%(確認テスト、提出物、出席状況など)、定期試験 50%を総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題などにはコメントを記して返却する。									
オフィスアワー (研究室)	授業終了後				メールアドレス (#→@)	eisaku#tcue.ac.jp				
1	講義内容	Introduction, Warm-up Activity								
	該当到達目標	1,2,3	予習	教科書の Contents などを読む。					1 時間	
			復習	Warm-up Activity のふりかえり					1 時間	
2	講義内容	Unit 1 Extraterrestrials (1)								
	該当到達目標	1,2,3	予習	Unit 1 Extraterrestrials の英文を読み、課題に取り組む。					1 時間	
			復習	ノートで今時の内容を確認する。					1 時間	
3	講義内容	Unit 1 Extraterrestrials (2)								
	該当到達目標	1,2,3	予習	Unit 1 Extraterrestrials の英文について意見をまとめる。					1 時間	
			復習	ノートで今時の内容を確認する。					1 時間	
4	講義内容	Unit 3 Gaming Disorder (1)								
	該当到達目標	1,2,3	予習	Unit 3 Gaming Disorder の英文を読み疑問点を明らかにする。					1 時間	
			復習	ノートで今時の内容を確認する。					1 時間	
5	講義内容	Unit 3 Gaming Disorder (2)								
	該当到達目標	1,2,3	予習	Unit 3 Gaming Disorder の英文について意見をまとめる。					1 時間	
			復習	ノートで今時の内容を確認する。					1 時間	
6	講義内容	Unit 5 Teleworking (1)								
	該当到達目標		予習	Unit 5 Teleworking の英文を読み疑問点を明らかにする。					1 時間	

	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
7	講義内容	Unit 5 Teleworking (2)		
	該当到達目標	予習	Unit 5 Teleworking の英文について意見をまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
8	講義内容	Unit 6 Human Coexistence with AI (1)		
	該当到達目標	予習	Unit 6 Human Coexistence with AI の英文を読み疑問点を明らかにする。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
9	講義内容	Unit 6 Human Coexistence with AI (2)		
	該当到達目標	予習	Unit 6 Human Coexistence with AI の英文について意見をまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
10	講義内容	英語の音について		
	該当到達目標	予習	英語の音について疑問点を明らかにする。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
11	講義内容	Unit 9 Facial Recognition Systems (1)		
	該当到達目標	予習	Unit 9 Facial Recognition Systems の英文を読み疑問点を明らかにする。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
12	講義内容	Unit 9 Facial Recognition Systems (2)		
	該当到達目標	予習	Unit 9 Facial Recognition Systems の英文について意見をまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
13	講義内容	Unit 12 Revived Brains (1)		
	該当到達目標	予習	Unit 12 Revived Brains の英文を読み疑問点を明らかにする。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
14	講義内容	Unit 12 Revived Brains (2)		
	該当到達目標	予習	Unit 12 Revived Brains の英文について意見をまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
15	講義内容	Unit 14 Renewable Energy in Japan		
	該当到達目標	予習	Unit 14 Renewable Energy in Japan の英文を読み疑問点を明らかにする。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートで今時の内容を確認する。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	英語を学習する意欲を持って出席してください。			

科目名	英語 IVA(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL004		
英文名	English IVA						講義形態	講義		
担当教員	岡田 和子									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		必修 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 ② 授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。									
到達目標	1. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 2. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 3. 公衆衛生に関する基礎知識を得る									
使用教材	『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂									
参考文献	1. 『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2. 『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018									
評価方法	平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	高カロリーと健康(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する					0.5	時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する					0.5	時間	
2	講義内容	高カロリーと健康(2)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する					0.5	時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する					0.5	時間	
3	講義内容	伝染病(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する					0.5	時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する					0.5	時間	
4	講義内容	伝染病(2)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する					0.5	時間	
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する					0.5	時間	
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)								
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する					0.5	時間	

	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機		
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IVB(リテラシー)					科目ナンバリング	LAB004			
英文名		English IVB					講義形態	講義			
担当教員		鈴木 文也									
科目に関連した実務経験		英語教諭として中学校・高等学校に勤務(経験)									
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		6	豊かな人間性と幅広い教養			4	コミュニケーションスキル				
			健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
			問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○	○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① この授業は、2 年間の教養英語の仕上げとして、英語 4 技能すべてに焦点をあてる。大学生にふさわしいレベルの、中身の濃い主張を発信することを目指す。 ② 具体的には、自力で読んだり聞いたりしたものをもとに、ニュートラル機械翻訳(NMT)も活用した上で、英語による意見交換や発表などを行う。									
到達目標		1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を修得する。 2. ニュートラル機械翻訳(NMT)の効果的な活用法を獲得する。 3. 中身の濃い発信をするためのスピーキング・ライティングの英語運用能力を高める。■									
使用教材		Let's Work with AI! - Machine Translation as a Tool for Discussion、三修社、2022、1,800 円＋税									
参考文献		参考となる文献はその都度紹介する。									
評価方法		授業参加(10%)、単語テスト(15%)、リアクションペーパー(15%)、発表(60%)から総合的に評価する。発表は複数回行う。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		リアクションペーパーはコメント・添削・評価の上返却する。									
オフィスアワー (研究室)		火曜日 2 限、木曜日 2 限 (9 号館 306 研究室)				メールアドレス (#→@)		suzuki-b#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	Guidance, Unit 2 Issue Fatigue on Womenomics ①									
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する							0.5 時間	
	1,2,3	復習	講義の目標、学位授与方針、評価方法などを確認する。 テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。							0.5 時間	
2	講義内容	Unit 2 Issue Fatigue on Womenomics ②									
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。							0.5 時間	
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。							0.5 時間	
3	講義内容	Unit 3 Gaming Disorder ①									
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。							0.5 時間	
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。							0.5 時間	
4	講義内容	Unit 3 Gaming Disorder ②									
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。							0.5 時間	
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。							0.5 時間	
5	講義内容	Unit 5 Teleworking ①									
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。							0.5 時間	

	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
6	講義内容	Unit 5 Teleworking ②		
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
7	講義内容	Unit 6 Human Coexistence with AI ①		
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
8	講義内容	Unit 6 Human Coexistence with AI ②		
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 7 Fake News ①		
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
10	講義内容	Unit 7 Fake News ②		
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
11	講義内容	Unit 9 Facial Recognition ①		
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
12	講義内容	Unit 9 Facial Recognition ②		
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
13	講義内容	Unit 11 Equal Pay for Contract Workers? ①		
	該当到達目標	予習	単語テストの準備をし、Warm up と Before You Read に取り組む。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
14	講義内容	Unit 11 Equal Pay for Contract Workers? ②		
	該当到達目標	予習	指示に基づいて、自分意見を主張するための準備をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題などで各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
15	講義内容	Review		
	該当到達目標	予習	講義で扱ったすべての Unit の総まとめをする。■	0.5 時間
	1,2,3	復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	- 毎回の授業では、ニュートラル機械翻訳(NMT)を行うので、各自で十分に充電したデバイスを持参すること。 - 質問はメールでも受け付ける。 - 授業は、アクティブラーニングの方法を用いて行うので、ペア・グループ・全体での発表などの活動では、積極的に参加すること。 - 資料の配布や課題の提出には C-learning を用いる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	英語 IVC(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL004		
英文名	English IVC						講義形態	講義		
担当教員	山田 HAY 美由紀									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○	○	○		○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	英語会話で必要なアクティブラーニングに使える単語や文を指導する。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① この講義では、英語をツールとして、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。 ② 講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。									
到達目標	1. 英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 2. コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3. 協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。									
使用教材	課題により印刷教材を配布する。									
参考文献										
評価方法	講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況（30％）、課題発表（50％）、講義への参加（20％）を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション（参加度）も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。									
課題・評価に対するフィードバック方法	実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	授業の前後に対応する。				メールアドレス (#→@)	初回に指示する。				
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。								
	該当到達目標	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。						0.5 時間	
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。						0.5 時間	
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。								
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。						0.5 時間	
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。						0.5 時間	

3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間	
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間	
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明			
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。英語押韻について			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。			
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間	
		復習	コミュニケーションのためのキーマーズを練習する。	0.5 時間	
合計時間(予習・復習)					15 時間
備考	・ 講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・ コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。				

科目名	Integrated English I (リテラシー)							科目ナンバリング	LAL005	
英文名	Integrated English I							講義形態	講義	
担当教員	クリストファー・ターン									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標としている。									
①講義の目標	② 教員より、コミュニケーションをとる必要がある様々な場面設定が提示される。受講生はその対応を考え、実践演習を行う。その後課題を分析し、再度実践演習を行う。また、学生生活で学んだ英語をまとめてノートを作成する。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2. 海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3. プレゼンテーションの実践演習を行う また海外英語研修に向けた事前準備や説明を行う。									
使用教材	特に定めない。									
参考文献										
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物にはコメントをつけて返却する。個人面談を行う。									
オフィスアワー (研究室)	火曜 3 限、金曜 3 限 (1 号館 315 研究室)				メールアドレス (# → @)	tarn#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	What is communication?								
	該当到達目標	予習	なし							0.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容について要約する							0.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to Know Yourself								
	該当到達目標	予習	自分自身について書く							0.5 時間
	1,2,3	復習	自分のインターナショナル・スキルについて書く							0.5 時間
3	講義内容	Social Skills								
	該当到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う							0.5 時間
	1,2,3	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く							0.5 時間
4	講義内容	The Power of Imagination and Innovation								
	該当到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由を挙げる							0.5 時間
	1,2,3	復習	その国について調べる							0.5 時間
5	講義内容	Learning to Control a Conversation								
	該当到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどういくコミュニケーションが有効か考える							0.5 時間
	1,2,3	復習	ホストファミリーとの会話例を考える							0.5 時間

6	講義内容	Listening Strategies			
	該当到達目標 1,2,3	予習	訪問国の英語発音について調べる	0.5 時間	
		復習	訪問国の短編映画やアニメを見る	0.5 時間	
7	講義内容	Basic English: Self Introduction and First Step for Communication in English			
	該当到達目標 1,2,3	予習	自己紹介文を書く	0.5 時間	
		復習	自己紹介文を仕上げる	0.5 時間	
8	講義内容	Create your own English Database			
	該当到達目標 1,2,3	予習	ノートの準備をする	0.5 時間	
		復習	English Database を作成する	0.5 時間	
9	講義内容	Meet a Foreigner			
	該当到達目標 1,2,3	予習	外国人ゲストとの会話を考える	0.5 時間	
		復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける	0.5 時間	
10	講義内容	Speech Basics: Talking to Audience			
	該当到達目標 1,2,3	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる	0.5 時間	
		復習	大学紹介についてのパワーポイントを作成する	0.5 時間	
11	講義内容	Presentation 1			
	該当到達目標 1,2,3	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを作成する	0.5 時間	
		復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間	
12	講義内容	Presentation 2			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テーマについてのプレゼンテーションの準備をする	0.5 時間	
		復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間	
13	講義内容	Make your own Textbook 1			
	該当到達目標 1,2,3	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間	
		復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間	
14	講義内容	Do Group Work to Improve your Textbook			
	該当到達目標 1,2,3	予習	グループごとに各自のテキストブックについて話し合い改善する	0.5 時間	
		復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く	0.5 時間	
15	講義内容	Conclusion			
	該当到達目標 1,2,3	予習	これまでの授業の復習をする	0.5 時間	
		復習	全講義を通して学んだことをレポートにする	0.5 時間	
合計時間(予習・復習)					15 時間
備考	本講義は海外英語研修参加者を対象とする。予習復習時間については各自補完すること。				

科目名	Integrated English II（リテラシー）							科目ナンバリング	LAL006	
英文名	Integrated English II							講義形態	講義	
担当教員	高橋 栄作									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	6	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連										
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
		○				○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 英語の基礎文法事項を整理し、語彙力をつけながら TOEIC®テスト受験に必要とされる基礎的な英語力養成を目指す。 ② そのため授業では、TOEIC®テスト形式の問題演習を中心に、英語の基礎力を主にリスニングとリーディングの面から強化する。練習問題の音声をリピートしたり、スクリプトを音読したり、耳に英語が入った瞬間に理解できるようにインプットする。リーディングでは正解不正解の確認だけでなく、解答の根拠を理解し、応用可能な解法を身につける。									
到達目標	1. TOEIC®テストの形式と内容を理解できる。 2. 語彙力が身につく。 3. 文法事項を理解できる。 4. リスニング力が身につく。 5. リーディング力が身につく。									
使用教材	Ayako Yokogawa and Tony Cook. (2016). <i>Level-up Trainer for the TOEIC® TEST</i> . 東京:センゲージラーニング.									
参考文献	授業内で紹介する。									
評価方法	授業への参加度、発表、課題(40%)、期末試験(60%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解説をする。									
オフィスアワー (研究室)	授業終了後				メールアドレス (#→@)	eisaku #tcue.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス・TOEIC テストとは								
	該当到達目標	予習	教科書の「はじめに」「目次」「本書の使い方」「シラバス」などの内容を読んで、講義の目標などを理解する。							0.5 時間
	1	復習	Pre-test を解いて現在の実力を把握しよう。							0.5 時間
2	講義内容	Unit 1: テスト形式を知る								
	該当到達目標	予習	Unit 1 の語彙の意味を調べる。							0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 1 の練習問題の内容を理解する。							0.5 時間
3	講義内容	Unit 2: 基本戦略①								
	該当到達目標	予習	Unit 2 の語彙の意味を調べる。							0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 2 の練習問題の内容を理解する。							0.5 時間
4	講義内容	Unit 3: 基本戦略②								

	該当到達目標 2,3,4,5	予習	Unit 3 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 3 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
5	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 4: 英文の基本構造を見抜く		
		予習	Unit 4 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 4 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
6	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 5: 解答根拠の登場順		
		予習	Unit 5 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 5 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
7	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 6: 正解の言い換えパターンを知る		
		予習	Unit 6 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 6 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
8	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4,5	Units 1-6 のまとめ		
		予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	0.5 時間
		復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
9	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 7: 機能疑問文を聞き取る		
		予習	Unit 7 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 7 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
10	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 8: 動詞の時制を見極める		
		予習	Unit 8 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 8 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
11	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 9: 接続詞 vs. 前置詞		
		予習	Unit 9 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 9 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
12	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 10: 複数パッセージ問題の攻略		
		予習	Unit 10 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 10 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
13	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 11: 接続副詞に強くなる		
		予習	Unit 11 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 11 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
14	講義内容 該当到達目標 2,3,4,5	Unit 12: NOT 型設問のコツ		
		予習	Unit 12 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
		復習	Unit 12 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
15	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4,5	Units 7-12 のまとめ		
		予習	Post-test の問題を解く。	0.5 時間
		復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		ドイツ語(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL007		
英文名		German						講義形態	講義		
担当教員		出雲 春明									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		1	問題解決力								
SDGs との関連		7131415									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○						○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① ドイツの文化や取り組み、また基礎的な文法を知ることを通じて、多様な価値観への関心を深め、日本の文化と比較することで、自己理解の参照項とする。 ② C-learning「教材倉庫」に公開する資料などを用いて講義を実施する。文化などに関しては、学生による調査やそれにもとづいたディスカッションを組み込みながら行う。語学の部分に関しては、ドイツ語でのコミュニケーションに最低限必要な文法や挨拶などの定型表現を練習する。毎回、C-learning の「ドリル」「小テスト」で知識の定着を図る。									
到達目標		1. ドイツの文化や現代の取り組みを知り、自らと比較し、意見を述べることができる。 2. ドイツ語の初級文法を用いて挨拶や平易な表現をすることができる。									
使用教材		C-learning「教材倉庫」に予習・復習資料を公開する。									
参考文献		なし									
評価方法		授業への参加態度(授業内での課題の実施状況など)・・・30% 小テストなどの課題、確認テスト・・・70%									
課題・評価に対するフィードバック方法		C-learning「ドリル」「小テスト」「アンケート」「レポート」などに対して解説、コメントを行う。									
オフィスアワー (研究室)		1 号館 511 研究室 面談希望の場合は C-learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。				メールアドレス (#→@)		izumo-s#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンスー日本とドイツ、外来語としてのドイツ語とそのアルファベットー									
	該当到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。教材倉庫の予習用資料に目を通しておく							1.5 時間	
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。外来語としてのドイツ語について調べる。							1.5 時間	
2	講義内容	ドイツ語(1)母音の発音①、あいさつ ドイツ人の精神における「森」									
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。							1.5 時間	
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの森林について調べる							1.5 時間	
3	講義内容	ドイツ語(2)母音の発音②、お店での注文 ドイツの食事、料理									
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。							1.5 時間	
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの料理について調べる。							1.5 時間	
4	講義内容	ドイツ語(3)子音の発音① 首都ベルリン、ユダヤ人慰霊碑、ベルリンの壁									
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。							1.5 時間	

	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。現代ドイツが直面した歴史について調べてみる。	1.5 時間
5	講義内容	ドイツ語(4)子音の発音② オクトーバーフェスト		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。オクトーバーフェストと日本のイベントについて調べてみる。	1.5 時間
6	講義内容	ドイツ語(5)子音の発音③ 第三の都市ミュンヘン		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ミュンヘンについて調べてみる。	1.5 時間
7	講義内容	ドイツ語(6)ドイツ語の文の作り方(一般動詞①) 第二の都市ハンブルク		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ハンブルクについて調べてみる。	1.5 時間
8	講義内容	ドイツ語(7)ドイツ語の文の作り方(一般動詞②) ドイツの気候・住居		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの住居について調べてみる。	1.5 時間
9	講義内容	ドイツ語(8)ドイツ語の文の作り方(haben) ドイツの城・宮殿・美意識		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの建築文化について調べてみる。	1.5 時間
10	講義内容	ドイツ語(9)ドイツ語の文の作り方(sein 動詞①) ドイツの美術		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツにおけるアートについて調べてみる。	1.5 時間
11	講義内容	ドイツ語(10)ドイツ語の文の作り方(sein 動詞②) ドイツの音楽 クラシック、テクノ、ラブパレード		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの音楽について調べてみる。	1.5 時間
12	講義内容	ドイツ語(11)自己紹介① ドイツのビオ食品		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツのビオの認定基準について調べてみる。	1.5 時間
13	講義内容	ドイツの年末年始		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。ドイツの年末年始について調べてみる。	1.5 時間
14	講義内容	ドイツ語(12)自己紹介② ドイツにおけるエコ		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	ドリル、小テストで復習する。環境先進国ドイツの取り組みを調べてみる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	教材倉庫の予習用資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	必要に応じて、補習課題を実施する。ドイツに対する関心を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回、授業の前週の水曜日に、C-learning「教材倉庫」に予習用の教材をアップする。授業終了後は、復習用の教材やドリル・小テストを用いて知識の定着を図ること。 詳細な成績評価の方法や、課題などについての連絡事項は C-learning「ニュース」に公開するので、各自でよく確認しておくこと。			

科目名		フランス語(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL008		
英文名		French						講義形態	講義		
担当教員		松島 洋子									
科目に関連した実務経験		医療通訳・翻訳(産婦人科、形成外科、外科)									
学年・開講期		1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		4	豊かな人間性と幅広い教養				5	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
			問題解決力								
SDGs との関連		417									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○		○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		フランス語を通じて世界に関心を持ち、豊かな人間性を育む。 ① フランスの文化や習慣に触れ、自らと比較し、多様な価値観への関心を深める。 ② 毎回 1 つのテーマを中心に、「伝わるフランス語」を学ぶ。文法は会話に取り入れ、生徒が楽しんで身に付けられるように進める。									
到達目標		1. フランス語で簡単な会話ができる■ 2. フランス語検定 4 級相当の文法を理解する■									
使用教材		①今すぐ話せる！いちばんはじめのフランス語単語・CD-ROM 付き 東進ブック ISBN978-4-89085-719-7 ②フランス語をひとつひとつわかりやすく。―超基礎からの個人授業 学研教育出版 ISBN978-4-05-303813-5									
参考文献											
評価方法		授業内の課題及び期末テストにて文法理解度を確認 50%、 授業内の発言・質問・ロールプレイ等 50%									
課題・評価に対するフィードバック方法		授業内で取り組んだ課題とテストをチェックして返却する。									
オフィスアワー (研究室)		質問等は、開始前もしくは終了後に応じる。				メールアドレス		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	フランス語の基本／アルファベットの発音、発音記号、挨拶、仏語の特性■									
	該当到達目標	予習	第 1 回で取り組む単元を CD で聞いておく。						0.5 時間		
	1,2	復習	第 1 回で取り組んだ単元を再確認しておく。						0.5 時間		
2	講義内容	名詞／男性名詞と女性名詞の単数形、複数形■									
	該当到達目標	予習	第 2 回で取り組む単元を CD で聞いておく。						0.5 時間		
	1,2	復習	第 2 回で取り組んだ単元を再確認しておく。						0.5 時間		
3	講義内容	動詞の活用① フランス語の基礎となる動詞／名詞「性格」「国」■									
	該当到達目標	予習	第 3 回で取り組む単元を CD で聞いておく。						0.5 時間		
	1,2	復習	第 3 回で取り組んだ単元を再確認しておく。						0.5 時間		
4	講義内容	動詞の活用② 規則動詞と不規則動詞 動詞 avoir の使い方■									
	該当到達目標	予習	第 4 回で取り組む単元を CD で聞いておく。						0.5 時間		
	1,2	復習	第 4 回で取り組んだ単元を再確認しておく。						0.5 時間		
5	講義内容	動詞の活用③ 不規則動詞「GO」の意味を持つ「aller」／場所につける前置詞■									

	該当到達目標	予習	第5回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第5回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
6	講義内容	所有形容詞「私の」「彼の」／名詞「家族・友人・身の回りのもの」■		
	該当到達目標	予習	第6回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第6回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
7	講義内容	否定文の作り方／動詞「話す」、名詞「職業」■		
	該当到達目標	予習	第7回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第7回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
8	講義内容	動詞の活用④「ER 動詞」の使い方／数えられる名詞と数えられない名詞■		
	該当到達目標	予習	第8回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第8回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
9	講義内容	疑問文①「はい・いいえ」で答える疑問文と具体的な答えを求める疑問文■		
	該当到達目標	予習	第9回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第9回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
10	講義内容	動詞の活用⑤「faire～する」の使い方／日常生活「宿題、家事等」■		
	該当到達目標	予習	第10回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第10回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
11	講義内容	疑問文②「どこですか?」「誰ですか?」／動詞「～を知っている」、人を紹介する■		
	該当到達目標	予習	第11回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第11回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
12	講義内容	疑問文③ 方向、位置を尋ねる／方向を示す名詞「上下」「左右」等■		
	該当到達目標	予習	第12回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第12回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
13	講義内容	動詞の活用⑥「faire」の使い方・応用／名詞「スポーツ」■		
	該当到達目標	予習	第13回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第13回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
14	講義内容	時計の読み方／時間、曜日、月、季節■		
	該当到達目標	予習	第14回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第14回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
15	講義内容	動詞の活用⑦「○○が欲しい」／「○○ができる」基礎～応用		
	該当到達目標	予習	第15回で取り組む単元をCDで聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第15回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名		ポルトガル語(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL009		
英文名		Portuguese						講義形態	講義		
担当教員		アンジェラ カルステン									
科目に関連した実務経験		第二言語としてのポルトガル語教授、25 年の経験									
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養				5	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
			問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○						○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		ロールプレイングと教育的ゲーム									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① クラスでは、基本的なポルトガル語を紹介し、練習しながら、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、および基本的な文法知識の習得と語学スキルの向上を目指す。 ② クラスは、ディスカッションやビデオ視聴による日常会話に役立つポルトガル語の導入と、練習で構成され、その後、ロールプレイ、教育的ゲーム、グループ活動を通じて実用性を高める。									
到達目標		1. 初級レベルの日常会話■ 2. 各回に、ポルトガルの文化に触れる時間を設け、自身の文化と比較し、多様な価値観への関心を深める。■									
使用教材		教材プリント									
参考文献		ブラジル人による生きたブラジルポルトガル語著者: Silvia Noriko Kaneyasu									
評価方法		授業への積極的な参加ー15% アンケートへの参加ー15% 宿題ー20% 中間グループプレゼンテーションー25% 最終グループプレゼンテーションー25%									
課題・評価に対するフィードバック方法		教員は学生の授業活動をチェックしながら、実践的な活動や内容についてアドバイスや指導を行う。									
オフィスアワー (研究室)		授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	コースとクラスの紹介									
	該当到達目標 1,2	予習	シラバスを読み、疑問点があればメモしておく。							1.5 時間	
		復習	1. 授業で練習した自己紹介や挨拶を覚える。 2. ビデオを見てポルトガル語のアルファベットを覚える。							1.5 時間	
2	講義内容	ブラジルについて 自分自身について話す。(ポルトガル語の“Be”動詞 – <i>ser/estar</i>) ■									
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。							1.5 時間	
		復習	自己紹介文を見直す。							1.5 時間	

3	講義内容	家族について(私の、あなたの、彼女の、彼の... <i>meu, seu, dele, dela...</i>)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。	1.5 時間
		復習	家族についての話し、文を見直す。	1.5 時間
4	講義内容	数字、曜日、月、天気、について■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	ポルトガル語で曜日、1 から 10 までの数字、月を学ぶ。	1.5 時間
5	講義内容	好き嫌いについて 動詞「gostar」(ポルトガル語で色、食べ物、飲み物など)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	好きなことや嫌いなことについての話し方、文を見直す。	1.5 時間
6	講義内容	物事の説明(形容詞、反対語)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	ポルトガル語の便利な形容詞とその反対語を見直す。	1.5 時間
7	講義内容	日常の活動について(よく使われる規則動詞)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	動詞「comprar」、「estudar」、「trabalhar」、「comer」、「beber」、「escrever」、 partir、abrir の活用と使い方の練習。	1.5 時間
8	講義内容	これまでの内容の復習、中間グループ発表■		
	該当到達目標 1,2	予習	中間グループプレゼンテーション準備。	1.5 時間
		復習	授業で示される重要語彙の復習。	1.5 時間
9	講義内容	疑問詞の使い方(Como? Onde?, O que? Quem?...)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	ポルトガル語での質問文を見直す。(どのように、いつ、どこで、誰...)	1.5 時間
10	講義内容	時間について■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	ポルトガル語で時間を言う練習をする。	1.5 時間
11	講義内容	ポルトガル語の動詞「estar」の使い方(前置詞、動詞の動名詞形)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	動詞の継続時制を使う練習をする。	1.5 時間
12	講義内容	私たちが持っているもの、欲しいもの、やっていること(不規則動詞「ter」、「querer」、「fazer」)■		
	該当到達目標 1,2	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
		復習	あなたが持っているもの、欲しいもの、やっていることについて書き、話す練習をする。	1.5 時間
13	講義内容	予定について(動詞「行く」と「来る」－「ir」と「vir」)■		

	該当到達目標	予習	宿題、アンケートの実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
	1,2	復習	予定の短いリストを書き、読む練習をする。	1.5 時間
14	講義内容	知っていること、できることについて(動詞「saber」と「conhecer」の使い方)		
	該当到達目標	予習	宿題、アンケート実施。 質問があればメモしておく。	1.5 時間
	1,2	復習	自分にできることについて書き、話す練習をする。	1.5 時間
15	講義内容	プレゼンテーション クラス全体でのディスカッション■		
	該当到達目標	予習	グループプレゼンテーションの準備。	1.5 時間
	1,2	復習	学習した動詞を使用しながら自分自身について話す練習をする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		中国語(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL010		
英文名		Chinese						講義形態	講義		
担当教員		渡邊 賢									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		1	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能				6	生涯学習力			
			問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。 ② 1)授業は全 15 回を通じて、音声および表記の反復学習を徹底する形で展開し、中国語基礎学力の定着を目指す。失敗を恐れず、積極的に楽しく学んでほしい。外国語学習には習慣性となる程度の忍耐が必要である。学生諸君には外国語の学習を通じて、習慣的学習や知的忍耐力を身に付けられたい。 2)毎回、中国の文化に触れる時間を設け、自らと比較し、多様な価値観への関心を深める。									
到達目標		1. 中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2. 中国語音を表記する音声記号を習得する。 3. 中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4. 中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5. 日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。									
使用教材		教科書『大学一年生のための合格中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087									
参考文献											
評価方法		毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。									
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。									
オフィスアワー (研究室)		授業開始前もしくは授業終了後に応じる。				メールアドレス		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	ガイダンス									
	該当到達目標 1	予習	シラバス内容、教科書第 8 頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。							1 時間	
		復習	不要							0 時間	
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。									
	該当到達目標 2,3,4	予習	不要							0 時間	
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。							1 時間	
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。									
	該当到達目標	予習	不要							0 時間	

	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。	1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日10分程度、発音する。	1 時間
5	講義内容	教科書第1課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第1課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第4課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第10課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第11課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第11課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				26 時間
備考	復習は机に向かうには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		ハングル語(リテラシー)						科目ナンバリング	LAL011		
英文名		Korean						講義形態	講義		
担当教員		丁 美貞									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		3	豊かな人間性と幅広い教養				4	コミュニケーションスキル			
			健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		3	問題解決力								
SDGs との関連											
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○						
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要		① はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。									
①講義の目標											
②講義の実施方法		② ハングルの文字と単語の書き方、読み方から発音練習や会話表現の練習を行う。毎回、韓国の文化に触れる時間を設け、自らと比較し、多様な価値観への関心を深める。									
到達目標		1. 正確なハングル文字の表記及び発音を習得する。 2. 합니다体の叙述・疑問に関する表現を習得する。 3. 100 語程度を用いた簡単な挨拶や自己紹介などの基本文型を習得する。 4. 日常生活でよく使われる基本的な表現や言い回しを理解し、簡単な会話ができる。									
使用教材		朴庚卿,仲島淳子,金美順,徐明煥(2023)『ワンアクション韓国語』朝日出版社									
参考文献		斉藤明美(2005)『ことばと文化の日韓比較―相互理解をめざして』世界思想社									
評価方法		授業への参加度 10%、課題・小テスト 30%、定期試験 60%									
課題・評価に対するフィードバック方法		課題にはコメントを付けて返却する。小テストを毎回返却し解説する。									
オフィスアワー (研究室)		質問等がある場合は授業の前後に応じる。もしくはメールで連絡すること。				メールアドレス (#→@)		mjjeong621#gmail.com			
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、基本母音									
	該当到達目標	予習	テキストを用意し、2 頁～6 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意すること。						1.5 時間		
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。						1.5 時間		
2	講義内容	基本子音 (平音、激音、濃音)									
	該当到達目標	予習	7 頁～17 頁を読んでくる。						1.5 時間		
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。						1.5 時間		
3	講義内容	複合母音									
	該当到達目標	予習	18 頁～21 頁を読んでくる。						1.5 時間		
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。						1.5 時間		
4	講義内容	終声(パッチム)									
	該当到達目標	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。						1.5 時間		
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。						1.5 時間		
5	講義内容	発音の変化									

	該到達目標 1	予習	26 頁～30 頁を読んでくる。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	基礎まとめ、日本語のハングル表記、ハングル入力(メール)		
	該到達目標 1	予習	31 頁～32 頁を読んでくる。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	「挨拶をする」입니다、助詞「는/은」、助詞「도」、라고/이라고 합니다		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	32 頁～35 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	「挨拶をする」입니다、助詞「는/은」、助詞「도」、라고/이라고 합니다、作文練習		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	34 頁～43 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	「状況を説明する」합니다体、助詞「를/을」		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	44 頁～47 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	「状況を説明する」助詞「에서」、助詞「에」(位置)、否定形「지 않다」、作文練習		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	48 頁～53 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	「買い物をする」指示語、助詞「가/이」、助詞「와/과」		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	54 頁～59 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	「買い物をする」漢数詞、가/이 아니다、作文練習		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	60 頁～65 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	「予定を述べる」固有数詞、助詞「에」(時間)、助詞「에」(方向)		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	66 頁～71 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	「予定を述べる」助詞「에서/부터～까지」、否定形「안」、를/을 좋아합니다、作文練習		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	72 頁～77 頁を読んでくる。単語及び本文の内容を確認すること。	1.5 時間
		復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該到達目標 1,2,3,4	予習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
		復習		1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回課題や小テストを行うため必ず予習・復習を行うこと。音源を活用しテキストの読みを練習すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。			

科目名	情報リテラシー I (リテラシー)						科目ナンバリング	LAL012		
英文名	Information Literacy I						講義形態	講義		
担当教員	鈴木 亮二									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格	データサイエンス・AI 実務パスポート 上級データサイエンス・AI 実務パスポート									
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④ ⑤									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 大学での学習に必要なパソコンを利用に関わる基礎的技能を身につけることを目標とする。 ② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. 書誌的事項を過不足なく記載でき、参考資料や引用文献を適切に取り扱い、レポートが作成できる。 2. メールや SNS を正しく扱うことができる。 3. 授業における調べものやレポート作成に使用するパソコンを適切に取り扱うことができる。 4. 大学のメールや学生ポータルサイト、学習支援サイトを適切に利用できる。 5. 情報倫理やアクセシビリティを理解し、パソコンや情報機器を利用できる。									
使用教材	配布資料									
参考文献										
評価方法	単元毎のテストを行い、合計点を 100 点に換算して、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー (研究室)	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス (#→@)	kohata#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	レポートの書き方 ①レポートの記載事項 ②参考文献・資料引用の注意点 ③知的財産権・著作権の取り扱い上の注意点								
		該当到達目標	1	予習 1 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間	
	1	復習	1 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		
2	講義内容	メール・SNS 利用のマナーと注意点 ①メールの書き方(件名、本文の書き方、TO/CC/BCC の使い分け、署名) ②ファイルの添付/添付ファイルのダウンロード ③不審メールへの対処 ④SNS 利用上の注意(マナー、リスク、注意事項) ⑤クラウドサービス利用上の注意事項								
		該当到達目標	2	予習 2 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間	
	2.4	復習	2 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		

3	講義内容	Widows PC の操作 1(基本操作編) ①起動、シャットダウン、スリープ、ロック、サインアウト/サインイン ②文字入力とカナ漢字変換 ③ネットワークの接続設定(無線/有線)と Web サイトへの接続 ④Web ブラウザの便利機能とセキュリティ管理		
	該当到達目標 3	予習	3 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	3 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	Widows PC の操作 2(エクスプローラ操作編) ①各種表示機能の ON/OFF ②フォルダ・ファイル操作に関する基本機能と応用機能 ③ファイル情報の表示と検索 ④ショートカットの作成		
	該当到達目標 3	予習	4 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	4 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	Widows PC の操作 3(実用操作編) ①画面キャプチャ、アプリ強制終了、スタートアップ設定 ②Windows の各種設定とメンテナンス ③アプリのインストール/アンインストール、関連付け、メニュー登録 ④パーティションの作成 ⑤クラウドの利用(OneDrive、GoogleDrive)		
	該当到達目標 3	予習	5 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	5 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	G メールの設定と利用 ①本学メールシステムへのログイン・ログアウト ②画面構成(受信トレイ・送信済み・迷惑メール・ゴミ箱) ③メールの作成・送信(To/Cc/Bcc)・返信・転送 ④署名の設定、ファイルの添付 ⑤実践(履修者同士での練習)		
	該当到達目標 2,4	予習	6 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	6 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	情報の倫理とモラル ①個人情報保護と情報倫理 ②情報利用のモラル		
	該当到達目標 5	予習	7 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	7 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	情報通信のアクセシビリティ ①アクセシビリティについて ②キーボード補助機能・マウス補助機能・見やすさの機能・他機能 ③音声認識アプリ・会話補助装置・意思伝達装置・他		
	該当到達目標 5	予習	8 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	8 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考				

科目名	情報リテラシーⅡ（リテラシー）							科目ナンバリング	LAL013	
英文名	Information LiteracyⅡ							講義形態	講義	
担当教員	高橋 大志、石川 雅弘									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		選択 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 大学での学習に必要なパソコンを利用に関わる基礎的スキルを身につけることを目標とする。 ② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. 情報量の表示に関わる接頭語が理解でき、正しく使える。 2. 論理演算が理解でき、真理値表やベン図で説明できる。 3. コンピュータの 5 大要素を説明でき、主要な入出力装置やインターフェースを適切に利用できる。 4. OS の役割を説明できる。									
使用教材	オンラインで PDF 資料を配布、動画閲覧									
参考文献										
評価方法	各単元で実施する小テストの合計を 100 点満点に換算し、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー （研究室）	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス（#→@）		kohata#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	コンピュータの仕組み 1 ①情報量と補助単位（接頭語） ②2 進数、8 進数、16 進数								
		該当到達目標	予習	1 回目の講義内容を予め読んでおく						1.5 時間
	1	復習	1 回目の講義内容を復習する						1.5 時間	
2	講義内容	コンピュータの仕組み 2 ①2 値論理 ②真理値表 ③ベン図								
		該当到達目標	予習	2 回目の講義内容を予め読んでおく						1.5 時間
	2	復習	2 回目の講義内容を復習する						1.5 時間	
3	講義内容	コンピュータの仕組み 3 ①コンピュータの概要（5 大要素）								

		②コンピュータの種類		
	該当到達目標	予習	3 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	3 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	コンピュータの仕組み 4 ①入力装置 ②出力装置 ③記憶装置 ④演算装置 ⑤制御装置		
	該当到達目標	予習	4 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	4 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	コンピュータの仕組み 5 ①周辺装置(入力装置・出力装置) ②周辺装置(補助記憶装置) ③ドライバー		
	該当到達目標	予習	5 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	5 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	コンピュータの仕組み 6 ①OS の種類 ②OS の役割(ファイル管理) ③OS の役割(タスク管理・メモリ管理・デバイス管理) ④OS と GUI インターフェース		
	該当到達目標	予習	6 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	6 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	コンピュータの仕組み 7 ①LAN とインターネット ②IP アドレスとルーティング ③ファイヤーウォール ④Web と Web アプリ		
	該当到達目標	予習	7 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	4	復習	7 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	コンピュータの仕組み 8 ①パソコンの構造 ②筐体 ③マザーボード ④各種拡張ボード		
	該当到達目標	予習	8 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	8 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考				

科目名	情報リテラシーⅢ（リテラシー）							科目ナンバリング	LAL014	
英文名	Information Literacy Ⅲ							講義形態	演習	
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		必修 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	4 9									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 大学での学習に必要な文書作成やプレゼンテーションの基礎的スキルを身につけることを目標とする。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. Word を使って各種文書を作成できる。 2. PowerPoint を使ってスライドを作成でき、プレゼンテーションが出来る。									
使用教材	30 時間でマスターOffice2021 実教出版									
参考文献										
評価方法	単元毎のテストを行い、合計点を 100 点に換算して、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー （研究室）	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス （#→@）		kohata#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	Word 利用の基礎（演習）1 ①Word の起動と画面構成 ②文書の入力と編集 ③ページ設定								
		該当到達目標 1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。						1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。						1.5 時間	
2	講義内容	Word 利用の基礎（演習）2 ①文書の作成 ②文字の配置 ③文字の修飾								
		該当到達目標 1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。						1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。						1.5 時間	
3	講義内容	Word 利用の基礎（演習）3 ①表の作成 ②表のレイアウトの変更 ③表の編集								
		該当到達目標 1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。						1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。						1.5 時間	
4	講義内容	Word 利用の基礎（演習）4 ①ページの色や罫線 ②ワードアートの利用								

		③図形の挿入 ④テキストボックスの挿入		
	該当到達目標 1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1.5 時間
5	講義内容	Word 利用の基礎(演習)5 ①文書作成のまとめ(文書資料の作成)		
	該当到達目標 1	予習	ここまで学習した内容を確認しておくこと。	2 時間
		復習	課題内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
6	講義内容	PowerPoint 利用の基礎(演習)1 ①PowerPoint の画面構成 ②プレゼンテーションの作成 ③文字修飾と図形の活用		
	該当到達目標 2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1.5 時間
7	講義内容	PowerPoint 利用の基礎(演習)2 ①グラフの活用 ②スマートアートの活用 ③アニメーション効果 ④その他の機能		
	該当到達目標 2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1.5 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1.5 時間
8	講義内容	PowerPoint 利用の基礎(演習)3 ①プレゼンテーション資料作成のまとめ(プレゼンテーション資料の作成)		
	該当到達目標 2	予習	ここまで学習した内容を確認しておくこと。	2 時間
		復習	課題内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	講義での演習は、大学から推奨された性能の PC で進めること。なお、講義では office 系ソフト(Word、PowerPoint)を使用するものとする。			

科目名	情報リテラシーⅣ(リテラシー)							科目ナンバリング	LAL015	
英文名	Information Literacy IV							講義形態	演習	
担当教員	田村 拓郎									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		必修 1 単位					
履修を必須とする資格	データサイエンス・AI 実務パスポート 上級データサイエンス・AI 実務パスポート									
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 大学での学習に必要な表計算処理の基礎的スキルを身につけることを目標とする。 ② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. Excel を使って基本的な集計ができる。 2. Excel の簡単な関数機能が利用できる。 3. Excel の表データからグラフを作成できる。 4. Excel でデータの検索や並べ替えができる。									
使用教材	30 時間でマスターOffice2021 実教出版									
参考文献										
評価方法	単元毎のテストを行い、合計点を 100 点に換算して、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー (研究室)	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス (#→@)		kohata#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)1 ①Excel の画面構成 ②ブックの操作 ③データの入力と編集 ④オートフィル								
		該当到達目標	1	予習	1 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間
	1	復習	1 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		
2	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)2 ①計算式の入力 ②表示形式の変更 ③書式の変更								
		該当到達目標	1	予習	2 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間
	1	復習	2 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		
3	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)3 ①合計(SUM)関数								

		②平均(AVERAGE)関数 ③最大(MAX)最小(MIN)		
	該当到達目標 2	予習	3 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	3 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)4 ①グラフの作成		
	該当到達目標 3	予習	4 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	4 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)5 ①条件判定(IF 関数)と順位付け(RANK.EQ 関数)I		
	該当到達目標 3	予習	5 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	5 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)6 ①条件判定(IF 関数)と順位付け(RANK.EQ 関数)II ②検索関数の利用		
	該当到達目標 4	予習	6 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	6 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)7 ①セルの参照機能 ②文字列の結合 ③セルの条件付き書式 ④並び替え		
	該当到達目標 4	予習	7 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	7 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	Excel 利用の基礎(演習)8 ①フィルター ②文字の結合 ③Word と Excel の活用		
	該当到達目標 4	予習	8 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	8 回目の講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	講義での演習は、大学から推奨された性能の PC で進めること。なお、講義では office 系ソフト(Excel)を使用するものとする。			

科目名	情報リテラシー V(リテラシー)							科目ナンバリング	LAL016	
英文名	Information Literacy V							講義形態	講義	
担当教員	長澤 亨、松尾 仁司									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	② ③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ネットワークに情報機器を接続し、安全かつ適切に利用できる基礎的知識と技能を身につけることを目標とする。 ② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. ネットワーク利用に必要な基礎知識があり、利用できる。 2. 情報セキュリティに関する基礎知識があり、安全に気を配り情報機器やシステムを利用できる。 3. 専攻領域における ICT の利用事例や先進的利用について、説明できる。									
使用教材	配布資料									
参考文献										
評価方法	単元毎のテストを行い、合計点を 100 点に換算して、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー (研究室)	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス (#→@)		kohata#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ネットワークの基礎知識 1 ①DHCP(IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS) ②ブラウザ ③プロバイダと回線接続業者								
		該当到達目標	予習	1 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間	
	1	復習	1 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		
2	講義内容	ネットワークの基礎知識 2 ①Wi-Fi によるネットワーク接続(SSID とパスワード、接続周波数) ②4G と 5G・無線 LAN 規格、テザリング ③セキュリティの選択、トラブル対策								
		該当到達目標	予習	2 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5 時間	
	1	復習	2 回目の講義内容を復習する					1.5 時間		
3	講義内容	情報セキュリティの基礎 1 ①情報資産の脅威・脆弱性とリスク								

		②サイバー攻撃 ③マルウェア対策			
	2	該到達目標	予習	3 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	3 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
4	講義内容	情報セキュリティの基礎 2 ①アクセス管理と認証 ②不正アクセス対策 ③暗号とデジタル署名			
		該到達目標	予習	4 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	2	復習	4 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
5	講義内容	情報セキュリティの基礎 3 ①組織のセキュリティ対策 ②情報セキュリティ関連の法規と制度 ③知的財産保護と個人情報保護			
		該到達目標	予習	5 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	2	復習	5 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
6	講義内容	社会と ICT 活用 1 ①医療・健康分野での ICT の活用 ②社会福祉分野での ICT の活用 「※健康・医療・福祉分野の ICT 活用」			
		該到達目標	予習	6 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	6 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
7	講義内容	社会と ICT 活用 2 ①教育分野での ICT の活用			
		該到達目標	予習	7 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	7 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
8	講義内容	社会と ICT 活用 3 ①農業・食糧生産分野での ICT の活用 ②食品産業分野での ICT の活用 「※食品・農業分野の ICT の活用」			
		該到達目標	予習	8 回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
	3	復習	8 回目の講義内容を復習する	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					24 時間
備考					

科目名	情報リテラシーⅥ(リテラシー)							科目 ナンバリング	LAL017	
英文名	Information Literacy Ⅵ							講義形態	講義	
担当教員	光山 訓									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 1 単位					
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	34									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 情報数理統計・データサイエンスの基礎的知識と処理の技能を身につけることを目標とする。 ② 授業はオンライン・オンデマンド開講とする。									
到達目標	1. 度数分布表、累積度数分布表によるデータの整理ができ、 ヒストグラムによるデータの可視化ができる。 2. 最頻値、中央値、平均値の定義と計算方法が説明できる。 3. 四分位数、5 数要約、レンジ、四分位範囲の定義と計算方法を理解し、説明できる。 4. 分散と標準偏差の意味、定義、計算方法を理解し、説明できる。									
使用教材	オンラインで PDF 資料を配布									
参考文献										
評価方法	各単元で実施する小テストの合計を 100 点満点に換算し、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	C-learning を利用して学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集し、次回講義時に回答する。									
オフィスアワー (研究室)	前期 水曜 3 限、後期 水曜 3 限 1 号館 6 階 615 研究室				メールアドレス (#→@)		kohata#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	データサイエンスの基礎 1 ①データサイエンスとは何か ②度数分布表、累積度数分布表によるデータの整理 ③ヒストグラムによるデータの可視化 ④ヒストグラムから読み取るデータの特徴								
		該当到達目標	予習	1 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5	時間
	1	復習	1 回目の講義内容を復習する					1.5	時間	
2	講義内容	データサイエンスの基礎 2 ①Excel を使った度数分布とヒストグラムの作成								
		該当到達目標	予習	2 回目の講義内容を予め読んでおく					1.5	時間
	1	復習	2 回目の講義内容を復習する					1.5	時間	
3	講義内容	データサイエンスの基礎 3								

		①最頻値、中央値、平均値の定義と計算方法		
		②最頻値、中央値、平均値と度数分布、累積度数分布、ヒストグラムの関係		
	該当到達目標 2	予習	3回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	3回目の講義内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	データサイエンスの基礎 4 ①Excelを使った代表値の算出		
	該当到達目標 2	予習	4回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	4回目の講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	データサイエンスの基礎 5 ①分位数の考え方 ②四分位数、5数要約、レンジ、四分位範囲の定義と計算方法 ③箱ひげ図による5数要約の可視化 ④箱ひげ図とヒストグラムの形状との関係		
	該当到達目標 3	予習	5回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	5回目の講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	データサイエンスの基礎 6 ①Excelを使った5数要約の算出、箱ひげ図の作成		
	該当到達目標 3	予習	6回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	6回目の講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	データサイエンスの基礎 7 ① Σ 記号の定義と性質 ②分散と標準偏差の意味、定義、計算方法 ③データの一次変換と平均、分散、標準偏差 ④変動係数の定義と性質		
	該当到達目標 4	予習	7回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	7回目の講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	データサイエンスの基礎 8 ①Excelを使った分散、標準偏差、変動係数の算出		
	該当到達目標 4	予習	8回目の講義内容を予め読んでおく	1.5 時間
		復習	8回目の講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考				

科目名	情報化社会を生きる ～疑う力・創る力～(専門教養科目)						科目 ナンバリング	LSH001									
英文名	Confronting the Information Oriented Society: The Power of Doubt and the Power of Creation						講義形態	講義									
担当教員	岡田 豊																
科目に関連した 実務経験	日本経済新聞記者 共同通信記者 テレビ朝日(経済部記者・外報部デスク・プロデューサー・アメリカ総局長・コメンテーター)																
学年・開講期	2年 後期	選必・単位数	選択 2単位														
履修を必須とする 資格																	
学位授与方針 との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル										
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力										
	4	問題解決力															
SDGs との関連	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他							
		○	○		○				○								
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法	授業の中で質疑応答を随時実施する。																
実施概要 ② 講義の目標 ②講義の実施方法	①フェイク情報・フェイク映像が氾濫する今の情報化社会において、正確な情報は、水や空気のように欠かせない存在になっている。正確な情報を得られなければ、的確な判断ができないからだ。何も考えず、ただ情報の渦に身を委ねているとすれば、かけがえのない自分の人生の選択を見誤るようなことになりかねない。まず、この基本的な認識を自覚したい。 講義の最大の目標は、情報の「受け手」として、情報をきちんと疑い、正確な事実をしっかりと見極める力を修養することにある。同時に、情報の「送り手」として、正確な事実、的確な見識や、社会創生につながるアイデアを発信する力を修養する。つまり、情報の「受け手」「送り手」双方の立場において、質の高いリテラシーを身に付けるのである。このリテラシーは、学問のみならず、日常生活、仕事など、人間の活動において基本素養と位置付けられよう。 その際、古びた常識に流されずに、自分の心で感じ、自分の頭でオリジナルに考え抜くこと、つまり自考(じこう)をベースにしたい。自考は、今の日本人にとって必要不可欠な思考法だと考える。 ②授業は、時事問題や身近な社会的課題、あるいはみなさんが抱える課題や疑問などを題材にし、グループ討論などを展開する。みなさんが感じていること、考えていることを遠慮なく口に出し合い、大胆に論考していく。予習で求めた課題は、各自が授業で披露する前提である。また、適宜求めるリアクションペーパーには、みなさんのオリジナルな考え方を遠慮なく記してほしい。定期試験も実施する。素の自分をさらけ出し、楽しみつつ、本授業がみなさんの成長のきっかけの1つになることを期待している。																
到達目標	1.情報化社会の諸課題を理解し、それらの解決策を提案できる。■ 2.ジャーナリズムの意義を理解し、市民ジャーナリストとして実践できるリテラシーを身に付ける。■ 3.情報の「受け手」として、情報を疑い、正確な事実を見極めるリテラシーを身に付ける。■ 4.情報の「送り手」として、正確な事実、的確な見識、社会創生につながるアイデアを発信するリテラシーを身に付ける。■ 5.日本の衰退が加速する中、社会創生の意義と必要性を理解する。■ 6.自分の心で感じ、自分の頭で考える自考の意味と意義を理解し、実践できる。■																
使用教材	指定教材なし。録画画像、ニュース記事などを適宜講義で活用する																
参考文献	「自考」岡田豊著(プレジデント社)「他人から教えられた“常識”ではなく、自分自身の頭で考え抜く」という思考法のヒントが書かれている。この授業の理解が深まるので、もし経済的な余裕があれば、購入して読むことをお勧めする。																
評価方法	定期試験 40%、レポート 30%、発言・プレゼンなど授業中のアクション 30%、で評価する。 総合評価 65%以上を合格とする。																

課題・評価に対する フィードバック方法		レポートにはコメントを付けて返却する。授業での発言・プレゼンにはその場で必要に応じて適宜コメントする。定期試験の後に、出題の意図を掲示で示す。			
オフィスアワー (研究室)		授業後の1～2 時間		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバス全体を読み、講義の目標を理解し、講義をどう活用するか考える		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	基礎的な思考法「自考」を知る■			
	該当到達目標	予習	日本の衰退が進んでいる現状を認識し、その理由について考えておく		1.5 時間
	2,5,6	復習	自考について 3 回目の授業以降に実践できるよう理解する		1.5 時間
3	講義内容	情報・映像のフェイクがあふれる社会■			
	該当到達目標	予習	フェイクの実例を見つけ、それがどんな支障を招いたか、考えておく		1.5 時間
	1,2,3,6	復習	フェイク情報の存在に伴う社会の諸課題を理解し、解決策を見いだす		1.5 時間
4	講義内容	生成AIの功罪			
	該当到達目標	予習	無料の簡単な生成AIソフトで合成画像を作ってみる		1.5 時間
	1,2,3,6	復習	生成AIのメリットとデメリットを整理して理解する		1.5 時間
5	講義内容	事実にとどり着く難しさ■			
	該当到達目標	予習	事実と思っていたのに事実でなかったケースを自らの経験から見つけておく		1.5 時間
	1,2,3,6	復習	事実を得ることは簡単ではないということを理解する		1.5 時間
6	講義内容	ジャーナリズムという社会機能の意義■			
	該当到達目標	予習	1つの情報や提案が社会を良くしたり人を助けたりしたケースを見つけておく		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	ジャーナリズムが市民や社会にいかに重要か、理解する		1.5 時間
7	講義内容	新聞・テレビへの不信 「マスゴミ」と呼ばれるワケ■			
	該当到達目標	予習	新聞、テレビがジャーナリズム機能を果たしていないケースを見つけておく		1.5 時間
	1,2,3,5,6	復習	新聞、テレビが抱えるジャーナリズムの課題を理解し、解決策を見いだす		1.5 時間
8	講義内容	企業広報とマスメディア■			
	該当到達目標	予習	トヨタ自動車の独自メディア「トヨタタイムズ」の HP を見ておく		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	自分が組織の広報担当となった場合に情報をどう発信するのかヒントを得る		1.5 時間
9	講義内容	ジャーナリズム先進国アメリカの事情 中国メディアの特性■			
	該当到達目標	予習	日米中のマスメディアの違いについて簡単に調べておく		1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	大手メディアのあり方が社会のあり方にどう影響を与えるかを理解する		1.5 時間
10	講義内容	大きく立ち遅れた日本の「リテラシー教育」■			
	該当到達目標	予習	情報やメディアをめぐるリテラシー教育を自ら受けた経験を整理しておく		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	情報やメディアをめぐる日本のリテラシー教育の遅れによる弊害を理解する		1.5 時間
11	講義内容	「受け手」と「送り手」の双方の機能を持った市民の課題■			
	該当到達目標	予習	情報の「送り手」として自らがどんな発信をしているのか、まとめておく		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	個々の市民が健全な情報化社会のカギを握っていることを理解する		1.5 時間
12	講義内容	「疑う力」 情報をどう見極めるか■			
	該当到達目標	予習	情報の疑い方、見極め方について自分がどうやっているか、まとめておく		1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	情報を見極めるためのリテラシーを理解する		1.5 時間
13	講義内容	「新聞・テレビ・SNS」依存から「市民」の自己責任に■			
	該当到達目標	予習	新聞、テレビ、SNS を自らがどう活用し、どう向き合っているかまとめておく		1.5 時間

	1,2,3,4,5,6	復習	情報を自己責任で見極めるという意義を理解する	1.5 時間
14	講義内容	「創る力」市民のジャーナリズムが社会を変える■		
	該当到達目標	予習	社会の課題を自らが発信する情報でどう改善できるのか、案を考えておく	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	ジャーナリズムを支え、社会創生するのは個々の市民だと理解する	1.5 時間
15	講義内容	「疑う力」「創る力」2つのリテラシー普及の意義■		
	該当到達目標	予習	「疑う力」と「創る力」のリテラシーを社会に普及させるための案を考えておく	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	「疑う力」と「創る力」の2つのリテラシーを社会に普及させる意義を理解する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	次の3点を抱いて授業に臨むこと。 1. 「自分の人生を切り拓くのは自分以外にいない」という自覚を持つ。 2. 「自分が生きるこの社会を良くするのは自分だ」という志を持つ。 3. この授業の主人公は自分であり、授業を楽しむマインドを持つ。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	人間行動学(専門教養科目)							科目ナンバリング	LSH002	
英文名	Theory of Human Behavior							講義形態	講義	
担当教員	上原 徹、服部 卓									
科目に関連した実務経験	精神科医として大学病院等で勤務経験 35 年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている(上原)。臨床心理士として大学病院等で勤務経験は約 35 年、現在に至る(服部)。									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	③16									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	前半の授業で、一部実技や演習を取り入れる									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 学生が行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。前半を服部、後半を上原が担当する。 ② 授業では配布資料も使って要点をまとめ、一部 DVD を視聴しつつ進める。									
到達目標	1. 医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2. ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3. 適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4. 他職種と機能的に連携する視点を持てる■ 5. 行動科学や心理学の初級知識を解説できる									
使用教材	特定の教科書は指定しない。C-learning 上に資料をアップする。DVD 教材を用いた授業も行う。									
参考文献	福村出版「行動科学への招待[改訂版] 現代心理学のアプローチ」など									
評価方法	レポートを 90%とし、授業中の態度を 10%程度参考にして総合評価する。授業態度(不適切な授業態度、不必要な私語など)に問題がある場合は、個別に減点する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	月 4 金 3 研究室:1 号館 5 階 501				メールアドレス (#→@)		授業で提示する			
1	講義内容	青年期の心理と性格								
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。							0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。							2.5 時間
2	講義内容	対人行動								
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。							1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。							2 時間
3	講義内容	集 団■								
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。							1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。							2 時間
4	講義内容	異文化と自己								
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。							1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。							2 時間

5	講義内容	ヒューマンファクター——労働の心理学		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
6	講義内容	きずなの発達		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
8	講義内容	医療における人間関係		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	2 時間
9	講義内容	健 康		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
11	講義内容	知 覚		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
12	講義内容	記 憶		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
13	講義内容	思 考		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場■		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ■		
	該当到達目標	予習	参考書などで講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	複数の学科学生が多人数で聴講し、非常勤講師を迎え行うので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。DVD 上映による映像授業を多用する。場合によって代替えとなるパワーポイントおよびウェブサイト動画の紹介を行う。 予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	健康運動実技(専門教養科目)							科目 ナンバリング	LSH003	
英文名	Health Exercise Skills							講義形態	講義	
担当教員	大家 千枝子									
科目に関連した 実務経験	「元気に“動こう・歩こう”」実践リーダー養成講座の講師として、リーダー養成事業に従事している。(群馬県健康長寿社会づくり推進課・2018 年度～2022 年度)									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 1 単位					
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	235									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○		○			○	
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要	① 健康保持増進のための運動実践力育成と体力の向上を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につける。									
①講義の目標	② 実技を中心に授業を進めていく。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. 運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2. 運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。■ 3. 公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4. 仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5. 健康・安全を確保して、運動を継続するための工夫や仕組みを創造することができる。■									
使用教材	プリントを適宜配布する。									
参考文献	参考文献を適宜紹介する。									
評価方法	授業ごとの取り組みの評価点 85%、記録(提出物・コメント)15%									
課題・評価に対する フィードバック方法	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・課題・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。課題は返却しないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。									
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前 もしくは終了後に応じる。				メールアドレス (#→@)		oie#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査 ■								
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は申告する。						0.5 時間	
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。						0.5 時間	
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。						0.5 時間	
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。						0.5 時間	
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。						0.5 時間	
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施								
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。						0.5 時間	

6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
15	講義内容	まとめ、授業で学んだことの整理・確認テスト(または課題)・目標到達度の確認 ■		
	該当到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動を継続できるか検討する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			
	【受講上の注意】			
	①運動に適した服装(ジャージ、Tシャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること。 (※ジーンズ・普段着での受講は不可。スマホや時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアスなどは外しておく。)			
	②原則として見学は認めない。配慮を必要とする学生は初回ガイダンス終了までに申し出ること。			
	③貴重品は各自で管理すること。			
	④授業で使用する用具は基本的に大学側で用意するが、個人所有のラケットなどがあれば持参を推奨する。			
	⑤天候による施設変更がある。C-learning で確認すること。			
	⑥フットサルコートの人草がとれやすく、靴下やウエアに付着することがある。			
	⑦屋外でウォーミングアップの際、グラウンドの砂で汚れることがある。※屋外の際は、汚れてもよい服装を推奨。			
	【履修条件】 準備・後片付けなどの授業運営は受講生の積極的な姿勢を求める。また、技術の高低や得意不得意、好き嫌い、勝ち負けにとらわれず、自分の持っている技術力をいかして、スポーツそのものを楽しむ能力や積極的に体を動かすことが求められる。			
	【ルール】			

	授業開始時には整列し、出席をとる。授業終了時には、振り返りとして授業記録カードの提出がある。次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用。

	■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名		宗教と倫理(専門教養科目)						科目ナンバリング	LSH004		
英文名		Religion and Ethics						講義形態	講義		
担当教員		出雲 春明									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
		2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		1	問題解決力								
SDGs との関連		1016									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。なるべく平易な表現を用いて講義を行う。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。 ② C-learning の教材倉庫にアップした資料に基づいて講義を行い、毎回アンケートに意見を記述してもらう。また、定期的にドリルと小テストを実施して知識の定着を図る。									
到達目標		1. 講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2. そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。									
使用教材		C-learning の教材倉庫に資料をアップする。									
参考文献		関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。									
評価方法		授業への取り組み(資料の閲覧状況など)・・・30% 毎回の課題(アンケートの実施状況)、ドリル・小テスト、期末レポート・・・70%									
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回、授業終了時に意見や質問などを C-Learning「アンケート」に記述してもらい、それらに対してコメントを返す。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。									
オフィスアワー (研究室)		1 号館 511 研究室 面談希望の場合は C-Learning「連絡・相談」あるいは左記アドレスまで。				メールアドレス (#→@)		izumo-s#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス									
	該当到達目標	予習	シラバスと予習資料を読み、授業の方法やアウトラインについて理解しておく。							1.5 時間	
	1	復習	自分自身の内にある「思い込み」について考えてみる。							1.5 時間	
2	講義内容	『聖書』の思想:一神教の系譜									
	該当到達目標	予習	予習資料から一神教について知識を得ておく。							1.5 時間	
	1,2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。							1.5 時間	

3	講義内容	善人とは何か—『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から、「契約」について知識を得ておく。	1.5 時間	
		復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。	1.5 時間	
4	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(2)生誕の災い			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から『ヨブ記』のプロローグを確認しておく。	1.5 時間	
		復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。	1.5 時間	
5	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(3)自己の在り方を省みる			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料をもとに『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。	1.5 時間	
		復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。	1.5 時間	
6	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料からヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。	1.5 時間	
		復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的事件を通じて理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から『ヨブ記』エピローグについて確認しておく。	1.5 時間	
		復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。	1.5 時間	
8	講義内容	旧約から新約へ：イエスの教え			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料よりイエスの教えについて知識を得ておく。	1.5 時間	
		復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。	1.5 時間	
9	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について			
	該当到達目標 1	予習	予習資料から『歎異抄』という書について知識を得ておく。	1.5 時間	
		復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間	
10	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2)罪の意識			
	該当到達目標 1	予習	予習資料から『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1.5 時間	
		復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間	
11	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について知る。	1.5 時間	
		復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間	
12	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料から親鸞の生涯について知る。	1.5 時間	
		復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間	
13	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料とあわせてこれまでの議論を確認しておく。	1.5 時間	
		復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力			
	該当到達目標 1,2	予習	予習資料をもとに親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1.5 時間	
		復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	総括—東西の宗教			
	該当到達目標 1,2	予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1.5 時間	
		復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間

備考	C-learning の「教材倉庫」「ドリル」「小テスト」「アンケート」「レポート」機能を活用する。毎回、授業日の前週木曜日に予習用の教材をアップするのであらかじめ目を通しておくこと。授業終了後は復習用の資料をアップするので、よく確認し、アンケートにコメントを記入すること。 詳細な成績評価の方法や、期末レポートの課題や規定など連絡事項は C-learning「ニュース」に公開するので、各自でよく確認しておくこと。 「自分ならどう考え、行動するか」を自らに問いかける姿勢を大切にしてほしい。

科目名	レクリエーション論(専門教養科目)						科目ナンバリング	LSH005		
英文名	Recreation Theory						講義形態	演習		
担当教員	大家 千枝子									
科目に関連した実務経験	レクリエーション・インストラクター養成講習会講師として、公認指導者養成に従事(現在)。(公益財団法人日本レクリエーション協会公認・群馬県レクリエーション協会主催、2015 年度より)									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				5	コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	③									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○					○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。 ② 教員による講義がベースとなるが、グループワークによるテーマに沿った共同作業も予定している。「心を元気にする」ための理論をその実践へと結び付けるため、各グループによるレクリエーション活動を用いた短時間のレクリエーション支援を行い、「集団をリードする」、「コミュニケーションを促進する」、「楽しい空間をつくる」という感覚を養う。									
到達目標	1. レクリエーション支援の目的と手段について、理解し、説明できる。■ 2. レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることについて、理解できる。■ 3. コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であることを理解し、説明できる。■ 4. 授業の性質やグループ内での個人の役割について、理解し、行動することができる。 5. 必要な資料や情報を収集し、意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning も含む)。									
使用教材	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6									
参考文献	「基本のアイスブレーキング・ゲーム」、公益財団法人日本レクリエーション協会、2,530 円(税込) ISBN978-4-931180-92-5 C2076									
評価方法	授業の取り組み実践点 30%、課題点(小テスト、確認テスト、レク支援経験)70%									
課題・評価に対するフィードバック方法	自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。また紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終日の確認テストは返却予定がないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。									
オフィスアワー(研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。				メールアドレス(#→@)	oie#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)■								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。						0.5 時間	
2	講義内容	レクリエーション支援の方法(アイスブレーキングのプログラムを体験する)■、グループわけ								
	該当到達目標	予習	自身がこれまで体験したレクリエーション活動について振り返る。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。						0.5 時間	
3	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)■、レク支援の説明と日程抽選								
	該当到達目標	予習	テキスト第 1 章(p.9~17)を読んでおくこと。						0.5 時間	
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。						0.5 時間	
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)								

	該当到達目標	予習	テキスト第2章(p.19～32)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをととした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。	0.5 時間
5	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをととした心の元気づくりを理解する)		
	該当到達目標	予習	テキスト第2章(p.33～36)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論(コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.37～43)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論(良好な集団づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.44～49)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の理論(自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.50～55)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法(信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.57～65)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法(ホスピタリティの体験的理解 その1・その)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.66～69)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法(ハードル設定の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法(アレンジ方法の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法(CSSプロセスの習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
14	講義内容	安全管理の方法■		
	該当到達目標	予習	これまでの自身のレク活動における安全管理について振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	授業で学んだことの整理・確認テスト(または課題)・目標到達度の確認		
	該当到達目標	予習	これまでの授業を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	確認テストについて、授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			
	【履修条件】 ・心を元気にする知識と技術を習得して人前に立つことを目指すため、積極的に参加する学生を求める。 ・学内外のレクリエーション活動に関心をもち、問題意識をもつことや自らすすんで支援に関わる姿勢を求める。			
	【ルール】 レクリエーション論を学ぶうえで、信頼関係づくりの方法における「あたたかくもてなす意識と配慮」の観点より、次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用、③私語、わがまま、ふざけた態度をとる、④C-learning「出席管理」の不正行為(発覚時には厳正に対処する)			
	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	数学基礎 I（専門導入科目）						科目ナンバリング	HII101		
英文名	Mathematics Basic I						講義形態	講義		
担当教員	東福寺 幾夫									
科目に関連した実務経験	メーカ勤務の中で、生産ラインで使用する製品性能測定器や、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事した。									
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	① ③ ④ ⑤ ⑧ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、以下の範囲の基礎的問題が解けるようになる。 ②授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。									
到達目標	1. 式に示された計算の手順を論理的に分析・理解し、正しく数の計算・式の計算ができる。 2. 式の展開や因数分解ができ、各種の一次方程式・二次方程式を解くことができる。 3. 一次式・二次式・円・楕円・双曲線のグラフの概形が描ける。 4. 三角比と弧度法を理解し、三角関数のグラフの概形が描け、公式の説明ができる。■ 5. 指数法則・対数法則を理解し指数・対数の計算ができ、指数関数・対数関数のグラフの概形が描ける。■									
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2									
参考文献										
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605				メールアドレス (#→@)		tofukuji#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書のまえがき、シラバスを読む。					1 時間		
		復習	プリントの課題を解く。					1 時間		
2	講義内容	数と式の計算 1 整数、分数、小数、繁分数、平方根、複素数								
	該当到達目標 1	予習	教科書の 1 章 p.2～3、6～7 を読む。					1 時間		
		復習	教科書 14 章の練習問題 1.1、1.2、1.5、1.6 の A を解く。					1.5 時間		
3	講義内容	数と式の計算 2 展開公式、因数分解、分数式の計算、部分分数の計算、無理式の計算								
	該当到達目標 2	予習	教科書の 1 章 p.4～5、8～10 を読む。					1 時間		
		復習	教科書 14 章の練習問題 1.3、1.4、1.7～1.9 の A を解く。					1.5 時間		

4	講義内容	数と式の計算 3 方程式、連立一次方程式、代数方程式		
	該当到達目標	予習	教科書の1章 p.11～12を読む。	1 時間
	2	復習	教科書14章の練習問題 1.10、1.11 の A を解く。	1.5 時間
5	講義内容	数と式の計算 1 練習問題を解き、解法を確認する。		
	該当到達目標	予習	教科書の14章の練習問題 1.1～1.11 の B を解く。	1 時間
	1,2	復習	教科書の14章の練習問題 1.1～1.11 の C を解く。	1.5 時間
6	講義内容	関数とグラフ 1 関数、直線、放物線		
	該当到達目標	予習	教科書の2章 p.14～18を読む。	1 時間
	2	復習	教科書の14章の練習問題 2.1～2.3 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	関数とグラフ 2 円、楕円、双曲線		
	該当到達目標	予習	教科書の2章 p.19～21を読む。	1 時間
	3	復習	教科書の14章の練習問題 2.4、2.5 の A を解く。	1.5 時間
8	講義内容	関数とグラフ 3 不等式		
	該当到達目標	予習	教科書の2章 p.22～24を読む。	1 時間
	3	復習	教科書の14章の練習問題 2.6、2.7 の A を解く。	1.5 時間
9	講義内容	関数とグラフ 4 練習問題を解き、解法を確認する。		
	該当到達目標	予習	教科書の14章の練習問題 2.1～2.7 の B を解く。	1 時間
	3	復習	教科書の14章の練習問題 2.1～2.7 の C を解く。	1.5 時間
10	講義内容	三角関数 1 三角比、ラジアン単位と一般角、三角関数■		
	該当到達目標	予習	教科書の3章 p.26～34を読む。	1 時間
	4	復習	教科書の14章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の A を解く。	1.5 時間
11	講義内容	三角関数 2 三角関数、三角関数のグラフ、三角関数の公式■		
	該当到達目標	予習	教科書の3章の p.35～39を読む。	1 時間
	4	復習	教科書の14章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の B を解く。	1 時間
12	講義内容	三角関数 3 三角関数の基本を確認する。■		
	該当到達目標	予習	配布されたプリントを読む。	1 時間
	5	復習	プリントの課題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	指数関数・対数関数 1 指数と指数法則、指数関数とグラフ、特別な関数 $y = e^x$ ■		
	該当到達目標	予習	教科書の4章 p.42～49を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の14章の練習問題 4.1～4.3 の A を解く。	1.5 時間
14	講義内容	指数関数・対数関数 2 対数と対数法則、常用対数と自然対数、対数関数とグラフ■		
	該当到達目標	予習	教科書の5章 p.52～58を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の14章の練習問題 5.1～5.4 の A を解く。	1.5 時間
15	講義内容	指数関数・対数関数 3		
	該当到達目標	予習	教科書の14章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の B を解く。	1.5 時間
	5	復習	教科書の14章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の C を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		数学基礎Ⅱ（専門導入科目）					科目ナンバリング	HII102		
英文名		Mathematics Basic Ⅱ					講義形態	講義		
担当教員		東福寺 幾夫								
科目に関連した実務経験		メーカ勤務の中で、生産ラインで使用する製品性能測定器や、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事、データの処理には様々な経験を積んだ。								
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル				
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	3	問題解決力								
SDGs との関連		①	③	④	⑤	⑧	⑩	⑫		
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		①大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、上記範囲の基礎的問題が解けるようになる。 ②授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。								
到達目標		1. 独立変数の変動に対応した関数値の変動について理解でき、極限値の収束・発散が説明できる。 2. ある区間における関数の平均変化率を計算できる。 3. 平均変化率の極限値としての微分係数の演算式が理解でき、接線の方程式を求めることができる。 ■ 4. 不定積分、原始関数の意味が説明できる、2 次式までの不定積分ができる。 5. 定積分が計算でき、複数の曲線が囲む領域の面積を計算できる。■ 6. 集合の概念を理解し、集合の演算や要素の個数の問題を解くことができる。 7. 順列、組み合わせや二項定理を説明できる。 8. 確率と期待値の説明ができる。■								
使用教材		「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2								
参考文献										
評価方法		授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。								
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。								
オフィスアワー (研究室)		月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605			メールアドレス (#→@)		tofukuji#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスを読む						1 時間	
	1	復習	プリントの課題を解く。						1.5 時間	
2	講義内容	関数の極限								
	該当到達目標	予習	教科書の 6 章 p.60～65 を読む。						1 時間	
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 6.1～6.2 の B,C を解く。						1.5 時間	

3	講義内容	関数の極限 極限公式		
	該当到達目標 1	予習	教科書の 6 章 p.66～68 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 6.3 を解く。	1.5 時間
4	講義内容	微分係数■		
	該当到達目標 2,3	予習	教科書の 7 章 p.70～72 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.1～7.2 を解く。	1.5 時間
5	講義内容	導関数、微分計算■		
	該当到達目標 2,3	予習	教科書の 7 章 p.73～75 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.3～7.5 の A,B を解く。	1.5 時間
6	講義内容	接線の方程式、関数の増減とグラフ■		
	該当到達目標 3	予習	教科書の 7 章 p.76～82 を読む。	1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 7.6～7.8 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	不定積分、定積分■		
	該当到達目標 4,5	予習	教科書の 8 章 p.84～87 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 8.1～8.2 の A,B を解く。	1.5 時間
8	講義内容	面積■		
	該当到達目標 5	予習	教科書の 8 章 p.88～92 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 8.3～8.4 の A,B を解く。	1.5 時間
9	講義内容	集合 1 集合と要素、数の集合、部分集合、包含関係、ベン図		
	該当到達目標 6	予習	教科書の 12 章 p.120～122 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 12.1、12.2 を解く。	1.5 時間
10	講義内容	集合 2 集合の演算、要素の個数		
	該当到達目標 6	予習	教科書の 12 章 p.123～124 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 12.3、12.4 を解く。	1.5 時間
11	講義内容	順列と組合せ		
	該当到達目標 7	予習	教科書の 13 章 p.126,127 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.1、13.2 を解く。	1.5 時間
12	講義内容	二項定理		
	該当到達目標 7	予習	教科書の 13 章 p.128、p.129 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.3 を解く。	1.5 時間
13	講義内容	確率 1■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.130～131 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.4、13.5 を解く。	1.5 時間
14	講義内容	確率 2■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.132～133 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.6 を解く。	1.5 時間
15	講義内容	期待値■		
	該当到達目標 8	予習	教科書の 13 章 p.134 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 13.7 を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	物理学基礎(専門導入科目)						科目 ナンバリング	HII103		
英文名	Physics Basis						講義形態	講義		
担当教員	高橋 大志									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応	10	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 3 年生での講義(生体情報学Ⅰ、Ⅱ)の内容(生体情報を適切に計測するための技術)を理解できるように、本講義では力や電気、熱などといったエネルギーの基本的な物理現象を学習する。 ② 本講義ではスライドによるアニメーションを用いて物理現象を視覚的に理解させるとともに演習問題も適宜実施する。									
到達目標	1. 物体の運動とエネルギーについて概念を理解できる。 2. 光、音、熱、電気などの性質や現象を説明できる。 3. 健康や医療との関係について理解できる。									
使用教材	「大学新入生のための物理入門(廣岡 秀明著、共立出版)」及び自作スライドを使用する。									
参考文献										
評価方法	中間試験(50%)および期末試験(50%)の総合結果で評価し、60%以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	中間および期末試験は記述式として、評価のポイントを解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314				メールアドレス (#→@)	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入								
	該当到達目標	予習	教科書 p.1~5 を読む。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	配布資料を理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	力とつり合い								
	該当到達目標	予習	教科書教科書 p.1~4 を読む。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 p.1~4 の問題を解く。						1.5 時間	
3	講義内容	摩擦と弾性力								
	該当到達目標	予習	教科書 p.4~9 を読む。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 p.4~9 の問題を解く。						1.5 時間	
4	講義内容	モーメントと圧力								
	該当到達目標	予習	教科書 p.13~17 を読む。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 p.13~17 の問題を解く。						1.5 時間	
5	講義内容	液体による圧力、運動の法則仕事量と仕事率								
	該当到達目標	予習	教科書 p.17~20 を読む。						1.5 時間	

	1	復習	教科書 p.17~20 の問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	物体の運動		
	該当到達目標	予習	教科書 p.23~29 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.23~29 の問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	等加速度直線運動 熱と温度		
	該当到達目標	予習	教科書 p.29~31、34~38 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.29~38 の問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	中間まとめ		
	該当到達目標	予習	7 回目までの講義内容を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	7 回目までの講義のポイントを整理する。	1.5 時間
9	講義内容	エネルギー 音波、ドップラー効果		
	該当到達目標	予習	教科書 p.73~78 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.73~78 の問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	仕事率、エネルギーと熱		
	該当到達目標	予習	教科書 p.78~79、81~89、102~103 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.78~79、81~89、102~103 の問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	熱平衡と熱容量、波		
	該当到達目標	予習	教科書 p.104~108、120~121 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.104~108、120~121 の問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	波面と音波、ドップラー効果		
	該当到達目標	予習	教科書 p.122~124、132~146、151~153 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.122~124、132~146、151~153 の問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	光波、静電場		
	該当到達目標	予習	教科書 p.157~162、179~187 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.157~162、179~187 の問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	電流と磁場		
	該当到達目標	予習	教科書 p.190~193、200~203 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.190~193、200~203 の問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	講義全体で実施した内容を確認する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義全体を通して重要なポイントを整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本講義では、自ら考えて物理学を理解してもらうため必ず予習と復習に取り組むこと。 オンラインで実施する場合、成績は毎週提出してもらうレポートで評価(100%)し、60%以上で合格とし、毎週のレポート提出をもって当該講義に出席したものとする。			

科目名	生物学基礎(専門導入科目)						科目ナンバリング	HII104		
英文名	Biology Basis						講義形態	講義		
担当教員	坂井 隆浩									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択科目									
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①講義の目標 生物学の基本的な知識を修得するために「細胞の機能」「多細胞生物のからだ」「タンパク質・糖・脂質」「遺伝」「遺伝情報とその発現」「エネルギー代謝と物質代謝」「生体内の情報伝達」「免疫」などについて学習する。 ②講義の実施方法 講義の最初に前回の復習、講義の最後に練習問題を実施することによって理解度を高める。									
到達目標	1.細胞の構造や機能について説明できる。 2.動物のからだの構造や組織や器官の働きについて説明できる。 3.生命活動を支える分子の構造や役割について説明できる。 4.遺伝子の構造と機能について説明できる。 5.生命活動に必要なエネルギーの産生について説明できる。 6.生体内の情報伝達機構について説明できる。 7.免疫のしくみについて説明できる。									
使用教材	教科書：「ZERO からの生命科学」(南山堂)、他に随時プリントを配布する。									
参考文献										
評価方法	定期試験の成績により評価する(100%)。評価基準の詳細は初回講義時に説明する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	定期試験後に、解答を掲示すると同時に、指定した期間内に必要に応じて個別にフィードバックをおこなう。講義で実施した練習問題については、講義の中で解説する。									
オフィスアワー (研究室)	木曜 2 限(7 号館 203 研究室・坂井)				メールアドレス (#→@)		sakai#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	細胞の構造と機能 ①細胞の多様性								
	該当到達目標	予習	細胞の多様性について、教科書 5 頁～10 頁を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。						1.5 時間	
2	講義内容	細胞の構造と機能 ②細胞の基本構造とそのはたらき								
	該当到達目標	予習	細胞の構造とはたらきについて、教科書 10 頁～25 頁を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。						1.5 時間	

	講義内容	動物の組織と器官			
3	該当到達目標	予習	動物のからだの構造について、教科書 27 頁～38 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	2	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	からだを作る物質 ①タンパク質			
4	該当到達目標	予習	タンパク質について、教科書 29 頁～54 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	からだを作る物質 ②糖質			
5	該当到達目標	予習	糖質について、教科書 55 頁～71 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	からだを作る物質 ③脂質			
6	該当到達目標	予習	脂質について、教科書 71 頁～77 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	体内における物質代謝 ①消化と吸収			
7	該当到達目標	予習	体内における物質代謝について、教科書 78 頁～88 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	体内における物質代謝 ②物質の代謝			
8	該当到達目標	予習	体内における物質代謝について、教科書 88 頁～100 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	メンデル遺伝			
9	該当到達目標	予習	メンデルの法則について、教科書 101 頁～108 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	DNA の構造と複製			
10	該当到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 109 頁～118 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	遺伝子の発現とその調節			
11	該当到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 119 頁～130 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	DNA 損傷と修復			
12	該当到達目標	予習	DNA 損傷と修復について、教科書 131 頁～137 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	遺伝子の操作			
13	該当到達目標	予習	遺伝子の操作について、教科書 137 頁～146 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	恒常性の維持 内分泌系と神経系			
14	該当到達目標	予習	恒常性について、教科書 147 頁～156 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	6	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
	講義内容	生体の防御 免疫系			
15	該当到達目標	予習	免疫について、教科書 163 頁～171 頁を読んでおく。	1.5 時間	
	7	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)				45 時間	
備考	本講義は可能な限り、対面型の講義をする予定であるが実施するが、オンライン形式に変更する場合もある。				

科目名	化学基礎(専門導入科目)							科目ナンバリング	HII105	
英文名	Chemical Basis							講義形態	講義	
担当教員	永井 俊匡									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択科目									
学位授与方針との対応	7	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	2 3 4 6 7 13									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 生命現象の多くは化学的な知識で説明できる。本科目では化学の基礎(物理化学・無機化学・有機化学)を学び、医療や環境を理解するために必要な化学的知識を修得する。									
①講義の目標	② 板書等をノートにとる機会が多い。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. 原子と分子の構造について、化学的に説明できる。 2. 物質量の概念を用いて、量的計算ができる。 3. 中和反応、酸化還元反応について、説明できる。 4. 酵素の働きを、説明できる。 5. 糖質の構造的特徴を説明できる。 6. 単純脂質と複合脂質の性質を説明できる。 7. タンパク質の構造を説明できる。 8. DNA・RNA の構造を説明できる。									
使用教材	「生理学・生化学につながる ていねいな化学」 白戸亮吉・小川由香里・鈴木研太・著 羊土社、2020 年、2,200 円。 基本的にテキストに沿って授業を進める。補足の必要な内容については、適宜プリントを配布する。									
参考文献										
評価方法	筆記試験「70%」 毎回のミニレポート「30%」									
課題・評価に対するフィードバック方法	・ 筆記試験の答案および正答は、試験実施後に返却する。 ・ ミニレポートは、必要に応じてコメントを返答する。									
オフィスアワー(研究室)	月曜 2 限(農学部 4 階・動物生命科学研究室)				メールアドレス (#→@)		tnagai#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、物質の構成								
	該当到達目標	予習	教科書の第 1 章[1]を精読し、章末問題を解く。						1.5 時間	
	1	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。						1.5 時間	
2	講義内容	原子構造と周期表								
	該当到達目標	予習	教科書の第 1 章[2]を精読し、章末問題を解く。						1.5 時間	
	1	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。						1.5 時間	
3	講義内容	イオン結合、金属結合								
	該当到達目標	予習	教科書の第 2 章[1], [3]を精読し、章末問題を解く。						1.5 時間	
	1	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。						1.5 時間	
4	講義内容	共有結合								

	該当到達目標	予習	教科書の第 2 章[2]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
5	講義内容	原子量、分子量、式量		
	該当到達目標	予習	教科書の第 3 章[1]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	1, 2	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
6	講義内容	物質と化学反応式		
	該当到達目標	予習	教科書の第 3 章[2]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	2	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
7	講義内容	酸と塩基		
	該当到達目標	予習	教科書の第 4 章[1]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	3	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
8	講義内容	酸化還元反応		
	該当到達目標	予習	教科書の第 4 章[2]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	3	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
9	講義内容	酵素反応		
	該当到達目標	予習	教科書の第 5 章[1]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	4	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
10	講義内容	体液の酸塩基平衡		
	該当到達目標	予習	教科書の第 5 章[2]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	3, 4	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
11	講義内容	有機化合物		
	該当到達目標	予習	教科書の第 6 章[1]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	5-8	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
12	講義内容	糖質		
	該当到達目標	予習	教科書の第 6 章[2]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	5	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
13	講義内容	脂質		
	該当到達目標	予習	教科書の第 6 章[3]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	6	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	タンパク質		
	該当到達目標	予習	教科書の第 6 章[4]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	7	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
15	講義内容	核酸		
	該当到達目標	予習	教科書の第 6 章[5]を精読し、章末問題を解く。	1.5 時間
	8	復習	授業中に指示された観点に基づき、ミニレポートをまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	- 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 - オンライン講義となった場合は、オンデマンドの動画を主とする。詳細は第 1 回の講義日または適宜連絡する。 - キーワード: 原子と分子、物質、中和、酸化還元、糖質、脂質、タンパク質、核酸、代謝、電解質。			

科目名	医療概論(医学英語 I を含む)(専門導入科目)						科目ナンバリング	HII106		
英文名	Introduction to Medicine & Medical English I						講義形態	講義		
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務(現在)									
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数	必修 2 単位						
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養			1	コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④ ⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、各自の解答に対し次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 医学の体系、医学の歴史、医学倫理、医療制度など医学・医療に関する包括的な事項、および、英語による医学用語の表現法を理解する。 ② 医の倫理、医学の進歩と現代医学の特徴等について、実務経験を含めて解説する。医学英語では、各自に課題を課し他者の前で自ら発表する方式も取り入れる。									
到達目標	1. 医学の体系、医学の歴史について概要を説明できる。 2. 医療と社会の関わり、医療の倫理、医療制度を理解する。■ 3. 医学英語に関して、英語で表記された基本的な医学用語を日本語に訳すことができる。									
使用教材	テキスト： ① 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第 8 版 日本病院会 ② 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第 8 版 日本病院会 参考図書： ③ 学生のための医療概論 第 4 版 医学書院									
参考文献										
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	講義の際のミニテストでは、実施後に出題の意図、問題に対する模範解答を解説する。									
オフィスアワー(研究室)	質問等はメールで受け付ける。				メールアドレス (#→@)	sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	医学の体系(基礎医学、臨床医学、予防医学)、および社会と医療								
	該当到達目標 1,2	予習	テキスト①の 3-6 ページに目を通す。						1.5 時間	
		復習	基礎医学、臨床医学、予防医学の役割、それぞれの分野の学問体系を理解する。また、医療と社会の関わりについての重要事項を理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
2	講義内容	医学の歴史 (1)ギリシャ、ローマ、中世、中国の医学								
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 6-9 ページ、③の 2-5、104-109、164-167 ページに目を通す。						1.5 時間	
		復習	ギリシャ、ローマ、中世の有名な医学者の名前と業績を覚え、復習問題を解く。						1.5 時間	
3	講義内容	医学の歴史 (2)近代の医学(ルネッサンスから 19 世紀はじめまで)								

	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 9-11 ページ、③の 104-110 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	今回登場した有名な医学者の名前と業績を覚え、復習問題を解く。	1.5 時間
4	該当到達目標 1	講義内容 医学の歴史 (3)19 世紀の医学		
		予習	テキスト①の 11-12 ページ、③の 104-110、113-114 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	19 世紀の有名な医学者の名前と業績を覚え、復習問題を解く。	1.5 時間
5	該当到達目標 1	講義内容 医学の歴史 (4)20 世紀の医学		
		予習	テキスト①の 12-14 ページ、③の 104-116 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	20 世紀の有名な医学者の名前と業績を覚え、復習問題を解く。	1.5 時間
6	該当到達目標 1	講義内容 医学の歴史 (5)現代の医学(治療医学および検査・診断学の進歩)■		
		予習	テキスト①の 16-18 ページ、③の 136-143 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	現代までに大きく発展を遂げた診断法、検査法、治療法の概略を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	該当到達目標 1	講義内容 医学の歴史 (6)わが国の医学の歴史		
		予習	テキスト①の 18-21 ページ、③の 104-107、109-116 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	わが国の医学の歴史、特に明治期以降の発展を理解し、医学研究において医学者の成し遂げた先端的研究業績について学び、復習問題を解く。	1.5 時間
8	該当到達目標 2	講義内容 医の倫理 (医療人の遵守すべき倫理規範、臨床医学研究の在り方など)■		
		予習	テキスト①の 27-33 ページ、③の 2-19、173-181 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	医療倫理規範、倫理綱領、脳死と臓器移植、インフォームド・コンセントなどについて理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	該当到達目標 2	講義内容 社会保障制度と医療制度		
		予習	テキスト①の 42-50 ページ、③の 202-207、221-230 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	わが国の社会保証制度の全体像、国民総医療費の現状、医療保険制度、およびそれらの問題点について理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	該当到達目標 2	講義内容 現代の医療法規、健康提言、パンデミックとの闘いなど■		
		予習	テキスト①51-61 ページ、③62-102、118-125、208-220、258-274 ページ通読。	1.5 時間
		復習	現代医療法規や健康提言を理解し、パンデミックの歴史を知り、復習問題を解く。	1.5 時間
11	該当到達目標 3	講義内容 医学英語 I (1)造語の基本		
		予習	テキスト②の 1-2 ページを精読する。	1.5 時間
		復習	医学用語の構成を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	該当到達目標 3	講義内容 医学英語 I (2)語根、接頭語		
		予習	テキスト②の 1-10 ページを精読する。	1.5 時間
		復習	基本となる語根、接頭語、接尾語を理解して覚え、復習問題を解く。	1.5 時間
13	該当到達目標 3	講義内容 医学英語 I (3)、接尾語		
		予習	テキスト②の 6-9 ページを精読する。	1.5 時間
		復習	基本となる接尾語を理解して覚え、復習問題を解く。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2,3	講義内容 第 1-13 回の講義のまとめ。復習例題を各自が解答し、担当した問題を他者に解説する。		
		予習	テキスト、授業教材をもう一度見直し、例題問題が解答できるように準備する。	1.5 時間
		復習	テキストや例題解説の見直し、期末試験に備える。	1.5 時間
15	該当到達目標	講義内容 まとめ		
		予習	テキスト、講義教材等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習し、特に講義中に	1.5 時間

	1,2,3		強調された点について理解を深め、終了試験に備える。	
		復習	C-Learning の解説を参考にしながら終了試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示されたすべての事項を理解したことを確認する。	1.5 時間
	合計時間(予習・復習)			45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報セキュリティ I (専門導入科目)						科目ナンバリング	HII107		
英文名	Cyber Security I						講義形態	講義		
担当教員	松尾 仁司									
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	情報セキュリティマネジメント対応科目									
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
		問題解決力								
SDGs との関連	③ ④ ⑧ ⑨ ⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① デジタル社会の発展に伴い、基盤となる情報システムの安全確保や個人情報の保護など情報セキュリティは益々重要になっている。本講義では情報ネットワークにおける脅威の理解と情報セキュリティ技術と対策、システム運用の方法を体系的に学ぶ。 ② 講義の中で小テストを実施し理解度の確認と解答の理解による再学習を行う。									
到達目標	1. 情報セキュリティの基本知識を習得することができる。■ 2. 保健医療分野で必要とされる情報セキュリティに関する知識を習得することができる。■									
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本(最新版) (株)技術評論社									
参考文献										
評価方法	期末試験の成績 60%、授業中の小テスト 40%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストは次回の授業で解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)				メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入:情報セキュリティ								
	該当到達目標	予習	教科書の目次と 1-1 を熟読する。						1.0 時間	
	1	復習	教科書 1-1 の演習問題を解く。						2.0 時間	
2	講義内容	情報資産・脅威・脆弱性								
	該当到達目標	予習	教科書 1-2 を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 1-2 の演習問題を解く。						1.5 時間	
3	講義内容	サイバー攻撃手法								
	該当到達目標	予習	教科書 1-3 を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 1-3 の演習問題を解く。						1.5 時間	
4	講義内容	暗号								
	該当到達目標	予習	教科書 1-4 を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 1-4 の演習問題を解く。						1.5 時間	
5	講義内容	認証■								
	該当到達目標	予習	教科書 1-5 を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	教科書 1-5 の演習問題を解く。						1.5 時間	
6	講義内容	マルウェア対策								

	該当到達目標	予習	教科書 3-1 を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	教科書 3-1 の演習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	ネットワークの基礎		
	該当到達目標	予習	教科書 5-1-1~5-1-7 を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	教科書 5-1 の関連演習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	ネットワーク機器と不正アクセス対策		
	該当到達目標	予習	教科書 5-1-8~5-1-10、3-2 を熟読する	1.5 時間
	1	復習	教科書 5-1、3-2 の関連演習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	情報漏洩対策とアクセス管理		
	該当到達目標	予習	教科書 3-3~3-4 を熟読する	1.5 時間
	1	復習	教科書 3-3~3-4 の演習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	リスクマネジメント■		
	該当到達目標	予習	教科書 2-1 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 2-1 の演習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	セキュリティポリシー■		
	該当到達目標	予習	教科書 2-2 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	人的対策とシステム監査■		
	該当到達目標	予習	教科書 3-5, 2-6 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 3-5, 2-6 の演習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ関連法規とガイドライン■		
	該当到達目標	予習	教科書 4-2,4-3,2-3 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 4-2,4-3,2-3 の演習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	経営とセキュアシステム■		
	該当到達目標	予習	教科書 6-1, 6-2 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 6-1, 6-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	演習問題を復習し理解を確実にする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミング I (C プログラミング基礎) (専門導入科目)					科目ナンバリング	HII108			
英文名	Programming I (C Programming Foundation)					講義形態	演習			
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① プログラミング言語として C 言語を用い、基本的なプログラミング技法を習得することを目的とする。 毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、 プログラミングにおける様々な手法を身につける。 ② 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を 参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げ て提出する。									
到達目標	1. プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 入力した数値に演算を施して適切な結果を出力することができる。■ 3. 条件によって処理を振り分けて適切な結果を出力することができる。■ 4. 繰り返し処理を行って適切な結果を出力することができる。■ 5. 複数の数値を処理して合計値・平均値・最大値・最小値・公倍数・公約数等を求めることができる。■									
使用教材	自作のプリント									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(60%)、試験(20%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	プログラミング環境と基本操作								
	該当到達目標	予習	不要							0 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。							3 時間
2	講義内容	文字列の表示■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。							1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。							2 時間
3	講義内容	変数の表示と演算■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。							1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。							2 時間
4	講義内容	キーボードからの数値入力■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。							1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。							2 時間

5	講義内容	条件分岐処理① if 文■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	条件分岐処理② if 文のネスティング■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	反復処理① while 文■		
	該当到達目標 1,2,4	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	反復処理② while 文を使った一覧表出力■		
	該当到達目標 1,2,4	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	合計計算■		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	最大値・最小値■		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	まとめ問題と復習		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	前回までの内容に関する確認テスト		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	反復処理① for 文■		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	反復処理② for 文を使った応用■		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	特別課題とりくみ■		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Web デザイン I (専門導入科目)						科目ナンバリング	HII109		
英文名	Web Design I (Introduction to Web Design)						講義形態	演習		
担当教員	田村 拓郎、長澤 亨									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	Web クリエータ認定試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	4	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
					○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ネットワークで情報を発信する場合には、ホームページに関する知識が必要であり、きめ細やかなサイトを作成に基礎となる HTML5 の知識を修得する。特に HTML のタグの利用方法、CSS の記述方法を学習して、基本的な Web サイトを作成できる能力を身につける。 ② 授業の進め方は、指定教科書を基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合問題を解く。									
到達目標	1. HTML と CSS について説明できる。 2. HTM の記述方法、一般定義を記述できる。 3. HTML の仕切り、文字修飾、イメージ、作表、リンクを記述できる。 4. CSS の記述方法、スタイル関連の HTML タグを記述できる。 5. CSS によるテキスト、フォント、背景、ボックス、配置、疑似クラス、ID を記述できる。									
使用教材	HTML5&CSS3 標準デザイン講座 30LESSONS ISBN978-4-7981-5813-6									
参考文献										
評価方法	定期試験 40%、課題提出 40%、授業の参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限、4 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 604				メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、HTML 文章とは								
	該当到達目標 1,2	予習	LESSON1～2 を読んでおく					1 時間		
		復習	提出課題を完成させる					1.5 時間		
2	講義内容	文章構造、絶対パスと相対パス								
	該当到達目標 2,3	予習	LESSON3～6 を読んでおく					1 時間		
		復習	提出課題を完成させる					1.5 時間		
3	講義内容	表組み								

	該当到達目標 2,3	予習	LESSON11 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
4	該当到達目標 2,3	講義内容 リンクの設定		
		予習	LESSON4 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
5	該当到達目標 4	講義内容 CSS の基本書式		
		予習	LESSON5～7 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
6	該当到達目標 4,5	講義内容 CSS を用いた基本的な文章の装飾		
		予習	LESSON5～7 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
7	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 ボックスの設定		
		予習	LESSON5～8 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
8	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 背景画像を用いた装飾		
		予習	LESSON8 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
9	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 float レイアウト		
		予習	LESSON10、13 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
10	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 疑似クラス、display プロパティ		
		予習	LESSON7、10 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
11	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 フォームの設置		
		予習	LESSON11 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
12	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 CSS を指定した Web ページの作成練習 1		
		予習	CHAPTER1～3 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
13	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 CSS を指定した Web ページの作成練習 2		
		予習	CHAPTER1～3 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
14	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 デザインを指定した Web ページの作成練習 1		
		予習	CHAPTER1～3 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
15	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容 デザインを指定した Web ページの作成練習 2		
		予習	CHAPTER1～3 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	情報システム概論(専門導入科目)							科目ナンバリング	HII110		
英文名	Overview of Information System							講義形態	講義		
担当教員	高橋 真悟										
科目に関連した実務経験											
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位								
履修を必須とする資格	IT パスポート										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養						コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					2	生涯学習力			
		問題解決力									
SDGs との関連	4 9										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
										○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① IT 化の進む社会において、情報システムは必要不可欠なものである。医療機関や一般企業内にも様々な情報システムがあり、それらを結ぶ大規模なシステムも存在する。これらの基本的な知識を取得するとともに、情報システムを通して情報技術の知識を習得する。 ② 本講義はテキストおよび資料を用いて進めていく。また、毎回 C-Learning を用いてテストを実施する。										
到達目標	1. 企業と法務に関する基本的な知識を取得する 2. 経営戦略、システム戦略に関する基本的な知識を取得する 3. 開発技術やマネジメントに関する基本的な知識を取得する 4. コンピュータシステムに関する基本的な知識を取得する										
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM 出版)、最新版を使用する。										
参考文献											
評価方法	授業毎のテスト 90%、授業への取り組み 10%。										
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストの正答率が低い箇所などをフィードバックする。										
オフィスアワー (研究室)	水曜 4 限				メールアドレス (#→@)		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス									
	該当到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、勉強の進め方についても理解する							1.5 時間	
	1	復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。							1.5 時間	
2	講義内容	企業活動の基礎									
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する							1.5 時間	
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する							1.5 時間	
3	講義内容	法務の基礎									
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する							1.5 時間	
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する							1.5 時間	
4	講義内容	経営戦略、技術戦略の基礎									
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する							1.5 時間	

	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
5	講義内容	システム戦略の基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
6	講義内容	開発技術の基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
7	講義内容	プロジェクトマネジメントの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
8	講義内容	サービスマネジメントの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
9	講義内容	システム構成要素の基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
10	講義内容	ハードウェアの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
11	講義内容	ソフトウェアの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
12	講義内容	ネットワークの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
13	講義内容	ユーザ・インタフェースの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
14	講義内容	セキュリティの基礎		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
15	講義内容	最新テクノロジー		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、大学が推奨する性能の PC を使用する。 ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	Early Exposure(専門導入科目)						科目ナンバリング	HII111		
英文名	Early Exposure						講義形態	講義		
担当教員	医療情報学科全教員									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	3 4 8 16 17									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○					○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 社会人として必要とされる基礎知識やマナーなどを身につけるとともに、将来の進路を考えるための礎を築く。また、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成などの病院実習やインターンシップに必要な知識と技能を身につける。 ② 講義は、オムニバス形式で、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成の知識・技能を学ぶ。アドバイザーのゼミごとのグループワークも行う。									
到達目標	1. 一般常識を身につけることができる。 2. コミュニケーション能力を身につけることができる。 3. 社会人としてのマナーを身につけることができる。 4. 論理的な思考能力を身につけることができる。									
使用教材	講義資料を随時配布する。									
参考文献										
評価方法	レポート 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	オムニバス形式の講義であり、課題に対してはその都度担当教員がフィードバックを行う。									
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業開始前もしくは終了後に 応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段については、各自で教員に 確認すること。			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読しておく。						1 時間	
	1,2,3,4	復習	講義全体の目的とスケジュールを理解する。						2 時間	
2	講義内容	社会人の常識								
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。						1 時間	
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。						2 時間	
3	講義内容	Society5.0 時代に必要とされる知識と技能								
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。						1 時間	
	1,2,3,4	復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。						2 時間	
4	講義内容	病院と事務系人材について								

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
5	講義内容	PG・SE の業務内容、資格取得に必要な知識と技術		
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
6	講義内容	医療事務管理士と診療情報管理士の実務		
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
7	講義内容	医療情報の基礎と一般事務職の仕事に必要な知識と技能		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
8	講義内容	医療機関の概要と医療制度		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
9	講義内容	電話対応とコミュニケーションスキル		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
10	講義内容	企業における社会生活の基本		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
11	講義内容	情報検索と参考文献の書き方		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
12	講義内容	医療人材に必要な教養とは？		
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
13	講義内容	実地医療現場に、医療情報知識をどう活かすか		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
14	講義内容	就職に向けての心構えと準備		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
		復習	講義内容を復習し、提示された課題に取り組む。	2 時間
15	講義内容	統一テーマによるアドバイザー毎のゼミ		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	ゼミ毎に分かれレポートを作成する。	1 時間
		復習	レポートを作成する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	データサイエンス I (専門導入科目)						科目ナンバリング	HII112		
英文名	Data science I (Introduction to Data Science)						講義形態	講義		
担当教員	光山 訓									
科目に関連した実務経験	企業において医療、産業分野のデータ分析に関連した製品・サービス開発に従事									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修) 上級データサイエンス・AI 実務パスポート									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	2	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	③⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、データから情報を読み取る際に不可欠な記述統計を中心にデータ分析の基礎知識を習得し、分析の実践力を身に着ける。									
	② 講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進め、PC を利用した演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。なお、内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. データの種類を理解し、データの種類と分析目的に応じた適切な可視化ができる■ 2. 可視化したデータから、データの特徴を読み取り、その特徴の背景を考察することができる■ 3. 分布の形状を定量化する指標(代表値、分散、標準偏差、5 数要約等)とその特徴を説明できる 4. 分布の特徴を定量的に説明することができる 5. 2 変数の関連性を、相関係数を用いて説明することができる 6. 回帰分析について説明することができる■ 7. 確率の基本的性質について説明できる									
使用教材	「データの分析」日本統計学会編、東京図書、ISBN978-4-489-02332-3 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)	mitsuyama#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	データサイエンスとは何か、本講の概要とデータの種類								
	該当到達目標 1	予習	高校の「データの分析」を復習し、教科書の「1.1 データの種類」を読む。						1.5 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。						1.5 時間	
2	講義内容	質的データの集計と可視化								
	該当到達目標	予習	「1.2 質的変数の要約」「1.3 グラフによるデータの要約」「1.4 グラフ表現の工夫と注意点」を読む						1.5 時間	

	1,2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
3	講義内容	時系列データの可視化■		
	該当到達目標	予習	「1.5 時系列データの要約」「1.6 時系列グラフ作成上の注意点」を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
4	講義内容	度数分布とヒストグラム■		
	該当到達目標	予習	「2.1 度数分布表の作成」「2.2 ヒストグラムと度数分布多角形」「2.3 分布の特徴の把握」を読む	1.5 時間
	1,2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
5	講義内容	分布の位置を表す代表値		
	該当到達目標	予習	「3.1 位置に関する代表値」「A.1 総和記号 Σ 」を読む。	1.5 時間
	3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
6	講義内容	5 数要約と箱ひげ図		
	該当到達目標	予習	「2.4 分位数と5 数要約」「2.5 データの散らばり」「2.6 箱ひげ図」を読む。	1.5 時間
	3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
7	講義内容	分散と標準偏差		
	該当到達目標	予習	「3.2 観測値の散らばりの尺度」「3.3 変数の変換と平均値、分散、標準偏差」を読む。	1.5 時間
	3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	観測値の標準化とはずれ値		
	該当到達目標	予習	「3.3 変数の変換と平均値、分散、標準偏差」「3.4 探索的データ解析法と外れ値」を読む。	1.5 時間
	3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	相関と散布図		
	該当到達目標	予習	「4.1 2 つの変数の相関」「4.2 層別散布図」を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	相関係数		
	該当到達目標	予習	「4.3 相関係数」「4.4 相関係数の注意点」「4.5 相関と因果」を読む。	1.5 時間
	5	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	回帰分析■		
	該当到達目標	予習	「5. 回帰直線と予測」を読む	1.5 時間
	6	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	確率の基本的な性質		
	該当到達目標	予習	「6.1 事象と確率」を読む。	1.5 時間
	7	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	反復試行と条件付き確率		
	該当到達目標	予習	「6.2 事象の独立性と試行の独立性」「A.2 階乗、順列、組合せ」「6.3 条件付き確率」を読む。	1.5 時間
	7	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1) Excel を使ったデータの分析		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	1～7	復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	1～7	復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間

		合計時間(予習・復習)	45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。		

科目名		情報活用 I (専門導入科目)					科目ナンバリング	HII113			
英文名		Information Utilization I					講義形態	講義			
担当教員		坂本 孝									
科目に関連した実務経験		SEとして情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格		J 検情報活用試験対応科目									
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
			問題解決力								
SDGs との関連		9									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
											○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		毎回、講義内容が理解できているかを確認するためのテストを実施・採点・返却を行い、誤回答が多かった問題に対する解説・質疑応答を行う。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① IT 社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「情報活用」の前編である本講義では、情報活用に関する基礎知識を習得し、コンピュータ内でのデータの扱いや構成装置の機能等について学ぶ。 ② 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。									
到達目標		1. 情報関連資格の内容と意義について理解できる。 2. コンピュータのハードウェアの仕組みを説明できる。■ 3. コンピュータのソフトウェアの役割を説明できる。■ 4. コンピュータ内部で情報がどのように記憶・処理されているかを説明できる。■ 5. 現代社会におけるコンピュータの利用分野とその役割を説明できる。■									
使用教材		自作のプリント									
参考文献											
評価方法		毎回の確認テスト(80%)、検定結果(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回の確認テストは採点して翌週返却する。									
オフィスアワー (研究室)		火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)		sakamoto#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	講義概要と情報関連資格について									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。							1.5 時間	
2	講義内容	コンピュータの歴史と種類■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
3	講義内容	コンピュータの基礎知識■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
4	講義内容	情報社会とコンピュータ■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	2,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
5	講義内容	コンピュータの構成と性能■									

	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
6	講義内容	基数変換① n 進数のしくみ■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
7	講義内容	基数変換② 2 進数、8 進数、16 進数の相互変換■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
8	講義内容	文字データの表現■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
9	講義内容	記憶装置① 主記憶装置と補助記憶装置の分類■		
	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
10	講義内容	記憶装置② ハードディスクの仕組み■		
	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標 2,3,4,5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
12	講義内容	入出力装置■		
	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
13	講義内容	入出力インターフェース■		
	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
14	講義内容	論理演算■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ■		
	該当到達目標 2,3,4,5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		情報活用Ⅱ（専門導入科目）						科目ナンバリング	HII114		
英文名		Information Utilization Ⅱ						講義形態	講義		
担当教員		坂本 孝									
科目に関連した実務経験		SEとして情報通信企業に勤務（経験）									
学年・開講期		1 年 後期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格		J 検情報活用試験対応科目									
学位授与方針との対応		5	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
			問題解決力								
SDGs との関連		9									
アクティブラーニング実施方法		PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
											○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		毎回、講義内容が理解できているかを確認するためのテストを実施・採点・返却を行い、誤回答が多かった問題に対する解説・質疑応答を行う。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① IT 社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「情報活用」の後編である本講義では、ネットワークとセキュリティを中心とした基本知識について学ぶ。 ② 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取り組みを行っていく。									
到達目標		1. コンピュータ内部での演算の仕組みやファイルの扱いについて説明できる。■ 2. ネットワークの基本用語について説明できる。■ 3. IP アドレスの設定について理解し、自分で適切な設定できる。■ 4. セキュリティ対策の基本用語について説明できる。■ 5. システムの性能についての計算ができる。■									
使用教材		自作のプリント									
参考文献											
評価方法		毎回の確認テスト(80%)、検定結果(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		毎回の確認テストは採点して翌週返却する。									
オフィスアワー（研究室）		火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス （#→@）		sakamoto#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	補数■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。							1.5 時間	
2	講義内容	負の数■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
3	講義内容	演算のしくみ■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
4	講義内容	ファイルシステム■									
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。							1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。							1.5 時間	
5	講義内容	ファイル形式■									

	該当到達目標 1	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
6	講義内容	ネットワーク① 基本用語■		
	該当到達目標 2	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
7	講義内容	ネットワーク② プロトコル、サーバ■		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク① ネットワーク設定の基本■		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
9	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク② ネットワーク設定の詳細■		
	該当到達目標 2,3	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
10	講義内容	コンピュータ犯罪とセキュリティ対策■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
12	講義内容	バックアップ■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
13	講義内容	RAID システム■		
	該当到達目標 4	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
14	講義内容	小数の表現■		
	該当到達目標 1,5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
15	講義内容	システムの性能■		
	該当到達目標 5	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
		復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報活用実習(専門導入科目)						科目 ナンバリング	HII115		
英文名	Information Utilization Practice						講義形態	実習		
担当教員	高橋 大志									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする 資格	Excel 表計算処理技能認定試験									
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○		○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要	① Excel はあらゆるビジネスシーンにおいて最も活用されている表計算ソフトである。本講義では、Excel を活用して効果的に実務を行うための、高度な技術、知識を習得することを目的とする。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 講義では説明を行った後、実際に Excel ファイルを操作する。									
到達目標	1. Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に合格する。 2. Excel 表計算処理技能認定試験 2 級に合格する。 3. Excel 表計算処理技能認定試験 1 級に合格する。									
使用教材	Excel 表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集 サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会									
参考文献	30 時間アカデミック Office2021 実教出版									
評価方法	期末試験(100%)で評価する。また、資格合格の場合には合格級で成績を評価(100%)する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	講義にて解答・解説を行なう。									
オフィスアワー (研究室)	質問は講義終了時及びメールで受け付 ける。研究室:1 号館 314				メールアドレス (#→@)	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	講義全体のガイダンス、作業環境、基本操作								
	該当到達目標 1	予習	Excel の使用方法を確認しファイルをダウンロードする。						1 時間	
		復習	ファイルの操作方法を確認する。						1 時間	
2	講義内容	3 級実技模擬試験 1								
	該当到達目標 1	予習	Excel の使用方法を確認する。						1 時間	
		復習	課題を実施する。						1 時間	
3	講義内容	3 級実技模擬試験 2								
	該当到達目標 1	予習	課題を実施する。						1 時間	
		復習	次週のファイル(練習 02 問題.xlsx)をダウンロードし実施する。						1 時間	
4	講義内容	2 級実技練習問題 1-1								
	該当到達目標 2	予習	2 級知識問題を解く。						1 時間	
		復習	実技ファイルを実施する。						1 時間	
5	講義内容	2 級実技練習問題 1-2								
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。						1 時間	

	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
6	講義内容	2 級実技練習問題 2-1		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
7	講義内容	2 級実技練習問題 2-2		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
8	講義内容	2 級実技練習問題 3-1		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
9	講義内容	2 級実技練習問題 3-2		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
10	講義内容	2 級実技模擬問題 1-1		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
11	講義内容	2 級実技模擬問題 1-2		
	該当到達目標	予習	2 級知識問題を解く。	1 時間
	2	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
12	講義内容	1 級実技練習問題 1-1		
	該当到達目標	予習	1 級知識問題を解く。	1 時間
	3	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
13	講義内容	1 級実技練習問題 1-2		
	該当到達目標	予習	1 級知識問題を解く。	1 時間
	3	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
14	講義内容	1 級実技練習問題 2-1		
	該当到達目標	予習	1 級知識問題を解く。	1 時間
	3	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
15	講義内容	1 級実技模擬問題 2-2		
	該当到達目標	予習	1 級知識問題を解く。	1 時間
	3	復習	実技ファイルを実施する。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	本講義では、学生自身のコンピュータを用いて実習を行う。 また Excel の操作方法を習得するために必ず予習と復習に取り組み、予習・復習時間の不足分は各自で実施すること。 オンラインで実施する場合であっても講義内容は変更せず、各自の PC で実施してもらう。 成績も対面と同様に評価し、出席はコメントや課題提出等で確認する。 Excel 表計算処理技能認定試験(各級)に対応			

科目名	人体構造・機能論(専門基幹科目)							科目ナンバリング	HIB201	
英文名	Structure & Function of the Human Body							講義形態	講義	
担当教員	小澤 滯司									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 前期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	3 4 6									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○							
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 人体の構造と機能についての基本的事項、およびそれらの基礎的知識に基づく病気の起こるメカニズムの概要を理解する。 ② 各講義で人体の構造と機能の異常がどのような病態を生じさせるかを、実務経験を含めて解説する。									
到達目標	1. 人体を構成する細胞・組織・器官および器官系の構造と機能を理解する。 2. 上記の知識に基づき、それらの異常がどのような病気をもたらすかを推論できる。■ 本科目の内容を十分に理解しておくことは、臨床医学総論、および臨床医学各論Ⅰ－Ⅵを学ぶための準備として不可欠である。									
使用教材	テキスト:人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版 テキストの中から、人体の構造と機能の基本を理解するための重要事項を選んで講義する。									
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会									
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは実施直後に出題の意図、模範解答を解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限と 4 時限				メールアドレス (#→@)		sozawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	人体の構造と機能の概要、細胞								
	該当到達目標 1,2	予習	テキストの第 1 章 1-6 ページに目を通す。							1.5 時間
		復習	人体の構造と機能の概要、細胞とその構成要素、およびそれらの役割を理解する。							1.5 時間
2	講義内容	人体の構成、細胞を取り巻く環境とその恒常性								
	該当到達目標 1,2	予習	テキストの第 1 章 9-15 ページに目を通す。							1.5 時間
		復習	細胞・組織・器官・器官系の関連、および細胞を取り巻く環境とその恒常性、特に細胞外液の浸透圧濃度の恒常性を理解する。							1.5 時間
3	講義内容	遺伝子のはたらき								

	該当到達目標 1,2	予習	テキストの第 1 章 6-9 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	遺伝子、DNA の複製、タンパク質合成の分子メカニズムを理解する。	1.5 時間
4	該当到達目標 1,2	講義内容	骨格系・骨格筋系(1) 身体の区分、運動の方向、姿勢、骨格、骨と関節の構造	
		予習	テキストの第 2 章 17-44 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	身体の区分と表示法、骨格とその構成要素である骨と関節の構造を理解する。	1.5 時間
5	該当到達目標 1,2	講義内容	骨格系・骨格筋系(2) 骨格筋の構造と機能	
		予習	テキストの第 2 章 44-63 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	骨格筋の構造と収縮メカニズムを理解する。主要な骨格筋の名称を覚える。	1.5 時間
6	該当到達目標 1,2	講義内容	神経系の構造と機能(1) ニューロン、グリア、シナプス	
		予習	テキストの第 3 章 71-80 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	神経線維およびシナプスにおける情報伝達のメカニズムを理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容	神経系の構造と機能(2) 中枢神経系(脳と脊髄)	
		予習	テキストの第 3 章 80-99 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	脳と脊髄の構造、および脳の区分と各部位の機能の概要を理解する。	1.5 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容	神経系の構造と機能(3) 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)	
		予習	テキストの第 3 章 99-113 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	体性神経系と自律神経系の区分、およびそれらの構造と機能を理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容	循環器系の構造と機能■	
		予習	テキストの第 5 章 149-183 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	心臓と血管の構造と機能を理解する。特に、心臓弁の名称と機能、興奮伝導系、心電図、冠循環について時間をかけて復習する。	1.5 時間
10	該当到達目標 1,2	講義内容	血液・体液	
		予習	テキストの第 6 章 187-203 ページと第 7 章 206-213 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	血液組成、血液凝固、血液型、体液区分、体液の恒常性(浸透圧、電解質組成、酸塩基平衡など)について理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容	呼吸器系の構造と機能■	
		予習	テキストの第 9 章 233-256 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸器の構造、換気とガス交換のメカニズム、呼吸調節について理解する。	1.5 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容	消化器系の構造と機能	
		予習	テキストの第 10 章 259-284 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	消化器系の構造、および胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢の機能を理解する。	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容	泌尿器系の構造と機能	
		予習	テキストの第 11 章 305-321 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	泌尿器系の構造、および腎臓において尿が生成される過程を理解する。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容	内分泌系とホルモン。および 1-14 回の講義の内容のうちで重要な事項を指摘する。特に、心と身体の不調がどのような人体構造と機能の異常によって生じるのかを具体例を挙げて説明する。	
		予習	テキストの第 12 章 323-348 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	内分泌の定義を理解し、主要なホルモンの名称、化学構造、機能を覚える。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	1.5 時間
15	該当到達目標	講義内容	まとめ、重要事項の解説	
		予習	テキストおよび配布された講義教材を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、	1.5 時間

			特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学総論(専門基幹科目)							科目ナンバリング	HIB202	
英文名	Outline of Clinical Medicine							講義形態	講義	
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務(現在)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
									○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 病気の原因・診断・検査と治療の概要、先天奇形・染色体異常、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響を習得する。 ② 各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。C-learning で毎回復習問題を出題し、講義終了後に C-learning 上でその都度解説を行う。									
到達目標	1. 病気の主な原因とその際に起こる人体の組織・器官の変化の概要を説明できる。 2. 病気の診断と治療がどのように行われるか、および病気の診断と治療の過程で行われる多種類の検査のもつ意義を説明できる。■ 3. 先天奇形、主な染色体異常症候群、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響を説明できる。									
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理 I (基礎・医学編)」第 8 版 日本病院会									
参考文献	学生のための医療概論 第 4 版 医学書院、「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社、 人体の構造と機能 第 5 版 医歯薬出版									
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題は、各講義終了後に C-learning 上で解説を行う。 期末試験は全般理解度を確認し、試験後に C-learning 上で解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	質問等はメールで受け付ける。					メールアドレス (#→@)	sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	健康と疾病、疾病の原因(1)								
	該当到達目標	予習	テキスト 113-114 ページ、医療概論 62-81 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	健康と疾病の言葉の定義、病気の原因を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
2	講義内容	疾病の原因(2)								
	該当到達目標	予習	テキスト 114-119 ページ、医療概論 82-90 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	病気の原因を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
3	講義内容	組織・臓器の病理学的変化、病気の診断、治療の方針								
	該当到達目標	予習	テキストの 121-122 ページと 134-136 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	組織・臓器の病理学的変化、病気の診断方法および治療方針を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
4	講義内容	検査所見								

	該当到達目標 1,2	予習	テキストの 123-134 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	さまざまな検査の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容	先天奇形:神経系、眼、耳、顔面、頸部、呼吸器系の奇形		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 137-143 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	神経系、眼、耳、顔面、頸部、呼吸器系の奇形を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	先天奇形:消化器系、生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の奇形		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 144-150 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	消化器系、生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の奇形を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	染色体異常		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 151-152 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	染色体異常の定義、疾患について理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	損傷(1)皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部組織の損傷■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 153-155 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部組織の損傷の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	損傷(2)頭部、頸部、胸部の損傷		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 156-160 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	頭部、頸部、胸部の損傷の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	損傷(3)腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 161-165 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷の概念について理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	損傷(4)肩、四肢の損傷		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 165-178 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	肩、四肢の損傷の概念について理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	薬物による中毒、非薬物の毒作用(1)■		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 178-185 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	薬物による中毒、非薬物の毒作用(1)の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	非薬物の毒作用(2)		
	該当到達目標 3	予習	テキストの 185-193 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	非薬物の毒作用(2)の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	1-13 回の講義の振り返り、重要事項を含む例題問題の出題と学生自身による例題問題の解答・解説		
	該当到達目標 3	予習	テキスト、C-learning 上の講義資料を利用して 1-13 回の講義内容を復習する。 特に授業中に強調された点について理解を深める。	1.5 時間
		復習	例題、まとめ、重要事項の解説で示された項目を見直し、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標 1,2,3	予習	復習問題、例題問題、講義資料により講義内容の復習をし、期末試験の準備を行う。	1.5 時間
		復習	C-learning の解説を参考にしながら期末試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫、血液）（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB203		
英文名	Clinical MedicineⅠ（Infection, Blood etc.）						講義形態	講義		
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 病原微生物による疾患、および血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 ② 各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。各講義で毎回復習問題を出題し、講義終了後に C-learning にて解説を行う。									
到達目標	1. 病原微生物による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項を説明できる。■ 2. 血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項を説明できる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会									
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 免疫・膠原病・感染症編第 2 版、血液編第 2 版									
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了後 C-learning にて解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後に C-learning でまとめの解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	質問等は電子メールで受け付ける。				メールアドレス （#→@）	sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	感染症総論（1） 病原微生物の種類、検査など								
	該当到達目標	予習	テキストの 197-200 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	感染症の発生するメカニズムや検査法などを理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
2	講義内容	感染症総論（2） 治療、予防など■								
	該当到達目標	予習	テキストの 199-201 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	感染症の治療と予防を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
3	講義内容	腸管感染症■								
	該当到達目標	予習	テキストの 202-206 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	腸管感染症の概要を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
4	講義内容	結核および非結核性抗酸菌症■								
	該当到達目標	予習	テキストの 207-209、213、214 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	結核および非結核性抗酸菌症を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
5	講義内容	人獣共通感染症、種々の感染症								
	該当到達目標	予習	テキストの 210-221 ページ目を通す。							1.5 時間

	1	復習	呼吸器および人獣共通感染症の概略を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	性感染症、スピロヘータなど		
	該当到達目標	予習	テキストの 225-233 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	性感染症、スピロヘータの概略を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	ウイルス感染症 総論、種々のウイルス感染症		
	該当到達目標	予習	テキストの 234-240 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	ウイルス感染症総論および代表的ウイルス疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	ウイルス肝炎、HIV、その他ウイルス疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 244-252 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	ウイルス肝炎、HIV および関連感染症を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	真菌症、原虫疾患、寄生虫疾患など■		
	該当到達目標	予習	テキストの 253-262 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	真菌症、原虫疾患、寄生虫疾患などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	血液疾患総論		
	該当到達目標	予習	テキストの 319-325 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	血液疾患総論(組成、造血メカニズムなど)を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	貧血疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 328-334 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	さまざまな貧血疾患につき理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	無形成性貧血およびその他の貧血、凝固障害など		
	該当到達目標	予習	テキストの 335-341 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	無形成性貧血、その他の貧血、凝固障害を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	その他の血液造血器疾患、免疫機構の障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 342-345 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	その他の血液造血器疾患、免疫機構の障害につき理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	1-13 回の講義の振り返り、重要事項を含む例題問題の出題と学生自身による例題問題の解答・解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、C-learning 上の講義資料を利用して 1-13 回の講義内容を復習する。特に授業中に強調された点について理解を深める。	1.5 時間
	1,2	復習	例題、まとめ、重要事項の解説で示された項目を見直し、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	復習問題、例題問題、講義資料により講義内容の復習をし、期末試験の準備を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	C-learning の解説を参考にしながら期末試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅱ（新生物、代謝・内分泌）（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB204		
英文名	Clinical Medicine Ⅱ（Neoplasm, Metabolism etc）						講義形態	講義		
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	36									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 腫瘍（新生物）による疾患、および内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 ② 各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。C-learning で毎回復習問題を出題し、講義終了後に C-learning 上でその都度解説を行う。									
到達目標	1. 腫瘍（新生物）による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会									
参考文献	「病気がみえる」シリーズ 消化器第 6 版、呼吸器第 3 版、血液第 2 版、婦人科・乳腺外科第 2 版、腎・泌尿器第 3 版、耳鼻科第 1 版、糖尿病・代謝・内分泌編第 5 版、皮膚科第 1 版 MEDIC MEDIA 社 「がんがみえる」 第 1 版 MEDIC MEDIA 社									
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了後に C-learning 上で解説を行う。 期末試験は全般理解度を確認し、試験後に C-learning 上で解説を行う。									
オフィスアワー（研究室）	質問等はメールで受け付ける。				メールアドレス （#→@）	sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	腫瘍（新生物）総論（1） 腫瘍の定義、分類など								
	該当到達目標 1	予習	テキストの 265-266 ページに目を通す						1.5 時間	
		復習	腫瘍の総論（腫瘍の定義、分類）につき理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
2	講義内容	腫瘍（新生物）総論（2） 画像診断、治療、予防など■								
	該当到達目標 1	予習	テキストの 123-136 ページの該当部分に目を通す。						1.5 時間	
		復習	腫瘍の総論（画像診断、治療、予防）につき理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
3	講義内容	食道・胃の悪性新生物■								
	該当到達目標 1	予習	テキストの 270-276、279-280 ページに目を通す。						1.5 時間	
		復習	食道・胃の悪性新生物につき理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
4	講義内容	大腸、肝・胆・膵の悪性新生物■								
	該当到達目標 1	予習	テキストの 276-285 ページに目を通す。						1.5 時間	
		復習	大腸および肝胆膵系の悪性新生物を理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	

5	講義内容	頭頸部、呼吸器、骨、皮膚の悪性新生物		
	該当到達目標	予習	テキストの 266-270、287-293 ページに目を通す	1.5 時間
	1	復習	頭頸部、呼吸器、骨、皮膚の悪性新生物を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	乳房、子宮、卵巣の新生物		
	該当到達目標	予習	テキストの 293-298 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	乳房、子宮、卵巣の新生物を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	前立腺、泌尿器、脳などの新生物		
	該当到達目標	予習	テキストの 298-302、312 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	前立腺、泌尿器、脳の新生物を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	内分泌腺、リンパ組織・造血器関連の悪性新生物		
	該当到達目標	予習	テキストの 302-305 ページに目を通す	1.5 時間
	1	復習	内分泌腺、リンパ組織・造血器関連の新生物を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	造血器の悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物■		
	該当到達目標	予習	テキストの 305-313 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	造血器の悪性新生物、上皮内新生物、良性新生物を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	内分泌、甲状腺、副甲状腺疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 347-353、359-361 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	内分泌、甲状腺、副甲状腺疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	糖尿病、低血糖症、膵内分泌障害■		
	該当到達目標	予習	テキストの 355-359 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	糖尿病、低血糖症、膵内分泌障害を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	下垂体、副腎疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 362-370 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	下垂体、副腎疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	栄養・代謝障害、体液・電解質異常		
	該当到達目標	予習	テキストの 370-384 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	栄養・代謝障害、体液・電解質異常を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	1-13 回の講義の振り返り、重要事項を含む例題問題の出題と学生自身による例題問題の解答・解説		
	該当到達目標	予習	テキスト C-learning 上の講義資料を利用して 1-13 回の講義内容を復習する。特に授業中に強調された点について理解を深める。	1.5 時間
	1,2	復習	例題、まとめ、重要事項の解説で示された項目を見直し、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	復習問題、例題問題、講義資料により講義内容の復習をし、期末試験の準備を行う。	1.5 時間
	1,2	復習	C-learning の解説を参考にしながら期末試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅲ（循環器・呼吸器）（専門基幹科目）							科目ナンバリング	HIB205	
英文名	Clinical MedicineⅢ（Cardiovascular & Respiratory systems）							講義形態	講義	
担当教員	佐藤 賢									
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院・診療所に勤務（現在）									
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○							
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 循環器、呼吸器系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 各講義で循環・呼吸器疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。									
到達目標	1. 循環器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 呼吸器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■									
使用教材	テキスト：診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会									
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 人体の構造と機能 第 5 版 医歯薬出版									
評価方法	期末試験 50%、レポート、ミニテスト、授業参加貢献度等を 50%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のレポート、ミニテストでは、実施後の講義で出題の意図、問題に対する模範解答を解説する。									
オフィスアワー（研究室）	質問等はメールで受け付ける				メールアドレス（#→@）		sato-ken@takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	循環器疾患（1）循環器疾患総論 ①主要症候								
	該当到達目標	予習	参考書（人体構造・機能論のテキスト）第 5 章 循環系と講義教材、およびテキストの 92-94, 473-474 ページに目を通す。病気がみえる（循環器）4-15, 30-37 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	循環器疾患の主要症候の発生メカニズムを理解する。							1.5 時間
2	講義内容	循環器疾患（2）循環器疾患総論 ②心不全								
	該当到達目標	予習	テキストの 519-523 ページに目を通す。病気がみえる（循環器）110-125 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	左心不全と右心不全の発生メカニズムと症状を理解する。							1.5 時間
3	講義内容	循環器疾患（3）循環器疾患総論 ③検査（i）心音、血液生化学、心電図■								
	該当到達目標	予習	テキストの 474-476 ページに目を通す。病気がみえる（循環器）38-79 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	循環器疾患の際に、心音、血液生化学検査、心電図で検出される代表的な変化							1.5 時間

			を理解する。	
4	講義内容	循環器疾患 (4)循環器疾患総論 ④検査(ⅱ)心電図、心エコー、心カテーテルなど		
	該当到達目標	予習	テキストの 476-478 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)56-73, 80-95 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	心電図、心エコー、心カテーテル検査の概要を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	循環器疾患 (5)リウマチ性心疾患、弁膜症		
	該当到達目標	予習	テキストの 487-495 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)210-233 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	僧房弁と大動脈弁の異常に重点をおいて、弁膜症の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	循環器疾患 (6)先天性心疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 487-495 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)274-327 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	先天性心疾患の種類、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器疾患 (7)高血圧性疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 495-500 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)376-398 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	高血圧の定義、原因、治療の目的、高血圧による臓器障害を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	循環器疾患 (8)虚血性心疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 501-506 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)126-159 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	狭心症と急性心筋梗塞の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	循環器疾患 (9)肺性心疾患、その他の心疾患(心膜炎、心筋症など)		
	該当到達目標	予習	テキストの 507-519 ページに目を通す。病気がみえる(呼吸器)259, 272-278 ページ, 病気がみえる(循環器)242-272 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	肺性心疾患、心膜疾患、急性心筋炎、心筋症の概要を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	循環器疾患 (10)動脈と静脈の疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 532-542 ページに目を通す。病気がみえる(循環器)328-375 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	動脈硬化、大動脈瘤、大動脈解離、動脈血栓・塞栓、静脈血栓、痔核、食道静脈瘤などの概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器疾患 (1)呼吸器疾患総論、呼吸不全		
	該当到達目標	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第 9 章 呼吸器系と講義教材、およびテキストの 545-546 ページと 578-580 ページに目を通す。病気がみえる(呼吸器)2-91 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	呼吸器疾患の主要症候の発生するメカニズムと呼吸不全の定義を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	呼吸器疾患 (2)上気道感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症■		
	該当到達目標	予習	テキストの 548-558 ページに目を通す。病気がみえる(呼吸器)92-101 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	普通感冒とインフルエンザの区別、インフルエンザウイルスの多型性について理解する。また、新型コロナウイルス感染症の特徴、感染経路、症状、検査、治療と	1.5 時間

			予防の要点について理解する。	
13	講義内容	呼吸器疾患 (3)肺炎		
	該当到達目標	予習	テキストの 550-558, 573-575 ページに目を通す。病気がみえる(呼吸器)118-133, 190-201 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	肺炎の分類、原因、症状、検査、治療法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	呼吸器疾患 (4)慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌、その他の疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 561-564, 565-566 ページに目を通す。病気がみえる(呼吸器)206-254, 156-168 ページに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌、その他の疾患の原因、症状、検査、治療法を十分に復習して理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義教材等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	1.5 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅳ(消化器・腎泌尿器、皮膚)(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB206		
英文名	Clinical Medicine Ⅳ (Digestive & Urinary Systems etc.)						講義形態	講義		
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務(現在)									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 消化器系、腎・泌尿器系の疾患、および皮膚疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 ② 各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。C-learning で毎回復習問題を出題し、C-learning 上でその都度解説を行う。									
到達目標	1. 消化器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 腎・泌尿器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 3. 皮膚疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会									
参考文献	「病気がみえる」シリーズ 消化器第6版、腎・泌尿器第2版、皮膚科第1版 MEDIC MEDIA 社 皮膚科ビジュアルブック 学研メディカル社									
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題は、各講義終了時に C-learning 上で解説を行う。 終了試験では、全般理解度を確認し、試験後に C-learning 上でまとめの解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	質問等はメールで受け付ける。				メールアドレス (#→@)		sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	消化器疾患(1) 消化器疾患総論								
	該当到達目標	予習	テキストの 585-588、608-611、623-627 ページに目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	消化器疾患の主要症候・検査などを理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
2	講義内容	消化器疾患(2) 口腔、食道、胃・十二指腸の疾患■								
	該当到達目標	予習	テキストの 588-596 ページに目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	口腔、食道、胃・十二指腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
3	講義内容	消化器疾患(3) 小腸、大腸の疾患■								
	該当到達目標	予習	テキストの 596-608 ページに目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	小腸、大腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、復習問題を解く。						1.5 時間	
4	講義内容	消化器疾患(4) 肝臓疾患(1)								
	該当到達目標	予習	テキストの 608-615 ページに目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	肝臓疾患、肝障害(アルコール性、薬剤性)、肝不全の特徴・症状・検査・治療を理						1.5 時間	

			解し、復習問題を解く。	
5	講義内容	消化器疾患(5) 肝臓疾患(2)		
	該当到達目標	予習	テキストの 616-623 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	慢性肝炎、脂肪肝などの特徴・症状・検査・治療を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	消化器疾患(5) 胆嚢、胆管、膵臓の疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 623-638 ページに目を通す。	1.5 時間
	1	復習	胆嚢、胆管、膵臓の特徴・症状・検査・治療を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	腎・泌尿器疾患(1) 腎臓疾患総論		
	該当到達目標	予習	テキストの 639-642 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	腎疾患の症状・検査などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	腎・泌尿器疾患(2) 腎系球体疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 643-652 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	腎系球体疾患の症状・検査・治療などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	腎・泌尿器疾患(3) 全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患■		
	該当到達目標	予習	テキストの 653-659 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患の症状、検査、治療法を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	腎・泌尿器疾患(4) 腎不全、尿管結石、尿細管疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 659-668 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	腎不全、尿路系、尿細管疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	腎・泌尿器疾患(5) 尿路系疾患、生殖器疾患、不妊症		
	該当到達目標	予習	テキストの 669-683 ページに目を通す。	1.5 時間
	2	復習	尿路系疾患、生殖器疾患、不妊症の概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	皮膚疾患(1) 皮膚疾患総論、皮膚の感染症、水疱症		
	該当到達目標	予習	テキストの 735-741 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	皮膚疾患、感染症、水疱症の主症状・治療を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	皮膚疾患(2) 皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 743-753、760-763 ページに目を通す。■	1.5 時間
	3	復習	皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	皮膚疾患(3) 毛髪疾患、褥瘡、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍		
	該当到達目標	予習	テキストの 754-760、763-768 ページに目を通す。	1.5 時間
	3	復習	毛髪疾患、褥瘡、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、重要ポイントの解説など		
	該当到達目標	予習	期末試験に向け、復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	1.5 時間
	1,2,3	復習	C-learning の解説を参考にしながら終了試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅴ（周産期、筋骨格）（専門基幹科目）							科目ナンバリング	HIB207	
英文名	Clinical Medicine Ⅴ（Perinatal Medicine etc.）							講義形態	講義	
担当教員	坂本 輝彦									
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院に勤務（現在）									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	8	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③⑥									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
					○				○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 妊娠、周産期における疾患、および筋・骨格系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。 ② 各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。C-learning で毎回復習問題を出題し、C-learning 上でその都度解説を行う。									
到達目標	1. 妊娠、周産期における疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 骨格系の疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会									
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 産科編第 4 版、整形外科編第 1 版、免疫・膠原病編第 2 版									
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了後 C-learning にて解説を行う。 期末試験は全般理解度を確認し、試験後に C-learning で解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	質問等はメールで受け付ける。				メールアドレス （#→@）	sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	生殖器の構造と機能、性周期、妊娠の成立								
	該当到達目標	予習	テキストの 689 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	生殖器の構造と機能、性周期、妊娠の成立を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
2	講義内容	正常の妊娠の成立と維持、分娩								
	該当到達目標	予習	テキストの 689-692 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	妊娠の成立、維持、分娩を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
3	講義内容	流産								
	該当到達目標	予習	テキストの 692-701 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	流産の概要を理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
4	講義内容	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻■								
	該当到達目標	予習	テキストの 701-704 ページに目を通す。							1.5 時間
	1	復習	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻の症状・検査などを理解し、復習問題を解く。							1.5 時間
5	講義内容	予想される分娩の諸問題（1） 多胎妊娠、胎位異常など								

	該当到達目標 1	予習	テキストの 705-708 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	多胎妊娠、胎位異常などの概念を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	予想される分娩の諸問題(2) 回旋異常など		
	該当到達目標 1	予習	テキストの 709-713 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	回旋異常などの症状・治療などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	予想される分娩の諸問題(3) 前期破水、前置胎盤など		
	該当到達目標 1	予習	テキストの 714-718 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	前期破水、前置胎盤などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	分娩・産褥における合併症		
	該当到達目標 1	予習	テキストの 719-724 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	分娩・産褥における合併症を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	周産期の児に発生する病態		
	該当到達目標 1	予習	テキストの 724-732 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	周産期の児に発生する病態概要を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	関節障害■		
	該当到達目標 2	予習	テキストの 769-776 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	関節障害をきたす疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	全身性結合組織障害■		
	該当到達目標 2	予習	テキストの 776-787 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	全身性結合組織障害の特徴を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	脊柱障害		
	該当到達目標 2	予習	テキストの 787-798 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	脊柱障害の特徴を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	骨軟部組織障害		
	該当到達目標 2	予習	テキストの 798-810 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	骨軟部組織障害の特徴を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	第 1-13 回の講義の振り返り。復習例題を各自が解答し、担当した問題を他者に解説する。		
	該当到達目標 1,2	予習	テキスト、授業教材をもう一度見直し、例題問題が解答できるように準備する。	1.5 時間
		復習	テキストや例題解説を見直し、期末試験に備える。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標 1,2	予習	復習問題、例題問題、講義資料により講義内容の復習をし、期末試験の準備を行う。	1.5 時間
		復習	C-learning の解説を参考にしながら期末試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	臨床医学各論Ⅵ(精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ)(専門基幹科目)							科目ナンバリング	HIB208		
英文名	Clinical Medicine Ⅵ (Nervous system) & Medical English Ⅱ							講義形態	講義		
担当教員	坂本 輝彦、上原 徹										
科目に関連した実務経験	坂本: 非常勤医師として病院に勤務(現在) 上原: 非常勤医師として病院に勤務(現在)										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル				
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力				
	1	問題解決力									
SDGs との関連	③⑥										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
					○				○	○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法	各講義後に復習問題を課し、理解度を確認するほか、次回講義時にコメントを行い知識の定着を図る。										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 精神・神経系、感覚器の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などに関する基本的事項、および疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現法を理解する。 ② 各講義で精神神経疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。医学英語では、学生が問題集の演習問題を解いて、解答に至る過程を他者に説明することにより授業を進める。										
到達目標	1. 神経系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。■ 2. 精神疾患の基本的事項を理解する。■ 3. 眼疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 4. 耳鼻科疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 5. 多様な疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現を日本語に訳すことができる。										
使用教材	テキスト: ① 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会 ② 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版 日本病院会 ③ 診療情報管理士教育練習問題集 2021 基礎・医学編 日本病院会										
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社 脳・神経編第2版、眼科編第1版、耳鼻科編第1版										
評価方法	期末試験 80%、レポート、ミニテスト、授業参加度等を 20%として、合計 60%以上を合格とする。										
課題・評価に対するフィードバック方法	各講義の際に毎回出題する復習問題については、各講義終了後 C-learning にて解説を行う。終了試験では、全般理解度を確認し、試験後に C-learning でまとめの解説を行う。										
オフィスアワー (研究室)	質問等はメールで受け付ける。				メールアドレス (#→@)		sakamoto-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	神経系疾患(1) 神経疾患を理解するための基礎的事項									
	該当到達目標	予習	テキスト①の 425-427 ページに目を通す。							1.5 時間	
	1	復習	神経系の構造と機能に関する知識に基づき、主要症状の発生メカニズムを理解し、復習問題を解く。							1.5 時間	
2	講義内容	神経系疾患(2) 脳血管疾患■									

	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 527-532 ページに目を通す	1.5 時間
		復習	脳血管疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
3	講義内容		神経系疾患(3)中枢神経系の炎症性疾患、変性疾患	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 427-433 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	中枢神経系の炎症性疾患、変性疾患を理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
4	講義内容		神経系疾患(4)脱髄疾患、てんかん、末梢神経障害など	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 433-441 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	脱髄疾患、てんかん、末梢神経系疾患などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容		神経系疾患(5) 神経・筋接合部疾患、脳性麻痺、水頭症など	
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の 441-446 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	重症筋無力症、筋ジストロフィー、脳性麻痺、水頭症などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容		眼疾患(1) 結膜疾患、白内障、緑内障など	
	該当到達目標 3	予習	テキスト①の 447-455 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	結膜疾患、白内障、緑内障などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容		眼疾患(2) 硝子体、眼球疾患など。耳鼻科疾患 めまい、中耳疾患など。■	
	該当到達目標 3,4	予習	テキスト①の 456-470 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	硝子体、眼球疾患、めまい、中耳疾患などを理解し、復習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容		医学英語Ⅱ(1)造語法の基本(医学英語Ⅰの復習)	
	該当到達目標 5	予習	テキスト②の 1-10 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	テキスト③の 12 章 問題 12-1 から 12-35 を解き直し、復習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容		医学英語Ⅱ(2)循環器・呼吸器・消化器疾患の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 5	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
10	講義内容		医学英語Ⅱ(3)泌尿生殖器・血液・代謝・内分泌疾患等の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 5	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
11	講義内容		医学英語Ⅱ(4)精神神経・感覚器・骨格系・皮膚疾患等の症状・検査・診断・治療の用語	
	該当到達目標 5	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1.5 時間
		復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
12	講義内容		精神と行動の障害(1)精神疾患総論、器質性精神障害、精神作用物質など	
	該当到達目標 2	予習	テキスト①の 391-396 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	C-learning 上の講義資料に基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
13	講義内容		精神と行動の障害(2)統合失調症、気分障害、神経症性障害、広汎性発達障害など	
	該当到達目標 2	予習	テキスト①の 397-422 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	C-learning 上の講義資料に基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
14	講義内容		1-13 回の講義の振り返り、重要事項を含む例題問題の出題と学生自身による例題問題の解答・解説実施	
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	テキスト、C-learning 上の講義資料を利用して 1-13 回の講義内容を復習する。特に授業中に強調された点について理解を深める。	1.5 時間
		復習	例題、まとめ、重要事項の解説で示された項目を見直し、各自で理解する。	1.5 時間

15	講義内容	まとめ			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	復習問題、例題問題、講義資料により講義内容の復習をし、期末試験の準備を行う。	1.5 時間	
		復習	C-learning の解説を参考にしながら期末試験を復習し、まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	保健医療情報学(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB209		
英文名	Outline of Healthcare Informatics						講義形態	講義		
担当教員	松尾 仁司									
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑧ ⑨ ⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 保健医療情報学は、情報技術を応用し、医療の質的向上・安全性向上と医療サービスの効率化などを実践的に達成することを目的とする分野である。本講義では、医療情報の特徴、医療情報化に関連する政策、病院や地域で活用される医療情報システム、医療情報の標準化、情報セキュリティなどを全般的に学ぶ。 ② 講義の中で小テストを実施し、理解度の確認と解答の解説による再学習を行う。									
到達目標	1. 日本病院会が認定する診療情報管理士認定試験の該当専門分野で合格点を取ることができる。 2. 診療情報管理上特に重要な標準化とセキュリティに関する知識を理解することができる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ(専門課程編)初版 (社)日本病院会発行									
参考文献	適宜紹介する									
評価方法	期末試験の成績 70%、授業中の小テスト 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストに関しては授業で解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)				メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入・医療情報学とは								
	該当到達目標	予習	教科書の p.243~247 に目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	医療情報学の概念について理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	医療情報の特徴と種類■								
	該当到達目標	予習	教科書の p.247~252 に目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	医療情報の特徴と種類、利活用について理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	保健医療の情報化政策の歴史と関連法令■								
	該当到達目標	予習	教科書の p.252~258 に目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	医療の情報化には行政が深く関わっていることを理解する。						1.5 時間	
4	講義内容	保健医療情報化政策の今後の方向性■								
	該当到達目標	予習	教科書の p.258~260 に目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	行政による医療の情報化推進策の方向性を理解する。						1.5 時間	
5	講義内容	病院情報システム概論■								
	該当到達目標	予習	教科書の p.260~262 に目を通す。						1.5 時間	
	1	復習	病院情報システムの特徴、歴史について理解する。						1.5 時間	

6	講義内容	医事会計システム■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.263～264 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	医事会計システムについて理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	病院の部門情報システム■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.264～269 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	臨床検査システム、放射線部門システムなどについて理解する。	1.5 時間	
8	講義内容	オーダエントリシステムと電子カルテシステム■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.269～276 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	オーダエントリシステムと電子カルテシステムの役割・特徴について理解する。	1.5 時間	
9	講義内容	地域医療情報システム■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.277～284 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	遠隔医療システム、地域医療情報ネットワークシステムについて理解する。	1.5 時間	
10	講義内容	診療情報の二次利用■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.285～288 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	データウェアハウス、医療ビッグデータ処理について概念を理解する。	1.5 時間	
11	講義内容	個人が管理する保健医療記録■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.288～291 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	EHR,PHR など個人健康情報の概念を理解する。	1.5 時間	
12	講義内容	医療情報の標準化■			
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の p.291～297 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	用語・コードの標準化、伝送規格などの重要性を理解する。	1.5 時間	
13	講義内容	情報セキュリティ■			
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の p.297～305 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	セキュリティポリシーや安全管理について理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	医学系研究に関する倫理指針と保健医療の情報化のこれから■			
	該当到達目標 1	予習	教科書の p.305～308 に目を通す。	1.5 時間	
		復習	医学系研究に関する倫理指針と保健医療情報分野の将来について理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	全体まとめ			
	該当到達目標 1,2	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間	
		復習	保健医療情報学の重要なポイントを整理する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	・本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	生体情報学Ⅰ（専門基幹科目）							科目ナンバリング	HIB210	
英文名	Biological InformationⅠ							講義形態	講義	
担当教員	高橋 大志									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 生体は多くの優れた機能を有しており、これらの優れた機能を測定・解析し応用することにより医学的価値の高い医療機器を開発することが可能である。そのためには、生体信号（血圧や体温などの生体からの情報）を感度良く検出し解析する必要がある。 ② 本講義では、血圧計、心電計、脳波計など、医療現場で使用されている機器の生体情報検出や計測原理、デバイス構造を理解することを目的とする。なお、講義では教科書の内容をスライドで説明する。									
到達目標	1. 生体の特性及び生体情報の解析法を理解する。 2. 医療機器の情報検出法及び測定原理、安全性について理解する。									
使用教材	「医用工学入門」木村雄治著（コロナ社） 及び自作スライドを使用する。									
参考文献										
評価方法	期末レポートの成績にて評価（100％）し、60％以上で合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	3 年生後期の「生体情報学Ⅱ」（必修）において実験・実習を行うので、その実習内で講義の理解度を確認する。									
オフィスアワー（研究室）	質問はメールで受け付ける。 研究室：1 号館 314				メールアドレス （#→@）	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入								
	該当到達目標	予習	教科書の p.1～6 を熟読する。						1.5 時間	
	1,2	復習	生体情報学で何を学ぶのか理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	心臓の刺激伝導系と心電計								
	該当到達目標	予習	教科書の p.7～24 を熟読する。						1.5 時間	
	1,2	復習	心電図の発生とその検出法について理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	脳波計								
	該当到達目標	予習	教科書の p.25～36 を熟読する。						1.5 時間	
	1,2	復習	脳波の発生とその検出法について理解する。						1.5 時間	
4	講義内容	血圧計								
	該当到達目標	予習	教科書の p.36～41 を熟読する。						1.5 時間	
	1,2	復習	血圧とその測定法について理解する。						1.5 時間	
5	講義内容	筋電計								
	該当到達目標	予習	教科書の p.81～84 を熟読する。						1.5 時間	

	1,2	復習	筋電図の発生とその検出法について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	体温計測法(サーモグラフィ、体温計)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.49~51 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	生体から発生する体温情報について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	パルスオキシメータと血液の光吸収特性		
	該当到達目標	予習	教科書の p.87~90 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	動脈血酸素飽和度とパルスオキシメータの原理について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	呼吸流量計(スパイロメータ)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.84~87 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸流量とスパイロメータの原理について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	画像診断装置Ⅰ(単純X線撮影、X線CT)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.115~118 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	X線による撮像原理について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	画像診断装置Ⅱ(MRI)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.122~126 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	MRIの原理について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	画像診断装置Ⅲ(PET・SPECT)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.119~122 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	PET・SPECTの原理について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断装置		
	該当到達目標	予習	教科書の p.105~111 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	超音波診断装置の原理について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	内視鏡		
	該当到達目標	予習	教科書の p.127~128 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	内視鏡の原理と応用について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	患者監視システム		
	該当到達目標	予習	教科書の p.94~104 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	患者監視システムの種類と用途について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	安全対策(電撃の安全対策)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.162~170 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	医療機器の電氣的安全対策について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	物理エネルギーと生体計測装置の関連を理解できるように、必ず予習と復習に取り組むこと。 オンラインで実施する場合、成績は期末に課すレポートで評価(100%)し、未提出は不合格とする。 また、毎週のレポート提出等をもって当該講義に出席したものとする。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。			

科目名	診療情報演習Ⅰ（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB211		
英文名	Medical Information ExerciseⅠ						講義形態	演習		
担当教員	木村 憲洋									
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	①③⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理を行う上で必要な基礎的な知識の習得と実践的な能力を養う。 ② 実際の認定試験と同様に問題集を解き、その後間違いについて調べていく。									
到達目標	1. 診療情報管理に必要な基礎的知識が習得できる。■ 2. 診療情報管理をスムーズに行うために必要な実践的能力を身に付ける。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集(基礎、専門)									
参考文献										
評価方法	授業中に与えられる課題の提出(50%)、診療情報管理士の模擬テストなどを評価に使用する(50%)。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題については、全体の状況について授業中に報告する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日 1 時限				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	診療情報管理士に関する医学知識について■								
	該当到達目標	予習	診療情報管理士に関する医学知識について、臨床医学総論・各論で習ったことをまとめる。							1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。							2 時間
2	講義内容	医学と医療■								
	該当到達目標	予習	医学と医療について、これまで習ったことをまとめる。							1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。							2 時間
3	講義内容	医療概論■								
	該当到達目標	予習	医療概論について、これまで習ったことをまとめる。							1 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。							2 時間
4	講義内容	人体構造・機能論								
	該当到達目標	予習	人体構造・機能論について、これまで習ったことをまとめる。							1 時間

	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
5	講義内容	外傷学		
	該当到達目標	予習	外傷学について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
6	講義内容	先天異常		
	該当到達目標	予習	先天異常について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
7	講義内容	中毒		
	該当到達目標	予習	中毒について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
8	講義内容	感染症および寄生虫症		
	該当到達目標	予習	感染症および寄生虫症について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
9	講義内容	新生物		
	該当到達目標	予習	新生物について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
10	講義内容	血液・代謝・内分泌		
	該当到達目標	予習	血液・代謝・内分泌について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
11	講義内容	精神		
	該当到達目標	予習	精神について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
12	講義内容	脳神経・神経		
	該当到達目標	予習	脳神経・神経について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
13	講義内容	循環器・呼吸器		
	該当到達目標	予習	循環器・呼吸器について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
14	講義内容	消化器・泌尿器		
	該当到達目標	予習	消化器・泌尿器について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
15	講義内容	皮膚・筋骨		
	該当到達目標	予習	皮膚・筋骨について、これまで習ったことをまとめる。	1 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報演習Ⅱ（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB212		
英文名	Clinical Information ExerciseⅡ						講義形態	演習		
担当教員	木村 憲洋									
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			2	コミュニケーションスキル				
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士認定試験合格のため、医療制度や病院経営に関する理解を目標とする。 ② 事前に与えられる現在の医療制度や病院経営に関する課題を調べてまとめる。授業時間にグループによる発表を行い、参加者で講評する。									
到達目標	1. 医療制度と病院経営に関する理解の深化■ 2. 診療情報管理士試験へ向けて問題集などの正答率を上げる									
使用教材	病院のしくみ、医療費のしくみ、病院と医療のしくみ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門）									
参考文献										
評価方法	授業中に出される課題の提出（50％）、診療情報管理士の模擬テストなどを評価に使用する（50％）。									
課題・評価に対するフィードバック方法	現在の医療制度や病院経営に関する課題を与え、調べ、まとめる。そして授業で発表し、参加者で講評する。									
オフィスアワー （研究室）	月曜日 1 時限				メールアドレス （＃→＠）		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	医療制度の課題 1■								
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、医師不足について						3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる						0.5 時間	
2	講義内容	医療制度の課題 2■								
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、働き方改革						3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる						0.5 時間	
3	講義内容	医療制度の課題 3■								
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、公立病院の再編リスト						3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる						0.5 時間	
4	講義内容	医療制度の課題 4■								
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示：例えば、高額医薬品問題						3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる						0.5 時間	
5	講義内容	医療制度の課題 5■								

	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、デバイスラグ	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
6	講義内容	医療制度の課題 6■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、遠隔医療	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
7	講義内容	医療制度の課題 7■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、国民医療費の高騰	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
8	講義内容	医療制度の課題 8■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、地域包括ケアシステム	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
9	講義内容	病院経営に関する課題 1■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、人件費率の高騰	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
10	講義内容	病院経営に関する課題 2■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、共同購入	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
11	講義内容	病院経営に関する課題 3■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、老朽化した建物の建て替え	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
12	講義内容	病院経営に関する課題 4■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、病院経営の複雑化	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
13	講義内容	病院経営に関する課題 5■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、診療報酬改定への対応	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
14	講義内容	病院経営に関する課題 6■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、優秀な事務系人材の採用と活用	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
15	講義内容	病院経営に関する課題 7■		
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、医師の採用	3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				52.5 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	バイオサイエンス(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB213		
英文名	Bioscience						講義形態	講義		
担当教員	高橋 大志									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	10	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 物理学の知識をもとに生体の物理学的な特性(生体物性)や医用材料について理解し説明できるように学習を進める。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 講義では教科書を使用し、その内容について説明する。									
到達目標	1. 電気、機械、熱、光(放射線)等に対する生体物性を理解し説明できる。 2. 医用材料と生体の相互作用について理解し説明できる。									
使用教材	「臨床工学講座 生体物性・医用材料工学(医歯薬出版)」を使用する。									
参考文献										
評価方法	期末レポート(100%)で評価し、60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポート採点后にポイントを解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314				メールアドレス (#→@)		takahashi-d#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	生体物性序論								
	該当到達目標	予習	教科書 p.1~5 を読む。						1.5	時間
	1	復習	教科書 p.1~5 を熟読し不明な点を調べる。						1.5	時間
2	講義内容	生体の電気的特性(1)								
	該当到達目標	予習	教科書 p.7~16 を読む。						1.5	時間
	1	復習	教科書 p.7~16 を熟読し不明な点を調べる。						1.5	時間
3	講義内容	生体の電気的特性(2)								
	該当到達目標	予習	教科書 p.16~25 を読む。						1.5	時間
	1	復習	教科書 p.16~25 を熟読し不明な点を調べる。						1.5	時間
4	講義内容	能動的電気特性								
	該当到達目標	予習	教科書 p.25~33 を読む。						1.5	時間
	1	復習	教科書 p.25~33 を熟読し不明な点を調べる。						1.5	時間
5	講義内容	生体と磁気、機械的特性								
	該当到達目標	予習	教科書 p.34~42 を読む。						1.5	時間
	1	復習	教科書 p.34~42 を熟読し不明な点を調べる。						1.5	時間
6	講義内容	生体の音響特性、流体力学的特性								

	該当到達目標 1	予習	教科書 p.43～56 を読む。	1.5 時間
		復習	教科書 p.43～56 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
7	講義内容	生体の熱的特性		
	該当到達目標	予習	教科書 p.57～63 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.57～63 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
8	講義内容	生体物性と熱作用		
	該当到達目標	予習	教科書 p.63～70 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.7～16 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
9	講義内容	生体と放射線		
	該当到達目標	予習	教科書 p.71～77 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.71～77 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
10	講義内容	生体組織における放射線作用と障害、放射線の医療応用		
	該当到達目標	予習	教科書 p.77～92 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.77～92 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
11	講義内容	生体の光学特性		
	該当到達目標	予習	教科書 p.93～108 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.93～108 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
12	講義内容	光(レーザ)の生体作用		
	該当到達目標	予習	教科書 p.108～118 を読む。	1.5 時間
	1	復習	教科書 p.108～118 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
13	講義内容	医用材料序論		
	該当到達目標	予習	教科書 p.139～148 を読む。。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.139～148 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
14	講義内容	医用材料の種類		
	該当到達目標	予習	教科書 p.149～167 を読む。	1.5 時間
	2	復習	教科書 p.149～167 を熟読し不明な点を調べる。	1.5 時間
15	講義内容	生体と医用材料の相互作用		
	該当到達目標	予習	教科書 p.167～199 を読む。	1.5 時間
	2	復習	全講義を復習し期末レポートを作成し提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本講義では、物理学をもとに生体物性を理解してもらうため、必ず予習と復習に取り組むこと。 オンラインで実施する場合であっても内容は変更せず、期末レポートで評価(100%)し、60%以上で合格とする。 また、課題やレポート等の提出をもって当該講義に出席したものとする。			

科目名	生活支援工学(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB214		
英文名	Assistive Technology						講義形態	講義		
担当教員	鈴木 亮二									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	345811									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
		○				○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 生活を支援する福祉用具やコミュニケーションエイドに関する基礎的知識を習得することを目指す。 ② 講義と演習を行う。									
到達目標	1. 高齢者の体について説明できる。 2. 福祉用具の構造と操作方法について説明できる。 3. 疾患別の支援技術について説明できる。 4. 支援技術とADL との関連について説明できる。 5. コミュニケーションエイドについて説明できる。 6. ユニバーサルデザインについて説明できる。									
使用教材	配布資料									
参考文献										
評価方法	レポート課題(80%)、出席状況(20%)を総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	次回講義の最初に解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	授業開始前もしくは終了後に応じる				メールアドレス (#→@)	suzuki-r#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	高齢者の体と高齢者体験								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5 時間	
	1	復習	講義内容を復習する						1.5 時間	
2	講義内容	車椅子の構造								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5 時間	
	2	復習	講義内容を復習する						1.5 時間	
3	講義内容	車椅子の演習								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5 時間	
	2	復習	講義内容を復習する						1.5 時間	
4	講義内容	杖・歩行器・シルバーカーの構造								

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	杖・歩行器・シルバーカーの演習		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	疾患別の支援技術 1		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	疾患別の支援技術 2		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	疾患別の支援技術 3		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	支援技術と ADL1		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	支援技術と ADL2		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	支援技術と ADL3		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	コミュニケーションエイド 1		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	5	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	コミュニケーションエイド 2		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	5	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	ユニバーサルデザイン		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	6	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オンラインで実施する場合にも同様の講義内容で行う。			

科目名	生体信号処理入門(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB215		
英文名	Introduction to Bio-signal Processing						講義形態	講義		
担当教員	光山 訓									
科目に関連した実務経験	企業において医療機器の研究開発に従事(経験)									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	③④⑨⑰									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 ウェアラブルデバイスなど、従来よりも安価かつ簡便に様々な生体信号が取得されるようになってきており、予防や疾病の早期発見などへの活用が期待されている。本講義では、一次元の時系列データとして取得される生体信号を対象とし、信号の特徴の定量化に有用な周波数解析等の処理手法を習得し、プログラムを作成できるようになることを目標とする。 ② 講義の実施方法 授業は、独自資料を用いた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進める。さらに Python により実際に信号を処理するプログラムを作成し、動作させることにより知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. 時系列信号の特徴を理解し、説明できる■ 2. 周期信号の特徴を理解し、説明できる 3. 三角関数の性質を理解し、説明できる 4. フーリエ変換の原理、方法、特徴を理解し、説明できる 5. フィルタ処理の原理、方法、特徴を理解し、説明できる■ 6. 信号処理のプログラムを作成することができる									
使用教材	講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週プログラミング演習を行い、授業中に作成方法のポイントを説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)		mitsuyama#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、生体信号の種類と特徴								
	該当到達目標 1	予習	インターネットなどで生体信号の種類と特徴を調べておく。						1.0 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。						2.0 時間	
2	講義内容	時系列データの特徴■								
	該当到達目標 1,6	予習	講義資料を読んでおく。						1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。						2.0 時間	

	講義内容	信号と周波数		
3	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	三角関数の性質(1)		
4	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	三角関数の性質(2)		
5	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	フーリエ級数展開		
6	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	フーリエ変換		
7	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	離散フーリエ変換の性質(1)		
8	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	離散フーリエ変換の性質(2)		
9	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	窓関数		
10	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	サンプリング定理		
11	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	1,4,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	デジタルフィルタ		
12	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	5,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	デジタルフィルタの特性■		
13	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	5,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
	講義内容	総合演習(1) 信号処理プログラミング		
14	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料と作成したプログラムで復習しておく。	2.0 時間
	6	復習	演習内容を振り返り、演習課題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間
	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
15	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料で復習しておく。	2.0 時間
	1～5	復習	演習内容を振り返り、演習問題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報数学基礎(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB216		
英文名	Basic Mathematics for Informatics						講義形態	講義		
担当教員	東福寺 幾夫									
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置等の制御用デジタル回路の研究開発やシステム開発に従事した。									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	4 5 9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① コンピュータやデジタル機器の原理を理解する上で必須となる基数変換、数の表現方法、論理演算、集合、関係などについて、その基礎知識を習得する。 ② 配布するプリントを基に、板書を中心に解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の総復習を行う。									
到達目標	1. 情報学を学ぶ基礎である、数と量についてその特徴や表現方法を理解する。 2. 位取り記数法の意味を理解し、整数及び小数の基数変換ができる。 3. 論理値を対象とする論理演算の基礎を理解し、真理値表から論理式を作成ができる。■ 4. 論理演算法則を理解し、論理式の変換や簡略化ができる。■ 5. 論理演算と論理回路の対応を理解し、簡単な論理式と論理回路図の相互変換ができる。■ 6. 集合の基礎を理解し、集合の演算ができる。									
使用教材	自作のプリントを配布する。									
参考文献										
評価方法	授業への参加と貢献 20%、単元毎の小テスト 20%、期末試験 60%で評価し、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	単元ごとに小テスト・演習を行い、理解度を確認し、必要に応じて補充の説明を実施する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605				メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、離散的数と連続的量、位取り記数法								
	該当到達目標	予習	シラバスを読む						1 時間	
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く						1.5 時間	
2	講義内容	整数の表現と基数変換								
	該当到達目標	予習	プリントを読む						1 時間	
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く						1.5 時間	
3	講義内容	2 進数の四則演算								
	該当到達目標	予習	プリントを読む						1 時間	

	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
4	講義内容	小数の表現と基数変換		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
5	講義内容	負数の表現法、2 の補数		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
6	講義内容	実数の表現法、正規化表現、SI 接頭語の使い方		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
7	講義内容	計測と誤差、計算と誤差■		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
8	講義内容	真理値とブール代数、論理演算、論理演算法則■		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
9	講義内容	真理値表、論理式と論理演算、論理式の簡略化■		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
10	講義内容	論理式と論理回路■		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
11	講義内容	行列とベクトル		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
12	講義内容	行列の演算		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
13	講義内容	単位行列、逆行列		
	該当到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
14	講義内容	連立一次方程式の解法		
	該当到達目標	予習	プリントの第 4 章を読む	1 時間
	6	復習	プリントの練習問題を解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 総復習		
	該当到達目標	予習	演習問題を解く	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	演習問題を解き直す	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報システム各論(専門基幹科目)							科目ナンバリング	HIB217	
英文名	Special of Information System							講義形態	講義	
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格	IT パスポート									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				4	生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	4 9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① Society5.0 において、IT 技術はますます必要不可欠なものとなっている。IT 技術や知識を習得し、今後の IT 社会を担うことができるよう学んでいく。 ② 本講義はテキストを用いて進めていく。また、毎回、テストを実施する。									
到達目標	1. 企業と法務に関する専門的な知識を説明できる。 2. 経営戦略、システム戦略に関する専門的知識を説明できる。 3. 開発技術やマネジメントに関する専門的な知識を説明できる。 4. コンピュータシステムに関する専門的な知識を説明できる。									
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM 出版)、最新版を使用する。									
参考文献										
評価方法	授業毎のテスト 90%、授業への取り組み 10%。									
課題・評価に対するフィードバック方法	小テストの正答率が低い箇所などをフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	水曜 4 限				メールアドレス (#→@)		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、勉強の進め方についても理解する						1.5 時間	
	1	復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	企業活動に関する専門的な内容								
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する						1.5 時間	
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する						1.5 時間	
3	講義内容	法務に関する専門的な内容								
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する						1.5 時間	
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する						1.5 時間	
4	講義内容	ネットワークの基礎とセキュリティの最新状況								
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する						1.5 時間	
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する						1.5 時間	
5	講義内容	システム戦略に関する専門的な内容								

	該当到達目標 2	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
6	講義内容	開発技術に関する専門的な内容		
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
7	講義内容	プロジェクトマネジメントに関する専門的な内容		
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
8	講義内容	サービスマネジメントに関する専門的な内容		
	該当到達目標 3	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
9	講義内容	システム構成要素に関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
10	講義内容	ハードウェアに関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
11	講義内容	ソフトウェアに関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
12	講義内容	ネットワークに関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
13	講義内容	ユーザ・インタフェースに関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
14	講義内容	セキュリティに関する専門的な内容		
	該当到達目標 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標 1, 2, 3, 4	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	1.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、大学が推奨する性能の PC を使用する。 ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	ネットワーク I (専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB218		
英文名	Network I (Introduction to Network)						講義形態	講義		
担当教員	長澤 亨									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	IT パスポート、基本情報技術者試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
									○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 移動体通信とインターネットにより、ユビキタスの情報通信の環境が整いつつある。このような情報基盤を作る情報通信ネットワークに関する基本的な知識と技術を習得することによって、現状と今後の方向について効果的な活用をめざす。 情報通信ネットワークの歴史的な変遷を踏まえて、通信工学の基本的な考え方、ネットワークの構築・管理側に必要となるネットワークの基礎知識を学ぶ。本講義のみでネットワークやインターネットに公開するサーバの構築は難しいが、構築・運営をする上で知っておくべきネットワーク全体の知識を習得する。 ② 授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進める。内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。基本定期試験で成績を付けるが、章毎に練習問題で知識を確認する。									
到達目標	1. ネットワーク通信の基礎技術を説明できる。 2. インターネットの仕組みを説明できる。 3. OSI の参照モデルと TCP/IP の階層モデルを説明できる。 4. 無線 LAN の仕組みを説明できる。 5. ネットワークセキュリティを説明できる。									
使用教材	教科書「図解ネットワーク仕事で使える基本の知識」増田若菜著(技術評論社) ISBN978-4-7741-3880-0C3055 講義のスライドを随時プリントして配布する。									
参考文献										
評価方法	定期試験 70%、レポート 20%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	レポートにはコメントを付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限と 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608				メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。						1 時間	

	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	ネットワークの基礎知識		
	該当到達目標	予習	教科書の第1章 1-1～1-5に目を通す	1 時間
	1,2	復習	ネットワークのプロトコルやレイヤ構造を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	LAN とインターネット		
	該当到達目標	予習	教科書の第1章 1-6～1-10に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	インターネットの接続、回線事業者、ISP の役割 ADSL など理解する。	1.5 時間
4	講義内容	OSI 参照モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-1～2-5に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	TCP/IP モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-6～2-10に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	TCP/IP でネットワーク接続機器を識別する		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-1～3-5に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	TCP/IP の仕組みとポート番号について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	TCP/IP と IP アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-6～3-9に目を通す。	1.5 時間
	2,3	復習	IP アドレスのクラス、サブネットマスク、VLSM と CIDR について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスと MAC アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-10～3-13に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	MAC アドレス、ブロードキャストや ARP 要求について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	LAN で使われる技術		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-1～4-5 目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ネットワークポロジ、LAN と WAN、ルーティングについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	LAN で使われるサービス		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-6～4-10 目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ルーティングプロトコル、DHCP、NAT と NAT について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	VPN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-11に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	VPN を実現する(SSL-VPN、IPsec-VPN、IP-VPN)について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	無線 LAN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-12～4-13に目を通す。	1.5 時間
	1,2,4	復習	無線 LAN の仕組みと CSMA/CD、CSMA-CA について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ネットワークセキュリティ		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12に目を通す。	1.5 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータウイルス		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12に目を通す。	1.5 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ネットワークの構築と管理		
	該当到達目標	予習	教科書の第7章 7-1～7-5に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	ネットワークの構成、ネットワーク機器、冗長化について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 VOD: 出席と成績は課題提出で評価する。			

	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム「多職種連携コース」の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。

科目名	データベース概論(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB219		
英文名	Introduction to Database Systems						講義形態	講義		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	研究員として WebDB システムを開発(経験)									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験(対応科目)									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑧ ⑨ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	時間内にオンラインで小テストを行い、間違いの多い点について説明を行うとともに質問に答える。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① データの電子化と通信ネットワークの普及が進み、さまざまな分野でますます大量のデータが収集・蓄積されるようになり、さまざまな分野でのデータの利活用が進められているが、その管理・活用の基盤として、データベース管理システムの重要性は一層高まっている。 本科目では、表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解するところから始め、業務向けデータベース管理システムの主流である関係データベース管理システム(RDBMS)について学ぶ。前半は主に RDBMS におけるデータモデルである関係モデルと正規化の理論、トランザクションについて学び、後半は RDBMS の標準的問い合わせ言語である SQL の基礎を身につけるのが目標である。 ② 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進め、毎回オンラインで小テストを行う。									
到達目標	1. 表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解し、データベース技術の重要性を説明できる。 2. データの一貫性とトランザクション管理、同時実行制御、障害復旧、セキュリティ管理など、データベース管理システムの役割について説明できる。 3. リレーションの正規化の目的と手順を説明できる。■ 4. SQL を用いて、RDBMS で基本的なデータ操作ができる。■ 5. データベース技術が社会の中でどのように利用されているかを説明することができる。									
使用教材	[改訂新版]これだけはおさえたい データベース基礎の基礎」、谷尻かおり著、技術評論社 ISBN-13: 978-4774139937									
参考文献										
評価方法	期末試験(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限				メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	暮らしの中のデータベース								
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。						1.5 時間	
	5	復習	講義の内容をまとめる。						1.5 時間	
2	講義内容	ファイル、表計算ソフト、関係データベース								
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	ファイルや表計算ソフトによるデータ管理とデータベース管理システムによるデータ管理の違い、トランザクションの概念などを理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	関係データベースの基礎概念								

	該当到達目標 2	予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 テーブル、レコード、フィールド、主キーの意味を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
4	講義内容 該当到達目標 2	リレーションシップと参照性制約 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 テーブル間のリレーションシップと参照性制約の意味を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
5	講義内容 該当到達目標 2	関係演算、索引、ビュー 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 テーブル間の関係演算を理解し、索引やビューの役割と利用目的を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
6	講義内容 該当到達目標 2	データベース設計の流れ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 データベース設計の流れの各ステップを理解する。	1.5 時間 1.5 時間
7	講義内容 該当到達目標 3	第一正規形■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 データベース設計における第一正規形の意義を理解し、テーブルを第一正規形に整理する手順を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
8	講義内容 該当到達目標 3	第二正規形■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 部分関数従属性、完全関数従属性、第二正規形を理解し、テーブルを第二正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
9	講義内容 該当到達目標 3	第三正規形■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 推移的関数従属性、第三正規形を理解し、テーブルを第三正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
10	講義内容 該当到達目標 3	主キーと主キー制約、外部キーと参照性制約■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 主キーと主キー制約、外部キーと参照性制約を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
11	講義内容 該当到達目標 4	SQL(1):DDL(データ定義言語)■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 SQL の書き方の基本を理解し、簡単なスキーマ定義ができるようにする。	1.5 時間 1.5 時間
12	講義内容 該当到達目標 4	SQL(2):DML(データ操作言語)①■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 SELECT 文と WHERE 句を用いた基本的な問い合わせ方法とテーブルの結合方法を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
13	講義内容 該当到達目標 4	SQL(3):DML(データ操作言語)②■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 副問合せ、集約関数、レコードの挿入・削除・更新方法を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
14	講義内容 該当到達目標 4	SQL(4):DCL(データ制御言語)■ 予習 復習	テキストの該当箇所を読んでおく。 ユーザー権限とアクセス管理、トランザクション管理などの意味を理解し、SQL の実現方法を理解する。	1.5 時間 1.5 時間
15	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4,5	まとめ 予習 復習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。 これまでの疑問点を解消し、理解を深める。	1.5 時間 1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 毎回小テストを行うが、その結果は成績には反映しないので、復習に利用して欲しい。 基本情報技術者試験受験者は特によく復習すること。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。			

副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。

【オンラインで授業を実施する場合】

オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。

時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	プログラミングⅡ (C プログラミング実用) (専門基幹科目)						科目 ナンバリング	HIB220		
英文名	Programming Ⅱ (C Programming Practical Use)						講義形態	演習		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した 実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする 資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「プログラミングⅠ」で学習した C 言語の基本的なプログラミング技法を基に、主にデータ処理技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 ② 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。									
到達目標	1. 応用的な繰り返し処理について理解できる。■ 2. 実数型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 3. 文字型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 4. 配列を使った集計・探索等、様々なデータ処理ができる。■ 5. 文字型データ配列と文字列の関連について理解できる。■									
使用教材	自作のプリント									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	二重ループ処理■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
2	講義内容	long 型変数と float 型変数■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
3	講義内容	double 型変数と数値演算関数■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
4	講義内容	配列の基本■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
5	講義内容	配列の基本 初期化■								

	該当到達目標 1,2,4	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	該当到達目標 1,2,4	講義内容 配列を利用した計算■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2,4	講義内容 配列を利用した計算(テーブル集計)■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2,4	講義内容 二次元配列■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2,4	講義内容 配列の応用 テーブルサーチ■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2,4	講義内容 金種計算■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	該当到達目標 3	講義内容 文字型データ① 文字コードの扱い■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	該当到達目標 3	講義内容 文字型データ② 文字範囲の判定■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	該当到達目標 3	講義内容 文字型データ③ 文字定数表記と文字の判定・変換■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	該当到達目標 1,3,4,5	講義内容 文字型データの配列■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	該当到達目標 1,3,4,5	講義内容 文字型データの配列 文字列■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅢ(C プログラミング応用)(専門基幹科目)						科目 ナンバリング	HIB218		
英文名	Programming Ⅲ (C Programming Application)						講義形態	演習		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した 実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする 資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針 との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	C 言語プログラミングの最も特徴的な機能であるポインタを中心に、応用的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。									
到達目標	1. 文字列について適切に処理ができる。■ 2. 自作の関数が作れる。■ 3. 構造体を使ったデータ処理ができる。■ 4. ポインタのメリット・デメリットを理解し、ポインタ操作を駆使したデータ処理ができる。■ 5. ファイルからデータを取込んで処理し、ファイルに書き出すことができる。■ 6. 2 進数のビット操作ができる。■ 7. 資料を参照しながら、再帰プログラムを自分自身で作成することができる。■									
使用教材	自作のプリント									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	文字列の入力と編集■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
2	講義内容	関数(引数がない場合)■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
3	講義内容	関数(引数がある場合)■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						2 時間	
4	講義内容	構造体■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	

	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
5	講義内容	構造体配列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	構造体と関数■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	ポインタと関数① 変数、配列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	ポインタと関数② 文字列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	構造体ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ファイル処理① 書式指定入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ファイル処理② 行単位・文字単位入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	ビット演算① 基本演算■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	ビット演算② 指定ビットの ON/OFF■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	7	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB222		
英文名	Programming Ⅳ (Windows Programming)						講義形態	演習		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① プログラミング言語として Visual C#を用い、ボタン、メニュー、テキストボックス等の部品やグラフィックスを使った Windows アプリケーションの作成方法を習得する。 ② 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。課題は毎回 1～3 題程度。									
到達目標	1. プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 各種コントロールを利用したプログラムの作成ができる。■ 3. タイマーを利用した定期更新プログラムの作成ができる。■ 4. 画像を利用したアニメーションプログラムの作成ができる。■ 5. 乱数を利用した簡単なゲームプログラムの作成ができる。■									
使用教材	自作のプリント									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)		sakamoto#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	環境設定とプロジェクト作成								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作の復讐をしておく。						3 時間	
2	講義内容	テキストボックス、ボタン、ラベル■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。						2 時間	
3	講義内容	ラジオボタン、チェックボックス、ピクチャーボックス■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。						2 時間	
4	講義内容	グループボックス、リストボックス■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。						2 時間	
5	講義内容	コンボボックス、ローカル変数とグローバル変数■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。						2 時間	

6	講義内容	メニューバー■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
7	講義内容	日時取得、文字列操作■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
8	講義内容	タイマー■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
9	講義内容	コントロール有効化と無効化■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
10	講義内容	イメージリスト■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
11	講義内容	乱数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
12	講義内容	画像の移動アニメと座標制御■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
13	講義内容	簡易ゲームプログラム制作① じゃんけんゲーム■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
14	講義内容	簡易ゲームプログラム制作② 画像当てゲーム■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
15	講義内容	簡易ゲームプログラム制作③ スロットゲーム■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間	
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報演習 I (専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB223		
英文名	Information Exercise I						講義形態	演習		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発(経験)									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験(対応科目)									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	8912									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着け、それらに関する文書を読解する能力を身につけるのが目標である。具体的指標として、基本情報技術者試験科目 A 試験の合格を目指す。 ② 授業は基本情報技術者試験科目 A の過去問題や e-learning への取り組みを中心に進める。									
到達目標	1. 基本情報技術者試験科目 A 試験におけるテクノロジー系問題で、合格水準に達している。■ 2. 基本情報技術者試験科目 A 試験におけるストラテジ系問題で、合格水準に達している。■ 3. 基本情報技術者試験科目 A 試験におけるマネジメント系問題で、合格水準に達している。■									
使用教材	「令和 06 年 基本情報技術者 合格教本」、角谷一成・イエローテールコンピュータ、技術評論社 ISBN-13: 978-4297137977									
参考文献	科目 A(午前試験)過去問題と e-learning 用教材(e-Festa)									
評価方法	期末試験か科目 A 免除試験(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限				メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	基礎理論								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。						1.5 時間	
2	講義内容	アルゴリズムとプログラミング■								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。						1.5 時間	
3	講義内容	コンピュータシステム■								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。						1.5 時間	
4	講義内容	データベース■								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。						1.5 時間	
5	講義内容	ネットワーク								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	

	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	セキュリティ		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	システム開発■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	プロジェクトマネジメント		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	問題演習①		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	問題演習②		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	問題演習③		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	問題演習④		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習⑤		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	問題演習⑥		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	実践問題		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	実践問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 (受験予定者には受講を強く勧める。他の試験対応科目も履修することが望ましい。) 合格水準に到達するには、各人の積極的な学習姿勢が重要となるので、合格への強い意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間中のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報演習Ⅱ（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB224		
英文名	Information Exercise Ⅱ						講義形態	演習		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発（経験）									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験（対応科目）									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	8 9 12									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代は医療を含めあらゆる分野において情報・通信システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっている。情報技術の重要性が高まる中で、情報技術者の質の確保も重要な課題となっている。IPA が主催する情報技術者試験は、情報技術者の質の評価の重要な指標であるが、その中で入門的位置付けの試験が基本情報技術者試験である。 本科目では、基本情報技術者試験の科目 B 試験の合格を目指し、その内容の 8 割を占めるデータ構造とアルゴリズムに関する基礎知識を身につけ、また、それらについての擬似コードの読み書き能力を身につけることを目標とする。 ② 授業はデータ構造とアルゴリズムに関する講義と、その内容に関する科目 B 形式の問題による演習の形で進める。									
到達目標	1. プログラムの基本構造を擬似コードで読み書きできる。■ 2. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、簡単な説明ができる。■ 3. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、擬似コードの読み書きができる。■									
使用教材	適宜資料を配布する。									
参考文献										
評価方法	期末試験（100％）で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー（研究室）	月曜 4 限				メールアドレス（#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	アルゴリズムと疑似コード■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。					1.5 時間		
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。					1.5 時間		
2	講義内容	配列・リスト・スタック・キュー■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。					1.5 時間		
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。					1.5 時間		
3	講義内容	線形探索と二分探索■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。					1.5 時間		
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。					1.5 時間		
4	講義内容	選択ソート・バブルソート・挿入ソート・シェルソート■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。					1.5 時間		

	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
5	講義内容	ヒープ構造とヒープソート■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	クイックソート・マージソート■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
7	講義内容	文字列探索(単純法・KMP 法・BM 法)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
8	講義内容	二分木と木のなぞり■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
9	講義内容	二分探索木・B 木■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
10	講義内容	幅優先探索と深さ優先探索■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	ハッシュ法■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	ハフマン符号■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	最短経路問題(ダイクストラ法、ベルマン・フォード法、ワーシャル・フロイド法)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	関連する科目 B 問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 (受験予定者には受講を強く勧める。他の試験対応科目も履修することが望ましい。) 合格水準に到達するには、各人の積極的な学習姿勢が重要となるので、合格への強い意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間中のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Web デザイン II (専門基幹科目)							科目ナンバリング	HIB225	
英文名	Web Design II (HTML5 & JavaScript Programming)							講義形態	演習	
担当教員	田村 拓郎、長澤 亨									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	Web クリエータ認定試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① レスポンシブ Web デザインは、これからのウェブ制作を支える重要な制作手法の一つである。本講義の目標は、レスポンシブ Web デザインの理念、HTML5 をベースにした基本的な制作手法、必要とされるワークフローの考え方から制作の実践を通じて、レスポンシブ Web デザイン技術を修得することにある。 ② 授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web プログラミングの技術であるレスポンシブデザインの技術を習得させる。また、各単元において演習課題をクリアすることで知識の定着度を確認する。最終的に各自レスポンシブ Web ページの Web サイトを構築する。知識が不足で課題が解けない場合は、予習復習が不足しているため、自習で補うことを促す。									
到達目標	1. レスポンシブ Web デザインの必要性や考え方を説明できる。 2. レスポンシブ Web デザインの基礎知識を説明できる。 3. レスポンシブ Web デザインに必要なワークフローを説明できる。 4. ブラウザ・端末対応の仕様やブレイクポイントとレファレンスポイントの仕様を決めることができる。レスポンシブなコンテンツを作成することができる。									
使用教材	HTML5&CSS3 標準デザイン講座 30LESSONS ISBN978-4-7981-5813-6									
参考文献										
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限、4 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 604				メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、HTML 文章とは								
	該当到達目標	予習	Web デザイン I を復習しておく						1 時間	
	1,2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間	
2	講義内容	float レイアウト								

	該当到達目標 2,3	予習	LESSON13 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
3	該当到達目標 2,3	講義内容 flexbox レイアウト		
		予習	LESSON15 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
4	該当到達目標 2,3	講義内容 CSS3 セレクタ		
		予習	LESSON16～19 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
5	該当到達目標 2,3	講義内容 CSS3 の装飾表現		
		予習	LESSON20 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
6	該当到達目標 2,3,4	講義内容 変形・アニメーション、メディアクエリ		
		予習	LESSON21～22 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 メディアクエリによるレイアウトの変更		
		予習	LESSON22 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
8	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 レスポンシブ対応 web ページの作成		
		予習	LESSON22 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
9	該当到達目標 2,3,4	講義内容 ナビゲーションメニューのある web ページの作成		
		予習	LESSON13、15、22 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
10	該当到達目標 2,3,4	講義内容 リンクのある web ページの作成		
		予習	CHAPTER1～6 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
11	該当到達目標 2,3,4	講義内容 カラムレイアウトの web ページの作成		
		予習	CHAPTER1～6 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
12	該当到達目標 2,3	講義内容 position レイアウト		
		予習	LESSON14 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 Web ページの作成練習 1		
		予習	CHAPTER1～6 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 Web ページの作成練習 2		
		予習	CHAPTER1～6 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 Web ページの作成練習 3		
		予習	CHAPTER1～6 を読んでおく	1 時間
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間

合計時間(予習・復習)		37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。	

科目名	情報処理演習 I (専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB226		
英文名	Information Processing Exercise I						講義形態	演習		
担当教員	田村 拓郎									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
	5	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① Office 製品は世界の多くの企業で利用されているビジネスツールである。VBA は Excel などに標準搭載されている Visual Basic をベースとしたプログラミング言語で、作業の自動化やシステム開発にも用いられている。本講義では VBA の基礎から実践的なコーディングまでを学ぶことを目的とする。 ② 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。									
到達目標	1. VBA の基礎的な機能、使い方を説明することができる。 2. VBA を用いた実践的なテクニックを説明することができる。									
使用教材	自作教材									
参考文献	図解！ExcelVBA のツボとコツがゼッタイにわかる本 秀和システム									
評価方法	課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限、4 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 604				メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、VBA とは								
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。						0 時間	
	1,2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間	
2	講義内容	ブック操作、シート操作、セルの選択								
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間	
	1,2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間	
3	講義内容	変数、ループ処理								
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間	
	1,2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間	
4	講義内容	条件分岐、サブルーチン								
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間	

	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	フォームコントロール、ActiveX コントロール		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	InputBox		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	MsgBox、配列		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	ユーザーフォーム		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	オブジェクトの表示、フォーカスの移動		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	VBA 作成練習 1		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	動きのあるマクロ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	VBA を用いた物理演算		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	キーボードからの入力		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	VBA 作成練習 2		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	VBA 作成練習 3		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	アルゴリズムとデータ構造 I (専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB227		
英文名	Algorithm and Data Structure I						講義形態	講義		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① データが加工されやすいように格納しておく形態をデータ構造といい、加工手順のことをアルゴリズムという。本講義では、情報処理技術者として必須となるデータ構造とアルゴリズムの代表的な知識を習得する。 ② 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取り組みを行っていく。									
到達目標	1. フローチャートをもとにトレースができる。■ 2. 基本記号を使ったフローチャートの作成ができる。■ 3. 代表的なアルゴリズムについて説明できる。■ 4. 代表的なアルゴリズムを疑似言語で表現できる。■ 5. 代表的なデータ構造について説明できる。■									
使用教材	自作のプリント									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(50%)、確認テスト(30%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)		sakamoto#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	フローチャートを使った反復処理のトレース■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						1.5 時間	
2	講義内容	C 言語プログラムを使った反復処理のトレース■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						1.5 時間	
3	講義内容	配列内容のトレース■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						1.5 時間	
4	講義内容	線形探索■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。						1 時間	
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。						1.5 時間	
5	講義内容	二分探索■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。						1 時間	

	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
6	講義内容	基本選択法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
7	講義内容	隣接交換法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
8	講義内容	基本挿入法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
9	講義内容	疑似言語■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
10	講義内容	ハッシュ探索■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
11	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
12	講義内容	クイックソート■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
13	講義内容	スタックとキュー■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
14	講義内容	木構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
15	講義内容	リスト構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		マルチメディア I (専門基幹科目)						科目ナンバリング	HIB228		
英文名		Introduction to Multimedia						講義形態	演習		
担当教員		田村 拓郎、木幡 直樹									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		5	問題解決力								
SDGs との関連		④									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
							○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 本講義では、受講者がマルチメディアに関連する基礎的な事項を理解するとともに、クリエイターやデザイナーに用いられている Photoshop、Illustrator というふたつのアプリケーションの演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。 ② 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。									
到達目標		1. マルチメディアに関連する基礎的な事項に関して、その概要を説明できる。 2. Photoshop の基本操作を習得し、画像を素材として、加工して利用することができる。 3. Illustrator の基本操作を習得し、CG を作成することができる。									
使用教材		自作教材									
参考文献											
評価方法		課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10%で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)		(田村)火 3,4 限 (木幡)水 3 限、金 3 限				メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp kohata#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	講義全体のガイダンス、PhotoShop,Illustrator とは									
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。						0 時間		
	1, 2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間		
2	講義内容	Photoshop(1) 描画の練習									
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間		
	2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間		
3	講義内容	Photoshop(2) 選択範囲									
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間		
	2	復習	提出課題を完成させる						1.5 時間		
4	講義内容	Photoshop(3) 画像サイズ、解像度									
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。						1 時間		

	2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	フォームコントロール、ActiveX コントロール		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	Photoshop(4) 写真合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	Photoshop(5) ノイズ除去、色補正		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	Photoshop(6) 透明化、レイヤー効果		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	Photoshop(7) 透明化、グラデーション		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	提出課題を完成させる	2.5 時間
10	講義内容	CG 作成演習(1) 基本操作		
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。	0 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	CG 作成演習(2) 基本図形と変形操作		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	CG 作成演習(3) パスの描画と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	CG 作成演習(4) レイヤーの基本		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	CG 作成演習(5) 変形、合成、特殊効果		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	CG 作成演習(6) 画像の配置と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	3	復習	提出課題を完成させる	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	データサイエンスⅡ（専門基幹科目）						科目ナンバリング	HIB229		
英文名	Data science Ⅱ（Basic statistics for data science）						講義形態	講義		
担当教員	光山 訓									
科目に関連した実務経験	企業において医療、産業分野のデータ分析に関連した製品・サービス開発に従事（経験）									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	1	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	③⑰									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、データに基づいた判断を行う際に重要となる統計的推測の基礎知識を習得するとともに、実践力を身に着ける。 ② 講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進め、PC を利用した演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。なお、内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. 確率の基本的な性質を説明することができる 2. 確率分布とは何かを説明することができる 3. 代表的な確率分布を説明することができる■ 4. 母集団、標本、標本分布を説明することができる 5. 区間推定とは何かを説明することができる 6. 統計的検定とは何かを説明することができる 7. 代表的な統計的検定手法を説明し、実際のデータに適用することができる									
使用教材	「統計学基礎」日本統計学会編、東京図書、ISBN978-4-489-02227-2 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー（研究室）	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス （#→@）		mitsuyama#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	本講の概要、記述統計の復習								
	該当到達目標 2,3,5,6	予習	変数の分類」「1.2 量的データの分布」「1.3 分布の特徴を表す指標」「1.6 2 変数データの記述と要約」を読む。						1.5 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。						1.5 時間	
2	講義内容	確率の基礎								
	該当到達目標	予習	「2.1 事象と確率」「2.2 条件付き確率」「2.3 ベイズの定理」を読む。						1.5 時間	

	1	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
3	講義内容	確率分布の基礎		
	該当到達目標	予習	「2.4 確率変数と確率分布」「2.5 期待値と分散」「2.6 モーメント」を読む。	1.5 時間
	2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
4	講義内容	いろいろな確率分布■		
	該当到達目標	予習	「2.7 主な離散型確率分布」「2.8 主な連続型確率分布」を読む。	1.5 時間
	3	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
5	講義内容	2変数の確率分布		
	該当到達目標	予習	「2.9 2変数の確率分布」を読む。	1.5 時間
	3	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
6	講義内容	大数の法則と中心極限定理		
	該当到達目標	予習	「2.11 大数の法則と中心極限定理」を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
7	講義内容	母集団と標本		
	該当到達目標	予習	「3.1 母集団と標本」「3.2 統計的な研究の種類」「2.10 標本分布」を読む。	1.5 時間
	4	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	点推定と区間推定		
	該当到達目標	予習	「3.3 点推定と区間推定」を読む。	1.5 時間
	5	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	1 標本問題の区間推定		
	該当到達目標	予習	「3.4 1 標本問題:1つの母集団の母数に関する推定」を読む。	1.5 時間
	5	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	2 標本問題の区間推定		
	該当到達目標	予習	「3.5 2 標本問題:2つの母集団の母数に関する推定」を読む。	1.5 時間
	6	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	統計的仮説検定の基礎		
	該当到達目標	予習	「4.1 仮説検定の考え方」「4.2 基本的な仮説検定の構造」を読む。	1.5 時間
	7	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	1 標本問題の仮説検定		
	該当到達目標	予習	「4.3 1 標本問題:1つの母集団の母数に関する検定」を読む。	1.5 時間
	7	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	2 標本問題の仮説検定		
	該当到達目標	予習	「4.4 2 標本問題:2つの母集団の母数に関する検定」を読む。	1.5 時間
	7	復習	講義資料を読み、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1) Excelを使った検定		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	7	復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	1～7	復習	理解できていなかった事柄について、講義資料、教科書で復習する。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		医療管理総論(専門展開科目)					科目ナンバリング	HID301			
英文名		Introduction to Medical Management Theory					講義形態	講義			
担当教員		木村 憲洋									
科目に関連した実務経験		病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。									
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格		診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		6	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力				
		1	問題解決力								
SDGs との関連		③⑪									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要		① 医療業界を理解するにあたり、医療の管理について知る必要がある。そこで、医療業界における医療資源を中心に医療管理について知識を習得する。									
①講義の目標											
②講義の実施方法		② 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。									
到達目標		1. 医療資源に関して説明することができる。 2. 医療における法律を説明することができる。 3. 診療情報管理士と医療業界の位置づけについて説明することができる。■									
使用教材		診療情報管理Ⅲ(日本病院会) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院と医療のしくみ(日本能率協会マネジメントセンター)									
参考文献											
評価方法		授業中の課題提出による評価(50%)、最終課題で提出した内容と口頭試問(50%)									
課題・評価に対するフィードバック方法		講義終了時に課題を提出し、フィードバックする。									
オフィスアワー(研究室)		月曜日 1 時限				メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	医療資源について■									
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療資源についてまとめる。							1 時間	
		復習	医療資源について理解する。							2 時間	
2	講義内容	医療における物的資源■									
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で物的資源についてまとめる。							1 時間	
		復習	物的資源について理解する。							2 時間	
3	講義内容	医療における人的資源■									
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で人的資源についてまとめる。							1 時間	
		復習	物的資源について理解する。							2 時間	
4	講義内容	医療における財的資源■									
	該当到達目標	予習	教科書で財的資源についてまとめる。							1 時間	

	1,2,3	復習	財的資源についてまとめる。	2 時間
5	講義内容	医療における情報資源■		
	該当到達目標	予習	教科書で情報資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	情報資源について理解する。	2 時間
6	講義内容	日本の医療制度■		
	該当到達目標	予習	教科書で日本の医療制度についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	日本の医療制度について理解する。	2 時間
7	講義内容	医療保障■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療保障についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療保障について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療制度の特徴■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療制度の特徴についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療制度の特徴について理解する。	2 時間
9	講義内容	医療制度の成り立ち■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療制度の成り立ちについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療制度の成り立ちについて理解する。	2 時間
10	講義内容	国民医療費の現状と将来■		
	該当到達目標	予習	教科書で国民医療費の現状と将来についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	国民医療費の現状と将来について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療の需要と供給■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の需要と供給についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の需要と供給について理解する。	2 時間
12	講義内容	人口の推移■		
	該当到達目標	予習	教科書で人口の推移についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	人口の推移について理解する。	2 時間
13	講義内容	地域医療■		
	該当到達目標	予習	教科書で地域医療についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	地域医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	医療の提供構造■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の提供構造についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の提供構造について理解する。	2 時間
15	講義内容	医療計画■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療計画の提供構造についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療計画について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅰ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID302		
英文名	Medical Management TheoryⅠ						講義形態	講義		
担当教員	木村 憲洋									
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を見につけることを目標とする。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。									
到達目標	1. 病院経営における経営資源を説明できる。 2. 病院経営の基本を説明できる。■									
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院と医療のしくみ（日本能率協会マネジメントセンター）									
参考文献										
評価方法	授業中のグループワークの成果物（50%）、最終課題はプレゼンテーションを評価（50%）									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業においてグループワークを行い、その内容でディスカッションする。									
オフィスアワー（研究室）	月曜日 1 時限				メールアドレス（#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	病院経営管理■								
	該当到達目標	予習	教科書で病院経営管理についてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	病院経営管理について理解する。						2 時間	
2	講義内容	プロセス（工程）とは■								
	該当到達目標	予習	教科書で医療のプロセスについてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	医療のプロセスについて理解する。						2 時間	
3	講義内容	組織と機能■								
	該当到達目標	予習	教科書で組織と機能についてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	組織と機能について理解する。						2 時間	
4	講義内容	管理と組織■								
	該当到達目標	予習	教科書で病院の管理と組織についてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	病院の管理と組織についてまとめる。						2 時間	

5	講義内容	財務・経営管理■		
	該当到達目標	予習	教科書で財務・経営管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	財務・経営管理について理解する。	2 時間
6	講義内容	人事・労務管理■		
	該当到達目標	予習	教科書で人事・労務管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	人事・労務管理について理解する。	2 時間
7	講義内容	施設管理■		
	該当到達目標	予習	教科書で施設管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	施設管理について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療管理■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療管理について理解する。	2 時間
9	講義内容	診療部門■		
	該当到達目標	予習	教科書で診療部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	診療部門について理解する。	2 時間
10	講義内容	看護部門■		
	該当到達目標	予習	教科書で看護部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	看護部門について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門について理解する。	2 時間
12	講義内容	教育研究部門■		
	該当到達目標	予習	教科書で教育研究部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	教育研究部門について理解する。	2 時間
13	講義内容	チーム医療■		
	該当到達目標	予習	教科書でチーム医療についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	チーム医療の主な活動■		
	該当到達目標	予習	教科書でチーム医療の主な活動についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療の主な活動について理解する。	2 時間
15	講義内容	チーム医療の推進■		
	該当到達目標	予習	教科書でチーム医療の推進についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療の推進について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅱ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID303		
英文名	Medical Management Theory Ⅱ						講義形態	講義		
担当教員	木村 憲洋									
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③⑪									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 日本における医療制度について理解と DPC 制度の成立と DPC による請求について理解することを目的とする。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。									
到達目標	1. 日本の医療制度を説明できる。■ 2. DPC 制度を説明できる。									
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会）、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院と医療のしくみ（日本能率協会マネジメントセンター）									
参考文献										
評価方法	授業中のグループワークの成果物(50%)、最終課題はプレゼンテーションを評価(50%)									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業においてグループワークを行い、その内容でディスカッションする。									
オフィスアワー（研究室）	月曜日 1 時限				メールアドレス（#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	わが国の医療保険制度■								
	該当到達目標	予習	教科書で我が国の医療保険制度についてまとめる。							1 時間
	1,2	復習	我が国の医療保険制度について理解する。							2 時間
2	講義内容	保険診療と医療費の支払いの仕組み■								
	該当到達目標	予習	教科書で保険診療と医療費の支払いの仕組みについてまとめる。							1 時間
	1,2	復習	保険診療と医療費の支払いの仕組みについて理解する。							2 時間
3	講義内容	診療報酬制度の概要■								
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬制度の概要についてまとめる。							1 時間
	1,2	復習	診療報酬制度の概要について理解する。							2 時間
4	講義内容	診療報酬請求業務■								
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬請求業務についてまとめる。							1 時間
	1,2	復習	診療報酬請求業務についてまとめる。							2 時間

5	講義内容	ケースミックス区分法■		
	該当到達目標	予習	教科書でケースミックス区分法についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	ケースミックス区分法について理解する。	2 時間
6	講義内容	診断群分類■		
	該当到達目標	予習	教科書で診断群分類についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	診断群分類について理解する。	2 時間
7	講義内容	わが国の診断群分類誕生の背景■		
	該当到達目標	予習	教科書でわが国の診断群分類誕生の背景についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	わが国の診断群分類誕生の背景について理解する。	2 時間
8	講義内容	DPC の成り立ち■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC の成り立ちについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC の成り立ちについて理解する。	2 時間
9	講義内容	DPC のコーディング■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC のコーディングについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC のコーディングについて理解する。	2 時間
10	講義内容	DPC とコーディング■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC とコーディングについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC とコーディングについて理解する。	2 時間
11	講義内容	DPC と経営分析■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC と経営分析についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC と経営分析について理解する。	2 時間
12	講義内容	DPC と診療報酬点数■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC と診療報酬点数についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC と診療報酬点数について理解する。	2 時間
13	講義内容	DPC と包括評価■		
	該当到達目標	予習	教科書で DPC と包括評価についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC と包括評価について理解する。	2 時間
14	講義内容	介護保険制度■		
	該当到達目標	予習	教科書で介護保険制度についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	介護保険制度について理解する。	2 時間
15	講義内容	病院経営と診療報酬と介護報酬■		
	該当到達目標	予習	教科書で病院経営と診療報酬と介護報酬についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	病院経営と診療報酬と介護報酬について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅲ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID304		
英文名	Medical Management Theory Ⅲ						講義形態	講義		
担当教員	木村 憲洋									
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	2	問題解決力								
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
SDGs との関連	③⑪									
実施概要	① 質の高い医療を提供するための診療情報管理士に役割と医療安全や医療の質に関する基本について理解することを目指す。									
①講義の目標										
②講義の実施方法	② 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。									
到達目標	1. 医療の質と診療情報管理士の役割について説明できる。■ 2. 医療安全の基本を説明できる。									
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会）、診療情報管理士教育問題集（基礎、専門） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院と医療のしくみ（日本能率協会マネジメントセンター）									
参考文献										
評価方法	授業中のグループワークの成果物（50％）、最終課題はプレゼンテーションを評価（50％）									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業においてグループワークを行い、その内容でディスカッションする。									
オフィスアワー（研究室）	月曜日 1 時限				メールアドレス （#→@）		連絡手段は初回授業時に提示する。			
1	講義内容	医療安全概論■								
	該当到達目標	予習	教科書で医療安全概論についてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	医療安全概論について理解する。						2 時間	
2	講義内容	医療におけるリスクマネジメント■								
	該当到達目標	予習	教科書で医療におけるリスクマネジメントについてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	医療におけるリスクマネジメントについて理解する。						2 時間	
3	講義内容	ヒューマンエラー■								
	該当到達目標	予習	教科書でヒューマンエラーについてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	ヒューマンエラーについて理解する。						2 時間	
4	講義内容	医療事故■								
	該当到達目標	予習	教科書で医療事故についてまとめる。						1 時間	
	1,2	復習	医療事故についてまとめる。						2 時間	

5	講義内容	医事紛争■		
	該当到達目標	予習	教科書で医事紛争についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医事紛争について理解する。	2 時間
6	講義内容	医療事故調査制度■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療事故調査制度についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療事故調査制度について理解する。	2 時間
7	講義内容	医療の質と保障■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質と保証についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療の質と保証について理解する。	2 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報共有■		
	該当到達目標	予習	教科書でチーム医療における診療情報共有についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療における診療情報共有について理解する。	2 時間
9	講義内容	医療の質マネジメント■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質マネジメントについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療の質マネジメントについて理解する。	2 時間
10	講義内容	医療の質の評価■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質の評価についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療の質の評価について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療の質の公表■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質の公表についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療の質の公表について理解する。	2 時間
12	講義内容	医療マーケティング■		
	該当到達目標	予習	教科書で医療マーケティングについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療マーケティングについて理解する。	2 時間
13	講義内容	診療情報管理におけるデータの活用■		
	該当到達目標	予習	教科書で診療情報管理におけるデータの活用についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	診療情報管理におけるデータの活用について理解する。	2 時間
14	講義内容	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ■		
	該当到達目標	予習	教科書で電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについて理解する。	2 時間
15	講義内容	診療情報管理データと医事会計データ■		
	該当到達目標	予習	教科書で診療情報管理データと医事会計データについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	診療情報管理データと医事会計データについて理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅰ（専門展開科目）							科目ナンバリング	HID305	
英文名	Health information managementⅠ							講義形態	講義	
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した実務経験	診療情報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	6	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理の意義と役割について系統的に学習する。診療情報管理に関わる法令や諸規則、診療情報の機能的な記録方法やルール、構成を学ぶ。診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を説明できる。。診療情報を適切に取り扱い、責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。 ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標	1. 診療情報管理の意義と役割を説明できる。■ 2. 診療情報管理の歴史について知識を深める。 3. 診療情報管理と法規等を説明できる。■ 4. 診療情報管理に関するガイドラインを説明できる。 5. 診療記録の記載方法を説明できる。 6. 診療記録の記載について知識を深める。									
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編（2020.7 初版） 診療情報管理士教育問題集（専門・8 章～12 章）									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	大川（情報）：木曜日 2 限 （1 号館 609 研究室）				メールアドレス （#→@）	大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士テキストⅢ第 8 章「診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）」を読み、講義の目標を説明できる。。							1 時間
		復習	講義内容、到達目標、評価方法を確認し、診療情報管理士に必要な知識を認識する。							2 時間

2	講義内容	8-1-1 診療情報管理に関する用語の定義		
	該当到達目標	予習	診療録(カルテ)に記載されている用語の定義に目を通す。	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報管理に関する用語の定義を説明できる。。	2 時間
3	講義内容	8-1-2 診療記録の価値■		
	該当到達目標	予習	診療記録の価値に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の価値を説明できる。	2 時間
4	講義内容	8-1-3 診療情報管理の役割■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理の役割に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報管理の役割を説明できる。	2 時間
5	講義内容	8-2-1 診療記録のルーツと 8-2-2 諸外国における診療情報管理		
	該当到達目標	予習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理を説明できる。	2 時間
6	講義内容	8-2-3 わが国における診療情報管理		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキストⅣ第 8 章「診療情報管理Ⅰ」の日本における診療情報管理に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、日本における診療情報管理を説明できる。	2 時間
7	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 1■		
	該当到達目標	予習	8-3-1 診療記録の記載と保存についての法規および、8-3-2 電子化に関する法規に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規を説明できる。	2 時間
8	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 2■		
	該当到達目標	予習	8-3-3 診療記録の提示に関する法規および、8-3-4 医療事故にともなう法的責任に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任を説明できる。	2 時間
9	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 3■		
	該当到達目標	予習	8-3-5 診療情報の守秘に関する法規および、8-3-6 個人情報の保護に関する法律に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律を説明できる。	2 時間
10	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 4■		
	該当到達目標	予習	8-3-7 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、8-3-8 個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応に目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、医療・介護関係事業者に	2 時間

			おける個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応を説明できる。	
11	講義内容	8-3 診療情報管理と法規等 5■		
	該当到達目標	予習	8-3-9 診療情報の提供に関する指針に目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報の提供に関する指針を説明できる。	2 時間
12	講義内容	8-4 診療記録の記載方式■		
	該当到達目標	予習	診療記録の記載方式である 8-4-1 POS と 8-4-2 クリニカルパスに目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の記載方式である POS とクリニカルパスを説明できる。	2 時間
13	講義内容	8-5 診療情報の記載		
	該当到達目標	予習	8-5-1 診療記録の記載方法および、8-5-2 診療録の基本的な記載事項に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の記載方法および、診療録の基本的な記載事項を説明できる。	2 時間
14	講義内容	8-5-3 診療記録の種類		
	該当到達目標	予習	8-5-3 診療記録の種類に目を通す	1 時間
	6	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の種類を説明できる。	2 時間
15	講義内容	診療情報管理の意義と役割まとめ		
	該当到達目標	予習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を考える	1 時間
	6	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を説明できる。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅱ（専門展開科目）							科目ナンバリング	HID306	
英文名	Health information management Ⅱ							講義形態	講義	
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）									
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	6	問題解決力								
SDGs との関連	③⑩⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。 ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標	1. 診療情報管理士について説明できる。■ 2. 診療情報管理士に求められる資質について知識を深める。 3. 診療情報管理士の基本業務について説明できる。■ 4. 紙カルテ運用における診療情報管理について知識を深め説明できる。 5. 電子カルテ運用における診療情報管理を説明できる。 6. 診療情報管理士による改善への取り組みについて知識を深め実務に生かせるようにする。 7. 診療情報管理士の活動組織について知識を深め、実務に活用できるようにする。									
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編（2020.7 版） 診療情報管理士教育問題集（専門・8 章～12 章）									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。									
オフィスアワー（研究室）	大川（情報）：月曜日 3 限 （1 号館 609 研究室）				メールアドレス （#→@）	大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	9-1 診療情報管理士について■								
	該当到達目標 1	予習	9-1-1 診療情報管理士とは何かおよび、9-1-2 診療情報管理士の業務指針に目を通す							1 時間
		復習	講義内容、到達目標、評価方法を確認し、診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針を理解する							2 時間

2	講義内容	9-2 診療情報管理士に求められる資質		
	該当到達目標	予習	9-2-1 知識と技能、9-2-2 視点に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報管理士に求められる知識と技能、視点を理解する	2 時間
3	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 1		
	該当到達目標	予習	9-3-1 診療情報を体系的・一元的に管理する業務、9-3-2 診療情報を安全に保存・管理する業務に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務を理解する	2 時間
4	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 2		
	該当到達目標	予習	9-3-3 診療情報を点検・管理する業務、9-3-4 個人情報としての診療情報を保護する業務、に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報を点検・管理する業務、個人情報としての診療情報を保護する業務、病院管理・運営のための業務とその実施方法を理解する	2 時間
5	講義内容	9-3 診療情報管理士の基本業務 3■		
	該当到達目標	予習	9-3-5 病院管理・運営のための業務とその実施方法、9-3-6 診療情報の活用に向けたデータ処理・提供方法に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、病院管理・運営のための業務とその実施方法、診療情報の活用に向けたデータ処理・提供方法を理解する	2 時間
6	講義内容	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理■		
	該当到達目標	予習	9-4 個人情報保護の視点からの保管管理に目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、個人情報保護の視点からの保管管理を理解する	2 時間
7	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	9-5-1 ナンバリング、9-5-2 ファイリング(保管法)に目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、ナンバリング、ファイリング(保管法)を理解する	2 時間
8	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	9-5-3 診療記録の保存期間と保存方法、9-5-4 パージングに目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療記録の保存期間と保存方法、パージングを理解する	2 時間
9	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 3		
	該当到達目標	予習	9-5-5 紙カルテの管理方式および 9-5-6 紙カルテの貸出管理に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、紙カルテの管理方式および紙カルテの貸出管理を理解する	2 時間
10	講義内容	9-5 紙カルテ運用における診療情報管理 4		
	該当到達目標	予習	9-5-7 診療記録の回収および 9-5-8 記録内容の点検に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、の回収および記録内容の点検を理解する	2 時間

11	講義内容	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	9-6-1 電子カルテの運用、9-6-2 記載する場所の明確化、9-6-3 紙媒体情報の保存に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存を理解する	2 時間
12	講義内容	9-6 電子カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	9-6-4 診療情報の点検および、9-6-5 個人情報保護への対応に目を通す	1 時間
	5	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報の点検および、個人情報保護への対応を理解する	2 時間
13	講義内容	9-7 診療情報の提供に係る業務		
	該当到達目標	予習	9-7-1 院内職員および 9-7-2 院外への情報提供と、9-7-3 医療機能情報の提供制度、9-7-4 患者への診療情報提供に目を通す	1 時間
	6	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供を理解する	2 時間
14	講義内容	9-8 診療情報管理士による改善への取り組み		
	該当到達目標	予習	9-8-1 医療の質の評価、9-8-2 医療安全管理、9-8-3 チーム医療、9-8-4 病院経営に目を通す	1 時間
	7	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営を理解する	2 時間
15	講義内容	9-9 診療情報管理士の活動組織		
	該当到達目標	予習	9-9-1 診療情報管理部門、9-9-2 診療情報管理委員会、9-9-3 適切なコーディングに関する委員会に目を通す	1 時間
	7	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会について理解する	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅲ(専門展開科目)							科目ナンバリング	HID307	
英文名	Health information management Ⅲ							講義形態	講義	
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)									
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	6	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士の実務で重要な DPC、医師事務作業補助、がん登録について理解を深める ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標	1. DPC 業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から説明できる。 2. 医師事務作業補助者業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から説明できる。 3. がん登録業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から説明できる。■ 4. 診療情報管理士認定試験対策									
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 版) 診療情報管理士教育問題集(専門・8 章～12 章)									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)				メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	10-1DPC 制度と実務 1■								
	1	該当到達目標	予習	10-1-1DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりに目を通す						1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりを理解する						2 時間	
2	講義内容	10-1DPC 制度と実務 2								
	1	該当到達目標	予習	10-1-2 影響調査(基礎調査)と診療情報管理士に目を通す						1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ影響調査(基礎調査)と診療情報管理士を理解する						2 時間	
3	講義内容	10-1DPC 制度と実務 3								

	該当到達目標 1	予習	10-1-3DPC と影響調査(基礎調査)に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調、DPCと影響調査(基礎調査)を理解する	2 時間
4	講義内容		10-1DPC 制度と実務 4	
	1	予習	10-1-4 病院指標の公表と診療情報管理士に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ病院指標の公表と診療情報管理士を理解する	2 時間
5	講義内容		10-1DPC 制度と実務 5	
	1	予習	10-1-5 データ精度と診療情報管理士に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べデータ精度と診療情報管理士を理解する	2 時間
6	講義内容		10-1DPC 制度と実務 6	
	1	予習	10-1-6DPC データの活用に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ DPC データの活用を理解する	2 時間
7	講義内容		10-2 医師事務作業補助者業務について 1	
	2	予習	10-2-1 医師事務作業補助者の業務と体制に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ医師事務作業補助者の業務と体制を理解する	2 時間
8	講義内容		10-2 医師事務作業補助者業務について 2	
	2	予習	10-2-2 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりに目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりを理解する	2 時間
9	講義内容		10-3 がん登録の実務について 1■	
	3	予習	10-3-1 わが国のがん対策とがん登録に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べわが国のがん対策とがん登録を理解する	2 時間
10	講義内容		10-3 がん登録の実務について 2	
	3	予習	10-3-2 がん登録に目を通す	1 時間
		復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べがん登録を理解する	2 時間
11	講義内容		診療情報管理 まとめ 1	
	3	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の問題を解いておく	1 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の全問の正解をテキストで確認する	2 時間
12	講義内容		診療情報管理 まとめ 2	
	4	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の問題を解いておく	1 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の全問の正解をテキストで確認する	2 時間
13	講義内容		診療情報管理 まとめ 3	
	4	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いておく	1 時間
		復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	2 時間
14	講義内容		診療情報管理 まとめ 4	
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いておく	1 時間

	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	2 時間
15	講義内容	期末テスト		
	該当到達目標	予習	DPC 業務・医師事務作業補助者業務・がん登録実務について、テキスト及び問題集で復習しておく	1 時間
	4	復習	解けなかった問題についてテキストで確認する	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療統計学Ⅰ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID308		
英文名	Medical StatisticsⅠ						講義形態	講義		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	診療情報管理士 必修科目									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	・診療情報管理士（必修科目） ・データサイエンス・AI 実務パスポート（選択必修）									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③⑧⑨									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	時間内にオンラインで小テストを行い、間違いの多い点について説明を行うとともに質問に答える。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 今日の社会では、多種多様なデータが絶え間なく生成・蓄積されている。医療の現場においても、患者や医療従事者の状態、ケアの内容や程度、病院の経理状況などの様々なデータが存在する。データは適切に処理し意思決定に結びつける必要があるが、適切な分析手法の適用とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。 ② 本科目では、データの整理、表現、比較のための記述統計学の基礎的な概念や手法と、病院統計の基本を理解することを目標とする。講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進め、毎回オンラインで小テストを行う。									
到達目標	1. データの尺度を説明できる。 2. 基本統計量を計算できる。 3. 箱ひげ図、ヒストグラム、散布図を作図でき、ピアソンの相関係数を計算・評価できる。 4. 適切なグラフ表現を選択し、作成できる。 5. 各種医療評価指標の意味を理解し、計算できる。									
使用教材	「プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000843									
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会									
評価方法	期末試験（100%）で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	月曜 5 限				メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	記述統計学と推測統計学、データの尺度								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	参考文献の該当範囲を読んでデータ尺度について理解を定着させる。						1.5 時間	
2	講義内容	統計データの分類と集計								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	例題を解き直し、質的データと量的データの統計表を作成できるようにする。						1.5 時間	
3	講義内容	統計表のグラフ表現								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	2,3	復習	例題を解き直し、棒グラフとヒストグラムの違いを確認し、正しいヒストグラムを作成できるようにする。						1.5 時間	
4	講義内容	中心位置の統計量								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	

	2,3	復習	例題を解き直し、平均と中央値の意味と違いを確認する。	1.5 時間
5	講義内容	散らばりの統計量		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、分散と標準偏差の意味と違いを確認する。	1.5 時間
6	講義内容	散らばりのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、四分位数・四分位範囲の求め方を確認し、箱ひげ図を作成できるようにする。	1.5 時間
7	講義内容	二変数の関連性 1		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	共分散と相関係数、散布図に関する例題を解き直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	二変数の関連性 2		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	誤用を避け適切に活用できるよう、相関係数を評価する際の注意点を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	ここまで(記述統計学)のまとめ		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を見直し、疑問の解消に努める。	1.5 時間
10	講義内容	検査を評価する様々な指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、陽性的中率などの主要な指標の意味と計算方法を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	データのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、目的に応じた適切なグラフ選択ができるように各種グラフの特徴の理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	病院の統計資料		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	該当範囲を読み直し、主な統計調査の内容と目的を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	主な医療評価指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、各種指標の意味を理解し、実際に計算できるようにする。	1.5 時間
14	講義内容	様々な実験スタイルと倫理指針		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	テキストを読み直し、ケースコントロール研究とコホート研究の違いを理解し、また、人を対象とした研究に関する倫理指針への理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	毎回小テストを行うが、その結果は成績には反映しないので、復習に利用して欲しい。 診療情報管理士試験や基本情報技術者試験受験者は医療統計学Ⅱの履修も強く勧める。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。 副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。			

科目名		医療統計学Ⅱ（専門展開科目）					科目ナンバリング	HID309			
英文名		Medical Statistics Ⅱ					講義形態	講義			
担当教員		石川 雅弘									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格		診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応		1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		7	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
		1	問題解決力								
SDGs との関連		③ ⑧ ⑨									
アクティブラーニング実施方法		PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
											○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		時間内にオンラインで小テストを行い、間違いの多い点について説明を行うとともに質問に答える。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 他の様々な分野同様、医療の現場においても様々なデータが生産・蓄積され続けている。医療の質の向上や経営状況の改善にはそれらを適切に処理し有効に活用する必要があるが、データの適切な分析とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。特に、関心の対象である全体（母集団）のデータが得られずその一部（標本）のデータしか得られない場合には、推測統計学の知識が必須である。 本科目では、推測統計学の基本的な考え方と、基本的な統計学的推定・検定手法について学ぶ。特に各検定手法の利用シーンを理解し、実際に計算し検定を行えるようになることを目標とする。 ② 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進め、毎回オンラインで小テストを行う。また、後半では例題演習を通じて考え方・解き方の理解の定着を図る。									
到達目標		1. 記述統計学と推測統計学の違いを説明できる。 2. 母集団と標本の関係、標本に望まれる性質を説明できる。 3. 点推定と区間推定を説明できる。 4. 統計学的検定の考え方と有意水準などの基本的概念の意味を説明できる。 5. 基本的な検定手法を適用すべき状況と前提条件を説明でき、検定を実行できる。									
使用教材		「プレステップ統計学Ⅱ 推測統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000874									
参考文献		診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会									
評価方法		期末試験（100％）で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）		月曜 4 限				メールアドレス （#→@）		ishikawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	母集団と標本									
	1	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
		復習	記述統計学と推測統計学の違いについて理解し、医療における推測統計学の役割への理解を深める。特に、母集団と標本の違い、標本抽出時に注意すべき点の理解を深める。						1.5 時間		
2	講義内容	確率と確率変数									
	1,2	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
		復習	講義内容をまとめ直し、確率変数への理解を深める。						1.5 時間		
3	講義内容	確率分布									
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間		

	2,3	復習	講義内容をまとめ直し、経験確率と先験確率、確率変数と確率分布の概念の理解を深める。また、例題を解き直し二項分布に基づく確率計算ができるようにする。	1.5 時間
4	講義内容	大数の法則、		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、経験確率と大数の法則の理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	中心極限定理		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、中心極限定理とそこから導かれる標本平均の分布の理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	正規分布と χ^2 分布(カイ二乗分布)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、正規分布・標準正規分布の性質について理解を深める。また、自由度の概念を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	母数の点推定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、母数の点推定量に望まれる不偏性について理解し、母平均の点推定量と母分散の点推定量(不偏分散)の定義の理解を深める。また、Z分布とt分布の関係を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	母平均の区間推定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、母平均の区間推定の考え方と中心極限定理の関係の理解を深める。また、信頼区間の考え方を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	母分散の区間推定		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	例題を解き直し、母分散の区間推定の考え方とカイ二乗分布の関係の理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	統計的仮説検定の考え方		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、統計的仮説検定と背理法の類似性を確認し、検定の考え方の理解を深め、検定の流れを把握する。	1.5 時間
11	講義内容	母平均のZ検定, 母分散のt検定, 母比率の検定(二項検定, Z検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、Z検定、t検定、二項検定の考え方の理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	対応のない2群の平均値の差の検定(Studentのt検定, Welchのt検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、それぞれの検定法の考え方と適用されるべき状況の理解を深める。特に、studentのt検定は2つの母分散が等しい場合にしか適用できないこと、Welchのt検定は前提無しに適用可能であり、より好ましい検定であることを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	対応のある2群の平均値の差の検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、対応のある2群とはどのような2群かを理解し、検定を行えるようにする。	1.5 時間
14	講義内容	χ^2 検定(適合度の検定、独立性の検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、適合度の検定・独立性の検定の考え方への理解を深める。特に、 χ^2 検定は帰無仮説の下での期待値と観測値のズレを評価するものであり、片側検定となる点を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間

合計時間(予習・復習)		45 時間
備考	医療統計学 I を履修済みである前提で進める。 また、医療統計学演習を並行して履修することが望ましい。(医療統計学演習は、医療統計学 I・II で学んだ内容を Excel で実践する科目であり、本科目の内容の理解を深めるのに役立つ。) 毎回小テストを行うが、その結果は成績には反映しないので、復習に利用して欲しい。 診療情報管理士試験受験者や基本情報技術者試験受験者には、履修を強く勧める。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。	

科目名	医療統計学演習(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID310		
英文名	Medical Statistics Practice						講義形態	演習		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	・診療情報管理士(選択必修) ・データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修) ・上級データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修)									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑧ ⑨									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 医療の現場では日々様々なデータが発生・蓄積されており、医療や病院経営の改善などに役立つ可能性を秘めている。しかし、データを客観的に評価し適切に利用するには統計学的知識が不可欠であり、また、必要な計算を実際に行える必要がある。本科目では、医療統計学Ⅰ・Ⅱで学んだ様々な統計指標や手法について、Excel を用いて実際に計算しその結果を評価できるようになることを目標とする。 ② 演習はテキスト内容に沿った解説と問題を記した Excel ファイルを配付し、その中で実際に問題を解きながら理解を深める形で進める。									
到達目標	1. Excel で基本統計量を計算できる。 2. Excel で棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラムなどが作成できる。 3. Excel で散布図の作成、ピアソンの相関係数の計算、回帰直線による予測ができる。 4. Excel で二項分布、Z 分布、t 分布、カイニ乗分布の確率計算ができる。 5. Excel で母平均の点推定と区間推定ができる。 6. Excel で基本的な検定手法の計算ができる。									
使用教材	「Excel で学ぶ統計解析入門 Excel2019/2016 対応版」、菅民郎、オーム社 ISBN-13: 978-4274226410									
参考文献										
評価方法	期末試験(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 4 限				メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	基本統計量の計算								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。						1.5 時間	
2	講義内容	度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図の作成(1)								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。						1.5 時間	
3	講義内容	度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図の作成(2)								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。						1.5 時間	

4	講義内容	基準値・偏差値の計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
5	講義内容	相関係数の計算、散布図の作成、回帰直線の描画と予測		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	二項分布に基づく確率計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	正規分布に基づく確率計算、正規確率プロットの作成		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	母平均の区間推定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	母比率の推定、母分散の推定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	母平均の t 検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	平均値の検定、Z 検定、t 検定、二項検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	母平均の検定 (Student の t 検定、Welch の t 検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	対応のある 2 群の平均値の検定、Excel の分析ツールによる検定、T.TEST()関数による検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	適合度の検定、独立性の検定、CHISQ.TEST()関数による検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの課題を見直し、疑問点をピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	疑問を解消するよう、課題を見直す。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療統計学Ⅰを履修済みかつ医療統計学Ⅱを履修中(もしくは履修済み)である前提で進める。 (本科目は、医療統計学Ⅰ・Ⅱで学んだ内容を Excel で実践する科目である) 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。			

科目名	医療情報学各論(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID311		
英文名	Theories of Medical Informatics						講義形態	講義		
担当教員	松尾 仁司									
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験) 医療機器企業で画像診断機器の研究開発に従事(経験)									
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	34811									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○					○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	ゲストスピーカーの講演と質疑によるディスカッションを予定。									
実施概要	① 本講義では、少子高齢化が進展する社会での医療機関において今後必要となる医療機器・情報システムの具体例を挙げ、その機能・役割を考えることを通して保健医療情報学で学んだことの肉付けを行う。参考資料で予習し、小課題を講義中にディスカッションして理解を深める。									
①講義の目標	② 医療機器関連の事業所紹介・ゲストスピーカーの講演等を実施する予定。									
③ 講義の実施方法										
到達目標	1. 少子高齢化社会を展望し、今後の医療サービスの姿と、それに相応しい新たな医療機器・情報システムとは何かを考える力をつけることができる。■ 2. 最先端の医療機器・情報システムの特徴を説明できる。■									
使用教材	予習のための参考資料を共有フォルダにて配布する。									
参考文献	適宜紹介する。									
評価方法	期末試験 70%、レポート課題 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	講義中のディスカッション・レポート結果を参照しながら次回以降の講義を行う。									
オフィスアワー(研究室)	水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)				メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入・社会の潮流と展望								
	該当到達目標	予習	シラバスを読む。						1.5 時間	
	1	復習	講義全体の目標を理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	少子高齢化社会								
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	少子高齢化を意識して 21 世紀のあるべき社会について考えを整理する。						1.5 時間	
3	講義内容	健康寿命の延伸■								
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。						1.5 時間	
	1	復習	21 世紀における健康・医療・介護の在り方について考えを整理する。						1.5 時間	
4	講義内容	基盤技術の動向■								
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。						1.5 時間	
	1,2	復習	医療機器・情報システムの基盤技術の動向について整理する。						1.5 時間	
5	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅰ)■								

	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の現状を把握する。	1.5 時間	
6	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅱ)■			
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の将来について整理する。	1.5 時間	
	7	講義内容	健康支援システム■		
該当到達目標 1,2		予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	健康支援システムの動向について整理する。	1.5 時間	
8		講義内容	高度医療機器(Ⅰ)－医療機器の実際－■		
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	医療機関で活用される小型医療機器について理解する。	1.5 時間	
	9	講義内容	高度医療機器(Ⅱ)－高度先端医療－■		
該当到達目標 1,2		予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	高度先端医療機関での活用が期待される高度医療機器について整理する。	1.5 時間	
10		講義内容	遠隔医療システム■		
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	遠隔医療システムの動向について整理する。	1.5 時間	
	11	講義内容	地域包括ケアシステム■		
該当到達目標 1,2		予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	地域包括ケアシステムの現状と動向について整理する。	1.5 時間	
12		講義内容	介護支援システム		
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	介護支援システムの現状と展望についてまとめ理解する。	1.5 時間	
	13	講義内容	AI 技術の活用■		
該当到達目標 1,2		予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	医療情報分野における AI 技術の現状と課題を理解する。	1.5 時間	
14		講義内容	医療機関の将来像		
	該当到達目標 1	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間	
		復習	ICT 技術の発展による医療機関の将来像を整理する。	1.5 時間	
	15	講義内容	全体まとめ		
該当到達目標 1,2		予習	講義全体を通しての重要なポイントに目を通す。	1.5 時間	
		復習	今後必要となる医療機器・情報システムについて整理する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	・本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	生体情報学Ⅱ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID312		
英文名	Biological Information Ⅱ						講義形態	演習		
担当教員	東福寺 幾夫、長澤 亨、鈴木 亮二、高橋 大志、田村 拓郎、高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 生体情報学Ⅱでは、生体情報学Ⅰで学んだ知識をもとに、生体計測機器および電子機器を用いて実験することで、その原理と仕組みについて理解するとともに、報告書（レポート）の作成方法について学ぶ。 ② 実験は班単位で実施するが、報告書（レポート）は個人毎に作成する。									
到達目標	1. 医療に利用されている機器の原理や操作方法を説明できる。 2. 電気電子回路の理解や心電・筋電などの生体情報データの取得と解析ができる。 3. 人体の構造を理解し、超音波エコーを用いて目的部位を表示できる。									
使用教材	学科で作成した実験書を使用する。									
参考文献										
評価方法	実験毎に報告書を提出してもらい、提出された報告書の総合成績で評価する（100％）。特に報告書に記載されている考察・課題の項目を重点的に評価する。報告書は実験終了後 1 週間以内に担当教員まで提出する。報告書未提出及び再提出等の教員受け取りが完了していない場合は不合格となる。また、再提出は 2 回までで、それ以上は不合格となる。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出された報告書に不備がある場合は、その個所を明示して再提出とする。									
オフィスアワー （研究室）	最初講義時に示す。				メールアドレス （＃→＠）		初回講義時に示す。			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	特になし						0 時間	
	1	復習	配布された実験書の実験レポート作成要領を熟読する。						0.5 時間	
2	講義内容	電流計の原理とテストによる直流電圧、抵抗の測定								
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。						2 時間	
	1,2	復習	レポート作成						5 時間	
3	講義内容	レポート指導①								
	該当到達目標	予習	特になし						0 時間	
	1,2	復習	レポート修正						1.5 時間	

4	講義内容	オシロスコープを用いた CR 回路定数の測定		
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
5	講義内容	レポート指導②		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
6	講義内容	血圧計、サーモグラフィー		
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
7	講義内容	レポート指導③		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
8	講義内容	筋電図、心電図		
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
9	講義内容	レポート指導④		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
10	講義内容	脳波、眼球運動		
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
11	講義内容	レポート指導⑤		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断(腹部)		
	該当到達目標	予習	実験書の該当箇所を熟読する。	2 時間
	1,3	復習	レポート作成	5 時間
13	講義内容	レポート指導⑥		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,3	復習	レポート修正	1.5 時間
14	講義内容	レポート指導総括: 全 6 回の実験レポート作成のポイントの解説		
	該当到達目標	予習	提出したレポートを見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポート作成のポイントを理解。	1 時間
15	講義内容	全体まとめ: 実験に用いた電子機器、生体計測機器の原理と仕組みを総括		
	該当到達目標	予習	実験書全体にもう一度目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	特になし	0 時間
合計時間(予習・復習)				55.5 時間
備考				

科目名		国際統計分類Ⅰ（専門展開科目）						科目ナンバリング		HID313		
英文名		International Statistical ClassificationⅠ						講義形態		講義		
担当教員		大川 喜代美										
科目に関連した実務経験		診療情報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）										
学年・開講期		2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格		診療情報管理士 必修科目										
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル				
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力				
		6	問題解決力									
SDGs との関連		③ ⑩ ⑫										
アクティブラーニング実施方法		PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
											○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法		講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 診療情報管理士に必要とされるコーディングの能力は、医学に対する広い知識と、死因・疾病に係る国際的な統計の知識である。医学・医療の知識と共に日々研鑽し、新しい知識を習得するとともに、医療に対する社会のニーズをいち早く受け止め、診療情報を利活用できるようにする。 ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。										
到達目標		1. 日本の人口動態統計のしくみと意義を理解する。 2. 人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現在の譲許を理解する。 3. 国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解する。 4. 日本に導入されている DPC/PDPS (Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System) 制度における ICD の利用について理解する。■										
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 版) 診療情報管理士教育問題集(専門・8 章～12 章) ICD-10 第 1 巻「内容例示表」(2013 年版)										
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針										
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%										
課題・評価に対するフィードバック方法		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。										
オフィスアワー (研究室)		大川(情報):月曜日 3 限 (1 号館 609 研究室)				メールアドレス (#→@)		大川(情報):okawa-ki#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	11-1 国際疾病分類論 1										
	該当到達目標	予習	11-1-1 わが国の人口動態統計に目を通す								1 時間	
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、わが国の人口動態統計を理解する								2 時間	

2	講義内容	11-1 国際疾病分類論 2		
	該当到達目標	予習	11-1-2 国際疾病分類(ICD)の歴史に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類(ICD)の歴史を理解する	2 時間
3	講義内容	11-1 国際疾病分類論 3		
	該当到達目標	予習	11-1-3 国際疾病分類(ICD)の現状に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類(ICD)の現状を理解する	2 時間
4	講義内容	11-1 国際疾病分類論 4		
	該当到達目標	予習	11-1-4 国際疾病分類(ICD)の構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類(ICD)の構造を理解する	2 時間
5	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 1		
	該当到達目標	予習	11-1-2-1 国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造を理解する	2 時間
6	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 2		
	該当到達目標	予習	11-2-2 国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)を理解する	2 時間
7	講義内容	11-2 国際疾病分類群ファミリー論 3		
	該当到達目標	予習	11-2-2 2.国際疾病分類 - 腫瘍学(ICD-O)に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、国際疾病分類 - 腫瘍学(ICD-O)を理解する	2 時間
8	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 1		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 1.死因の定義と死亡診断書に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、死因の定義と死亡診断書を理解する	2 時間
9	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 2		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 2.原死因の選択ルールに目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、原死因の選択ルールを理解する	2 時間
10	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 3		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 3.各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」の例題に回答し理解する	2 時間
11	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 4		
	該当到達目標	予習	11-3-1 原死因選択ルール 各原則・ルールの内容「修正ルール A～F」に目を通す	1 時間

	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、各原則・ルールの内容「修正ルール A～F」の例題に回答し理解する	2 時間
12	講義内容	11-3 国際疾病分類の利用 5		
	該当到達目標	予習	4.周産期死亡に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、周産期死亡について理解する	2 時間
13	講義内容	11-3-2 主要病態のコーディングと再選択ルール■		
	該当到達目標	予習	11-3-2 主要病態のコーディングと再選択ルール、1.主要病態の定義に目を通す	1 時間
	3	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、主要病態のコーディングと再選択ルールおよび主要病態の定義を理解する	2 時間
14	講義内容	11-3-2 2.主要病態の再選択ルール、3.コーディングのためのガイドライン		
	該当到達目標	予習	11-3-2 2.主要病態の再選択ルール、3.コーディングのためのガイドラインに目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、主要病態の再選択ルール、コーディングのためのガイドラインを理解する	2 時間
15	講義内容	11-3-3ICD を用いるうえでの注意点■		
	該当到達目標	予習	11-3-3ICD を用いるうえでの注意点到目を通す	1 時間
	4	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、ICD を用いるうえでの注意点を理解する	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		国際統計分類Ⅱ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID314		
英文名		International Statistical Classification Ⅱ						講義形態	講義		
担当教員		大川 喜代美									
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）									
学年・開講期		3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格		診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		6	問題解決力								
SDGs との関連		③ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法		PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
											○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 人体構造（解剖生理）、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10 の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。 ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標		1. ICD-10 各章の分類体系およびその特徴と留意事項を説明できる。 2. 分類コードの演習を含めた総合学習■									
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編（2020.7 版） 診療情報管理士教育問題集（専門・8 章～12 章） ICD-10 第 1 巻「内容例示表」（2013 年版） ICD-10 第 3 巻「索引表」（2013 年版）（貸出）									
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。									
オフィスアワー（研究室）		大川（情報）：木曜日 2 限 （1 号館 609 研究室）				メールアドレス （#→@）	大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	12-1 国際疾病分類の基本 1									
	該当到達目標	予習	「12-1-1 コーディングを始めるにあたって」、「コーディングの目的および注意事項」、「12-1-2 ICD-10(2013 年版)準拠の概説」、「ICD と医学用語集の違い」、12-1-3「国際統計分類(ICD)」編さんの基準とその特徴」に目を通す							1 時間	
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、「コーディングを始めるにあたって」、「コーディングの目的および注意事項」、「ICD-10(2013 年版)準拠の概説」、「ICDと医学用語集の違い」、「国際統計分類(ICD)」編さんの基準とその							2 時間	

			特徴」を理解する	
2	講義内容	12-1 国際疾病分類の基本 2		
	該当到達目標	予習	12-1-4「内容例示表」と「索引表」の使用方法、12-1-5 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類、12-1-6「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表示記号と符号、12-1-7 用語の定義及び傷病名の構成に目を通す	1 時間
	1	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、「内容例示表」と「索引表」の使用方法、複数病態分類、複合病態分類及び二重分類、「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表示記号と符号、用語の定義及び傷病名の構成を理解する	2 時間
3	講義内容	第1章・第3章・第4章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第1章・第3章・第4章の特徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第1章・第3章・第4章の疾病分類体系の理解	2 時間
4	講義内容	第5章～第7章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第5章～第7章の特徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第5章～第7章の疾病コーディングを理解する	2 時間
5	講義内容	第8章～第10章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第8章～第10章特徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第8章～第10章の疾病コーディングを理解する	2 時間
6	講義内容	第11章～第13章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第11章～第13章特徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第11章～第13章疾病コーディングを理解する	2 時間
7	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 1■		
	該当到達目標	予習	第2章新生物のこの章の特徴に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第2章新生物のこの章の特徴を理解する	2 時間
8	講義内容	第2章新生物のこの章の特徴を理解する■		
	該当到達目標	予習	新生物の分類を理解するための基本事項に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、新生物の分類を理解するための基本事項を理解する	2 時間
9	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 3■		
	該当到達目標	予習	新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等を理解する	2 時間
10	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 4■		
	該当到達目標	予習	2) 機能的活性および、異所性組織に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、2) 機能的活性および、異所性組織を理解する	2 時間

11	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 5■		
	該当到達目標	予習	新生物における主傷病名の選択に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、新生物における主傷病名の選択を理解する	2 時間
12	講義内容	第2章新生物 疾病分類体系の理解 6■		
	該当到達目標	予習	第2章新生物の疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第2章新生物疾病コーディングを理解する	2 時間
13	講義内容	第14章～第16章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第14章～第16章徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第14章～第16章疾病コーディングを理解する	2 時間
14	講義内容	第17章～第19章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第17章～第19章特徴と疾病構造に目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第17章～第19章特徴と疾病構造を理解する	2 時間
15	講義内容	第20章・第21章の疾病分類体系の理解■		
	該当到達目標	予習	第20章・第21章の疾病分類体系と、原死因コーディングに目を通す	1 時間
	2	復習	講義内容を基に板書したキーワードをテキストで調べ、第20章・第21章疾病コーディングと原死因コーディングを理解する	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療事務論Ⅰ（医療事務の基礎知識）（専門展開科目）							科目ナンバリング	HID315	
英文名	Medical Clerical TheoryⅠ							講義形態	講義	
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	34									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。 ② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を説明する。また、当該箇所について適宜宿題レポートの課題を出す。									
到達目標	1. 病院概論が理解できる。 2. 医療保障制度が理解できる。 3. 請求事務の基本を知る。 4. 診察料について理解する。 5. 医学管理料について理解する。 6. 在宅医療について理解する。 7. 投薬料について理解する。 8. 注射料について理解する。 9. 処置料を理解する。 10. リハビリテーション料を理解する。									
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、資料ブック、レセプト用紙、診療報酬点数表									
参考文献										
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、確認後、誤りの多い箇所について解説を行う。									
オフィスアワー（研究室）	水曜日 4 限（質問はメールでも可能）				メールアドレス（#→@）		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療保険のしくみ」に目を通す						1.5 時間	
		復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。						1.5 時間	
2	講義内容	病院概論と保険給付								
	該当到達目標 1, 2	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 保険給付のしくみ」に目を通す						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
3	講義内容	医療保障制度について								
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「3 章 その他の医療保障制度」に目を通す						1.5 時間	

	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「1 章 医療事務の基礎知識」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 初・再診料」に目を通す	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 初・再診料」の例題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 医学管理等」に目を通す	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 医学管理等」の例題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 在宅医療」に目を通す	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 投薬」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 投薬」の例題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 注射」に目を通す	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	処置料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 処置」に目を通す	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 処置」の例題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	リハビリテーション料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「8 章 リハビリテーション」に目を通す	1.5 時間
	10	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必須科目。 医療事務論Ⅱとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予め要相談) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅱ（点数計算とレセプトの書き方Ⅰ）（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID316		
英文名	Medical Clerical Theory Ⅱ						講義形態	演習		
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療報酬に関する基礎知識を学び、医療分野を学習する力を養う。 ② 各講義で当該箇所を解説し、テキスト内の問題を解く。また、当該箇所について適宜宿題レポートの課題を出す。									
到達目標	1. 病院概論の詳細を説明できる。 2. 医療保障制度の詳細を説明できる。 3. 請求事務の上書きをかけるようにできる。 4. 診察料について、計算・請求できる。 5. 医学管理料について、計算・請求できる。 6. 在宅医療について、計算・請求できる。 7. 投薬料について、計算・請求できる。 8. 注射料について、計算・請求できる。 9. 処置料を計算・請求できる。 10. リハビリテーション料を計算・請求できる。									
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、資料ブック、レセプト用紙、診療報酬点数表									
参考文献										
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	水曜日 4 限（質問はメールでも可能）				メールアドレス （#→@）		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療保険のしくみ」内の問題を解く							1.5 時間
		復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。							1.5 時間
2	講義内容	病院概論								
	該当到達目標 1, 2	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 保険給付のしくみ」内の問題を解く							1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する							1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について								

	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 1「3 章 その他の医療保障制度」内の問題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「1 章 医療事務の基礎知識」内の問題を解く	1.5 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 初・再診料」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 初・再診料」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 医学管理等」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 医学管理等」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 在宅医療」内の問題を解く	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 投薬」内の問題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 投薬」内の問題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 注射」内の問題を解く	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	処置料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 処置」内の問題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 処置」内の問題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	リハビリテーション料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「8 章 リハビリテーション」内の問題を解く	1.5 時間
	10	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅰとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予めご相談ください) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅲ（点数計算とレセプトの書き方Ⅱ）（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID317		
英文名	Medical Clerical Theory Ⅲ						講義形態	演習		
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	③④									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要	① 診療報酬に関する専門的な知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。									
①講義の目標	② 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を説明する。また、当該箇所について適宜宿題レポートの課題を出す。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. 検査料、病理診断料を理解する。 2. 手術料を理解する。 3. 麻酔料を理解する。 4. 画像診断料を理解する。 5. 入院料について理解する。 6. レセプト点検作業について理解する。									
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、資料ブック、レセプト用紙、診療報酬点数表									
参考文献										
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	月曜 2 限（質問はメールでも可能）				メールアドレス （#→@）		takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	検査料①								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」に目を通す						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
2	講義内容	検査料②								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」の例題を解く						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
3	講義内容	病理診断料								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」の例題を解く						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
4	講義内容	手術料①								

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「2 章 手術」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	手術料②		
	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「2 章 手術」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当到達目標 3	予習	医科医療事務テキスト 3「3 章 麻酔」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「4 章 画像診断」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「4 章 画像診断」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「6 章 入院料等」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標 5	予習	医科医療事務テキスト 3「6 章 入院料等」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	レセプトの点検①		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 3「7 章 レセプトの点検」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	レセプトの点検②		
	該当到達目標 6	予習	医科医療事務テキスト 3「7 章 レセプトの点検」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	総括・まとめ		
	該当到達目標 1～6	予習	医科医療事務テキスト内のまとめ部分に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標 1～6	予習	トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標 1～6	予習	トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必須科目。 医療事務論Ⅳとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予め要相談) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療事務論Ⅳ(公費負担医療他、総合演習)(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID318		
英文名	Medical Clerical Theory IV						講義形態	演習		
担当教員	高橋 真悟									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	医療事務管理士技能認定試験									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	授業中に授業内容の振り返りや質疑応答の時間を設ける。									
実施概要	① 診療報酬に関する専門的な知識を学び、医療分野を学習する力を養う。									
①講義の目標	② 各講義で当該箇所を解説し、テキスト内の問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. 検査料、病理診断料の計算・請求できる。 2. 手術料の計算・請求できる。 3. 麻酔料の計算・請求できる。 4. 画像診断料の計算・請求できる。 5. 入院料について、計算・請求できる。 6. レセプト点検作業について、実践ができる。									
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、資料ブック、レセプト用紙、診療報酬点数表									
参考文献										
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題を出した授業の翌週に答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 2 限(質問はメールでも可能)				メールアドレス (#→@)	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	検査料①								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」に目を通す						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
2	講義内容	検査料②								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」の例題を解く						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
3	講義内容	病理診断料								
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「1 章 検査／病理診断」の例題を解く						1.5 時間	
		復習	宿題レポートを作成する						1.5 時間	
4	講義内容	手術料①								
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「2 章 手術」内の問題を解く						1.5 時間	

	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	手術料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「2 章 手術」内の問題を解く	1.5 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「3 章 麻酔」内の問題を解く	1.5 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「4 章 画像診断」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「4 章 画像診断」内の問題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「6 章 入院料等」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「6 章 入院料等」内の問題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	レセプトの点検①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「7 章 レセプトの点検」内の問題を解く	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	レセプトの点検②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「7 章 レセプトの点検」内の問題を解く	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	総括・まとめ		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト内のまとめ部分に目を通す	1.5 時間
	1～6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標	予習	トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	1～6	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標	予習	トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	1～6	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必須科目。 医療事務論Ⅲとセットで必ず受講すること。(セットで履修できない場合は予め要相談) ※オンラインでの実施となった場合、各講義の課題提出をもって出席とする。			

科目名	医療経済学(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID319		
英文名	Health Economics						講義形態	講義		
担当教員	町田 修三									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格	診療情報管理士									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	34816									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験実習、 実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○					○	○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	問いかけ、Quiz、質疑応答(ミニツツペーパー上の質問を含む)などを用いた双方向性授業の実施									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 将来、医療関連の現場で働く可能性のある学生が、医療経済関連の知識や医療の実態を学び、専門家としての基礎知識を身につけることを目標としている。知識豊かな医療人となることを目指す。 講義では、日本の医療の特性や現状を理解することに主眼を置くが、医療の国際化をにらんで海外諸国との比較を導入することで更に理解度を深めてゆく。また、新しい学問領域である薬剤経済学のエッセンスも一部紹介する。 ② 授業のはじめに、コメントペーパー上に学生より出された質問や疑問に答えることで、前回の復習をする。知識提供型の講義ではあるが、可能な限りアクティブラーニングの手法を用いた講義にする。積極的な参加が求められる。									
到達目標	1. 経済財としての医療の特徴を説明できる。 2. 医療の供給体制の構築、医療スタッフそれぞれの役割、連携について説明できる。 3. 国民医療費の推移・動向と国民医療費の増大要因について理解し、他者に説明できる。 4. 診療報酬の基礎を理解したうえで、日本の薬価基準制度について他国との比較もふまえて説明できる。 5. 日本の社会保障制度の枠組みと特徴、特に医療制度、医療保険制度について説明できる。 6. これまで実施されてきた医療改革の事例を理解し、今後必要となる改革(混合診療や高齢者医療など)について自分の意見を持ち、他者に説明できる。 7. アメリカやヨーロッパ諸国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 8. 発展途上国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 9. 日本の病医院経営の現状分析ができ、医療経営や医療マネジメントの理論と実践手法を身につけている。また、医療スタッフをとりまく医療マネジメントの実践について理解している。 10. 製薬企業や医薬品市場の特徴と、医薬品流通の仕組みや特性について概説できる。 11. 薬剤経済学の一分野として、薬物療法の経済評価手法について、そのエッセンスを理解し概説できる。									
使用教材	必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する									

参考文献		推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。			
評価方法		定期試験 80%、講義評価(コメントペーパー、クイズ、小レポート)20%で評価する。			
課題・評価に対するフィードバック方法		コメントペーパーに記載された学生からの質問事項、疑問点については、次の講義で解説する。クイズについても次の講義で解説する。小レポートについては、後日出題意図を解説するとともに、コメントを付して返却する。			
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603	メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション、日本の医療の基礎知識			
	該当到達目標 1	予習	シラバスを熟読し、講義の概要と目標を理解しておく	1 時間	
		復習	クイズ形式で学習した日本の医療の特徴について確認する	1 時間	
2	講義内容	医療需要(医療需要の特徴)			
	該当到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容についての理解を深める	1 時間	
3	講義内容	医療の供給体制(医療労働市場、医療の質)(一部 AL[アクティブラーニング])実施)			
	該当到達目標 2	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間	
4	講義内容	国民医療費の分析			
	該当到達目標 3	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間	
5	講義内容	診療報酬と薬価制度(医療と薬剤の価格の決まり方)			
	該当到達目標 4	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
6	講義内容	日本の医療制度と医療改革(一部 AL 実施)			
	該当到達目標 5,6	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
7	講義内容	世界の医療制度Ⅰ(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ)			
	該当到達目標 7	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
8	講義内容	世界の医療制度Ⅱ(途上国と新興国)			
	該当到達目標 8	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
9	講義内容	医療マネジメントⅠ(病院の経営分析)			
	該当到達目標 9	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
10	講義内容	医療マネジメントⅡ(選ばれる病院になるための戦略)(一部 AL 実施)			
	該当到達目標 9	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
11	講義内容	医薬品産業の分析Ⅰ(製薬企業の行動と産業構造)			
	該当到達目標 10	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間	
12	講義内容	医薬品産業の分析Ⅱ(医薬品卸企業の行動と産業構造)(一部 AL 実施)			
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間	

	10	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
13	講義内容	薬剤経済学Ⅰ（薬剤療法の費用-効果分析、モデル分析）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
14	講義内容	薬剤経済学Ⅱ（演習）		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておくとともに、練習問題を解いておく	1.5 時間
	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
15	講義内容	全体のまとめと確認テスト		
	該当到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1～11	復習	試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間（予習・復習）				38 時間
備考	記載した予習・復習時間に加え、推薦テキストの講読や新聞・雑誌の医療関連記事のチェック等により、単位修得に必要な時間数を各自確保すること。			

科目名	ソフトウェア工学(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID320			
英文名	Software Engineering						講義形態	講義			
担当教員	東福寺 幾夫										
科目に関連した実務経験	メーカ勤務中に、血液分析装置等の組み用ソフトウェア開発や、病院検査室向け臨床検査システムのシステム開発管理に従事した。特に臨床検査システム開発では、QCD 管理に苦心し、プロジェクト管理の重要性を痛感した。										
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位								
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養						コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能						生涯学習力			
	2	問題解決力									
SDGs との関連	①	③	④	⑤	⑧	⑨	⑪	⑫	⑰		
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他	
						○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①ソフトウェアの規模は拡大の一途をたどっており、大規模なソフトウェアを効率的に正しく作成するためには適切な方法論が必要である。大学でのプログラミング実習等では体験することはできないが、現場にはいると、複数の人がチームを組みプログラム開発に従事し、QCD を達成することが求められる。本講義では、こうした大規模ソフトウェア開発で利用される基本的な方法論を学ぶ。 ②教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。										
到達目標	1. 大規模ソフトウェア開発に係る様々な課題を理解し、課題解決への取り組みについて説明できる。■ 2. ソフトウェアの開発工程を説明できる。■ 3. 要求分析についてしっかりと理解して説明することができる。 4. ソフトウェアの設計や開発について説明できる。■ 5. 開発したソフトウェアの品質管理、保守・再利用について説明できる。										
使用教材	「情報工学レクチャーシリーズ ソフトウェア工学」、高橋直久・丸山勝久共著、森北出版株式会社、2010 年、3,000 円、ISBN978-4-627-81061-7 必要に応じて資料を配布する。										
参考文献											
評価方法	期末試験 70%、授業参加度 30%										
課題・評価に対するフィードバック方法	授業内で適宜コメントする。										
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605				メールアドレス (#→@)		tofukuji#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	講義全体のガイダンス									
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する							1 時間	
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する							1.5 時間	
2	講義内容	大規模ソフトウェア開発の課題									

	該当到達目標	予習	教科書第1章に目を通す	1 時間
	1	復習	ソフトウェア危機、大規模ソフトウェアがもたらす問題、問題解決への取り組みについて理解する。	1.5 時間
3	講義内容	ソフトウェアの開発工程■		
	該当到達目標	予習	教科書第2章に目を通す	1 時間
	2	復習	ソフトウェアの開発工程、ウォーターフォールモデル、進化型プロセスモデルについて理解する。	1.5 時間
4	講義内容	プロジェクト管理■		
	該当到達目標	予習	教科書第3章に目を通す	1 時間
	2	復習	プロジェクト管理、開発工数の見積、品質管理について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	要求分析(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求分析、要求獲得について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	要求分析(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求仕様化、要求確認について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	構造化分析■		
	該当到達目標	予習	教科書第5章に目を通す	1 時間
	3	復習	構造化分析、DFD、実体関連図、状態遷移図について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オブジェクト指向分析		
	該当到達目標	予習	教科書第6章に目を通す	1 時間
	3	復習	オブジェクト指向開発方法論、オブジェクト指向分析の手順について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	アーキテクチャ設計		
	該当到達目標	予習	教科書第7章に目を通す	1 時間
	4	復習	アーキテクチャ設計、アーキテクチャ設計のプロセス、アーキテクチャスタイルについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ユーザインタフェース設計		
	該当到達目標	予習	教科書第8章に目を通す	1 時間
	4	復習	ユーザインタフェース設計、対話方式、画面設計について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	モジュール設計		
	該当到達目標	予習	教科書第9章に目を通す	1 時間
	4	復習	モジュール設計、モジュール分割の評価基準、構造化システム設計について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	プログラミング		
	該当到達目標	予習	教科書第10章に目を通す	1 時間
	4	復習	プログラミング、構造化プログラミング、データ中心アプローチについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容	テストと検証■		
	該当到達目標	予習	教科書第11章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェアテスト、テスト技法、ソフトウェア検証、検証技法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	保守と再利用■		

	該当到達目標 5	予習	教科書第 12 章に目を通す	1 時間
		復習	ソフトウェア保守、保守技法、ソフトウェア再利用、再利用技法について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書全体に目を通す	1 時間
		復習	教科書全体に目を通す	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		ネットワークⅡ（専門展開科目）					科目ナンバリング	HID321			
英文名		Network Ⅱ（Network Construction Technology）					講義形態	講義			
担当教員		長澤 亨									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格		IT パスポート、基本情報技術者試験									
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		6	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		3	問題解決力								
SDGs との関連		④									
アクティブラーニング実施方法		PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
							○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		ネットワーク技術は日々発展進化し、高速化がなされると同時に身の回りの機器がすべてネットワークに接続する時代になってきた。また、PC 以外にも様々なスマートメディアの利用が進む中で、セキュリティ技術の重要性が増すとともに、ネットワークの技術が大きく変わってきた。特に高速化技術と常時接続性、そして冗長化技術である。本講義では、実際のケーブル、PC はもちろん実際のルータやスイッチの設定を通して、ネットワーク技術を身に付けることを目的とする。授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進めるが、内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。定期試験に代えて章ごとに演習課題を解き、知識定着の確認を行う。演習課題の作成において知識が不足していると思われる場合は、教科書や関連資料等を熟読して補完するよう促す。									
到達目標		1.ネットワーク構築の流れを説明できる。 2.物理設計を説明できる。 3.論理設計を説明できる。 4.セキュリティ設計・負荷分散設計を説明できる。 5.高可用性を説明できる。 6.管理設計を説明できる。									
使用教材		教科書：ネットワーク技術＆設計入門 みやたひろし著 ISBN978－4－7973－7351									
参考文献		配布資料									
評価方法		定期試験 60%、演習課題 40%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。									
オフィスアワー （研究室）		月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室：1 号館 6 階 608				メールアドレス （#→@）		nagasawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ネットワーク構築の流れ									
	該当到達目標	予習	「ネットワーク構築の流れ」を読んでおく							1.5 時間	

	1	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
2	講義内容	物理層の技術		
	該当到達目標	予習	「物理層の技術」を読んでおく	1.5 時間
	2	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
3	講義内容	物理設計		
	該当到達目標	予習	「物理設計」を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	論理設計 1		
	該当到達目標	予習	「論理設計のデータリンク層の技術」を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	論理設計 2		
	該当到達目標	予習	「論理設計のネットワーク層の技術」を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	論理設計 3		
	該当到達目標	予習	「論理設計」を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 1		
	該当到達目標	予習	「トランスポート層の技術」を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 2		
	該当到達目標	予習	ファイアウォールでシステムを守る」を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 3		
	該当到達目標	予習	「セッション層からアプリケーション層」を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	セキュリティ設計・負荷分散設計 4		
	該当到達目標	予習	「セキュリティ設計・負荷分散設計」を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	高可用性設計 1		
	該当到達目標	予習	「冗長化技術」のを読んでおく	1.5 時間
	5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	高可用性設計 2		
	該当到達目標	予習	「高可用性」を読んでおく	1.5 時間
	5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	管理設計 1		
	該当到達目標	予習	「管理技術」を読んでおく	1.5 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	管理設計 2		
	該当到達目標	予習	「監理設計」を読んでおく	1.5 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	ネットワーク技術&設計入門のまとめ		
	該当到達目標	予習	「ネットワーク技術&設計入門」を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。			

	VOD:出席と成績は課題提出で評価する。

科目名	コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID322		
英文名	Computer Architecture						講義形態	講義		
担当教員	東福寺 幾夫									
科目に関連した実務経験	メーカ勤務中に、組み込み用マイコン応用回路の設計やシステムデバッグのためのエミュレータを開発し、マルチタスク処理用ためのモニタプログラム(OS)を開発した。									
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	9	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
	1	問題解決力								
SDGsとの関連	34578917									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①情報技術を学んでいくうえではコンピュータの基本的な知識を押さえておく必要がある。プログラミングを学ぶ上でも、コンピュータの仕組みや動作の原理を知っておくことは有用である。コンピュータシステムの設計原理であるコンピュータアーキテクチャを理解することで、効率のよいプログラム作成の基礎力を養成することを目標とする。 ②教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。									
到達目標	1. 「コンピュータアーキテクチャ」という用語を説明できる。 2. 命令の形式とアドレス指定の方式について説明できる。 3. 命令の実行サイクルと、割り込み制御について説明できる。 4. コンピュータの演算の仕組みを説明できる。 5. 記憶装置の階層化・高速化と仮想記憶方式について説明できる。 6. システムの構成方法と信頼性について説明できる。									
使用教材	教科書「わかりやすく図で学ぶコンピュータアーキテクチャ」 野地保著 共立出版 ISBN 978-4-320-12092-1									
参考文献										
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の授業の冒頭でドリルを実施し、前回授業の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605				メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標 1	予習	シラバスおよび教科書のまえがきを読み、講義の目標を理解する。						1 時間	
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。						1.5 時間	
2	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本ー1 コンピュータアーキテクチャとは・コンピュータ発達の歴史								
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.1, 1.2 を読む						1 時間	

	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
3	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本ー2 コンピュータアーキテクチャの概要		
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.3 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
4	講義内容	情報の表現と単位ー1 情報の単位・数値の表現		
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章 2.1, 2.2 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 2 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
5	講義内容	情報の表現と単位ー2 文字の表現・誤り検出と訂正・論理演算■		
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章 2.3～2.5 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 2 章の演習問題を及びドリル解く	1.5 時間
6	講義内容	命令セットアーキテクチャー1 命令の形式		
	該当到達目標	予習	教科書第 3 章 3.1 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
7	講義内容	命令セットアーキテクチャー2 アドレス方式・命令の種類■		
	該当到達目標	予習	教科書第 3 章 3.2, 3.2 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
8	講義内容	制御アーキテクチャー1 命令実行制御・マイクロプログラム制御		
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章 4.1, 4.2 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
9	講義内容	制御アーキテクチャー2 高速化アーキテクチャ・割込み制御		
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章 4.3, 4.4 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
10	講義内容	演算アーキテクチャー1 演算の基本		
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章 5.1 を読む	1 時間
	4	復習	教科書第 5 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
11	講義内容	演算アーキテクチャー2 演算アルゴリズム		
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章 5.2 を読む	1 時間
	4	復習	教科書第 5 章の演習問題を解く	1.5 時間
12	講義内容	メモリアーキテクチャー1 記憶階層・仮想記憶■		
	該当到達目標	予習	教科書第 6 章 6.1 を読む	1 時間
	5	復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
13	講義内容	メモリアーキテクチャー2 高速化手法		
	該当到達目標	予習	教科書第 6 章 6.2 を読む	1 時間
	5	復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
14	講義内容	システムアーキテクチャ 性能評価・信頼性■		
	該当到達目標	予習	教科書第 10 章 10.1, 10.2 を読む	1 時間
	6	復習	教科書第 10 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめと演習		
	該当到達目標	予習	教科書を読み直す	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	演習問題を見直す	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間

備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	情報セキュリティⅡ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID323		
英文名	Cyber Security Ⅱ						講義形態	講義		
担当教員	松尾 仁司									
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事（経験） 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）運営幹事（経験）									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	情報セキュリティマネジメント対応科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			2	コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
	3	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑨ ⑪ ⑰									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○			○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 社会のデジタルトランスフォーメーションが進む中、世界的にサイバー攻撃のリスクが高まっている。本講義では情報セキュリティの専門的知識と技術学び、病院や企業におけるセキュリティ対策を理解する。 ② 講義中に議論や課題演習を行い、知識を活用して情報セキュリティマネジメントの応用を学ぶ。									
到達目標	1. 情報セキュリティマネジメントの基礎知識を習得することができる。■ 2. セキュリティ・インシデン対応の実際を説明することができる。									
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本（株）技術評論社									
参考文献	適宜紹介する									
評価方法	期末試験の成績 70%、授業中の課題演習への取組 30%で評価。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題演習に関しては授業の中で解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	水曜日 3 限 （研究室：1 号館 6 階 607 室）				メールアドレス （#→@）	matsuo#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	導入：情報セキュリティ■								
	該当到達目標	予習	シラバスを読む							0.5 時間
	1	復習	講義の目標と情報セキュリティの基礎知識を確認する							2.5 時間
2	講義内容	ネットワーク								
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する							0.5 時間
	1	復習	ネットワーク関連技術とセキュリティを理解する							2.5 時間
3	講義内容	脆弱性と攻撃■								
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する							0.5 時間
	1	復習	情報セキュリティの脅威と脆弱性を理解する							2.5 時間
4	講義内容	マルウェアと不正アクセス対策								
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する							0.5 時間
	1	復習	マルウェア、不正アクセスについて理解する							2.5 時間
5	講義内容	暗号化と認証技術■								
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する							0.5 時間
	1	復習	暗号・認証システムを理解する。							2.5 時間
6	講義内容	アクセス管理と情報漏洩対策								
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する							0.5 時間

	1	復習	情報漏えい対策、アクセス管理について理解する	2.5 時間
7	講義内容	情報セキュリティの評価と管理■		
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
	1	復習	リスクコントロール手法と情報セキュリティポリシーについて理解する	2.5 時間
8	講義内容	情報セキュリティ関連法規とガイドライン■		
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
	1	復習	個人情報保護やセキュリティ関連法規、ガイドラインを理解する	2.5 時間
9	講義内容	ストラテジとマネジメント■		
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
	2	復習	セキュリティシステム戦略とプロジェクトマネジメントについて理解する	2.5 時間
10	講義内容	コンピュータシステム■		
	該当到達目標	予習	テキストを読み基礎知識を確認する	0.5 時間
	2	復習	データベース等のシステム技術を理解する	2.5 時間
11	講義内容	情報セキュリティ対策課題(1)		
	該当到達目標	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
	2	復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
12	講義内容	情報セキュリティ対策課題(2)		
	該当到達目標	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
	3	復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ対策課題(3)		
	該当到達目標	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
	3	復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
14	講義内容	情報セキュリティ対策課題(4)		
	該当到達目標	予習	基礎知識を整理して事例検討の準備をする	0.5 時間
	3	復習	事例を用いてセキュリティ課題と対策を理解する	2.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	情報セキュリティマネジメントの重要なポイントを確認する	0.5 時間
	3	復習	情報セキュリティマネジメントの理解を確実にする	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	アニメーション制作演習(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID324		
英文名	Animation Production Exercise						講義形態	演習		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した実務経験	Web クリエイターとしての大学広報業務(経験)									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	5	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① PC やモバイル、Web ブラウザなどさまざまなデバイスやプラットフォームに向けたインタラクティブなアニメーションを作ることができる Adobe Animate を使って、基本的な操作からグラフィック描画やアニメーション制作ができるまでを学ぶ。 ② 講義テーマごとに、前半は操作説明を行い、後半は各自課題に取り組む形式で進める。毎回課題を出題するので、指定期日までに仕上げて提出する。									
到達目標	1. アニメーション制作に必要な PC 環境と操作方法について説明できる。 2. 描画ツールを使ったベクターグラフィックの描画ができる。■ 3. フレームアニメーションや各種トゥイーンアニメーションの制作ができる。■ 4. 画像を利用したアニメーションの制作ができる。■ 5. スクリプトを利用したアニメーション制御ができる。■									
使用教材	自作の教材									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(80%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答例を提示し、解説する。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス (#→@)		sakamoto#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	描画ツールの基本操作■								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組む、指定日までに提出する。						2 時間	
2	講義内容	フレームアニメーション■								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組む、指定日までに提出する。						2 時間	
3	講義内容	トゥイーンアニメーション■								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組む、指定日までに提出する。						2 時間	
4	講義内容	レイヤー■								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組む、指定日までに提出する。						2 時間	
5	講義内容	文字アニメーション■								
	該当到達目標	予習	不要						0 時間	

	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
6	講義内容	グラデーション■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
7	講義内容	モーションガイド■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
8	講義内容	カラーアニメーション■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
9	講義内容	シェイプアニメーション■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
10	講義内容	画像を利用したアニメーション■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ムービークリップ■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ボタン■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
13	講義内容	アクションスクリプト■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
14	講義内容	コンテンツのパブリッシュ■		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	2 時間
15	講義内容	作品制作		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定日までに提出する。	10 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID325		
英文名	Algorithm and Data Structure Ⅱ						講義形態	講義		
担当教員	坂本 孝									
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務（経験）									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針との対応	2	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	9									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○					○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 基本情報技術者試験で過去に出題された問題に取り組む。									
①講義の目標	② 各講義において、過去問題を解くための基礎知識について解説し、その後、過去問題の取組みを行っていく。									
②講義の実施方法										
到達目標	1. 基本情報技術者試験で使用される疑似言語が説明できる。 2. 探索処理、整列処理の基本的なアルゴリズムが説明できる。■ 3. 文字列操作の応用アルゴリズムが説明できる。■ 4. スタック構造、木構造等のデータ構造が理解でき、これを処理するアルゴリズムが説明できる。■									
使用教材	自作のプリント 他(未定)									
参考文献										
評価方法	課題提出状況(50%)、確認テスト(30%)、授業における学習姿勢(20%)により評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題の解答を提示し、解説する。									
オフィスアワー（研究室）	火曜日 4 時限と 5 時限				メールアドレス（#→@）	sakamoto#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	1 次元配列の基本操作								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。						1.5 時間	
2	講義内容	順位付け処理■								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。						1.5 時間	
3	講義内容	2 次元配列の基本操作								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。						1.5 時間	
4	講義内容	配列を利用した図形処理■								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。						1.5 時間	
5	講義内容	データ探索								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。						1.5 時間	
6	講義内容	整列 基本選択法、隣接交換法								
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。						1 時間	

	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
7	講義内容	整列 基本挿入法、クイックソート		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	文字列の比較		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
9	講義内容	文字列の転記		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
10	講義内容	文字列の圧縮/復元		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
11	講義内容	ボイヤ・ムーア法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
12	講義内容	スタック		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
13	講義内容	木構造		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
14	講義内容	ハッシュ法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
15	講義内容	数学的アルゴリズム		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	データサイエンスⅢ(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID326		
英文名	Data science Ⅲ						講義形態	講義		
担当教員	光山 訓									
科目に関連した実務経験	企業において機械学習を利用した製品、サービスの開発に従事(経験)									
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	上級データサイエンス・AI 実務パスポート									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	③								⑬	
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要	① 講義の目標 データサイエンスは、単なる数値、記号の集まりであるデータから情報を読み取り、現実世界に役立つ判断を行うことを目的とした分野である。データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決の全てを含む広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、近年急速に発達、実用化が進み、社会を変えるほどのインパクトを与えている AI(人工知能)、機械学習についての基礎知識を習得し、自ら使うことにより理解を深める。									
	② 講義の実施方法 授業は、指定教科書に基づいた講義により基礎知識の習得と理論の理解を進める。さらに Python によるプログラミング演習により知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。Python プログラミングの基礎についても同時に習得する。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. AI、機械学習とは何かを説明できる■ 2. Python による AI プログラミングができる 3. 機械学習を用いた課題解決ができる■ 4. 主要な機械学習モデルの概要を理解し、使うことができる■ 5. 機械学習を適用する上での課題を理解し、対処することができる									
使用教材	「スッキリわかる Python による機械学習入門」、インプレス、ISBN978-4295009948 講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週演習を行い、授業中に解き方を説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)		mitsuyama#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、データサイエンスと AI・機械学習■								
	該当到達目標 1	予習	「第 1 章 AI と機械学習」を読む。						1.0 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。						2.0 時間	
2	講義内容	機械学習の種類、機械学習に必要な基礎統計学(1)、Python プログラミングの基礎(1)								
	該当到達目標 2,4	予習	「第 2 章 機械学習に必要な基礎統計学」を読む。						1.0 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。						2.0 時間	

3	講義内容	機械学習に必要な基礎統計学(2)、Python プログラミングの基礎(2)		
	該当到達目標	予習	「第2章 機械学習に必要な基礎統計学」を読む。	1.0 時間
	2,4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
4	講義内容	機械学習によるデータ分析の流れ、Python プログラミングの基礎(3)■		
	該当到達目標	予習	「第3章 機械学習によるデータ分析の流れ」を読む。	1.0 時間
	2,3	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
5	講義内容	Python プログラミングの基礎(4)		
	該当到達目標	予習	「第0章 Python 基本文法の復習」を読む。	1.0 時間
	2	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
6	講義内容	機械学習の体験		
	該当到達目標	予習	「第4章 機械学習の体験」を読む。	1.0 時間
	2,3	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
7	講義内容	分類問題への機械学習の適用(1)		
	該当到達目標	予習	「5.1 アヤメの花を分類する」「5.2 データの前処理」を読む。	1.0 時間
	2,3,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
8	講義内容	分類問題への機械学習の適用(2)		
	該当到達目標	予習	「5.3 モデルの作成と学習」「5.4 モデルの評価」「5.5 決定木の図の作成」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
9	講義内容	回帰問題への機械学習の適用(1)		
	該当到達目標	予習	「6.1 映画の「興行収入を予測する」「6.2 データの前処理」を読む。	1.0 時間
	2,3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
10	講義内容	回帰問題への機械学習の適用(2)		
	該当到達目標	予習	「6.3 モデルの作成と学習」「6.4 モデルの評価」「6.5 回帰式による影響度の分析」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
11	講義内容	機械学習における注意点(1)		
	該当到達目標	予習	「7.1 客船沈没事故から生き残れるかを予測」「7.2 データの前処理」「7.3 モデルの作成と学習」を読む。	1.0 時間
	2,3,4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
12	講義内容	機械学習における注意点(2)		
	該当到達目標	予習	「7.5 モデルの評価」を読む。	1.0 時間
	2,3,4,5	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
13	講義内容	様々な機械学習モデル■		
	該当到達目標	予習	「第11章 さまざまな教師あり学習：回帰」「第12章 さまざまな教師あり学習：分類」を読む。	1.0 時間
	4	復習	講義資料を読み、復習する。	2.0 時間
14	講義内容	総合演習(1) 機械学習プログラミング		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	2,4	復習	授業内容を振り返り、練習問題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料、教科書で復習しておく。	2.0 時間
	1,3,4,5	復習	授業内容を振り返り、練習問題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間

備考	■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名		情報処理演習Ⅱ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID327		
英文名		Information Processing ExerciseⅡ						講義形態	演習		
担当教員		田村 拓郎									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格		データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修) 上級データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修)									
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
		5	問題解決力								
SDGs との関連		4									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
							○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① ネットワークシステムのコンテンツとして今やデータベースは情報システムの要となっている。本講義では、リレーショナル型データベースである ACCESS の基礎から実際の活用までを学ぶことを目的とする。									
		② 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。									
到達目標		1. データベースシステムの機能を説明できる。 2. ACCESS を用いて基本的な業務をデータベース化できる。									
使用教材		自作教材									
参考文献		Access テキスト基礎編 ムゲンダイ出版									
評価方法		課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)		火曜日の 3 時限、4 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 604				メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、データベースとは、Access の基本操作									
	該当到達目標 1,2	予習	シラバスを確認しておく。							0 時間	
		復習	提出課題を完成させる							1.5 時間	
2	講義内容	テーブル機能 テーブルの作成									
	該当到達目標 1,2	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。							1 時間	
		復習	提出課題を完成させる							1.5 時間	
3	講義内容	テーブル機能 レコードの追加、インポート、エクスポート									
	該当到達目標 1,2	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。							1 時間	
		復習	提出課題を完成させる							1.5 時間	
4	講義内容	テーブル機能 データシート、フィールドプロパティ									
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。							1 時間	

	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	クエリ機能 選択クエリ、リレーションシップ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	クエリ機能 抽出条件		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	クエリ機能 演算子を用いた抽出		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	クエリ機能 並べ替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	クエリ機能 集計クエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	クエリ機能 クロス集計クエリ、パラメータクエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	クエリ機能 演習フィールド		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	フォーム機能 フォームの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	フォーム機能 デザイン編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	レポート機能 レポートの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	Access 総合演習		
	該当到達目標	予習	これまでに学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	1,2	復習	提出課題を完成させる	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	マルチメディアⅡ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID328		
英文名	MultimediaⅡ						講義形態	演習		
担当教員	田村 拓郎									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 本講義では、プロフェッショナルの映像制作の現場でも幅広く使用されている動画編集ソフトである Premiere Pro の演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するためのビデオ編集の開始から完成までの基礎的な能力を身につけることを目的とする。 ② 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。									
到達目標	1. コンピュータによる動画の編集と制作の基礎を説明できる。 2. 編集作業等に用いるソフトウェアの適切な活用法を説明できる。 3. 企画立案、動画制作を行なうことができる。									
使用教材	自作教材									
参考文献										
評価方法	課題提出状況（40％）、提出された課題成果物の出来栄え（40％）、学習姿勢（20％）で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物（ファイル）の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー （研究室）	火曜日 3, 4 限				メールアドレス （＃→＠）		tamura-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	講義全体のガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。							0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。							0.5 時間
2	講義内容	映像編集の流れ								
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べておく。							0 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。							0.5 時間
3	講義内容	カット編集とインサート編集								
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。							0 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。							1 時間
4	講義内容	色補正								
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。							0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。							1 時間

5	講義内容	音声補正		
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
6	講義内容	動画の書き出し		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
7	講義内容	インタビュー動画の作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
8	講義内容	画面切り替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
9	講義内容	カット演出、画像編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
10	講義内容	グラフィックの作り方と合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
11	講義内容	アニメーションの作り方		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
12	講義内容	課題作品制作 1 企画立案		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。動画企画を考える。	1 時間
	3	復習	動画企画を立案する。	5 時間
13	講義内容	課題作品制作 2 撮影、音声の制作		
	該当到達目標	予習	撮影の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	10 時間
14	講義内容	課題作品制作 3 動画編集、内容構成		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	5 時間
15	講義内容	課題作品制作 4 動画編集、修正		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	課題作品を完成させる。	5 時間
合計時間(予習・復習)				41.5 時間
備考	本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム『多職種連携コース』の対象科目である。副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPAの算出や卒業必要単位の対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する。また、履修登録時にCAPのカウントには含めない。 予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名		Web デザインⅢ(専門展開科目)						科目ナンバリング		HID329	
英文名		Web Design Ⅲ (Responsive Design)						講義形態		演習	
担当教員		田村 拓郎、長澤 亨									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格		Web クリエータ認定試験									
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
		4	問題解決力								
SDGs との関連		4									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
							○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① Web デザイン I では HTML と CSS について学んだ。ホームページを作成する場合 HTML と CSS だけでは十分ではなく、動きのあるホームページを作成できない。たとえば、マウスでボタンをクリックしたとき画像表示を変更や入力データをチェックする際、JavaScript とサーバ側の CGI との間で連携処理が必要である。このような、動的な処理を行うホームページを作成できるスキルを身につけることを目標とする。授業の進め方は、指定教科書およびプリントを基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習課題を解く。 ② 授業の進め方は、指定教科書およびプリントを基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。									
到達目標		1. JavaScript の概要と記述ルールを説明できる。 2. JavaScript の基本的な文法を説明できる。 3. HTML、CSS(Cascading Style Sheets)と JavaScript の連携を説明できる。									
使用教材		情報演習 36 JavaScript ワークブック ISBN978-4-87783-841-6									
参考文献											
評価方法		定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。									
オフィスアワー (研究室)		火曜日の 3 時限、4 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 604				メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	JavaScript の概要と記述ルール、イベントハンドラの利用									
	該当到達目標	予習	Step01 と Step02 を読んでおくこと							1 時間	
	1,2,3	復習	提出課題を完成させる							1.5 時間	
2	講義内容	コンソールの使い方、関数の基本、変数の宣言									
	該当到達目標	予習	Step03～Step05 を読んでおくこと							1 時間	
	1,2,3	復習	提出課題を完成させる							1.5 時間	

3	講義内容	変数の演算、配列			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step06 と Step07 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
4	講義内容	関数の引数、要素の取得			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step08 と Step09 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
5	講義内容	複数の要素の取得、要素の追加と削除			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step10 と Step11 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
6	講義内容	繰り返し処理 1、繰り返し処理 2			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step12 と Step13 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
7	講義内容	条件分岐 1、条件分岐 2			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step14 と Step15 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
8	講義内容	break と continue、関数の戻り値			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step16 と Step17 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
9	講義内容	文字入力とエラー処理、オブジェクト・メソッド・プロパティ			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step18 と Step19 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
10	講義内容	スタイルの変更、属性値の変更			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step20 と Step21 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
11	講義内容	イベントリスナー、フォームの操作 1			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step22 と Step23 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
12	講義内容	フォームの操作 2、日付時刻の操作			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step24 と Step25 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
13	講義内容	Math オブジェクト、文字の操作			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step26 と Step27 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
14	講義内容	オブジェクト変数、一定間隔で処理を繰り返す			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step28 と Step29 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
15	講義内容	Js ファイルの分離とエラー対策			
	該当到達目標 1,2,3	予習	Step30 を読んでおくこと	1 時間	
		復習	提出課題を完成させる	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。				

科目名	Web プログラミング I (専門展開科目)						科目ナンバリング	HID330		
英文名	Web Programing I (MySQL & PHP Programming)						講義形態	演習		
担当教員	長澤 亨									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現在、データベースでは関係データベースが使われている。膨大なデータを効率よく管理することを目的としている。一般にデータベースに追加、削除、検索などの管理機能を含めてデータベースシステムという。RDBMS の起源は、1970 年に IBM 社の EdgarF.Codd 氏が関係 DB に関する理論が基になっている。MySQL は Michael Widenius 氏が開発し、1995 年に誕生した RDBMS である。また、MySQL はオープンソースであるが、世界で 1000 万以上のサーバにインストールされて実際に動作している。本講義では、MySQL・MariaDB の基本と本質を理解することにある。 ② 授業の進め方は、教科書をベースに基本的な知識を習得させる。実際にデータベースを操作し知識の定着を図る。新しい知識に関しては教科書に立ち返り、知識定着のために演習を行う。以上の繰り返しで授業を進める。演習が解けない場合は予習復習時間が不足分しているため、追加自習で補うことを促す。									
到達目標	1. 関係データベースを簡潔に説明することができる。 2. MySQL データベースをインストールすることができる。 3. データベース、テーブルの作成、削除、変更ができる。 4. SQL 文でデータベースのデータを検索・登録・削除することができる。 5. データベースの定義し、テーブルの作成方法を説明できる。									
使用教材	教科書:基礎からの MySQL Soft Bank Creative 西沢夢路 (Amazon からデジタルコンテンツで購入) ISBN978-4-7973-6945-8 C0055									
参考文献										
評価方法	定期試験 40%、課題提出 50%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608				メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、Chapter1 MySQL の概要								
	該当到達目標	予習	MySQL の概要を読んでおく						1.5 時間	

	1	復習	MySQL の概要を復習する	1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 MySQL の環境設定		
	該当到達目標	予習	MySQL の環境設定を読んでおく	1.5 時間
	1,2	復習	MySQL の環境設定を復習する	1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 MySQL の基礎知識		
	該当到達目標	予習	MySQL の基礎知識を読んでおく	1.5 時間
	1,2	復習	MySQL の基礎知識を復習する	1.5 時間
4	講義内容	Chapter4 データベースの作成		
	該当到達目標	予習	データベースの作成を読んでおく	1.5 時間
	1,2	復習	課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter5 データ型とデータの入力		
	該当到達目標	予習	データ型とデータの入力を読んでおく	1.5 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter6 テーブルを改造する		
	該当到達目標	予習	「テーブルを改造する」を読んでおく	1.5 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter7 テーブルやレコードをコピー・削除する		
	該当到達目標	予習	「テーブルやレコードをコピー・削除する」を読んでおく	1.5 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter8 MySQL を使いこなす		
	該当到達目標	予習	「MySQL を使いこなす」を読んでおく	1.5 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter9 データを編集する		
	該当到達目標	予習	「データを編集する」を読んでおく	1.5 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter10 複数のテーブルを利用する		
	該当到達目標	予習	「複数のテーブルを利用する」を読んでおく	1.5 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter11 ビューを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ビューを使いこなす」を読んでおく	1.5 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter12 ストアドプロシージャを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ストアドプロシージャを使いこなす」を読んでおく	1.5 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	Chapter13 トランザクションを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「トランザクションを使いこなす」を読んでおく	1.5 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	Chapter14 ファイルを使ったやり取り		
	該当到達目標	予習	ファイルを使ったやり取り読んでおく	1.5 時間
	1,3,4,5	復習	課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	総合演習、まとめ		
	該当到達目標	予習	理解できていなかった部分を明確にする	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	最終的な課題を完成させる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	VOD:出席と成績は課題提出で評価する。			

科目名		Web プログラミング II (専門展開科目)					科目ナンバリング	HID331			
英文名		Web Programing II (Server Side Programming)					講義形態	演習			
担当教員		長澤 亨									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
		4	問題解決力								
SDGs との関連		4									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
							○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① PHP は 1995 年ごろ「Personal Home Page Tools」として作られ、Web アプリケーションに特化したサーバサイドスクリプト言語である。PHP の特徴は関数が大量にあり、それらは高速に動作する。また、オブジェクト指向的な手法をとることもでき、UNIX や Windows のいずれのプラットフォームでも開発し、動作する。本講義では、PHP の基本を理解し、PHP とデータベースを連携した Web アプリケーション開発するための技能の習得を目指す。 ② 授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web サイトの管理運用技術を習得させる。まず、Web を構成する基本的な要素についての知識を学び、演習課題で知識を定着させる。最終的に独自の Web サイトを構築する。知識が定着しておらず予習復習が不足している場合には、自習で補うことを促す。									
到達目標		1. PHP の基本を説明できる。 2. HTML、CSS、JavaScript、PHP の関係を説明できる。 3. HTML と PHP の連携プログラムを作成できる。 4. PHP と MySQL の連携プログラムを作成できる。 5. インターネットに公開するときの対策を説明できる。									
使用教材		教科書:基礎からの MySQL SoftBank Creative 西沢夢路(Amazon でデジタルコンテンツを購入) ISBN978-4-7973-6945-8 C0055									
参考文献											
評価方法		定期試験 40%、課題提出 50%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。									
オフィスアワー (研究室)		月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608				メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、MySQL+PHP の基礎									
	該当到達目標	予習	Chapter15「MySQL を利用するための PHP」を読んでおくこと							1.5 時間	
	1	復習	授業の復習							1.5 時間	
2	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 1									
	該当到達目標	予習	「PHP の変数、文字列、関数」の部分を読んでおくこと							1.5 時間	
	1	復習	「PHP の変数、文字列、関数」に関する課題を仕上げる							1.5 時間	

3	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 2			
	該当到達目標 1	予習	「比較演算子、繰り返し処理」を読んでおくこと	1.5 時間	
		復習	「比較演算子、繰り返し処理」の課題を仕上げる	1.5 時間	
4	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 3			
	該当到達目標 1	予習	「条件分岐、配列」を読んでおくこと	1.5 時間	
		復習	「条件分岐、配列」の課題を仕上げる	1.5 時間	
5	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトとHTML1			
	該当到達目標 1,2	予習	HTML の復習と HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す	1.5 時間	
		復習	HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す課題を仕上げる	1.5 時間	
6	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトとHTML2			
	該当到達目標 1,2,3	予習	「POST と GET によるデータ送信」を読んでおくこと	1.5 時間	
		復習	「POST と GET によるデータ送信」の課題を仕上げる	1.5 時間	
7	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトで MySQL を操作する 1			
	該当到達目標 1,2,4	予習	PHP スクリプトで MySQL サーバに接続する。	1.5 時間	
		復習	「PHP スクリプトで MySQL サーバに接続」の課題を仕上げる	1.5 時間	
8	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトで MySQL を操作する 2			
	該当到達目標 1,2,4	予習	PHP スクリプトでクエリを発行する。	1.5 時間	
		復習	「PHP スクリプトでクエリを発行」の課題を仕上げる	1.5 時間	
9	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 1			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	「簡単掲示板を作る」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	「簡単掲示板を作る」の課題を仕上げる	1.5 時間	
10	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	「トップページの作成」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	「トップページの作成」の課題を仕上げる	1.5 時間	
11	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	「表示・挿入・削除・検索機能の作成」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	「表示・挿入・削除・検索機能の作成」の課題を仕上げる	1.5 時間	
12	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 1			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	「公開されるフォルダに重要な情報を置かない」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	学修した内容を復習する	1.5 時間	
13	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 2			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	「正規表現を意図しないタグを実行させない」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	正規表現の課題を仕上げる	1.5 時間	
14	講義内容	実用掲示板の作成			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	「実用になる掲示板を作る」を読んでおく	1.5 時間	
		復習	実用になる掲示板の課題を仕上げる	1.5 時間	
15	講義内容	環境設定			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	Windows サービス、MySQL のパスワード変更を読んでおく	1.5 時間	
		復習	学修した内容を仕上げる	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	VOD:出席と成績は課題提出で評価する。				

科目名	オブジェクトプログラミング I (専門展開科目)						科目ナンバリング	HID332		
英文名	Object Programming I						講義形態	演習		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてプログラム開発(経験)									
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験(対応科目)									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
	3	問題解決力								
SDGs との関連	8 9 12									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現在のソフトウェア開発においては、オブジェクト指向設計とオブジェクト指向プログラミングが一般化しており、現代的プログラミング言語の多くがオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目ではプログラミング言語 Java を用い、プログラミングの基礎スキルを身につけるとともに、オブジェクト指向プログラミングの基礎的概念を理解し実践できるようになることを目標とする。 ② 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、各人が主体的にプログラミング作業に従事するのが主体となる。つまり点は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。									
到達目標	1. 統合開発環境で Java プログラムを作成・実行できる。■ 2. Java 言語の基本的な文法を理解し、プログラムを作成・実行できる。■ 3. クラスの定義やクラスの継承など、Java 言語のオブジェクト指向機構の基本的な機能を利用してプログラムを作成・実行できる。■ 4. インターフェイス、例外処理などの機能を適切に利用したプログラムを作成できる。■									
使用教材	「やさしい Java 第 7 版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600846									
参考文献	「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602									
評価方法	試験課題(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 4 限				メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	統合開発環境 Eclipse の基本操作とプログラムの作成・実行■								
	該当到達目標	予習	不要					1.5	時間	
	1,2	復習	使用する統合開発環境の基本的な操作方法を習得する。					1.5	時間	
2	講義内容	基礎問題演習(オブジェクト指向以前)(1)■								
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。					1.5	時間	
	1,2	復習	課題を完成させる。					1.5	時間	
3	講義内容	基礎問題演習(オブジェクト指向以前)(2)■								
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。					1.5	時間	

	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
4	講義内容	基礎問題演習(オブジェクト指向以前)(3)■		
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。	1.5 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
5	講義内容	クラスの基本■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
6	講義内容	カプセル化とアクセス制限■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	オーバーロード、クラス変数、クラスメソッド、this 変数■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	既存クラスの利用(String, StringBuffer, Integer, Math)、オブジェクトの配列■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	クラスの継承■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	抽象クラスと多態性■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	インターフェイスと多態性■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	パッケージ■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
13	講義内容	例外とファイル処理(1)■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
14	講義内容	例外とファイル処理(2)■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
15	講義内容	総合課題■		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。(受験予定者は履修を強く勧める)			
	【オンラインで授業を実施する場合】			
	オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。			
	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	オブジェクトプログラミングⅡ（専門展開科目）						科目ナンバリング	HID333		
英文名	Object ProgrammingⅡ						講義形態	演習		
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてプログラム開発（経験）									
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験（対応科目）									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	8912									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代的プログラミング言語の多くはオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目では、プログラミング言語 Java を用い、オブジェクト指向の基礎概念であるカプセル化、継承、多態性への理解を深め、オブジェクト指向プログラミングのスキルを身につける。また、例外処理、マルチスレッドプログラミング、GUI とイベント駆動型プログラミング、ネットワークプログラミングなどの基本を学ぶ。 ② 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、各人が主体的にプログラミング作業に従事するのが主体となる。つまり点人は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。									
到達目標	1. Java 言語でオブジェクト指向やパッケージを利用したプログラムを作成できる。■ 2. Java 言語で例外を適切に扱ったプログラムを作成できる。■ 3. Java 言語で基本的なマルチスレッドプログラムを作成できる。■ 4. Java 言語で基本的な GUI プログラムを作成できる。■ 5. Java 言語で基本的なネットワークプログラムを作成できる。■									
使用教材	適宜配布する。									
参考文献	・「やさしい Java 活用編 第 6 版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600839 ・「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602									
評価方法	試験課題（100％）で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー （研究室）	月曜 5 限				メールアドレス （＃→＠）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	Java におけるオブジェクト指向の基本■								
	該当到達目標	予習	オブジェクトプログラミングⅠのテキストを全体的に読み返しておく。						1.5	時間
	1	復習	課題プログラムを完成・実行する。						1.5	時間
2	講義内容	マルチスレッドプログラミング（1）■								
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。						1.5	時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。						1.5	時間

3	講義内容	マルチスレッドプログラミング(2)■			
	該当到達目標 1,2	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
4	講義内容	マルチスレッドプログラミング(3)■			
	該当到達目標 1,2	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
5	講義内容	GUIプログラミング(1)■			
	該当到達目標 1,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
6	講義内容	GUIプログラミング(2)■			
	該当到達目標 1,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
7	講義内容	GUIプログラミング(3)■			
	該当到達目標 1,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
8	講義内容	コレクションとジェネリクス(1)■			
	該当到達目標 1,4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間	
9	講義内容	コレクションとジェネリクス(2)■			
	該当到達目標 1,4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
10	講義内容	ネットワークプログラミング(1)■			
	該当到達目標 1,4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
11	講義内容	ネットワークプログラミング(2)■			
	該当到達目標 1,5	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
12	講義内容	ネットワークプログラミング(3)■			
	該当到達目標 1,5	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
13	講義内容	総合演習(1)■			
	該当到達目標 1,5	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
14	講義内容	総合演習(2)■			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間	
15	講義内容	総合演習(3)■			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間	
		復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	オブジェクトプログラミングⅠを履修済みの前提で進める。 最初の4回はオブジェクトプログラミングⅠの教科書を使用するので、持参すること。 基本情報技術者試験に対応。(受験予定者は履修を強く勧める) 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間内のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。				

	■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	画像処理入門(専門展開科目)						科目ナンバリング	HID334		
英文名	Introduction to Image Processing						講義形態	講義		
担当教員	光山 訓									
科目に関連した実務経験	企業において画像処理技術を応用した医療用検査装置の開発に従事(経験)									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	34917									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 医療現場では様々な診断が画像によって行われているが、近年、画像のデジタル化に伴い正確な診断を支援する画像処理の重要性が高まっている。日常生活においても様々な画像がデジタル化され、画像処理に適用範囲は広がり、重要性が増している。本講義では画像処理に関する基礎知識を習得するとともに、プログラムを作成して自ら使うことにより理解を深める。									
	② 講義の実施方法 独自教材を使用した講義により基礎知識の習得と理論の理解を進める。同時に、講義で説明した処理を行うプログラムを、Python を用いて作成し、動作を確認することにより知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. 画像を数値データで表現する方法を理解し、説明できる 2. 画像の形状、色調、画質等を変換する代表的な方法を理解し、プログラムを作成できる 3. 画像の周波数を理解し、説明できる 4. 代表的な領域抽出方法を理解し、プログラムを作成できる■ 5. 2 値画像に対する処理を理解し、プログラムを作成できる■ 6. 画像中の対象物の特徴を数値化する方法を理解し、プログラムを作成できる■ 7. 画像中の特徴的な部分を検出する代表的な方法を理解し、プログラムを作成できる									
使用教材	講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎週プログラミング演習を行い、授業中に作成方法のポイントを説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)	mitsuyama#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、画像のデジタル化								
	該当到達目標	予習	デジタル画像の特徴について Web など調べておく。						1.0 時間	
	1	復習	講義資料を読み、復習する。						2.0 時間	
2	講義内容	画像データフォーマット、色空間								
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。						1.0 時間	

	1	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
3	講義内容	色調の変換		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
4	講義内容	幾何変換		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
5	講義内容	画像と周波数		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
6	講義内容	フィルタ処理(1)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2,3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
7	講義内容	フィルタ処理(2)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2,3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
8	講義内容	領域抽出(1)■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
9	講義内容	領域抽出(2)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
10	講義内容	モルフォロジ処理■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	5	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
11	講義内容	ラベリングと特徴量算出■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	5,6	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
12	講義内容	ハフ変換		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	7	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
13	講義内容	テンプレートマッチング		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	7	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
14	講義内容	総合演習(1) 画像処理プログラミング		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料と作成したプログラムで復習しておく。	2.0 時間
	1～7	復習	演習内容を振り返り、演習課題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料で復習しておく。	2.0 時間
	1～7	復習	演習内容を振り返り、演習問題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		人工知能(専門展開科目)					科目ナンバリング	HID335			
英文名		Artificial Intelligence					講義形態	講義			
担当教員		光山 訓									
科目に関連した実務経験		企業においてニューラルネットワークを応用した医療用検査装置の開発に従事(経験)									
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		1	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
		4	問題解決力								
SDGs との関連		③ ④ ⑨ ⑰									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
							○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 講義の目標 人工知能(AI)が急速に発達し、応用分野を広げつつある。現在、人間が行っている仕事の多くは AI に置き換わるとも言われており、AI の活用方法を考えることのできる人材の重要性が増している。本講義では様々な AI の手法、特徴を習得するとともに、プログラムを作成することにより、AI の活用方法を考えることができるようになることを目標とする。									
		② 講義の実施方法 独自教材を使用した講義により基礎知識の習得と理論の理解を進める。同時に、講義で説明した処理を行うプログラムを、Python を用いて作成し、動作を確認することにより知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標		1. 機械学習の種類を理解し、説明できる 2. 代表的な教師あり学習の手法を理解し、説明できる■ 3. 代表的な教師なし学習の手法を理解し、説明できる 4. ニューラルネットワークの原理を理解し、説明できる 5. 特殊な機械学習の手法を理解し、説明できる 6. 代表的な機械学習の手法を利用したプログラムを作成できる									
使用教材		講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献											
評価方法		総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		毎週プログラミング演習を行い、授業中に作成方法のポイントを説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)		火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)		mitsuyama#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス、機械学習の種類									
	該当到達目標 1	予習	機械学習の種類について Web など調べておく。							1.0 時間	
		復習	講義資料を読み、復習する。							2.0 時間	
2	講義内容	線形回帰分析									
	該当到達目標 2,6	予習	講義資料を読んでおく。							1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。							2.0 時間	

3	講義内容	決定木			
	該当到達目標 2,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
4	講義内容	アンサンブル学習			
	該当到達目標 2,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
5	講義内容	クラスタリング			
	該当到達目標 3 6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
6	講義内容	次元削減			
	該当到達目標 3,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
7	講義内容	ニューラルネットワーク(1)■			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
8	講義内容	ニューラルネットワーク(2)■			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
9	講義内容	ディープラーニング(1)			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
10	講義内容	ディープラーニング(2)			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
11	講義内容	リカレントニューラルネットワーク(1)			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
12	講義内容	リカレントニューラルネットワーク(2)			
	該当到達目標 4,6	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間	
13	講義内容	敵対的生成ネットワーク・強化学習			
	該当到達目標 5	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間	
		復習	講義資料で復習する。	2.0 時間	
14	講義内容	総合演習(1) 人工知能プログラミング			
	該当到達目標 6	予習	これまでの講義内容、作成したプログラムを講義資料で復習しておく。	2.0 時間	
		復習	演習内容を振り返り、演習課題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間	
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習			
	該当到達目標 1～5	予習	これまでの講義内容を講義資料で復習しておく。	2.0 時間	
		復習	演習内容を振り返り、演習問題を再度解くことで理解を深める。	1.0 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	デジタル回路入門(専門展開科目)						科目ナンバリング	HD336		
英文名	Introduction of Digital Circuit						講義形態	講義		
担当教員	東福寺 幾夫									
科目に関連した実務経験	メーカ勤務の中で、生産ラインで使用する製品性能測定器や、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事し、多くのマイコン(MPU)と連携した入出力制御回路の設計を担当した。									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	7	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	①	③	④	⑤	⑧	⑨	⑪	⑫	⑰	
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①情報通信システムの構築に、電子情報機器は必須の構成要素である。こうした電子情報機器の動作原理や仕組みを理解するため、電気回路の基礎理論と半導体の基礎知識およびデジタル回路の基礎を学ぶ。 ②ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。									
到達目標	1. オームの法則、キルヒホッフの法則が説明でき、抵抗の直並列接続の計算ができる。 2. 論理式や真理値表から論理回路図を作成できる。 3. フリップフロップの動作を説明できる。 4. センサーやアクチュエータをデジタル回路と接続する方法を説明できる。									
使用教材	必要に応じて資料を配布する。									
参考文献	必要に応じて紹介する									
評価方法	期末試験 70%、授業参加度 30%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業内で適宜コメントする。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605				メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	講義全体のガイダンス、オームの法則、キルヒホッフの法則■								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する							1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する							1.5 時間
2	講義内容	抵抗率と抵抗、抵抗の直列接続・並列接続と消費電力■								
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。							1 時間
	1	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。							1.5 時間
3	講義内容	半導体の基礎(P 型半導体、N 型半導体)■								
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。							1 時間
	2	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。							1.5 時間

4	講義内容	PN 接合とダイオード(整流作用)■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	2	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容	トランジスタの機能と応用(増幅作用、スイッチ作用) ■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	3	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	論理演算と論理回路■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	3	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	論理演算法則と論理式の簡略化■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	3	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	半加算器、全加算器■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	3	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	エンコーダ■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	4	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	デコーダ■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	4	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	フリップフロップと記憶機能		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	4	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	カウンタ、レジスタ■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	4	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	A/D 変換、D/A 変換■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	5	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	センサー・アクチュエータとの接続■		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	5	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	資料を読み、練習問題を解く。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義を振り返り、演習問題を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	病院実習(応用展開科目)						科目 ナンバリング	HIA351		
英文名	Hospital Training						講義形態	実習		
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した 実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする 資格	診療情報管理士 必修科目									
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	3 5 10									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 病院の基本的機能の理解、入院および外来診療録の具体的管理状況の理解、診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解、疾病統計・サマリー等がどのようなものかを学習する。									
	② 実習期間全体を通じた学習の進め方 ・ 各実習先病院に事前訪問し実習内容について説明を受ける。 ・ 実習は各実習先病院にて担当者より要点をおよびに業務内容を提示される。指示に従い業務を遂行する。 ・ 実習前指導を行うため、必ず出席すること。 ・ 予習復習は毎日行うこと。 ・ 実習終了後、コメントを頂いた実習ノート、推敲した内容の印刷したもの、推敲した原稿を word で作成し mail 添付して提出する。 ・ 実習時間は合計 40 時間以上とする。									
到達目標	実習内容は以下のとおりである。 1. 病院の基本機能が説明できる。■ 2. 入院および外来診療録の具体的管理状況が説明できる。■ 3. 診療録管理部門が病院内で果たしている機能が説明できる。■ 4. 疾病統計・サマリー等がどのようなものかを具体的に説明できる。■ 5. 診療録の量的・質的点検の方法が説明できる。■ 6. 診療録の収納、検索、貸出業務が説明できる。■ 7. 傷病名、手術、処置等のコーディングの補助業務が説明できる。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門課程編(2020.7 版) ICD-10 第 1 巻・第 3 巻									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	実習報告書の提出(10%)および、実習先病院から返送される診療情報管理病院実習個人評価票(90%)に基づいて評価する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	実習ノートの提出後に実習先病院の担当者よりコメントが記入されて実習生に返却される。									

オフィスアワー (研究室)	大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)	メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki- u.ac.jp
講義内容	各病院の実習担当より、事前訪問時の打ち合わせおよび実習当日に説明がある。■		
	予習	診療情報管理士テキストⅢを読んで復習し、病院に必要な法律、実務の知識を再確認しておく。	10 時間
	復習	実習中に担当者から受けた注意や、実習中に質問した事を毎日実習ノートに書く。 実習終了後、実習ノート 10 日分を推敲し報告書をまとめる	20 時間
	合計時間(予習・復習)		30 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 実習ノートは、病院の実習担当者のコメントをもらい、報告書と共に提出すること		

科目名	インターンシップ(応用展開科目)						科目ナンバリング	HIA352			
英文名	Internship						講義形態	演習			
担当教員	田村 拓郎										
科目に関連した実務経験											
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応	豊かな人間性と幅広い教養				5	コミュニケーションスキル					
	健康・医療および情報に関する知識・技能				5	生涯学習力					
	問題解決力										
SDGs との関連	8										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他	
				○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 社会人としての仕事の取り組み方や就職活動への心構えなどを学び、キャリアデザイン力を向上させることを目的とする。 ② 本科目は以下の流れで進行する。 ・ 学内で事前のガイダンスと研修を実施し、インターンの目的や必要なマナー、業界研究等について説明する。 ・ 研修先において実地研修を 1～2 週間行い、社会や職業への理解を深める。 ・ 実習終了後、学内で研修報告会を行い、インターンシップの成果について発表を行う。										
到達目標	1. 業界研究等、資料をまとめることができる。 2. 企業人として真摯に職業に取り組む姿についてレポートできる。 3. 自らの職業選択についてデザインできる。										
使用教材											
参考文献											
評価方法	事前学習と事後研修(課題提出、報告会への参加ならびに発表を含む)50%、実地研修(研修先の評価結果を含む)50%で評価する。										
課題・評価に対するフィードバック方法	事前学習の課題は、授業担当者からのコメントを付して返却する。研修報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。										
オフィスアワー (研究室)	火曜日 3, 4 限				メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp				
講義内容	4 月中旬 概要説明ガイダンス 5 月初旬～7 月中旬 事前研修 夏休み・冬休み 実地研修(1～2 週間) 2 月初旬 事後研修(研修報告会)										
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認								期間中適宜	
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備								期間中適宜	
合計時間(予習・復習)											
備考											

科目名	Web 制作演習(応用展開科目)							科目 ナンバリング	HIA353	
英文名	Web Production Exercise							講義形態	演習	
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	3 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする 資格	Web デザインと Web プログラミングを履修していること データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修) 上級データサイエンス・AI 実務パスポート(選択必修)									
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○		○	○		○			○	
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ネットワークを通して情報発信する場合、Web 管理システムが用いられる。近年、Web 制作技術を持たない多くの組織が社内で Web サイトの運営をするのが一般的になった。本演習では制作のしやすさ、拡張性の高さから WordPress を用いて Web サイトの制作技術を修得し、企画段階から制作後の運営方法を身に付けることを目的とする。 ② 授業の進め方は、Web デザイン I ～Ⅲ、Web プログラミング I ・Ⅱに関する知識を確認するために、基本的な演習課題を解かせる。知識不足であると思われる部分に関しては、講義し定着を図る。最終的に実際の Web サイトのテーマを見つけ、共同作業において実用可能な Web サイトを構築する。そして公開におけるセキュリティやその運用に関する知識を習得させる。まず、LAN 構築と Web サーバを構築する。なお、知識不足と思われる学生は追加自習を促す。									
到達目標	1. CMS(Contents Management System)について説明できる。 2. Web サイト制作に必要な、企画、制作、運営について説明できる。 3. L3 スイッチによる LAN 構築が説明できる。 4. MAMP による Web サーバの構築が説明できる。 5. CGI として PHP を使ったサーバの利用について説明できる。 6. Web サイト制作と基本的なフローやカスタマイズについて説明できる。									
使用教材										
参考文献	印刷資料									
評価方法	課題提出 40%、授業の参加度 30%、作成したシステム 30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。									
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。1 号館 6 階 608				メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	Chapter1 WordPress のすすめ								
	該当到達目標	予習	Chapter1 WordPress のすすめ						1.5 時間	

	1,2	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 サイト制作の準備		
	該当到達目標	予習	Chapter2 サイト制作の準備	1.5 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 WordPress のインストール		
	該当到達目標	予習	Chapter3 WordPress のインストール	1.5 時間
	3	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
4	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作①		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1.5 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作②		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1.5 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作③		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1.5 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1.5 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter5 サイト制作の基本フロー	1.5 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	Chapter6 カスタマイズの基本知識		
	該当到達目標	予習	基本操作を熟読	1.5 時間
	6	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	サイト制作演習①		
	該当到達目標	予習	企画書の作成	1.5 時間
	3,4,5,6	復習	企画書の完成	1.5 時間
11	講義内容	サイト制作演習②		
	該当到達目標	予習	制作編①	1.5 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
12	講義内容	サイト制作演習③		
	該当到達目標	予習	制作編②	1.5 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
13	講義内容	制作作業		
	該当到達目標	予習	制作編③	1.5 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
14	講義内容	サイト制作演習⑤		
	該当到達目標	予習	運営編	1.5 時間
	3,4,5,6	復習	運営カスタマイズ作業	1.5 時間
15	講義内容	作成したシステムのプレゼンテーション		
	該当到達目標	予習	全体を見直しておく	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	総合的に復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	VOD:出席と成績は課題提出で評価する。 Web デザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Web プログラミングⅠ、Ⅱを受講していることが望ましい			

科目名	特別ゼミⅠ（応用展開科目）						科目ナンバリング	HIA354		
英文名	Special Exercises on InformationⅠ						講義形態	演習		
担当教員	学科全教員									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			2	コミュニケーションスキル				
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力				
	2	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④ ⑨									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○	○	○	○	○	○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「健康・医療および情報分野に関わる問題解決能力」の資質を備えた人材育成を目標とする。 ② テーマごとにグループに分かれ、「実践体験型」の学習行う。原則一方的な講義形式ではなく、「問題の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確にし、獲得した知識を問題解決に適用し、まとめる」という流れのアクティブラーニング形式で進める。									
到達目標	1. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題を発見することができる 2. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題を分析し、考察することができる 3. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題の解決法を提案することができる									
使用教材	各教員が開講前または初回授業時に指示する。									
参考文献										
評価方法	参加度、発表、レポートなどにより総合的に評価。具体的な評価方法は各教員より通知する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。									
オフィスアワー （研究室）	各教員が最初の授業で提示する。				メールアドレス （#→@）		各教員が最初の授業で提示する。			
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する									
	【テーマの例】 ■ 電子情報工学 ■ 生活支援工学 ■ 医療とビジネス ■ 生体信号（血圧／心拍数／呼吸数）解析 ■ プログラミング(Python、VBA など) ■ データ分析・統計解析 ■ 線形代数 ■ 診療情報管理士の実務									
	予習	各教員が必要に応じて指示する。							期間中適宜	
	復習	各教員が必要に応じて指示する。							期間中適宜	
合計時間（予習・復習）										
備考	集中講義として開講									

科目名	特別ゼミⅡ（応用展開科目）						科目 ナンバリング	HIA355			
英文名	Special Exercises on Information Ⅱ						講義形態	演習			
担当教員	学科全教員										
科目に関連した 実務経験											
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする 資格											
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル				
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力				
	2	問題解決力									
SDGs との関連	③ ④ ⑨										
アクティブラーニング 実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他	
	○	○	○	○	○	○					
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「健康・医療および情報分野に関わる問題解決能力」の資質を備えた人材育成を目標とする。 ② テーマごとにグループに分かれ、「実践体験型」の学習行う。原則一方的な講義形式ではなく、「問題 の解決策を考え、調査し、話し合い、必要な知識を明確にし、獲得した知識を問題解決に適用し、ま とめる」という流れのアクティブラーニング形式で進める。										
到達目標	1. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題を発見することができる 2. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題を分析し、考察することができる 3. 健康・医療および情報分野に関わる諸問題の解決法を提案することができる										
使用教材	各教員が開講前または初回授業時に指示する。										
参考文献											
評価方法	参加度、発表、レポートなどにより総合的に評価。具体的な評価方法は各教員より通知する。										
課題・評価に対する フィードバック方法	プレゼンテーション内容や課題レポートの内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。										
オフィスアワー （研究室）	各教員が最初の授業で提示する。				メールアドレス （#→@）		各教員が最初の授業で提示する。				
講義内容	各学生が希望テーマに分かれて学習し、到達目標の資質を涵養する										
	【テーマの例】 ■ 電子情報工学 ■ 生活支援工学 ■ 医療とビジネス ■ 生体信号（血圧／心拍数／呼吸数）解析 ■ プログラミング(Python、VBA など) ■ データ分析・統計解析 ■ 線形代数 ■ 診療情報管理士の実務										
	予習	各教員が必要に応じて指示する。								期間中適宜	
	復習	各教員が必要に応じて指示する。								期間中適宜	
							合計時間（予習・復習）				
備考	集中講義として開講										

科目名	情報演習Ⅲ(応用展開科目)							科目ナンバリング	HIA356	
英文名	Information Practice Ⅲ							講義形態	演習	
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発、研究員として WebDB 開発									
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	8 9 12									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代は医療を含めあらゆる分野において情報・通信システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっている。情報技術の重要性が高まる中で、情報技術者の質の確保も重要な課題となっている。IPA が主催する情報技術者試験は、情報技術者の質の評価の重要な指標であるが、その中で入門的位置付けの試験が基本情報技術者試験である。 本科目では、基本情報技術者試験の科目 B 試験で扱われる情報セキュリティとアルゴリズム・プログラミングに関する知識・スキルを身につけることを目標とし、基本情報技術者試験の合格を目指す。 ② 授業は基本情報技術者試験科目 B 問題レベルの問題演習を中心に進め、適宜補足的講義を行う。									
到達目標	1. 情報システムに必要なセキュリティ対策や基本的セキュリティ技術を説明できる。 2. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、説明できる。■ 3. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、疑似コードを読んで理解できる。■									
使用教材	適宜資料を配布する。									
参考文献										
評価方法	期末試験(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限				メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	過去問題演習								
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。							1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
2	講義内容	情報セキュリティ(1)								
	該当到達目標	予習	データ構造とアルゴリズムのテキストを見返しておく。							1.5 時間
	1	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
3	講義内容	情報セキュリティ(2)								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。							1.5 時間
	1	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。							1.5 時間
	2,3	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間

5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	データ構造とアルゴリズム(4)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	データ構造とアルゴリズム(5)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	データ構造とアルゴリズム(6)■		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	過去問題演習(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	過去問題演習(2)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(3)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(3)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 (受験予定者には受講を強く勧める。他の試験対応科目も履修することが望ましい。) 合格水準に到達するには、各人の積極的な学習姿勢が重要となるので、合格への強い意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間中のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報演習Ⅳ(応用展開科目)							科目ナンバリング	HIA357	
英文名	Information Practice Ⅳ							講義形態	演習	
担当教員	石川 雅弘									
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発、研究員として WebDB 開発									
学年・開講期	3 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	基本情報技術者試験対応科目									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	6	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	8 9 12									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 現代は医療を含めあらゆる分野において情報・通信システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっている。情報技術の重要性が高まる中で、情報技術者の質の確保も重要な課題となっている。IPA が主催する情報技術者試験は、情報技術者の質の評価の重要な指標であるが、その中で入門的位置付けの試験が基本情報技術者試験である。 本科目では、基本情報技術者試験の科目 B 試験で扱われる情報セキュリティとアルゴリズム・プログラミングに関する知識・スキルを確かなものとし、基本情報技術者試験の合格を目指す。 ② 授業は基本情報技術者試験科目 B 問題レベルの課題・演習への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。また、より深い理解と学習の自発性・協調性を高めるためのグループワークも行う。									
到達目標	1. 情報システムに必要な基本的セキュリティ対策を提案できる。 2. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、疑似コードでプログラムを記述できる。■ 3. 基本的なデータ構造とアルゴリズムについて、プログラムを記述できる。■									
使用教材	適宜資料を配布する									
参考文献										
評価方法	期末試験(100%)で評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	解答例の提示と解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	月曜 4 限				メールアドレス (#→@)		ishikawa#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	過去問題演習								
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。							1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
2	講義内容	情報セキュリティ(1)								
	該当到達目標	予習	情報セキュリティのテキストを見直しておく。							1.5 時間
	2	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
3	講義内容	情報セキュリティ(2)								
	該当到達目標	予習	情報セキュリティのテキストを見直しておく。							1.5 時間
	2	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)■								
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。							1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。							1.5 時間

5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)■			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間	
6	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)■			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間	
7	講義内容	データ構造とアルゴリズム(4)■			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間	
8	講義内容	過去問題演習(1)			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
9	講義内容	過去問題演習(2)			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
10	講義内容	過去問題演習(3)			
	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
11	講義内容	過去問題演習(4)			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
12	講義内容	過去問題演習(5)			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
13	講義内容	過去問題演習(6)			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
14	講義内容	総合演習(1)			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
15	講義内容	総合演習(2)			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間	
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 (受験予定者には受講を強く勧める。他の試験対応科目も履修することが望ましい。) 合格水準に到達するには、各人の積極的な学習姿勢が重要となるので、合格への強い意欲を持った参加が求められる。 【オンラインで授業を実施する場合】 オンデマンド形式のリモート講義の形で進める。 時間中のチャット・ビデオ通話や対面での質問にも応じるので、積極的に利用して欲しい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	診療情報演習Ⅲ（応用展開科目）							科目ナンバリング	HIA358	
英文名	Health Information Management Practice Ⅲ							講義形態	講義	
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）									
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	6	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士認定試験合格のため分類法およびコーディングについてより深い知識を習得。 診療情報『管理士テキストの『専門・診療情報管理』について良く理解し、問題集を全て正解する。 ② 授業期間全体を通じた授業の進め方 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標	1. 診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱ 要約症例（サマリー）の主要病態の正しい選択、および正確なコーディングを理解し説明ができる。 2. 模擬試験にて診療情報管理士認定試験合格ラインに到達できるようにする。■									
使用教材	診療情報管理Ⅲ（2020.7 版） 診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編、ICD-10（2013 年版）第 1 巻・第 3 巻、プリント配布									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%									
課題・評価に対するフィードバック方法	次回の課題プリントを配布する。翌週課題の解答および解説をする。 模擬テストの実施により、不得意問題を把握し、個別に指導する。									
オフィスアワー（研究室）	大川（情報）：木曜日 2 限 （1 号館 609 研究室）				メールアドレス （#→@）		大川（情報）：okawa-ki#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅰ章、第Ⅲ章								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅰ章、第Ⅲ章 要約症例を読み、主傷病名を選択する方法を予習する。							1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。							2 時間
2	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅳ章、第Ⅴ章								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅳ章、第Ⅴ章 の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。							1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。							2 時間
3	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅵ章、第Ⅶ章								
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅵ章、第Ⅶ							1 時間

			章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅷ章、第Ⅸ章		
4	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅷ章、第Ⅸ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅹ章、第Ⅺ章		
5	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅹ章、第Ⅺ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅻ章、第Ⅱ章①		
6	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅻ章、第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅱ章②		
7	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅼ章、第Ⅽ章		
8	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅼ章、第Ⅽ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	第Ⅼ章、第Ⅽ章の授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅾ章、第Ⅿ章		
9	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第Ⅾ章、第Ⅿ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第ⅰ章、第ⅱ章		
10	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第ⅰ章、第ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第ⅲ章、第ⅳ章		
11	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第ⅲ章、第ⅳ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第ⅳ章 原死因		
12	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの第ⅳ章 原死因の例題を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
	講義内容	国際統計分類Ⅱ 原死因		
13	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲの国際統計分類Ⅱの原死因例題を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
14	講義内容	学内模擬試験■		
	該当到達目標	予習	前回までの問題と解説を読み返し模擬試験に備える。	1 時間
	2	復習	授業での模試の解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
15	講義内容	第 1 回業者模試■		
	該当到達目標	予習	国際統計分類Ⅱ 傷病名コーディングで不得意な章の解答・解説を読み返し模擬試験に備える。	1 時間
	2	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。			

科目名	診療情報演習Ⅳ(応用展開科目)							科目ナンバリング	HIA359	
英文名	Health Information Management Practice IV							講義形態	演習	
担当教員	大川 喜代美									
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)									
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択必修科目									
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	6	問題解決力								
SDGs との関連	③ ⑩ ⑫									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
										○
「その他」のアクティブラーニング実施方法	講義中、単元ごとに質疑応答の時間を設ける									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 診療情報管理士認定試験対策 ② 基礎科目、専門科目の総復習を行う。 ・ 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。 ・ 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。									
到達目標	1. 診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 国際統計分類Ⅱ 第 1 章～第 21 章の問題演習を習得する。■ 2. 診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 国際統計分類Ⅱ 選択問題演習を習得する。■									
使用教材	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ(2020.7 版)、 診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編、 ICD-10(2013 年版)第 1 巻・第 3 巻、プリント配布									
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針									
評価方法	授業への参加度 90%(原則欠席不可)、課題完成 10%									
課題・評価に対するフィードバック方法	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	大川(情報):木曜日 2 限 (1 号館 609 研究室)				メールアドレス (#→@)	大川(情報):okawa-ki#takasaki- u.ac.jp				
1	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅰ章、第Ⅱ章■								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-187~12-192 を解く							1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。							2 時間
2	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅲ章、第Ⅳ章■								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-193~12-198 を解く							1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。							2 時間
3	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅴ章、第Ⅵ章■								
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-199~12-204 を解く							1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。							2 時間
4	講義内容	国際統計分類Ⅱ 第Ⅶ章、第Ⅷ章■								

	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-205～12-210 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
5	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 IX 章、第 X 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-211～12-216	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
6	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 XI 章、第 XII 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-217～12-222 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
7	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 XIII 章 第 XIV 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-223～12-228 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
8	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 XV 章、第 XVI 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-229～237 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
9	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 XVII 章、第 XVIII 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-238～12-243 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
10	該当到達目標 1	講義内容 国際統計分類Ⅱ 第 XIX 章、第 XXI 章■		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-244～12-250 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
11	該当到達目標 2	講義内容 国際統計分類Ⅱ 原死因①		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-177～12-181 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
12	該当到達目標 2	講義内容 国際統計分類Ⅱ 原死因②		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-182～12-186 を解く	1 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	2 時間
13	該当到達目標 2	講義内容 国際統計分類Ⅱ 演習問題①		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-1～12-74 を解く	1 時間
		復習	診療情報管理士テキストⅢ 第 XII 章国際統計分類Ⅱ より正しい答えを探し手書きでまとめる。	2 時間
14	該当到達目標 2	講義内容 国際統計分類Ⅱ 演習問題②		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-75～12-125 を解く	1 時間
		復習	診療情報管理士テキストⅢ 第 XII 章国際統計分類Ⅱ より正しい答えを探し手書きでまとめる。	2 時間
15	該当到達目標 2	講義内容 国際統計分類Ⅱ 演習問題③		
		予習	診療情報管理士教育練習問題 2022 専門課程編 12-126～12-176 を解く	1 時間
		復習	診療情報管理士テキストⅢ 第 XII 章国際統計分類Ⅱ より正しい答えを探し手書きでまとめる。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 質問はメールでも可能。			

科目名	遠隔医療とeヘルス(応用展開科目)						科目ナンバリング	HIA360		
英文名	Telemedicine and e-Health						講義形態	講義		
担当教員	鈴木 亮二									
科目に関連した実務経験	日本遠隔医療学会理事として、厚生労働省事業「遠隔医療従事者研修」の講師を務めた。									
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	3	豊かな人間性と幅広い教養				1	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	3 9									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○							
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① ICTを用いた遠隔医療とヘルスケアに関する基礎的知識を習得することを目標とする。 ② 資料を用いた講義とディスカッションを行う。									
到達目標	1. 遠隔医療の分類について理解できる。■ 2. オンライン診療に必要な機器等について理解できる。■ 3. オンライン診療の実例について理解できる。■ 4. オンライン診療の法規制や診療報酬について理解できる。■ 5. ICTを用いたヘルスケアについて理解できる。■									
使用教材	配布資料									
参考文献										
評価方法	レポート課題(80%)、出席状況(20%)を総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	次回講義の最初に解説を行う。									
オフィスアワー (研究室)	授業開始前もしくは終了後に応じる				メールアドレス (#→@)	suzuki-r#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	遠隔医療とは何か■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5	時間
	1	復習	講義内容を復習する						1.5	時間
2	講義内容	オンライン診療に必要なデバイス■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5	時間
	2	復習	講義内容を復習する						1.5	時間
3	講義内容	セキュリティと認証■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5	時間
	2	復習	講義内容を復習する						1.5	時間
4	講義内容	オンライン診療・オンライン服薬指導の業務フロー■								
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく						1.5	時間

	2	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	オンライン診療の実際 1■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	オンライン診療の実際 2■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	オンライン診療の実際 3■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	オンラインモニタリング■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	医療者間のオンライン診療■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	テレナーシング■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	多職種連携■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	法規制と診療報酬■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	ICTを用いたヘルスケア 1■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	5	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	ICTを用いたヘルスケア 2■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	5	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オンラインで実施する場合にも同様の講義内容で行う。 ■実務経験に基づく講義を示す。			

科目名	応用画像処理(応用展開科目)							科目 ナンバリング	HIA361	
英文名	Applied Image Processing							講義形態	講義	
担当教員	光山 訓									
科目に関連した 実務経験	企業において画像処理技術を応用した医療用検査装置の開発に従事(経験)									
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数		選択 2 単位						
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	4	問題解決力								
SDGs との関連	34917									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 講義の目標 画像上の対象物を自動判定する画像認識は、画像処理の有望な応用分野として研究が行われてきたが、近年 AI の発達により急速に実用化が進んでいる。適用分野もデジタルカメラ、医療、自動運転など広がりがつあり、重要性が増している。本講義では基本的な画像認識の手法を理解し、画像認識プログラムを自ら作成できるようになることを目標とする。									
	② 講義の実施方法 独自教材を使用した講義により知識の習得と理論の理解を進める。同時に、講義で説明した処理を行うプログラムを、Python を用いて作成し、動作を確認することにより知識の定着と実践・応用力の獲得を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習を行う。内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。									
到達目標	1. パターンマッチングによる画像認識の方法を理解し、プログラムを作成することができる 2. 特徴量に基づく画像認識の方法を理解し、プログラムを作成することができる■ 3. ディープラーニングによる画像認識の方法を理解し、プログラムを作成することができる 4. 様々な画像認識方法の特徴を理解し、用途に応じて使い分けられるようになる									
使用教材	講義資料・演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。									
参考文献										
評価方法	総合演習 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	毎週プログラミング演習を行い、授業中に作成方法のポイントを説明する。誤りの多かった箇所については、気を付けるべきポイントを翌週フィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	火曜日 4 時限、木曜日 2 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 602 研究室				メールアドレス (#→@)	mitsuyama#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス、画像認識の概要								
	該当到達目標	予習	画像認識がどのように活用されているか Webなどで調べておく。						1.0 時間	
	4	復習	講義資料を読み、復習する。						2.0 時間	
2	講義内容	パターンマッチング(1)								
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。						1.0 時間	
	1	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。						2.0 時間	
3	講義内容	パターンマッチング(2)								
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。						1.0 時間	

	1	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
4	講義内容	前処理■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
5	講義内容	領域抽出■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
6	講義内容	修正処理、特徴量抽出■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
7	講義内容	パターン認識(1)■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
8	講義内容	パターン認識(2)■		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	2	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
9	講義内容	ディープラーニングによる画像認識(1)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
10	講義内容	ディープラーニングによる画像認識(2)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
11	講義内容	ディープラーニングによる画像認識(3)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	3	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
12	講義内容	画像認識の応用(1)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
13	講義内容	画像認識の応用(2)		
	該当到達目標	予習	講義資料を読んでおく。	1.0 時間
	4	復習	講義資料と作成したプログラムで復習する。	2.0 時間
14	講義内容	総合演習(1) 画像認識プログラミング		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料と作成したプログラムで復習しておく。	2.0 時間
	1～4	復習	演習内容を振り返り、演習課題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
15	講義内容	総合演習(2) 本講義全体の復習		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を講義資料で復習しておく。	2.0 時間
	1～4	復習	演習内容を振り返り、演習問題を解くことで理解を深める。	1.0 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	組み込みシステム演習(応用展開科目)						科目 ナンバリング	HIA362		
英文名	Practice of Embedded System						講義形態	演習		
担当教員	高橋 大志									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	5	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 本講義では、生体情報を含む各種情報の計測機器や、計測機器の開発について理解する事を目標とする。 ② 電気電子回路の作製と本回路のコンピュータへの接続、及び Raspberry Pi や Arduino 等といったシングルボードコンピュータ(以下、PC)を用いてプログラム(Python)作成を行い、入出力(通信)の制御結果を確認する演習を実施する。									
到達目標	1. 組み込み機器やシステムを理解し使用できる。 2. 電気電子回路の作製とプログラム作成を通じてコンピュータの入出力(通信)を制御できる。 3. コンピュータの入出力(通信)制御によってコンピュータに接続された各種機器を制御できる。									
使用教材	自作資料及び各種機器を用いる。									
参考文献										
評価方法	演習結果(60%)、レポート(40%)の総合結果で評価し、60%以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	演習中に内容を解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問はメールで受け付ける。 研究室:1 号館 314				メールアドレス (#→@)		takahashi-d#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用 1								
	該当到達目標	予習	電気回路(オームの法則、可変抵抗など)を理解する。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	電気回路を復習する。						1.5 時間	
2	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用 2								
	該当到達目標	予習	電子回路(LED 等の半導体素子)の仕組みを理解する。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	電子回路(LED 等の半導体素子)の仕組みを復習する。						1.5 時間	
3	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用 3								
	該当到達目標	予習	PC の入出力ピン(GPIO)の利用法を調べる。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	PC の入出力ピン(GPIO)の利用法を復習する。						1.5 時間	
4	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用 4								
	該当到達目標	予習	ソフトウェア(Python3)による入出力ピン(GPIO)の制御方法を理解する。						1.5 時間	
	1,2,3	復習	ソフトウェア(Python3)による入出力ピン(GPIO)の制御方法を復習する。						1.5 時間	
5	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用 5								
	該当到達目標	予習	電子電気回路の作製とソフトウェアによる入出力回路について理解する。						1.5 時間	

	1,2,3	復習	作製したシステムを復習する。	1.5 時間
6	講義内容	PC(Raspberry Pi)の利用に関するレポート作成		
	該当到達目標	予習	1-5 回目の講義を復習する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
7	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 1		
	該当到達目標	予習	AD 変換(標本化、量子化、符号化など)、SPI 通信について理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	AD 変換器、SPI通信について復習する。	1.5 時間
8	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 2		
	該当到達目標	予習	電子電気回路、AD 変換、SPI 通信について統合的に理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を実施する。	1.5 時間
9	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 3		
	該当到達目標	予習	課題を実施する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を実施する。	1.5 時間
10	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 4		
	該当到達目標	予習	課題を実施する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を実施する。	1.5 時間
11	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 5		
	該当到達目標	予習	課題を実施する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	PC の入出力制御とアナログーデジタル変換器(ADC)の利用 6		
	該当到達目標	予習	7～12 回目の講義を復習する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
13	講義内容	USB カメラと PC(各自)の接続による画像通信・表示 1		
	該当到達目標	予習	デジタル画像情報の構成(画素、RGB など)を理解する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を実施する。	1.5 時間
14	講義内容	USB カメラと PC(各自)の接続による画像通信・表示 2		
	該当到達目標	予習	課題を実施する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	USB カメラと PC(各自)の接続による画像通信・表示 3		
	該当到達目標	予習	13～14 回目の講義を復習する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	本講義では、電気電子回路の作製やプログラム作成等を実施してもらうため、必ず予習と復習に取り組むこと。 また、時間数が不足している場合は各自で補完する事。 Anaconda(Python3)と OpenCV を各自の PC にインストールしておくこと。 集中講義(夏休み期間中の連続 3 日間(5 コマ/日))で実施する。			

科目名	チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)						科目ナンバリング	HNA397		
英文名	Interprofessional Practice						講義形態	演習		
担当教員	渡邊秀臣(理学)、小池洋子(看護)、篠原智行(理学)、大林恭子・高橋雄太(薬学)、木村憲洋(情報)、竹内真理(栄養)、加藤大輔(社会福祉)、内田祥子(子ども教育)									
科目に関連した実務経験	渡邊秀臣(理学):非常勤医師(整形外科医)として病院に勤務 小池(看護):看護師として一般病院に勤務(経験) 篠原(理学):理学療法士として急性期、回復期病院に勤務(経験)。生活期病院に非常勤勤務。 大林(薬学):薬剤師として大学病院に勤務(経験)大学病院に非常勤勤務。 高橋雄太(薬学):薬剤師として大学病院に勤務(経験)、調剤薬局に非常勤勤務。 木村(情報):病院経営企画及び診療情報管理にて病院に勤務(経験) 竹内(栄養):管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務。 加藤(社会福祉):MSWとしてケアミックス病院に勤務(経験) 内田(子ども教育):保育者養成校での学外実習の指導(経験)									
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格	診療情報管理士 選択科目									
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				3	コミュニケーションスキル			
	4	健康・医療および情報に関する知識・技能				1	生涯学習力			
	1	問題解決力								
SDGs との関連	①	③	④		⑧	⑨			⑯	
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
	○	○		○	○	○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。									
到達目標	1.多職種間での情報伝達・共有の必要性を理解し、効果的な情報伝達・共有方法について考えを述べる。■ 2.各専門職の役割と活動について理解し、多職種が連携・協働することの意義を述べる。■ 3.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の連携・協働の必要性を説明できる。■ 4.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。									
使用教材	関連する資料を随時配布する。									
参考文献	指定なし。									
評価方法	1～4回の振り返りシートの記述内容、演習参加への積極性・授業態度 40%、5・6回の模擬症例検討内容等 20%、7・8回の演習参加への積極性・授業態度および発表内容・発表態度 20%、授業後レポート 20% (対面授業・オンライン授業共通)									
課題・評価に対するフィードバック方法	模擬症例検討を行う際には、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。									
オフィスアワー (研究室)	渡邊(理学):金曜 3 限、4 号館 2 階学部長室 小池(看護):月曜 4 限、5 号館 412 研究室 篠原(理学):水曜 3 限、3 号館 206 研究室 大林(薬学):月曜 1 限、7 号館 307 研究室 高橋(薬学):水曜 2 限、7 号館 323 研究室 木村(情報):月曜 1 限 7 号館 610 研究室 竹内(栄養):木曜 2 限、1 号館 308 研究室 加藤(社会福祉):木曜 2 限、1 号館 513 研究室				メールアドレス (#→@)		渡邊(理学): watanabe-h#takasaki-u.ac.jp 小池(看護): koike-y#takasaki-u.ac.jp 篠原(理学): shinohara-t#takasaki-u.ac.jp 大林(薬学): obayashi#takasaki-u.ac.jp 高橋(薬学): takahashi-yu#takasaki-u.ac.jp			

		内田(子ども教育):月曜1限、8号館410研究室		木村(情報): norihito#takasaki-u.ac.jp 竹内(栄養): mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp 加藤(社会福祉): kato-d#takasaki-u.ac.jp 内田(子ども教育): uchida-s#takasaki-u.ac.jp
	講義内容	ガイダンス / チーム医療アプローチについて		
1	該当到達目標	予習	チーム医療について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習の目標や進め方、提出物を確認する。	1.5 時間
	講義内容	効果的な情報伝達と共有■		
2	該当到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。	1.5 時間
	講義内容	多職種連携教育の国内外の動向■		
3	該当到達目標	予習	多職種連携について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	多職種連携教育の動向について整理する。	1.5 時間
	講義内容	チームカンファレンスの目的と方法■		
4	該当到達目標	予習	各専門職の役割について調べておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チームカンファレンスの目的・方法を整理する。	1.5 時間
	講義内容	模擬症例検討①(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)【各学科】		
5	該当到達目標	予習	疾病と治療について学習し、自職種の関わり方をまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
	講義内容	模擬症例検討②(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)【各学科】		
6	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
	講義内容	模擬症例検討③(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて)*グループワーク■【合同】		
7	該当到達目標	予習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを他職種に説明する方法について準備しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
	講義内容	模擬症例検討④(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて)*グループワーク発表■【合同】		
8	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【履修条件】原則、チーム医療アプローチ論を履修していること。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 1 回目の講義は、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 2～8 回目の講義は、グループワークの形式で進める。 オンライン授業になった際は、ZOOM を使い可能な限りグループワークを行うが、状況に応じてその都度指示する。 (生物生産学科のみ) 【副専攻対象科目】本科目は、本学が開設する副専攻カリキュラム「多職種連携コース」の対象科目である。 副専攻履修者の単位認定時の評価は、「認定(N)」となり、GPA の算出や卒業必要対象外となる。成績評価基準は、主専攻履修者と異なる場合があり、その場合には、対象者に別途案内する、また、履修登録時に CAP のカウントには含めない。 【キーワード】専門職、チーム医療、多職種連携 ■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	SPI 講座 I (非言語能力 I) (応用展開科目)						科目 ナンバリング	HIA364		
英文名	SPI Course I (Non-verbal ability I)						講義形態	演習		
担当教員	石田 正史									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数		必修 1 単位						
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能			2	生涯学習力				
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。 ② 単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
到達目標	1. 演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2. 演習を通して、数理的な処理能力を身につける。									
使用教材	講師作成テキスト									
参考文献										
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
オフィスアワー (研究室)	木曜日の 4・5 時限、質問はメールでも受け付ける。				メールアドレス (#→@)		ishida1206#hb.tp1.jp			
1	講義内容	ガイダンス								
	該当到達目標	予習	シラバスに目を通しておく						1 時間	
	1,2	復習	テキストに目を通す。						1 時間	
2	講義内容	基礎計算①分数、正負の加減乗除、公約数、公倍数								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
3	講義内容	基礎計算②方程式、不等式等の計算								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
4	講義内容	鶴亀算、年齢算、植木算								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
5	講義内容	速さ①速さ、平均の速さ、旅人算								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く						1 時間	

	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
6	講義内容	速さ②流水算、通過算、時計算		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	仕事算・給排水算		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	濃度		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	歩合算、割合		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	図形①平面図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	図形②立体図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	空間把握(軌跡、折り紙、展開図など)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	場合の数・確率①場合の数、順列、組合せ		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	場合の数・確率②確率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
15	講義内容	規則性の発見(数列、魔方陣)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	SPI 講座Ⅱ（非言語能力Ⅱ）（応用展開科目）							科目ナンバリング	HIA365	
英文名	SPI Course Ⅱ（Non-verbal ability Ⅱ）							講義形態	演習	
担当教員	石田 正史									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		必修 1 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養					コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL （課題解決型学習）	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
						○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。 ② 単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
到達目標	1. 演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2. 演習を通して、数理的な処理能力を身につける。									
使用教材	講師作成テキスト									
参考文献										
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。									
オフィスアワー （研究室）	木曜日の 3・4 時限、質問はメールでも受け付ける。					メールアドレス （#→@）	ishida1206#hb.tp1.jp			
1	講義内容	記数法								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
2	講義内容	演算、虫食い算								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
3	講義内容	矢印問題（PERT 法、ブラックボックス、物流と比率）								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
4	講義内容	グラフとその領域（一次関数、二次関数、分数関数）								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。						1 時間	
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。						1 時間	
5	講義内容	判断推理①論理								
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。						1 時間	

	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
6	講義内容	判断推理②集合		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	判断推理③文章推理		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	判断推理④順序、位置・方位		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	資料①分布図、構成比		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	資料②指数、増加率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	物理①電気回路		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	物理②運動力学		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	物理③てこ、滑車		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	SPI 非言語分野模擬試験		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す。	1 時間
	1,2	復習	模擬試験を見直す。	1 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す	1 時間
	1,2	復習	テキストで不得意分野を見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目)					科目ナンバリング	HIA366			
英文名		SPI Course Ⅲ (Language AbilityⅠ)					講義形態	演習			
担当教員		根本 敬彦									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		5	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力				
		5	問題解決力								
SDGs との関連		4									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
											○
「その他」のアクティブラーニング実施方法		SPI 模擬試験および小テストを実施し、要点解説ならびに質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		①SPI の言語能力の各分野を網羅的に学習し、言語能力検査の出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。SPI の能力適性検査の成績による「足切り」の増加という事態を踏まえ、年々SPI のスコアが上昇傾向にあるだけに、80%以上の正答率をあげることに伴う言語分野の攻略のために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。また近時の国際学力調査(PISA)における「読解力」の順位の上昇傾向は認められるものの、依然として必須である情報リテラシーの習得は喫緊の課題であり、そのための基本ツールとしての「読解力」の強化には十二分に注力します。 ②授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心に行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。									
到達目標		1. 語句の意味に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 語句の知識に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 文章読解に関する多様な出題を検討し、理解できる。									
使用教材		毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布します。									
参考文献		適宜授業時に紹介します。									
評価方法		平常授業への積極的参加度(質疑応答を含む)(15%)、小テスト(適宜実施)(15%)、定期試験(70%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とします。									
課題・評価に対するフィードバック方法		SPI 模擬試験および小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説します。									
オフィスアワー(研究室)		授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。				メールアドレス(#→@)	qgn335k9#outlook.jp				
1	講義内容	言語能力の向上—ガイダンス									
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読み、言語分野克服のための要点を理解する。							0.5 時間	
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法について確認する。							0.5 時間	
2	講義内容	同義語・類義語									
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、同義語・類義語の出題形式を認識し、概要を知る。							0.5 時間	
	1	復習	同義語・類義語の多様な出題を検討し、理解する。							0.5 時間	
3	講義内容	対義語・反対語									
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、対義語・反対語の出題形式を認識し、概要を知る。							0.5 時間	

	1	復習	対義語・反対語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
4	講義内容	言葉の対応関係(1)－包含関係・行為関係		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、包含関係・行為関係の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	1	復習	包含関係・行為関係の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
5	講義内容	言葉の対応関係(2)－原料関係・用途関係		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、原料関係・用途関係の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	1	復習	原料関係・用途関係の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	同音異義語・同訓異字		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異義語・同訓異字の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異義語・同訓異字の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	同音異字・同訓異義語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異字・同訓異義語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異字・同訓異義語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	ことわざ・慣用句・故事成語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ことわざ・慣用句・故事成語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ことわざ・慣用句・故事成語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	三字熟語・四字熟語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、三字熟語・四字熟語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	三字熟語・四字熟語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	その他・語句の知識(敬語・難解語句・文法・誤記しやすい字)		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、その他・語句の知識の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	その他・語句の知識の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	文章読解(1)－要旨把握・内容合致		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、要旨把握・内容合致問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	要旨把握・内容合致問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	文章読解(2)－文章整序		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、文章整序問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	文章整序問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	文章読解(3)－空欄補充		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、空欄補充問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	空欄補充問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	文章読解(4)－特定語理解		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、特定語理解の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	特定語理解の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間

備考	今後はコロナ禍の収束状況を見据えつつ、従来の労働環境が見直されデジタル化・リモート化を前提とした活動が定着することによって、従前とはフェーズを異にする社会環境の変革が予想されるだけに、社会・就職事情の変容に十分配慮しながら、柔軟かつフレキシブルな対応力の獲得を目指し、さらなる意欲的な授業への参加を切望します。 予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。

科目名	SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目)							科目 ナンバリング	HIA367	
英文名	SPI Course Ⅳ (Language Ability Ⅱ)							講義形態	演習	
担当教員	根本 敬彦									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位							
履修を必須とする 資格										
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養						コミュニケーションスキル		
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能						生涯学習力		
	5	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
										○
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法	SPI 模擬試験および小テストを実施し、要点解説ならびに質疑応答の時間を設ける。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	①一般常識問題のうち、主に人文科学分野の各科目の頻出テーマの出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。一般常識テストの正答率をあげるために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。とくに近時の社会変容に伴う出題頻度の高い時事問題や国際社会に関する問題などへの対策に極力傾注します。 ②授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心に行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを十二分に自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。									
到達目標	1. 日本史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 世界史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 地理に関する多様な出題を検討し、理解できる。									
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布します。									
参考文献	適宜授業時に紹介します。									
評価方法	平常授業への積極的参加度(質疑応答を含む)(15%)、小テスト(適宜実施)(15%)、定期試験(70%)で評価する。総合評価 60%以上を合格とします。									
課題・評価に対す る フィードバック方法	SPI 模擬試験および小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説します。									
オフィスアワー (研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。					メールアドレス (#→@)	qgn335k9#outlook.jp			
1	講義内容	日本史(1)ー律令国家の形成と衰退								
	該当到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、律令国家の形成と衰退についての出題形式を認識し、概要を知る。							0.5 時間
		復習	律令国家の形成と衰退についての多様な出題を検討し、理解する。							0.5 時間
2	講義内容	日本史(2)ー中世の政治と経済								
	該当到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、中世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。							0.5 時間
		復習	中世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。							0.5 時間
3	講義内容	日本史(3)ー近世の政治と経済								
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要							0.5 時間

			を知る。	
	1	復習	近世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
4	講義内容	日本史(4)－近現代の政治と社会		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近現代の政治と社会についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	1	復習	近現代の政治と社会についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
5	講義内容	世界史(1)－ヨーロッパ世界の形成		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ヨーロッパ世界の形成についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ヨーロッパ世界の形成についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	世界史(2)－近代ヨーロッパ世界の成立		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近代ヨーロッパ世界の成立についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	近代ヨーロッパ世界の成立についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	世界史(3)－市民社会の成長		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、市民社会の成長についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	市民社会の成長についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	世界史(4)－中国史二つの世界大戦		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、二つの世界大戦についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	二つの世界大戦についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	世界史(5)－中国史		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、中国史についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	中国史についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	地理(1)－気候・植生・土壌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、気候・植生・土壌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	気候・植生・土壌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	地理(2)－農牧業		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、農牧業についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	農牧業についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	地理(3)－エネルギー資源・鉱物資源		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、エネルギー資源・鉱物資源についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	エネルギー資源・鉱物資源についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	地理(4)－世界各国地誌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、世界各国地誌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	世界各国地誌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	地理(5)－環境問題		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、環境問題についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	環境問題についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		

	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	今後はコロナ禍の収束状況を見据えつつ、従来の労働環境が見直されデジタル化・リモート化を前提とした活動が定着することによって、従前とはフェーズを異にする社会環境の変革が予想されるだけに、社会・就職事情の変容に十分配慮しながら、柔軟かつフレキシブルな対応力の獲得を目指し、さらなる意欲的な授業への参加を切望します。 予習・復習についての時間は参考程度であり、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	医療情報ゼミ(応用展開科目)						科目ナンバリング	HIA368		
英文名	Medical Information Seminar						講義形態	講義		
担当教員	学科全教員(各学生が希望するゼミに分かれて受講する)									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	3 年 後期		選必・単位数		必修 2 単位					
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応	1	豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	5	健康・医療および情報に関する知識・技能					生涯学習力			
	2	問題解決力								
SDGs との関連	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑰									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
	○		○	○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 専門導入科目、専門基幹科目、専門展開科目を踏まえて、実践的な応用を通じて、医療と情報に関する理解を深めることを講義目標とする。 ② 各学生が希望するゼミに分かれ、到達目標に沿って、様々な知識を修得するとともに、卒業研究に必要な基礎的な知識の修得、就活に必要な知識を学び、円滑な卒業研究と就職活動ができるように研鑽する。									
到達目標	1. 医療系資格を優先的に取得する学生は、医療現場における基礎的な知識として、「医療事務管理士」に合格する。 2. 情報系資格を優先的に取得する学生は、情報現場における基礎的な知識として、「IT パスポート」に合格する。すでに合格している学生は、上位の資格を目指す。 3. 四年次の卒業研究に繋ぐため、各テーマに沿った基礎的な知識を修得する。 4. 就職活動に向けた自己 PR などの事項について、効果的な書類作成の術を身に付ける。									
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。									
参考文献										
評価方法	参加度(50%)、期末試験(50%)により総合的に評価する。ただし、医療系資格を優先的に取得する学生は「医療事務管理士」、情報系資格を優先的に取得する学生は「IT パスポート」の試験に合格することが、単位認定の必須条件となる。									
課題・評価に対するフィードバック方法	模擬試験に関しては答案を返却し解説する。 卒論テーマに関するレポートでは、内容を精査し訂正やアドバイスを付加して返却する。また、就活に関する自己 PR 等の文章に関しては、添削指導を行う。									
オフィスアワー(研究室)	各教員が最初のゼミにて示す。				メールアドレス (#→@)		各教員が最初のゼミにて示す。			
講義内容	学生の状況と卒業研究のテーマを勘案した時間配分で、卒業研究および就職活動に必要な知識を学ぶ									
	予習	各教員が必要に応じて予習内容を知らせる							期間中適宜	
	復習	各教員が必要に応じて復習内容を知らせる							期間中適宜	
合計時間(予習・復習)										
備考	各自、単位修得に必要な学修時間を充足できるよう予習復習に努めること。									

科目名		医療情報学総合演習(応用展開科目)					科目ナンバリング	HIA369			
英文名		Comprehensive Practice of Medical Informatics					講義形態	演習			
担当教員		医療情報学科教員全員									
科目に関連した実務経験											
学年・開講期		4 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位							
履修を必須とする資格											
学位授与方針との対応		2	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル				
		4	健康・医療および情報に関する知識・技能			1	生涯学習力				
		3	問題解決力								
SDGs との関連		③ ④ ⑤									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
							○				
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① これまでに学んできた健康医療の専門知識と情報のスキルをベースに、本演習では健康医療分野での現実の課題と情報技術を有機的に結び付け問題解決能力を養い、社会の一員として活躍できる力を身に付ける。									
		② オムニバスの演習形式で、各回の担当教員より提示された課題に取り組む。健康医療分野において、情報技術が活かされている具体的事例について学び、現実の課題と情報技術を有機的に結び付ける。									
到達目標		1. 我が国の健康医療を取り巻く状況や課題を理解し、それら課題の有力な解決手段の 1 つとしてこれまでに学んできた情報技術を捉える。 2. 健康医療分野に情報技術が活かされている具体的事例を理解する。									
使用教材		各担当教員自作の資料を使用する。									
参考文献											
評価方法		レポート課題により評価し 60%以上で合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		オムニバス形式の演習科目なので、その都度担当教員がフィードバックを行う。									
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段については、各自で教員に確認すること。			
1	講義内容	在宅健康モニタリング(鈴木)									
	該当到達目標 1,2	予習	参考資料に目を通し理解しておく。						1 時間		
		復習	講義で提示された課題に取り組む。						2 時間		
2	講義内容	医療経営(木村)									
	該当到達目標 1	予習	病院経営について基本的な事項について調べてみる。						1 時間		
		復習	病院経営における経営資源と特徴について講義で聞いたことを整理する。						2 時間		
3	講義内容	医療経済(町田)									
	該当到達目標 1	予習	あらかじめ配布する資料・データに目を通し理解しておく。						1 時間		
		復習	日本の医療政策について理解を深め、海外との比較ができるようにする。						2 時間		

4	講義内容	医療倫理学(大石)			
	該当到達目標 1	予習	「医療倫理の四原則」について調べておく。	1 時間	
		復習	配布資料を読み返し、ケーススタディについてさらに考察する。	2 時間	
5	講義内容	診療情報管理(大川)			
	該当到達目標 1	予習	チーム医療での診療情報管理士の役割と病院事務職について調べておく。	1 時間	
		復習	配布資料を読み返し、理解を深める。	2 時間	
6	講義内容	医療の情報化(松尾)			
	該当到達目標 1,2	予習	参考資料に目を通し理解しておく。	1 時間	
		復習	健康医療ビッグデータの活用について理解する。	2 時間	
7	講義内容	遠隔医療(東福寺)			
	該当到達目標 1,2	予習	不要。	0 時間	
		復習	当日配布した課題について取り組む。	3 時間	
8	講義内容	医療機器(高橋大志)			
	該当到達目標 1,2	予習	資料を読み各種医療機器類を理解しておく。	1 時間	
		復習	講義で提示された課題に取り組む。	2 時間	
9	講義内容	消化器病学及び臨床検査医学領域での AI について(坂本輝彦)			
	該当到達目標 1,2	予習	医学領域の AI につき簡単に調べてみる	1 時間	
		復習	講義内容を見直し、今後の AI 医療について考察する	2 時間	
10	講義内容	臨床研究の手続き(高橋真悟)			
	該当到達目標 1,2	予習	研究や研究を進めていく上での注意点について理解しておく。	1 時間	
		復習	配布資料中の課題に取り組む。	2 時間	
11	講義内容	人工知能(長澤)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料を事前に提示するので熟読する。	1 時間	
		復習	講義時に配布したレポート課題に取り組む。	2 時間	
12	講義内容	統計学(石川)			
	該当到達目標 1,2	予習	3 年生までに学習した基礎的な統計学を復習しておく。	1 時間	
		復習	講義で提示された例題を理解する。	2 時間	
13	講義内容	医用画像処理(光山)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料を参照フォルダに入れておくので、それを熟読する。	1 時間	
		復習	講義で配布した資料、提示した参考資料で復習し理解を深める。	2 時間	
14	講義内容	マルチメディア(田村)			
	該当到達目標 1,2	予習	不要。	0 時間	
		復習	講義で行ったことをまとめ、課題を作成する。	3 時間	
15	講義内容	IoT(坂本孝)			
	該当到達目標 1,2	予習	講義用資料をあらかじめ各自で印刷し、内容について事前に調べておく。	1 時間	
		復習	講義内容をまとめてレポート作成する。	2 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。				

科目名	卒業研究(卒業研究)						科目ナンバリング	HIG401		
英文名	Graduation Study						講義形態	演習		
担当教員	学科全教員									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	4 年 通年	選必・単位数	必修 4 単位							
履修を必須とする資格										
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養				2	コミュニケーションスキル			
	3	健康・医療および情報に関する知識・技能				2	生涯学習力			
	3	問題解決力								
SDGs との関連	③16									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○	○	○			
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 卒業研究は医療情報学についての勉学の総仕上げである。これまで、修得した知識・技能に基づいて、教員の指導のもとに、テーマを設定し、テーマに即した方法(文献研究、調査研究、実験研究、事例研究システム開発など)により研究をすすめる。 ② 実施に当たっては計画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文作成など一連の能力を涵養する。また推進プロセスにおいては学生の自主性を尊重するが、PDCA サイクルによる進捗管理や指導教員へのハウレンソウ(報告・連絡・相談)などによりコミュニケーションスキルの向上を目指す。また、2 度の発表会では、自分の研究を他者に説明し理解を得るために、抄録作成およびプレゼンテーションを全員が体験する。									
到達目標	1. 卒業研究を通じて、未知なるものを探究する考え方やその方法を身に付ける。 2. 研究の成果を整理まとめ、発表(プレゼンテーション)する技術を身に付ける。 3. 研究論文としての基本構成(背景・目的・方法・結果・考察・結論)に従った卒業論文をまとめる。									
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。									
参考文献										
評価方法	参加度(30%)、卒論発表 2 回(30%)、卒業論文(40%)により総合的に評価する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	卒業論文のテーマに関する資料や論文検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や卒業論文の内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。									
オフィスアワー (研究室)	各教員が最初の授業で提示する。				メールアドレス (#→@)		各教員が最初の授業で提示する。			
講義内容	各学生が希望するテーマに分かれ、到達目標に沿って下記のように研究を進める。 1. 研究テーマの設定 2. 研究テーマに沿った文献・資料の収集と整理 3. 研究内容の適切な課題設定と研究の実施 4. 研究内容の中間発表(9 月下旬) 5. 研究内容の本発表(12 月下旬) 6. 卒業研究を卒業論文としてまとめ、提出する(1 月下旬)。									
	予習	各教員が必要に応じて指示する。								期間中適宜

	復習	各教員が必要に応じて指示する。	期間中適宜
合計時間(予習・復習)			
備考	単位修得に必要な時間が確保されるよう、各自、データ収集・整理・論文作成などを行う。		

科目名	生涯学習社会と図書館(司書科目)							科目 ナンバリング	—	
英文名	Lifelong Learning Society and Library							講義形態	講義	
担当教員	秋山 美和子									
科目に関連した 実務経験	地方公務員(管理職)として社会教育課、公共図書館に勤務(経験)									
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする 資格	司書									
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	4									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
			○	○	○		○			○
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法	ゲストスピーカー(司書、公民館主事など)による実践的な学習を実施。									
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本について理解できることを目標とする。 ② 講義は教科書を中心とするが、参考資料も適宜配付しながら、授業毎に配付するレジュメに沿って進めていく。また、第 3 回～第 13 回講義(第 10 回講義を除く)では、講義内容に合わせたグループワークまたはディスカッションを行い、課題の提出を求める。8 月にフィールドワーク(公共図書館)を実施する。									
到達目標	1. 社会教育・生涯学習の役割と意義について理解する。■ 2. 生涯学習社会における図書館の役割について理解する。■ 3. 社会教育施設(図書館・博物館・公民館)、社会教育職員、委員等の役割について理解する。■									
使用教材	馬場祐次朗執筆・編集代表『二訂 生涯学習概論』(ぎょうせい) ISBN 978-4-324-10464-4 必要に応じて資料を配付									
参考文献	授業中に提示									
評価方法	最終レポート・プレゼンテーション 20%、課題 2 回 20%、授業への参加態度 60%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対する フィードバック方法	各授業終了時に学生から意見・感想・質問等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次回の授業で解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。				メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。				
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、社会教育、生涯教育、生涯学習について								
	該当到達目標	予習	シラバス、授業の進め方及び評価方法、教科書の「はじめに」から第 1 章 1 までを読み、本講義の実施概要、到達目標、評価方法等を確認する。						1 時間	
	1	復習	講義の実施概要、到達目標、評価方法を理解し、自分なりの学習計画を立てる。社会教育、生涯教育、生涯学習の違いについて理解する。						2 時間	
2	講義内容	生涯学習の意義と生涯学習振興政策								
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。						1.5 時間	

	1	復習	生涯学習の意義は何か、どのような政策が実施されているのを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	社会教育の意義と特質		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	社会教育の歴史を踏まえ、生涯学習社会における社会教育の今日的な意義と課題について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	社会教育の歴史的展開		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	社会教育(生涯学習)に関する法律と国の答申(政策)について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	社会教育行政の組織と役割■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	社会教育行政を担う国及び地方公共団体の組織と役割について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	社会教育行政における委員■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	社会教育行政に関わる委員の役割と職務について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	社会教育主事の役割と職務■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1	復習	社会教育主事(士)の仕事の内容、意義について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	社会教育に関する団体と指導者■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1	復習	社会教育に関わる委員の職務・役割、社会教育の団体・指導者に求められる役割について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	社会教育施設の意義と役割■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館、博物館、公民館、その他の社会教育施設の意義と役割、課題について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	公民館の役割と機能■ ゲストスピーカー(公民館主事)によると特別講義		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。ゲストスピーカー(公民館主事)が勤務する公民館の取組について調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	ゲストスピーカー(公民館主事)による講義のふりかえりを行う。公民館の役割と機能について理解し、講義で紹介した取組事例についてさらに調べてみる。	1.5 時間
11	講義内容	図書館の役割と機能■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じ	1.5 時間

			て関連する文献・資料などで調べておく。フィールドワークで訪れる図書館について、インターネット等で調べておく。	
	1,2,3	復習	図書館の役割と機能について理解し、講義で紹介した取組事例についてさらに調べてみる。フィールドワークで訪れる図書館について、質問事項を整理する。	1.5 時間
12	講義内容	博物館、その他社会教育施設の役割と機能		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	博物館、その他社会教育施設の役割と機能について理解し、講義で紹介した取組事例、MLA 連携についてさらに調べてみる。	1.5 時間
13	講義内容	生涯学習社会と家庭・学校・地域		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	生涯学習社会における家庭・学校・地域の連携について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	最終レポートのプレゼンテーション及びディスカッション(発表に対する質問・意見・感想)		
	該当到達目標	予習	最終レポートを作成し、プレゼンテーションの準備をする。 最終レポートは事前に提出し、冊子を作成する。	2 時間
	1,2,3	復習	最終レポートについて各自がプレゼンテーションし、学生同士でディスカッションした結果を踏まえ、テーマについての理解をさらに深める。	1 時間
15	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標	予習	教科書、配付資料、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師に事前に連絡する。	2 時間
	1,2,3	復習	講義を踏まえ、生涯学習社会における図書館の意義について論述できるようにする。	1 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業では、積極的に発言することを期待する。 社会教育施設(図書館、博物館、美術館、公民館など)を積極的に活用して、理解を深めること。 ※オンライン(オンデマンド)で授業を行う場合 ① 教材のデータを授業日の前日までに C-learning に配信する。 ② 配信された教材の内容を理解し、提示された課題のレポートを C-learning で提出する。 ③ 提出されたレポートについては、コメントをつけてフィードバックする。 ④ レポートの提出をもって「出席」とする。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	図書館概論(司書科目)						科目ナンバリング	—		
英文名	Introduction to Librarianship						講義形態	講義		
担当教員	秋山 美和子									
科目に関連した実務経験	地方公務員(管理職)として公共図書館に勤務(経験)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療及び情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 図書館情報学の入門として、図書館の歴史、社会的意義、機能、役割、組織の運営、図書館の課題と展望までを概観し、図書館とは何かを理解できるようにする。 ② 授業は教科書を中心とするが、参考資料も適宜配付しながら、授業毎に配付するレジュメに沿って進めていく。また、第 3 回～第 13 回講義では、講義内容に合わせたグループワークまたはディスカッションを行い、課題の提出を求める。									
到達目標	1. 図書館の社会的意義、機能、役割等について論述できるようにする。■ 2. 図書館の歴史から将来展望までを、社会の変化に合わせて理解する。■ 3. 図書館の組織の運営について理解する。■									
使用教材	高山正也・岸田和明編著『改訂 図書館概論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-271-4 必要に応じて資料を配付									
参考文献	授業中に提示									
評価方法	最終レポート・プレゼンテーション 20%、課題 2 回 20%、授業への参加態度 60%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法	各授業終了時に学生から意見・感想・質問等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次回の講義で解説する。									
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。				メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。				
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館の社会的意義								
	該当到達目標	予習	シラバス、授業の進め方、教科書の監修者の言葉から 1 章の該当箇所までを読み、本講義の実施概要、到達目標、評価方法等を確認する。						1 時間	
	1	復習	講義の実施概要、到達目標、評価方法等を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館の社会的意義について理解する。						2 時間	
2	講義内容	図書館の歴史								
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、図書館の歴史について表にまとめるなどして整理し、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。						1.5 時間	
	1,2	復習	図書館の歴史と社会の変化を、関連づけて考えられるようにする。						1.5 時間	
3	講義内容	図書館の機能とサービス■								
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。						1.5 時間	
	1	復習	図書館資料を知り、図書館の機能とサービスの基本的な考え方について理解する。						1.5 時間	
4	講義内容	パブリックサービスとテクニカルサービス■								

	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。公共図書館の読書週間のイベントについて調べる。	1.5 時間
	1	復習	利用者への直接サービス(パブリックサービス)と、それを支える間接的な業務(テクニカルサービス)について理解する。図書館を利用し、確認してみる。	1.5 時間
5	講義内容	図書館員の倫理、コンプライアンス■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1	復習	図書館員の基本理念となる宣言等について、制定された社会的背景や意義、事例等を調べて図書館員のあるべき姿について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	公共図書館(存在意義とあるべき姿)■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。よく利用する公共図書館の読書週間の取組について調べる。	1.5 時間
	1,3	復習	公共図書館の存在意義とあるべき姿について、基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	公共図書館(日本における公共図書館)■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。自分が興味・関心のある公共図書館について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	近代公共図書館の変遷と、図書館改革の動きについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	各種図書館(国立図書館、学校図書館)■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	国立国会図書館のサイトを実際に利用し、国立図書館としての機能と役割について理解する。また、学校図書館の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	各種図書館(大学図書館、専門図書館)■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。大学図書館を事前に利用して概要を把握しておく。	1.5 時間
	1,3	復習	大学図書館の機能と役割について、体験を通して理解する。また、専門図書館、図書館類縁施設等の機能と役割について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	図書館の経営、連携・協力■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館経営と図書館の連携・協力の種類及びプレゼンスの向上のための取組について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	図書館の職員と組織■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館の職員(体制、職務、資質向上に関すること)及び図書館の組織構造について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	図書館の施設・設備■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を参考にしながら、実際に公共図書館を訪問して施設・設備について調査し、理解する。	1.5 時間
13	講義内容	図書館に関連する機関・団体■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館関連団体、出版・書店・取次の制度、その他の関連組織・団体等について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	最終レポートのプレゼンテーション及びディスカッション(発表に対する質問・意見・感想)		
	該当到達目標	予習	最終レポートを作成し、プレゼンテーションの準備をする。	2 時間

			最終レポートは事前に提出し、冊子を作成する。	
	1	復習	最終レポートについて各自がプレゼンテーションし、学生同士でディスカッションした結果を踏まえ、テーマについての理解をさらに深める。	1 時間
	講義内容	講義のまとめ		
15	該当到達目標	予習	教科書、配付資料、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師に事前にメールで連絡する。	2 時間
	1,2,3	復習	図書館とは何かを自ら考え、論述できるようにする。	1 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業では、積極的に発言することを期待する。 できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみること。 ※オンライン(オンデマンド)で授業を行う場合 ① 教材のデータを授業日の前日までに C-learning に配信する。 ② 配信された教材の内容を理解し、提示された課題のレポートを C-learning で提出する。 ③ 提出されたレポートについては、コメントをつけてフィードバックする。 ④ レポートの提出をもって「出席」とする。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名		図書館制度・経営論(司書科目)					科目ナンバリング		—		
英文名		Introduction to Library Administration and Management					講義形態		講義		
担当教員		秋山 美和子									
科目に関連した実務経験		地方公務員(管理職)として公共図書館に勤務(経験)									
学年・開講期		2 年 前期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格		司書									
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と幅広い教養			—	コミュニケーションスキル				
		—	健康・医療及び情報に関する知識・技能			—	生涯学習力				
		—	問題解決力								
SDGs との関連		4									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○	○	○					
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 図書館職員となるための知識として、図書館に関する法律、自治体行政の制度・図書館政策について学ぶ。また、「図書館学は実学である」という視点に立ち、できる限り実際の図書館の状況を交えながら図書館経営の考え方、職員、施設・設備等の経営資源、サービス計画、調査と評価、管理形態等について解説する。 ② 授業は、参考資料も適宜配付しながら、授業毎に配付するレジュメに沿って進めていく。本講義では使用教材を指定しないが、参考文献として提示された資料については積極的に活用して学習を進めること。また、第 3 回～第 13 回講義では、講義内容に合わせたグループワークまたはディスカッションを行い、課題の提出を求める。									
到達目標		1. 図書館に関する法制度、自治体行政の制度・政策について理解する。■ 2. 図書館の理念を踏まえ、それが実際の図書館の運営にどのように反映されているか理解する。■ 3. 図書館職員の職務を学び、経営的な視点を身につける。■									
使用教材											
参考文献		糸賀雅児・葉袋秀樹編集『図書館制度・経営論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-202-8 必要に応じて資料を配付 その他の参考文献は授業中に提示									
評価方法		最終レポート・プレゼンテーション 20%、課題 2 回 20%、授業への参加態度 60%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		各授業終了時に学生から意見・感想・質問等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次回の授業で解説する。									
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。				メールアドレス (#→@)		メールアドレスは初回授業時に提示する。			
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館における制度と経営									
	該当到達目標	予習	シラバスを読み、本講義の実施概要、到達目標、評価方法等を確認する。							1 時間	
	1	復習	講義の実施概要、到達目標、評価方法等を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館における制度と経営を学ぶ必要性を理解する。							2 時間	
2	講義内容	図書館制度の概観■									
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。							1.5 時間	
	1	復習	図書館関係法規の体系等を理解する。							1.5 時間	
3	講義内容	図書館に関する法制度(日本国憲法、教育基本法、社会教育法)									
	該当到達目標	予習	日本国憲法の基本的人権に関する条文及び教育基本法、社会教育法を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。							1.5 時間	

	1	復習	各法律と図書館法との関係を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	図書館に関する法制度(図書館法)■		
	該当到達目標	予習	図書館法を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1	復習	図書館関係法規と図書館法の関係について確認し、図書館の役割と機能について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	図書館に関する法制度(学校図書館法、大学設置基準)■		
	該当到達目標	予習	学校図書館法、大学設置基準の図書館該当箇所等について読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1	復習	公共図書館以外他館種の法律について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	読書活動に関する法制度(子ども読書活動推進法・文字活字文化振興法)■		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	子供の読書活動の推進に関する法規等の成立過程及びその意義を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	図書館サービス及び経営関係の法制度		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	図書館サービスや経営に関連した法規(著作権法など)を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	国・地方自治体の図書館政策■		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	国の図書館政策として主な基準・答申・報告及び地方公共団体の図書館政策について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	図書館の公共性■		
	該当到達目標	予習	地元の図書館の概要について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館の公共性と経営について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	図書館と書店■		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	館種ごとの経営論及びガバナンスについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	図書館の組織と職員■		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館を運営していくための組織、職員体制、職員の役割について理解する。また、図書館ボランティアの活動についても調べてみる。	1.5 時間
12	講義内容	図書館の財政・予算・マーケティング・経営評価■		
	該当到達目標	予習	事前に配付する資料を読み、自分の関心・疑問を整理するとともに、必要に応じて関連する文献・資料などで調べておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館経営を可能にする予算確保の方法、マーケティング、経営評価の目的、方法、課題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	図書館の管理形態の多様化■		
	該当到達目標	予習	指定管理者制度について資料を読み、地元自治体の公共図書館の管理形態について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館の管理形態の多様化により、図書館サービスがどのように変化したか、そのメリット・デメリットについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	最終レポートのプレゼンテーション及びディスカッション(発表に対する質問・意見・感想)		
	該当到達目標	予習	最終レポートを作成し、発表の準備をする。	2 時間
	1,2,3	復習	最終レポートについて各自がプレゼンテーションし、学生同士でディスカッションした結果を踏まえ、テーマについての理解をさらに深める。	1 時間
15	講義内容	講義のまとめ		

	該当到達目標	予習	教科書、配付資料、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師にメールで連絡する。	2 時間
	1,2,3	復習	図書館の制度・経営論について自ら考え、論述できるようにする。	1 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業では、積極的に発言することを期待する。 できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみる事。 ※オンライン(オンデマンド)で授業を行う場合 ① 教材のデータを授業日の前日までに C-learning に配信する。 ② 配信された教材の内容を理解し、提示された課題のレポートを C-learning で提出する。 ③ 提出されたレポートについては、コメントをつけてフィードバックする。 ④ レポートの提出をもって「出席」とする。 ■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	図書館情報技術論(司書科目)							科目ナンバリング	—		
英文名	Introduction to Library Service Technology							講義形態	講義		
担当教員	田村 拓郎										
科目に関連した実務経験											
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位								
履修を必須とする資格	司書										
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル				
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力				
	—	問題解決力									
SDGs との関連	4										
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他	
		○			○						
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 近年の情報機器の多様化や進歩には目覚ましいものがある。図書館においても CD、DVD、コンピュータソフトなどの多様なメディアやコンピュータに代表される各種の情報機器が整備されてきている。また、これらの図書館資料にネットワーク情報資源を加えて、図書館情報資源としてとらえる必要がある。図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、利用法について学修する。 ② 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。										
到達目標	1. 図書館業務やサービスに必要な、情報機器やコンピュータシステムの知識を習得できる。 2. 実際にコンピュータ等を利用し検索などができる。										
使用教材	『図書館情報技術論』 二村健・齋藤ひとみ 編著 学文社 2012 年										
参考文献											
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)で評価する。										
課題・評価に対するフィードバック方法	課題発表を行い、受講生同士の質疑応答を行なう。										
オフィスアワー (研究室)	火曜日 3, 4 限 (研究室 1 号館 6 階 604)				メールアドレス (#→@)		tamura-t#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	講義全体のガイダンス									
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。							0 時間	
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。							0.5 時間	
2	講義内容	コンピュータとネットワークの基礎									
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。							0.5 時間	
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。							2 時間	
3	講義内容	LAN の構成、プロトコル									
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。							1 時間	
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。							2 時間	
4	講義内容	コンピュータシステムの管理									

	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行い、発表の準備をする。	1 時間
5	講義内容	データベースの仕組み		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
6	講義内容	図書館業務システムの仕組み		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
7	講義内容	図書館における情報技術活用の現状		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
8	講義内容	電子資料		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
9	講義内容	電子資料の管理技術		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
10	講義内容	電子図書館とデジタルアーカイブ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
11	講義内容	情報技術と社会		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
12	講義内容	インターネットと図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
13	講義内容	最新の情報技術と図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
14	講義内容	Web2.0 と Library2.0		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
15	講義内容	展望、まとめ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	4 時間
合計時間(予習・復習)				42.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ各自で補完すること。			

科目名	図書館サービス概論(司書科目)						科目ナンバリング	—		
英文名	Introduction to Library Services						講義形態	講義		
担当教員	太田 克子									
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館(公共図書館)に勤務(経験)、学校司書として県立高校(学校図書館)に勤務(経験)、県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)									
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養			—	コミュニケーションスキル				
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能			—	生涯学習力				
	—	問題解決力								
SDGs との関連	3 4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 図書館サービスの考え方と構造の理解を図る。そのサービスを担ってきた歴史的経緯や背景を理解し、現在取り組まれている各種サービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を、様々な事例を通して理解し今後の図書館が果たしていくサービスを考察する。 ② 授業は、教科書とパワーポイントにより説明し、グループワークで意見交換をする。また、課題についても学生によるプレゼンテーションののち、意見交換をする。									
到達目標	1. 公立図書館が行っているサービスの意義を理解する■ 2. 図書館サービスの歴史的経緯と背景を理解する■ 3. 各種サービス、著作権などの基本を理解する■									
使用教材	『図書館サービス概論』 高山 正也・村上篤太郎 編著 樹村房 2019 年 2000 円									
参考文献	『図書館情報学基礎資料』今まどり・小山 憲司編著 樹村房 第 3 版 2021 年 1000 円 『図書館のめざすもの』 竹内愼著 日本図書館協会 2014 年 『生きるための図書館』(岩波新書) 竹内愼著 岩波書店 2019 年 780 円									
評価方法	試験 50% 課題・確認テスト 50% 総合評価 60%以上を合格とする									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出課題にコメント等を付けて返却する。									
オフィスアワー (研究室)	木 2 限(研究室 1 号館 5 階 509)				メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス 図書館サービスの意義と理念								
	該当到達目標	予習	教科書 p i ～pviii を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	「図書館のめざすもの」を理解する。						1.5 時間	
2	講義内容	図書館サービスの意義と理念								
	該当到達目標	予習	教科書 p1 ～p20 を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	「図書館員の倫理綱」「図書館の自由に関する宣言」を理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	公共図書館サービスの変遷								
	該当到達目標	予習	教科 p21 ～p51 を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	『市民の図書館』と日野市立図書館について調べる。						1.5 時間	
4	講義内容	課題発表とグループワーク								

	該当到達目標	予習	図書館や図書館資料などが意図的に破壊された事例を調べ、PowerPoint にまとめる。	2.5 時間
	1,2	復習	振り返りシートに回答する。	0.5 時間
5	講義内容	図書館サービスとコンプライアンス		
	該当到達目標	予習	教科書 p52～p67 を読んでおくこと。図書館において予想される著作権に関する問題を考えてくる。	2.5 時間
	3	復習	振り返りシートに回答する。	0.5 時間
6	講義内容	資料提供サービス 相互貸借の実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p79 を読んでおくこと。	1.5 時間
	3	復習	特徴ある図書館サービスを(日本)を調べ、PowerPoint にまとめる。	1.5 時間
7	講義内容	図書館サービスの観点から図書館(日本)を紹介し合いグループワークを行う。■		
	該当到達目標	予習	特徴ある図書館サービスを(日本)を調べ、PowerPoint にまとめる。	1.5 時間
	3	復習	振り返りシートに回答する。	1.5 時間
8	講義内容	資料提供サービス■		
	該当到達目標	予習	教科書 p68～p88 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	「図書館利用券」の種類を調べる。	1.5 時間
9	講義内容	情報提供サービス■ 図書館サービスの協力と連携■		
	該当到達目標	予習	教科書 p89～p118 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	大学の電子書籍の利用を体験してレポートする。	0.5 時間
10	講義内容	図書館サービスの観点から図書館(世界)を紹介し合いグループワークを行う。■		
	該当到達目標	予習	特徴ある図書館サービスを(世界)を調べ、PowerPoint にまとめる。	2.5 時間
	3	復習	「公貸権」について調べる。振り返りシートに回答する。	1.5 時間
11	講義内容	課題解決支援サービス■		
	該当到達目標	予習	教科書 p119～p137 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	課題解決サービスを企画して提出する(対象者とサービス内容)。	1.5 時間
12	講義内容	図書館利用に障害のある人へのサービス・超高齢社会における図書館高齢者サービス■		
	該当到達目標	予習	教科書 p128～p181 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	NY 公共図書館について、図書館サービスの観点からレポートを作成する。	1.5 時間
13	講義内容	ニューヨーク公共図書館を図書館サービスの観点から、発表とグループワーク		
	該当到達目標	予習	NY 公共図書館について、図書館サービスの観点からレポートを作成する。	2.5 時間
	2,3	復習	振り返りシートに回答する。	0.5 時間
14	講義内容	利用者とのコミュニケーション■ 図書館サービスの課題と展望 ■		
	該当到達目標	予習	教科書 p182～p195 を読んでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	図書館サービスを踏まえ、「図書館のキャッチコピー」を考える。	1.5 時間
15	講義内容	図書館サービスと図書館員の心得 まとめ		
	該当到達目標	予習	指定管理者制度と直営図書館について調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	市民にとっての図書館サービスを考え、振り返りシートに回答する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報サービス論(司書科目)						科目ナンバリング	—		
英文名	Introduction to Information Services						講義形態	講義		
担当教員	太田 克子									
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)									
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	3 4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
				○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ② 講義の実施方法	① 図書館における情報サービスの意義を理解し、情報サービスの種類と方法、情報資源、図書館利用教育、発信型情報サービスを理解する。 ② 授業は、教科書とパワーポイントにより説明する。扱う内容により実際の情報サービスを想定してグループワークを行い、課題発表ののち意見交換する。									
到達目標	1. 図書館における情報サービスの意義を理解する■ 2. 情報サービスの種類と内容を理解する■ 3. 各種情報源の特徴と利用法を理解する■ 4. レファレンスサービスの実際を理解する■ 5. 図書館利用教育や発信型情報サービスの意義を理解する■									
使用教材	『情報サービス論』竹之内禎編著 学文社 2013 年									
参考文献	『情報サービス論』 山口真也[ほか]編著 ミネルヴァ書房 2018 年 『情報サービス論』山崎久道編 樹村房 2019 年 『夜明けの図書館 1～5』 埜納タオ著 双葉社 2011 年～2017 年 『レファレンスサービス』 長澤雅男著 丸善 1995 年									
評価方法	筆記試験 50% 課題・授業貢献度等 50% 総合評価 60%以上を合格とする									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題にコメントを付けて返却する。									
オフィスアワー (研究室)	木 2 限(研究室 1 号館 5 階 509)				メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp				
1	講義内容	ガイダンス 情報社会と図書館の情報サービス								
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p11 を読んでおく。						1.5 時間	
	1	復習	価値ある「情報サービス」の例を考える。						1.5 時間	
2	講義内容	図書館における情報サービスの種類								
	該当到達目標	予習	教科書 p12～p17 を読んでおく。						1.5 時間	
	1,2	復習	情報サービスの直接サービスと間接サービスを理解する。						1.5 時間	
3	講義内容	図書館における情報サービスの理論的展開								
	該当到達目標	予習	教科書 p18～p23 を読んでおく。						1.5 時間	

	1,2	復習	保守理論、自由理論を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践■		
	該当到達目標	予習	教科書 p24～p31 を読んでおく。	1.5 時間
	2,4	復習	参考業務の業務構成と参考質問の類型を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	レファレンスサービスの実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p32～p37 を読んでおく。	1.5 時間
	2,4	復習	レファレンスインタビューにおけるコーチングの技法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	情報検索サービスの理論と方法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p38～p43 を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	検索における精度と再現率を理解する。自由語検索と統制語検索を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	各種情報資源の特質と利用法(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p44～p51 を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	情報メディア・文献調査の種類と特性を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	各種情報資源の特質と利用法(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p52～p57 を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	論文・記事調査の種類と特性を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	各種情報資源の特質と利用法(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p63 を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	事項・事実調査の種類と特性を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	各種情報源の評価と解説■		
	該当到達目標	予習	教科書 p64～p71 を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	各自図書館に赴き、レファレンスツールを確認する。	1.5 時間
11	講義内容	各種情報源の組織化■		
	該当到達目標	予習	教科書 p72～p77 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	Web 上の情報源の組織化を理解する。次世代 OPAC の特徴を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	発信型情報サービスの意義と方法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p78～p85 を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	発信型情報サービスの種類と特性を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	情報サービスにかかわる知的財産権の基礎知識■		
	該当到達目標	予習	教科書 p86～p91 を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	発信型情報サービスの種類を理解する	1.5 時間
14	講義内容	図書館利用教育と情報リテラシーの育成■		
	該当到達目標	予習	教科書 p92～p97 を読んでおく。	1.5 時間
	2,5	復習	公共図書館における図書館利用教育と情報リテラシー育成を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	展望 これからの情報サービス担当者としての役割		
	該当到達目標	予習	教科書 p98～p104 を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,4,5	復習	レファレンスサービスと利用者サービスの担当者の条件を確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	児童サービス論(司書科目)							科目ナンバリング	—	
英文名	Library Service for Children							講義形態	講義	
担当教員	小柳 聡美									
科目に関連した実務経験	学校図書館司書として公立小中学校に勤務(現在) 教務職員として進学塾に勤務(経験)									
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数		選択 2 単位					
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	3 4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
					○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 児童サービス(対象は乳幼児からヤングアダルトまで)の概要と意義、担当者の専門的職務、歴史的変遷と発展内容、児童資料の特色と選択、発達と学習への「読書」の役割、児童コレクションの形成と管理、さらにヤングアダルトサービスの概要と資料の特色を認識する。 ② 生涯学習の一環としての児童サービスの重要性を理解するとともに、どのようにすれば子ども達に読書の楽しさと喜びを伝えられるかについて学ぶ科目です。特に各自がオリジナルの図書館案内を作成することによって、児童サービスの内容を認識でき、キャリアプランへの構築へと繋がります。									
到達目標	1. 公共図書館における児童サービスの重要性を理解する。 2. 児童資料の類型について理解し、選択・評価できる。 3. 公共図書館を利用する児童のニーズを理解し、対応できる能力を身につける。■ 4. 子どもと本を結びつけることの重要性を理解し、援助できる。									
使用教材	『児童サービス論 新訂版』JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著 (日本図書館協会) ISBN9784820419099									
参考文献	『児童サービス論』JAL 図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著(日本図書館協会) ISBN9784820413158									
評価方法	筆記試験 60%、オリジナル図書館案内(児童向け)の作成及び読み聞かせ発表 30%、授業への参加態度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。									
オフィスアワー (研究室)	質問には講義開始前もしくは終了後に 教室等で応じます。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回に提示します。			
1	講義内容	児童サービスの概要と意義								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。							1.5 時間
	1	復習	教科書 p.9～p.18 を読む。							1.5 時間

2	講義内容	児童サービス担当者の専門的職務		
	該当到達目標	予習	教科書 p.19～p.35 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	児童サービス担当者の専門性を理解する。 教科書 p.254～p.261 を読む。	1.5 時間
3	講義内容	児童資料の類型		
	該当到達目標	予習	教科書 p.36～p.38 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の形態と内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	児童資料の特色と選択 1 絵本の種類とグレード		
	該当到達目標	予習	教科書 p.39～p.44 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	学んだ種類の絵本を、図書館等で探し、読む。	1.5 時間
5	講義内容	児童資料の特色と選択 2 児童文学・創作児童文学、昔話・伝承文学、詩		
	該当到達目標	予習	教科書 p.45～p.54 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	紹介された作品の中から 1 作品を選び、読む。	1.5 時間
6	講義内容	児童資料の特色と選択 3 ノンフィクション、レファレンスブック		
	該当到達目標	予習	教科書 p.55～p.75 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンスブックとは何か理解する。 図書館においてレファレンスブックの位置を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	児童資料の特色と選択 4 児童資料の出版と流通		
	該当到達目標	予習	児童資料に限らず、現在の出版と流通について調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の出版と流通について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	児童資料の特色と選択 5 児童コレクションの形成と評価		
	該当到達目標	予習	教科書 p.76～p.88 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童コレクションの形成について理解し、評価できるようにする。	1.5 時間
9	講義内容	児童サービスの業務 1 資料提供サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.89～p.94 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	資料提供サービスについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	児童サービスの業務 2 情報サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.95～p.100 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	情報サービスについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	児童サービスの業務 3 乳幼児サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.173～p.185 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	乳幼児サービスについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	児童サービスの方法・技術(読み聞かせとストーリーテリング)■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.154～p.177 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	次週、読み聞かせの実践で使用する絵本(1～3 冊)と、ストーリーテリングしてみたい作品を選ぶ。	1.5 時間
13	講義内容	絵本読み聞かせ指導■		
	該当到達目標	予習	選んだ絵本、作品を読む練習をする。	1.5 時間
	1,4	復習	読み聞かせの方法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヤングアダルトサービスの概要と資料の特色		
	該当到達目標	予習	教科書 p.186～p.204 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	ヤングアダルトサービスとは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 児童サービス対象者向けオリジナル図書館案内の提出・発表		
	該当到達目標	予習	図書館案内の作成。	1.5 時間

	1,3	復習	全講義の振り返り。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	可能であれば近隣の公共図書館を訪問し、現在の児童サービスの現状を実際に見聞すること。 基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料や読み聞かせ実践資料を配信する。連絡・相談にも随時応じる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		情報サービス演習(司書科目)						科目ナンバリング	—		
英文名		Practicum of Information Retrieval						講義形態	講義		
担当教員		太田 克子、田村 拓郎									
科目に関連した実務経験		(太田)司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)									
学年・開講期		3 年 通年			選必・単位数		選択 4 単位				
履修を必須とする資格		司書									
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
		—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
		—	問題解決力								
SDGs との関連		③ ④									
アクティブラーニング実施方法		PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○	○	○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法											
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法		① 「情報サービス論」の理論を基に情報サービスの設計から評価に至る各種の業務、利用者の質問に対する情報サービス、発信型情報サービスの演習を通して実践的な能力を養成する。 ② 授業は教科書とパワーポイントを使って説明し、その内容についての課題を実習する。毎回、学生は課されたレファレンスワーク及び情報源の評価をグループワークで共有、意見を行う。ほかに、学生は課された制作物のプレゼンテーションを行い、意見交換をする。この過程を通して利用者の立場に立った情報ニーズや図書館のあり方を考える。									
到達目標		1. 情報サービスの設計とレファレンスコレクションの構築等の準備を理解する。■ 2. 情報検索の技法を理解し、インターネット情報を活用する。■ 3. 質問に対する検索と回答(質問分析と情報源の選択)をする。■ 4. レファレンス質問をめぐる図書館利用者とのコミュニケーションを想定する。■ 5. 発信型情報サービスを行う。■ 6. 情報サービスの評価を行う。■									
使用教材		情報サービス演習(現代図書館情報学シリーズ 7)三訂 2021 年									
参考文献		(太田)『レファレンスブックス』 長澤雅男・石黒祐子共著 日本図書館協会 2016									
評価方法		(太田)課題 3 回 30%、毎回の課題・授業貢献度 70% (田村)毎回の課題 80%、講義中の質疑応答等 20% 総合評価 60%以上を合格とする。									
課題・評価に対するフィードバック方法		(太田)課題にコメントをつけて返却する (田村)課題発表を行い、受講生も含めた質疑応答等を行う									
オフィスアワー (研究室)		(太田) 木 2 限(研究室 1 号館 5 階 509) (田村) 月曜日 4,5 限(研究室 1 号館 6 階 604)				メールアドレス (#→@)		(太田)ota-y#takasaki-u.ac.jp (田村)tamura-t#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス 情報サービスの設計と評価から準備まで■									
	該当到達目標 1	予習	教科書 P2~P21 を読む。							1.5 時間	
		復習	P24 例題 1 と P27 の例題 2 を検索して確認する。							1.5 時間	
2	講義内容	情報資源の探し方■・レファレンス記録の書き方■									
	該当到達目標	予習	P34~P41 を読む。							1.5 時間	

	2	復習	P40 の図書館のリンク集を確認する。	1.5 時間
3	講義内容	Web ページ・Web サイトの探し方■		
	該当到達目標	予習	P42～P52 を読む。	1.5 時間
	2	復習	POP を作成する。	1.5 時間
4	講義内容	プレゼンテーション(POP)■・図書情報の探し方・雑誌及び雑誌記事の探し方■		
	該当到達目標	予習	POP を作成する。	3 時間
	2,3,4,5	復習		0 時間
5	講義内容	新聞記事の探し方■		
	該当到達目標	予習	P86～P95 を読む。	1.5 時間
	2,3,4	復習	P94 の例題を確認する。	1.5 時間
6	講義内容	言葉・事柄・統計の探し方■		
	該当到達目標	予習	P96～P116 を読む。	1.5 時間
	2,3,4	復習	P100 の例題を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	歴史・日時の探し方■		
	該当到達目標	予習	P117～P126 を読む。	1.5 時間
	2,3,4	復習	本の紹介を作成する。	1.5 時間
8	講義内容	テーマを決めて本の紹介をしよう■		
	該当到達目標	予習	本の紹介を作成する	3 時間
	5	復習		0 時間
9	講義内容	地理・地名・地図の探し方■		
	該当到達目標	予習	P127～P133 を読む。	1.5 時間
	2,3,4	復習	課題を解いて提出する。	1.5 時間
10	講義内容	人物・企業・団体の探し方■		
	該当到達目標	予習	P134～P148 を読む。	1.5 時間
	2,3,4	復習	P140 の例題を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	レファレンスインタビューの準備と実演■		
	該当到達目標	予習	レファレンスインタビューのストーリーを考えレファレンスブックを選択する。	1.5 時間
	2,3,4,6	復習	実際のレファレンスインタビューを想定して動画または PowerPoint を作成	1.5 時間
12	講義内容	プレゼンテーション(レファレンスインタビュー)■		
	該当到達目標	予習	レファレンスインタビューの動画または PowerPoint で作成提出。発表練習。	3 時間
	2,3,4,6	復習		0 時間
13	講義内容	法令・判例・特許の探し方■		
	該当到達目標	予習	P149～p169 を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	P151 の例題を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	レファレンスコレクションの整備■		
	該当到達目標	予習	課されたレファレンスブックの評価を行う。	1 時間
	1,6	復習	パスファインダーを作成する。	2 時間
15	講義内容	発信型情報サービスの構築と維持管理■プレゼンテーション(パスファインダー)		
	該当到達目標	予習	パスファインダーを作成する。	3 時間
	2,3,4,5,6	復習		0 時間
16	講義内容	ガイダンス 後期講義説明		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
17	講義内容	Web 検索の概要		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
18	講義内容	Web による情報の収集 1		

	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
19	講義内容	Web による情報の収集 2		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
20	講義内容	Web による情報の収集 3		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
21	講義内容	論文検索の概要		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
22	講義内容	論文検索		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
23	講義内容	論文検索の実際 1		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
24	講義内容	論文検索の実際 2		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
25	講義内容	論文検索の実際 3		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
26	講義内容	論文検索のまとめ 1		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
27	講義内容	論文検索のまとめ 2		
	該当到達目標 1,2	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
28	講義内容	情報サービスの現状		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
29	講義内容	新しい発信型情報サービス		
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
30	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標 1,2,3,4,5,6	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
合計時間(予習・復習)				90 時間
備考	この科目は「情報サービス論」を履修していなければ受講できません この科目は課題提出等で基本的なパソコンの操作が必要です。各自で習得しておいてください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	図書館情報資源概論(司書科目)							科目 ナンバリング	—	
英文名	Introduction to Library Information Resources							講義形態	講義	
担当教員	小柳 聡美									
科目に関連した 実務経験										
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位						
履修を必須とする 資格	司書									
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング 実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
			○						○	
「その他」のアクティ ブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 高度情報化社会の進展に伴い、図書館環境も大きく変わりつつある。ここでは、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源について、類型と特質、選択・収集・保存等、図書館業務に必要な情報資源に関する知識の基本について理解できることを目標にする。 ② 授業では、テキストを単元ごとに読解し要約する。随時、図書館に関連する資料やニュースを紹介していく。									
到達目標	1. 多様化する図書館情報資源(印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 2. 多様化する図書館情報資源(非印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 3. 多様化する図書館情報資源(電子メディア)の有効活用を考えることができる。									
使用教材	『図書館情報資源概論 新訂版』JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ8 馬場俊明 編著 (日本図書館協会) ISBN9784820418085									
参考文献										
評価方法	筆記試験 60%、授業時間内発表及び提出物 30%、授業参加態度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。									
課題・評価に対する フィードバック方法	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。									
オフィスアワー (研究室)	質問には講義開始前もしくは終了後に 教室等で応じる。				メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回に提示する。				
1	講義内容	図書館情報資源概論について								
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで、講義の目標などを理解する。							1.5 時間
	1,2,3	復習	UNIT 0 を読み、図書館情報資源概論の学習計画を立てる。							1.5 時間
2	講義内容	図書館情報資源の意義								
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT 1～4 に目を通す。							1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館情報資源の定義と類型について理解する。							1.5 時間
3	講義内容	印刷資料の類型と特質 1								
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT 5 に目を通す。							1.5 時間
	1	復習	図書の特質を理解する。							1.5 時間
4	講義内容	印刷資料の類型と特質 2								

	該当到達目標 3	予習	教科書の UNIT 6～8 に目を通す。	1.5 時間
		復習	雑誌・新聞等の特質を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	非印刷資料の類型と特質		
	該当到達目標 3	予習	教科書の UNIT 9～12 に目を通す。	1.5 時間
		復習	各資料の特質を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	電子資料の類型と特質		
	該当到達目標 3	予習	教科書の UNIT 13～17 に目を通す。	1.5 時間
		復習	電子メディアの特質を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	図書館情報資源と図書館の自由		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の UNIT 27～30 に目を通す。	1.5 時間
		復習	表現の自由と検閲の問題を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	蔵書論		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の UNIT 31 に目を通す。	1.5 時間
		復習	蔵書の概念について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	蔵書論		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の UNIT 32～34 に目を通す。	1.5 時間
		復習	蔵書の収集方針から更新までについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	収集と選択		
	該当到達目標 1,2	予習	教科書の UNIT 35 に目を通す。	1.5 時間
		復習	選書の意義について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	収集と選択		
	該当到達目標 3	予習	教科書の UNIT 36～38 に目を通す。	1.5 時間
		復習	様々な選書論について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	蔵書管理		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書の UNIT 39～43 に目を通す。	1.5 時間
		復習	蔵書評価ができるように、基本知識を身につける。	1.5 時間
13	講義内容	資料の組織化		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書の UNIT 44～47 に目を通す。	1.5 時間
		復習	資料組織化のための業務について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	書庫管理		
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書の UNIT 48～50 に目を通す。	1.5 時間
		復習	蔵書点検の意義について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ・学習の整理と展望		
	該当到達目標 1,2,3	予習	キーワードについて確認する。	1.5 時間
		復習	近未来の図書館構想も視野に入れて理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料を配信する。連絡・相談にも随時応じる。			

科目名	情報資源組織論(司書科目)							科目ナンバリング	—	
英文名	Introduction to Library Information Resources Organization							講義形態	講義	
担当教員	太田 克子									
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)									
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位							
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力				—				
SDGs との関連	3 4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
				○	○		○		○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 図書館情報資源(印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源など)の組織化の理論と技術を理解する。 ② 授業は、教科書とパワーポイントを使って説明する。									
到達目標	1. 情報資源を組織化する意義と概念を理解する■ 2. 記述目録法と主題目録法(分類・件名)の基礎的知識を理解する■ 3. コンピュータ技術を利用した書誌コントロール、書誌データの活用法等を理解する■ 4. 多様な情報資源の組織化を理解する■									
使用教材	『情報資源組織論』 榎本裕希子[ほか]著 学文社 2019 年 1,900 円									
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年									
評価方法	試験 70%、課題・確認テスト・授業貢献度等 30% 総合評価 60%以上を合格とする									
課題・評価に対するフィードバック方法	課題にコメントを付けて返却する。									
オフィスアワー (研究室)	木 2 限(研究室 1 号館 5 階 509)				メールアドレス (#→@)		ota-y#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス 情報資源組織化の意義と理論								
	該当到達目標 1	予習	教科書 p1～p11 を読んでおくこと							1.5 時間
		復習	授業の復習をする。							1.5 時間
2	講義内容	書誌コントロールの標準化								
	該当到達目標 3	予習	教科書 p12～p17 を読んでおくこと							1.5 時間
		復習	授業の復習をする。							1.5 時間
3	講義内容	書誌記述法■								
	該当到達目標 2	予習	教科書 p18～p23 を読んでおくこと							1.5 時間
		復習	授業の復習をする。							1.5 時間

4	講義内容	日本目録規則(1)■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p24～p29 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
5	講義内容	日本目録規則(2)■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p30～p35 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	次回小テストのため p1～p35 まで復習しておく。	1.5 時間
6	講義内容	主題分析の意義と考え方■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p38～p42 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
7	講義内容	主題分析と索引法■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p44～p49 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
8	講義内容	基本件名標目表■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p50～p55 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
9	講義内容	主題分析と分類法■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p56～p61 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
10	講義内容	日本十進分類法(1)■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p67～p69 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
11	講義内容	日本十進分類法(2)■		
	該当到達目標 2	予習	教科書 p67～p69 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	次回小テストのため p38～p69 まで復習しておく。	1.5 時間
12	講義内容	書誌情報の作成と流通■		
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	教科書 p70～p74 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
13	講義内容	書誌情報の提供■		
	該当到達目標 3,4	予習	教科書 p76～p80 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
14	講義内容	ネットワーク資源の組織化とメタデータ		
	該当到達目標 3,4	予習	教科書 p82～p86 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
15	講義内容	多様な情報資源の組織化■		
	該当到達目標 1,4	予習	教科書の p88～p92 を読んでおくこと	1.5 時間
		復習	授業の復習をする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報資源組織演習(司書科目)							科目ナンバリング	—	
英文名	Library Information Resources Organization Practice							講義形態	講義	
担当教員	太田 克子									
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センター教育専門図書館を担当(経験)									
学年・開講期	2 年 通年		選必・単位数		選択 4 単位					
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	3 4									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○	○			○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「情報資源組織論」の理論を基に情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。 ② 前半は、教科書を使って要点をまとめ説明する。後半は、学生に演習問題の解答を板書して発表してもらう。特に分類作業については、グループで主題分析の検討をしてもらい、その結果を説明してもらう。この過程を通して利用者の立場に立った資料・情報探索のニーズを考え、図書館のあり方を考える。									
到達目標	1. 『日本目録規則』に準拠し情報資源の書誌データの作成をする。■ 2. 見出し項目の排列をする。■ 3. 『日本十進分類法』と『基本件名標目表』に準拠し、主題分析と分類作業・統制語彙の適用を行う。■ 4. 『日本著者記号表』を理解し請求記号を付与する。■ 5. 書誌ユーティリティにおける目録作業とネットワーク情報資源のメタデータ作成を理解する。									
使用教材	『目録法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2016 年 1,500 円 『分類法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2019 年 1,500 円									
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987 年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『日本十進分類法 新訂 10 版簡易版』 もりきよし原編 日本図書館協会 2018 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年 『日本著者記号表』 もりきよし著 日本図書館協会 1985 年									
評価方法	試験 50% 小テスト・授業貢献度等 50% 総合評価 60%以上を合格									
課題・評価に対するフィードバック方法	毎回の演習で質疑応答を行う。小テストを添削して返却する。									
オフィスアワー (研究室)	木 2 限(研究室 1 号館 5 階 509)				メールアドレス (#→@)		ota-y#takasaki-u.ac.jp			
1	講義内容	ガイダンス 目録の意義 目録の種類■								
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第 1 章を読む。							1.5 時間
	1	復習	目録の種類と書誌の種類をまとめる。							1.5 時間

2	講義内容	日本目録規則■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第2章を読んで演習問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	書誌事項のエリアを把握する。記述の情報源の優先順を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	タイトルと責任表示(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第3章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	責任表示の役割の種類を理解する。	0.5 時間
4	講義内容	タイトルと責任表示(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第4章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	部編名、別タイトル、複数作品を収録する図書の記述を理解する。	0.5 時間
5	講義内容	タイトルと責任表示に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第5章の演習問題を解く。	3 時間
	1	復習		0 時間
6	講義内容	版表示、出版・頒布等の事項■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第6章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	版と刷、出版地の記述の規則を理解する。	0.5 時間
7	講義内容	形態、注記、ISBN■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第7章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	形態、注記の記述の規則を理解する。	0.5 時間
8	講義内容	単行書に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第8章の演習問題を解く。	3 時間
	1	復習		0 時間
9	講義内容	書誌単位(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第9章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位と集合単位を理解する。	0.5 時間
10	講義内容	書誌単位(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第10章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	シリーズものとセットものの違いを理解する。	0.5 時間
11	講義内容	3層の書誌階層(1) 構成単位の例■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第11章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位、集合単位、構成単位の3層を理解する。	0.5 時間
12	講義内容	3層の書誌階層(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第12章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	1	復習	本シリーズと下位シリーズの構造を理解する。	0.5 時間
13	講義内容	書誌単位に関する総合演習問題 雑誌,灰色文献,郷土資料,地図の書誌記述■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第13章の演習問題を解く。	3 時間
	1	復習		0 時間
14	講義内容	目録法に関する総合演習問題 見出し項目の選出と編成■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第14・15章の演習問題を解く。	3 時間
	1,2	復習		0 時間
15	講義内容	見出し項目の選出と編成 書誌ユーティリティにおける目録作業■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第15章の演習問題を解く。	1.5 時間
	2,5	復習	NACSIS-CATの目録作業を理解する。	1.5 時間
16	講義内容	分類記号の位置づけと日本十進分類法■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第1・2章を読む。	1.5 時間

	3	復習	主要な図書館分類法を理解する。	1.5 時間
17	講義内容	主題分析 本表の見方と階層構造■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第3章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	『日本十進分類表』(本表)の見方を理解する。	0.5 時間
18	講義内容	主題分析 主題の特定と相関関係■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第4章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	分類記号付与の注意点を理解する。	0.5 時間
19	講義内容	補助表 形式区分■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第5章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	形式区分を理解する。	0.5 時間
20	講義内容	補助表 地理区分・海洋区分■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第6章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	地理区分・日本地方区分・海洋区分を理解する	0.5 時間
21	講義内容	補助表 言語区分・言語共通区分■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第6章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	言語区分・言語共通区分を理解する。	0.5 時間
22	講義内容	補助表 文学共通区分・地域的論述の細区分・その他の固有補助表■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第8章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	文学における日本の時代区分と海外の時代区分を理解する。	0.5 時間
23	講義内容	補助表に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第9章の演習問題を解く。	3 時間
	3	復習		0 時間
24	講義内容	分類規程 複数主題(対等と相互作用)■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第10章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	分類規程 複数主題(対等と相互作用)を理解する。	0.5 時間
25	講義内容	分類規程 複数主題(重点処置)■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第11章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	分類規程 複数主題(重点処置)を理解する。	0.5 時間
26	講義内容	分類規程 伝記■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第12章を読んで演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	分類規程 伝記を理解する。	0.5 時間
27	講義内容	分類規程に関する総合演習問題 館種による分類について■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第13章の演習問題を解く。	2.5 時間
	3	復習	p.90 の分類法の心得 25 選を理解する。	0.5 時間
28	講義内容	分類法に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第14章の演習問題を解く。	3 時間
	3	復習		0 時間
29	講義内容	請求記号 ネットワーク情報資源のメタデータ作成■		
	該当到達目標	予習	最寄りの公共図書館に出向いて、所在記号や別置記号を見ておく。	1.5 時間
	4,5	復習	『日本著者記号表』の使用方法を理解する。 ネットワーク情報資源のメタデータ作成を理解する。	1.5 時間
30	講義内容	ネットワーク情報資源のメタデータ作成 まとめ		
	該当到達目標	予習	課題に従って J-STAGE を実際に検索する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	情報資源組織化の意義を再確認する。	1.5 時間

合計時間(予習・復習)		90 時間
備考	この科目は「情報資源組織論」を履修していなければ受講できない。 『日本十進分類法第 10 版』第 2 区分表を必ず覚えてから受講すること。 各章の演習問題を解いて授業に臨むこと。 ■:実務経験に基づく内容を示す。	

科目名	図書館サービス特論(司書科目)						科目ナンバリング	—		
英文名	Lecture on Library Services						講義形態	講義		
担当教員	小柳 聡美									
科目に関連した実務経験	学校図書館司書として公立小中学校に勤務(現在) 教務職員として進学塾に勤務(経験)									
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位							
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養			—	コミュニケーションスキル				
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能			—	生涯学習力				
	—	問題解決力								
SDGs との関連	34									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループ ワーク	プレゼンテ ーション	演習、実験 実習、実技	フィールド ワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクション ペーパー	その他
			○	○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 司書資格取得必修科目で学んだ内容を実際に司書業務の中に活かすには、カウンターサービス並びにフロアワークに必要なコミュニケーション能力を伸ばすことが不可欠である。特に日本人に固有なノンバーバル・コミュニケーションの理解と将来の超高齢化・少子化を考慮しながらのコミュニケーション能力の育成により、生涯学習としての図書館利用を促せるサービス環境の構築を目指す。 ② 第 2 回より、導入で前回の講義内容を 400 字にまとめて発表してもらう。									
到達目標	1. 対人業務に必要なコミュニケーション能力を学び、その能力を具体的に修得できる。■ 2. コミュニケーションの定義を正確に理解する。 3. 多種多様な利用者に対し、円滑なコミュニケーションが実現できる対応力を身につける。■									
使用教材	なし(講義内で適宜紹介)									
参考文献	『コミュニケーション学入門』大田信男(大修館書店) ISBN9784469211863									
評価方法	筆記試験 60%、授業時間内発表、及び提出物 30%、授業参加態度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。									
オフィスアワー (研究室)	質問には講義開始前もしくは終了後に 教室等で応じます。				メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回に提示します。				
1	講義内容	コミュニケーションの必要性								
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。						2 時間	
	1,2	復習	コミュニケーションとは何かを理解する。						2 時間	
2	講義内容	ノンバーバル・コミュニケーションのメッセージ性								
	該当到達目標	予習	ノンバーバル・コミュニケーションのメッセージ性について考える。						2 時間	
	1,2	復習	バーバル・コミュニケーション、ノンバーバル・コミュニケーションとは何か理解する。						2 時間	

3	講義内容	マス・コミュニケーションと社会			
	該当到達目標	予習	マス・コミュニケーションと社会について考える。	1.5 時間	
	1	復習	マス・コミュニケーション、マス・メディアとは何か理解する。	2 時間	
4	講義内容	若者文化とコミュニケーション			
	該当到達目標	予習	若者文化とコミュニケーションについて考える。	1.5 時間	
	1,3	復習	(現在「若者」である)自分にとっての若者文化とは何か考察する。	2 時間	
5	講義内容	図書館サービスとコミュニケーションの関係			
	該当到達目標	予習	図書館における自身の「コミュニケーション」体験について発表できるように準備しておく。	1.5 時間	
	1	復習	図書館において必要なコミュニケーションとは何か考察する。	1.5 時間	
6	講義内容	カウンターサービスとフロアワークの目的と意義■			
	該当到達目標	予習	カウンターサービスとフロアワークについて考える。	1.5 時間	
	1	復習	カウンターサービス、フロアワークとは何か、違いも含めて理解する。	1.5 時間	
7	講義内容	情報化の進展と図書館サービス			
	該当到達目標	予習	図書館サービスにおける情報の進展について考える。	2 時間	
	1	復習	図書館における情報化の必要性について理解する。	2 時間	
8	講義内容	「モノ」と「コト」に付けられた「名前」			
	該当到達目標	予習	なぜ「名前」をつけるのか、について考える。	2 時間	
	1	復習	全講義の振り返り。	2 時間	
合計時間(予習・復習)					29 時間
備考	キーワード:「ノンバーバル・コミュニケーション」「フロアワーク」「カウンターサービス」「生涯学習」 基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料を配信する。連絡・相談にも随時応じる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	図書館情報資源特論(司書科目)							科目ナンバリング	—	
英文名	Lecture on Library Information Resources							講義形態	講義	
担当教員	小柳 聡美									
科目に関連した実務経験										
学年・開講期	3 年 後期		選必・単位数		選択 1 単位					
履修を必須とする資格	司書									
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養				—	コミュニケーションスキル			
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能				—	生涯学習力			
	—	問題解決力								
SDGs との関連	③ ④									
アクティブラーニング実施方法	PBL (課題解決型学習)	反転授業	ディスカッション、 ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	演習、実験 実習、実技	フィールドワーク	指導案作成、 模擬授業	リアクションペーパー	その他
			○	○	○				○	
「その他」のアクティブラーニング実施方法										
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「図書館情報資源概論」で学んだ内容をさらに発展的に学習し理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、高度化・多様化する利用者のニーズに応えられることを目標にする。 ② 授業では、テキストを單元ごとに読解し要約する。随時、図書館に関連する資料やニュースを紹介していく。									
到達目標	1. 各分野の情報資源の特性を知る。 2. 各分野の情報資源にアクセスできる。									
使用教材	『図書館情報資源概論 新訂版』JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ8 馬場俊明 編著 (日本図書館協会) ISBN9784820418085 (前期「図書館情報資源概論」から継続使用)									
参考文献										
評価方法	筆記試験 60%、授業時間内発表及び提出物 30%、授業参態度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。									
課題・評価に対するフィードバック方法	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。									
オフィスアワー (研究室)	質問には講義開始前もしくは終了後に 教室等で応じる。				メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回に提示する。			
1	講義内容	資料特論(灰色文献)								
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT 18 に目を通す。						2 時間	
	1,2	復習	灰色文献にアクセスし、理解を深める。						2 時間	
2	講義内容	資料特論(政府刊行物)								
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT 19 に目を通す。						1 時間	
	1,2	復習	政府刊行物にアクセスし、理解を深める。						1.5 時間	
3	講義内容	資料特論(地域資料)								
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT 20 に目を通す。						1 時間	
	1,2	復習	地域社会分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。						1.5 時間	
4	講義内容	人文・社会科学分野の情報資源								

令和 6 年度 医療情報学科シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書 UNIT 21 に目を通す。	1 時間
		復習	人文・社会科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
5	該当到達目標 1,2	講義内容 自然科学・技術分野の情報資源		
		予習	教科書 UNIT 22 に目を通す。	1 時間
		復習	自然科学・技術分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
6	該当到達目標 1,2	講義内容 出版流通システム		
		予習	教科書 UNIT 23～26 に目を通す。	1.5 時間
		復習	出版流通システムについて、理解を深める。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容 NIE(教育に新聞を！)の活動報告		
		予習	新聞を読む。	1.5 時間
		復習	新聞記事をスクラップにまとめることについて、理解を深める。	1.5 時間
8	該当到達目標 1	講義内容 まとめ・筆記試験		
		予習	キーワードについて確認する。	2 時間
		復習	全講義を振り返る。	2 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	基本的にはシラバスの順序に従って教科書を用い、講師オリジナルの内容説明資料を配信する。連絡・相談にも随時応じる。			